

第231図 6区13号住居 出土遺物

14号住居 (第207・232-234図、P.L.44・45・89)

位置 6区X=32423~428 Y=-41114~118

**重複遺構** 11・16・18号土坑と重複する。遺構平面確認の状況により、18号土坑より本遺構の方が旧く、11・16号土坑より本遺構の方が新しいと考えられる。

**形態** 住居北西コーナー部分が18号土坑により消失しているため、全形は不明である。調査区内の住居の状況からやや不整形な長方形を呈すると考えられる。

**方位** N-135°-E

**規模** 長軸5.20×短軸3.00m

**面積** (9.918)m<sup>2</sup>

**壁高** 12~24cm

**床面** 掘り方面から4cm~16cm程、にぶい黄褐色土と暗褐色土を埋め土として施し、床面を構築している。掘り方面では、中央部が土坑状に20cm程、掘り窪められている。北側に径68cm~80cm、深さ56cm程の1号土坑、南西側に径44cm~64cm、深さ28cmほどの2号土坑、南東側に径60cm~68cm、深さ24cmほどの3号土坑を検出した。中央部以外は概ね平坦な面である。

**柱穴** 調査区内では未確認

**貯蔵穴** 調査区内では未確認

6区 竪穴住居跡

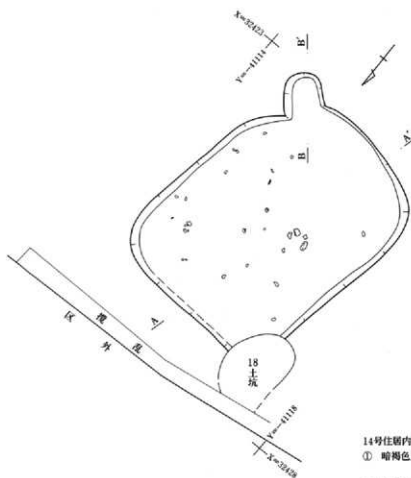
周溝 調査区内では未確認

竈 住居南東コーナー付近に竈を検出した。上部からの削平を受けているため遺存状態はあまりよくない。燃焼部、煙道部ともに住居壁から突出して構築されている。燃焼部長さは48cm程、煙道部は6cm程残存している。使用面から煙道部にかけて緩やかに立ち上がっている。突き口幅は44cm程、燃焼部幅は66cmである。芯材を用いず、粘土のみで袖部～天井部を構築している。掘り方面では右袖部と使用面の

下の位置に径36cm～48cm程の掘り込みをつくり、にぶい黄褐色土で竈使用面を構築している。

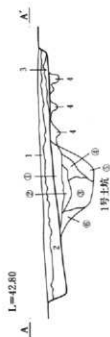
遺物 1・2は土師器杯、3は須恵器杯、4は土師器小型甕、5は土師器S字状口縁台付甕、6は須恵器甕、7は土師器高坏で掘り方から出土、8は埴輪。その他、土師器片多数、須恵器片出土。小片のため図化できなかった。

所見 出土遺物と住居の形態、埋土の状況から9世紀後半頃と比定される。



14号住居

- 1 暗褐色土 黄褐色土、白色微粒子、焼土粒含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 黄褐色土含む。焼土粒少量含む。締まりやや良い。
- 3 にぶい黄褐色土 砂質。固く締まる。
- 4 にぶい黄褐色土 黄褐色土ブロックと暗褐色土ブロックの混土。

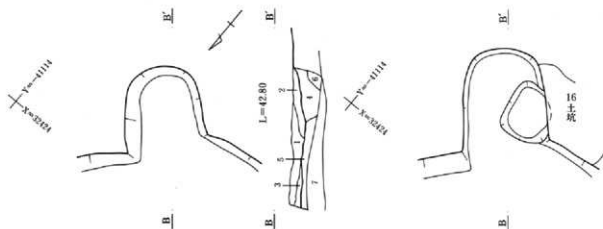
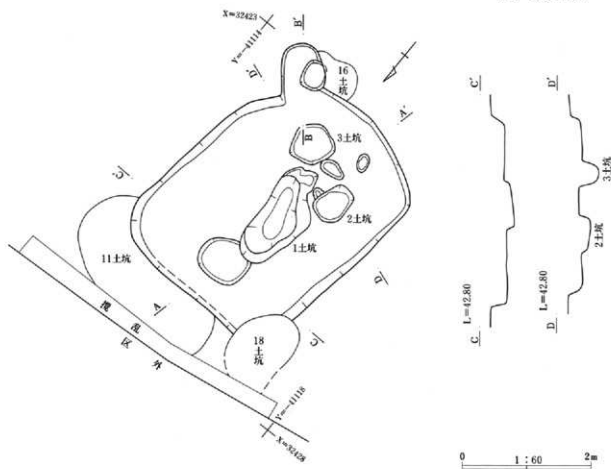


14号住居内1号土坑

- ① 暗褐色土 にぶい黄褐色土ブロック、焼土粒僅か、白色粒深らに含む。締まり良い。
- ② 暗褐色土 にぶい黄褐色土ブロック、白色粒子僅か含む。締まりやや弱い。
- ③ 暗褐色土 炭化物僅かに含む。
- ④ 褐色土 砂質。
- ⑤ 褐色砂質土 炭化物ごく僅か含む。
- ⑥ 暗褐色土 にぶい黄褐色土ブロック、焼土粒僅かに含む。締まりやや弱い。

0 1:60 2m

第232図 6区14号住居 平・断面図

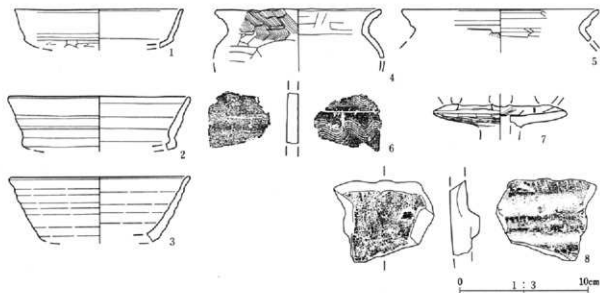


## 14号住居竈

- 1 暗褐色土 白色微粒子含む。固く締まる。
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック、白色粒、焼土、炭化物少量含む。
- 3 暗褐色土 黄褐色土ブロック、白色微粒子、焼土含む。下面に炭化物含む。
- 4 暗褐色土 黄褐色土と焼土、炭化物少量含む。固く締まる。
- 5 暗褐色土 黄褐色土含む。締まり良い。固く締まる。
- 6 におい黄褐色土 暗褐色土と黄褐色土の混土。
- 7 におい黄褐色土 黄褐色土ブロックと焼土微量に含む。締まり悪い。

第233図 6区14号住居掘り方・竈平・断面図

6区 竪穴住居跡



第234図 6区14号住居 出土遺物

15号住居 (第207・235~237図、P L45・89・90)

位置 6区 X=32422~427 Y=-41109~113

重複遺構 10号土坑と重複。遺構平面確認の状況により、10号土坑より本遺構の方が古い。

形態 住居西壁が長く、東壁の短い台形状を呈する。住居南側の一部と、住居南東コーナー部分が10号土坑により消失しているため、全形は不明である。

方位 N-73°-W

規模 長軸3.46×短軸3.02m

面積 (8.991)㎡

壁高 18cm

床面 住居北東コーナー部分がテラス状に5cm~10cm程の高まりがある。南西コーナー付近に貯蔵穴を検出。住居中央部に径56cm~76cm、深さ10cm~15cmほどの落ち込みを検出した。床面は、掘り方面から4cm~12cmほど黄褐色砂質土と暗褐色土を埋め土とし、床面を構築している。掘り方面では、東壁から中央部にかけてなだらかに掘り込み、北壁付近に径16cm~52cm、深さ5cm~10cmほどの土坑状に4箇所、掘り窪められている。西壁沿い中央部よりやや北側を不整形に深さ5cmほど掘り窪めている。西壁中央付近やや南側にP1を検出した。

ピット 西壁中央付近やや南側に径40cm~44cm、深さ20cmほどのP1を検出した。

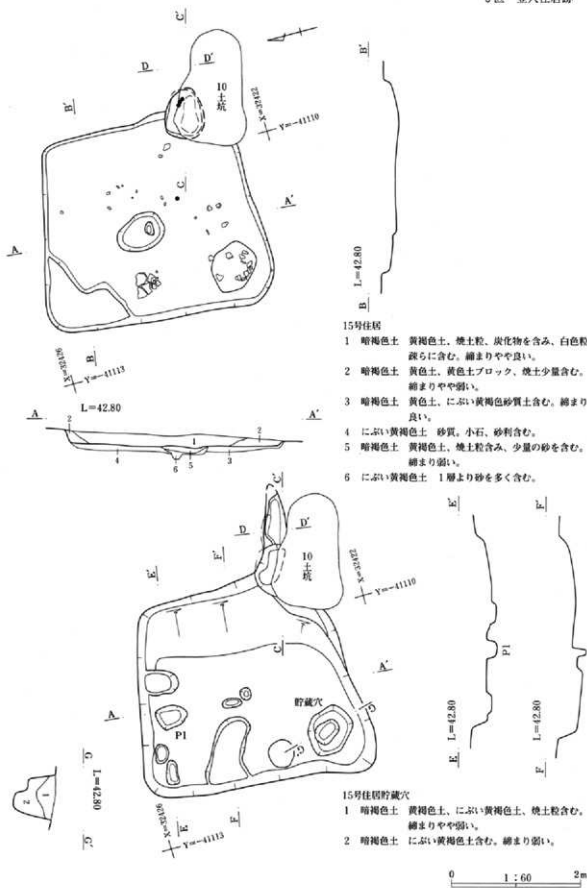
貯蔵穴 住居南西コーナー付近に、径70cm~76cm、深さ56cm、楕円形を呈する貯蔵穴を検出。

周溝 調査区内では未確認

竈 住居南東コーナー付近に竈を検出した。10号土坑との重複のため遺存状態はあまりよくない。燃焼部、煙道部ともに住居壁から突出して構築されている。燃焼部及び煙道部の長さは80cm程である。焚き口幅、燃焼部幅は不明である。芯材を用いず、粘土のみで袖部~天井部を構築している。掘り方面では使用面と考えられる位置に18cm程の掘り込みをつくり、暗褐色土とにぶい黄褐色土で竈使用面を構築している。

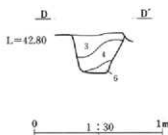
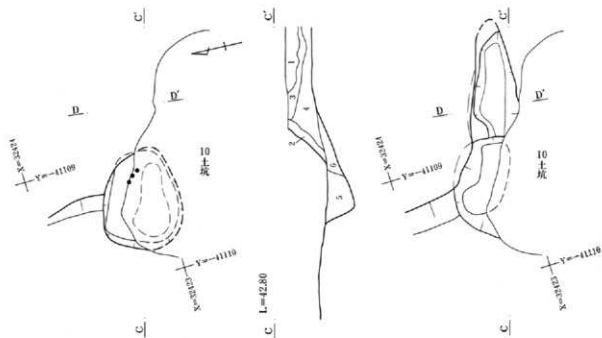
遺物 1は土師器土釜、2は須恵器甕、3・4は土師器羽釜、5は須恵器羽釜、6は土師器器台、7・8は埴輪、9~11は碗型鉄滓。その他、焼成粘土塊4点、鉄滓2点、土師器片多数、須恵器片出土。小片のため図化できなかった。

所見 出土遺物と住居の形態、埋土の状況から10世紀後半から11世紀前半と比定される。碗型鉄滓が貯蔵穴から出土していること。竈は全体を調査できないため詳細は不明である。特に遺物の出土から鉄に関係する遺構と考えられる。



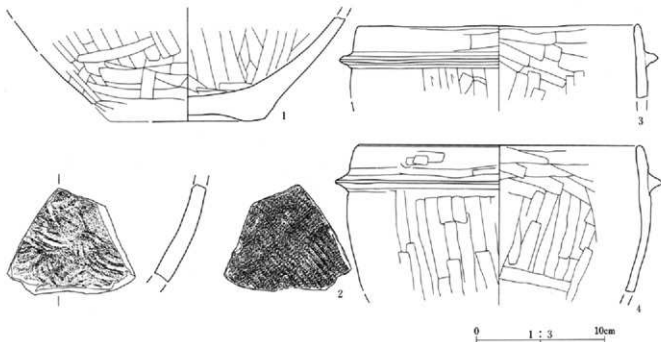
第235図 6区15号住居・掘り方 平・断面図

6区 竪穴住居跡

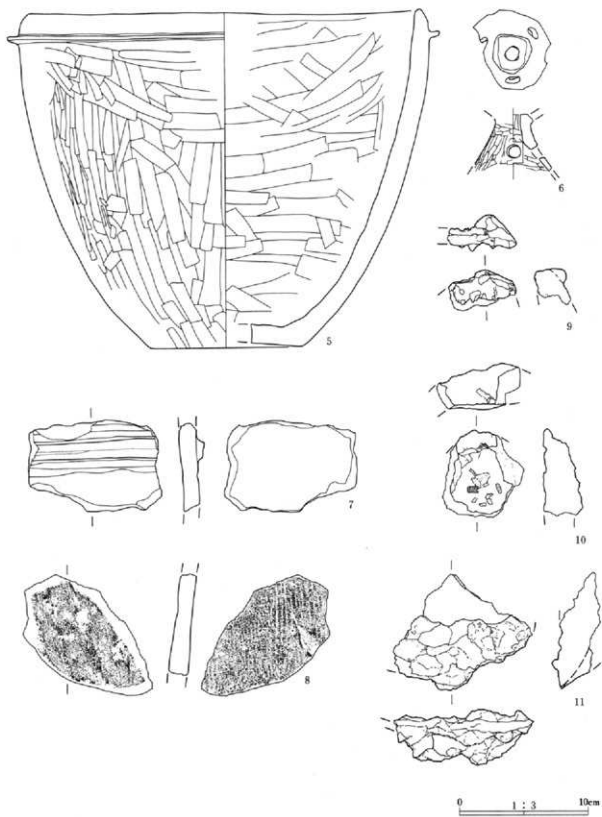


15号住居竈

- 1 暗褐色土 焼土、炭化物含み、白色微粒子疎らに含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 焼土粒多く含む。
- 3 焼土層 竈の胴れ。
- 4 暗褐色土 焼土ブロック含む。締まり弱い。
- 5 暗褐色土 焼土ブロック、にぶい黄褐色土含む。
- 6 にぶい黄褐色土 粘性。締まり弱い。



第236図 6区15号住居竈 平・断面図、出土遺物 (1)



第237图 6区15号住居 出土遺物 (2)

6区 竪穴住居跡

16号住居 (第207・238図、P.L45・90)

位置 6区 X=32426~429 Y=-41108~112

重複遺構 2号ピットと重複。遺構平面確認の状況により、2号ピットより本遺構の方が古い。

形態 調査区境に位置し、他の遺構との重複、擾乱による消失のため全形は不明である。調査区内の住居の状況から、長方形を呈すると推察される。

方位 N-4°-E

規模 長軸(2.78)×短軸(1.66)m

面積 (3.600)㎡

壁高 17cm

床面 地山ローム土が硬化している。掘り方床面と考えられる。

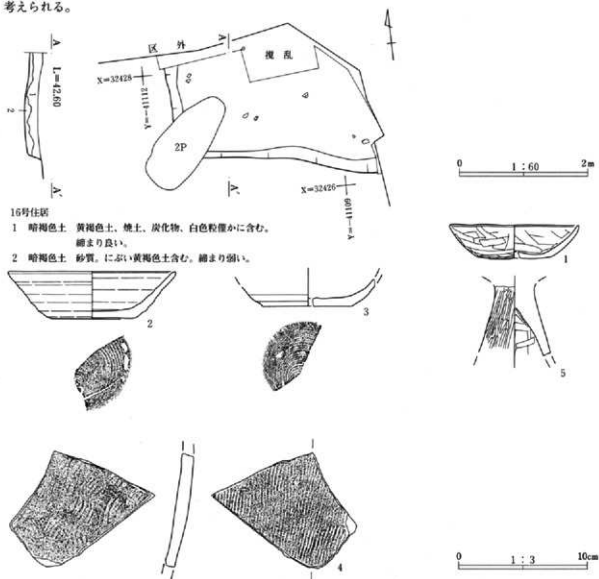
貯蔵穴 調査区内では未確認

周溝 調査区内では未確認

竈 調査区内では未確認。調査区外のいずれかの壁に構築されていると考えられる。

遺物 1は土師器杯、2・3は須恵器杯、4は須恵器壺、5は土師器高杯。その他、土師器片多数、須恵器片出土。小片のため固化できなかった。

所見 出土遺物と住居の形態、埋土の状況から時期を特定できなかった。また、全体を調査できないため詳細は不明である。



16号住居

- 1 暗褐色土 黄褐色土、焼土、炭化物、白色粒層かを含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 砂質。にぶい・黄褐色土含む。締まり強い。

第238図 6区16号住居 平・断面図、出土遺物



17号住居 (第207・239図, P L45・90)

位置 6区 X=32424~427 Y=-41130~137

重複遺構 5号溝と重複。遺構平面確認の状況により、5号溝より本遺構の方が古い。

形態 北側を調査区域に位置し、南側を5号溝により打ち壊されているため、全形不明である。

方位 N-2°-E

規模 長軸(6.46)×短軸(1.44)m

調査区住居確認範囲内

面積 (3.942)㎡

壁高 17cm

床面 床面まで上部からの削平を受け、遺存状態が悪い。土層断面観察により、掘り方面から8cm~12

cm程にぶい黄褐色土で埋め土を施し、床面を構築している。掘り方面はやや凹凸が見られる。

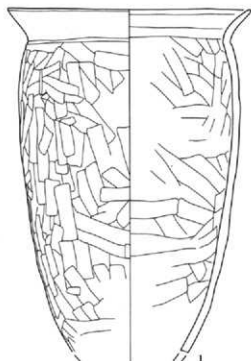
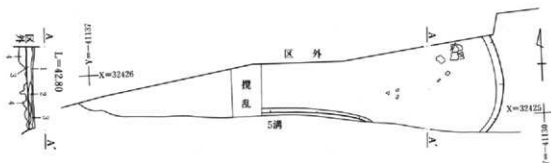
貯蔵穴 調査区内では未確認

周溝 調査区内では未確認

竈 調査区内では未確認。調査区外のいずれかの壁に構築されていると考えられる。

遺物 1は土師器長胴壺、2は土師器甕、その他、土師器片多数、須恵器片出土。小片のため図化できなかった。

所見 住居調査範囲が狭く、全体を調査できないため詳細は不明である。出土遺物から7世紀後半頃と比定される。



## 17号住居

- 1 暗褐色土 赤褐色土少量含む。締まり弱い。
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック少量、白色粒多量に含む。
- 3 暗褐色土 黄褐色土ブロック疎らに含む。
- 4 にぶい黄褐色土 黄褐色土と暗褐色土の混土。締まり良い。

0 1:60 2m



0 1:3 10cm

第239図 6区17号住居 平・断面図、出土遺物

## 6区 竪穴住居跡

### 19号住居 (第207図)

位置 6区X=32419~421 Y=-41129~135

重複遺構 12号住居、2号溝と重複。遺構平面確認の状況により、2号溝より、本住居の方が古い。12号住居との新旧関係は不明である。

形態 上部からの削平と北側を2号溝に打ち壊され、南側が調査区境に位置しているため全形不明である。

方位 計測不能 (N-83° - E)

規模 長軸(5.10)×短軸(1.00)m

調査区住居確認面のみ

面積 計測不能

壁高 計測不能

床面 上部からの削平が床面までおよび遺存状態が悪い。かろうじて掘り方面を検出するのみであった。土層断面観察から、褐色土により掘り方面から埋め土を施していることを確認できた。

### 20号住居 (第207・240・241図、P L45・46・91)

位置 6区X=32422~425 Y=-41117~122

重複遺構 4号溝と重複。遺構平面確認の状況により、4号溝より、本住居の方が古い。

形態 上部からの削平と南側を4号溝に打ち壊されているため全形は不明である。調査区内の住居の状況から方形を呈すると推察できる。

方位 計測不能 (N-83° - E)

規模 長軸(5.10)×短軸(1.00)m

調査区住居確認面のみ

面積 (3.717)㎡

壁高 計測不能

床面 上部からの削平が一部床面まで及びまた、南側を4溝により打ち壊されているため遺存状態が悪い。土層断面観察により掘り方面より8cm程黄褐色土ブロックを含む暗褐色土で埋め土を施し、8cm程暗褐色土で貼り床としている。掘り方面は、住居北コーナー付近に径28cm~32cm浅い土坑状の掘り込みを検出した。土坑状の掘り込みから西側に弧を描くように南に向かって掘り残している。

柱穴 調査区内では未確認

貯蔵穴 調査区内では未確認

周溝 調査区内では未確認

竈 調査区内では未確認。消失している壁か、調査区外のいずれかの壁に構築されていると考えられる。

遺物 土師器片多数、須恵器片出土。小片のため図化できなかった。

所見 上部からの削平と遺構の重複により、床面まで消失しており、遺存状態が悪く、住居の残骸という状態である。また、調査区境に位置するため、調査面積も狭く全体を調査できず、詳細は不明である。そのため図・写真は掲載していない。

柱穴 調査区内では未確認

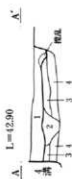
貯蔵穴 調査区内では未確認

周溝 調査区内では未確認

竈 調査区内では未確認。消失しているいずれかの壁に構築されていたと考えられる。

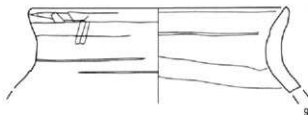
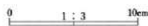
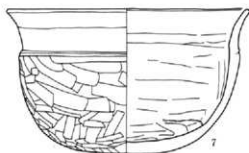
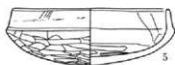
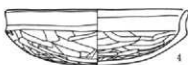
遺物 1~5は土師器杯、6は土師器碗、7は土師器鉢、8~11は土師器甕、12は土師器埴、13・14は土師器高坏。その他、土師器片多数、須恵器片出土。小片のため図化できなかった。

所見 遺存状態が悪く全体を調査できず、詳細は不明である。出土遺物から6世紀後半から7世紀前半頃と比定される。古墳時代後期と比定される。



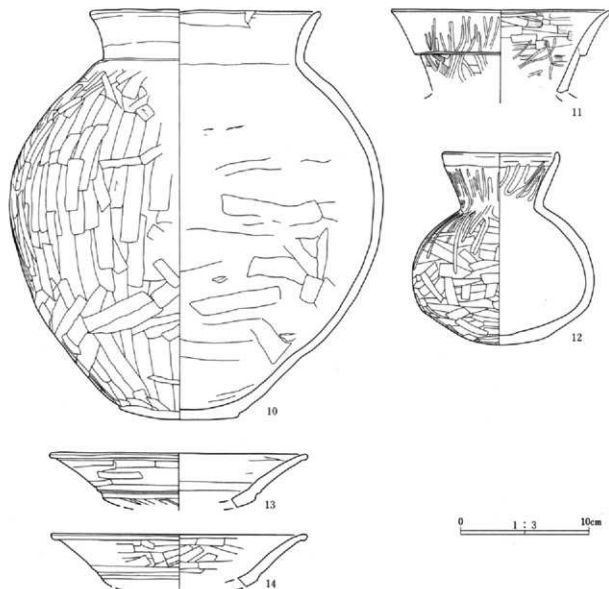
## 20号住居

- 1 暗褐色土 黄褐色土、白色粉砂らに含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 黄褐色土、焼土粒含む。粘性。締まり弱い。
- 3 暗褐色土 黄褐色土、白色微粒子、焼土粒含む。締まりやや良い。
- 4 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む。締まり弱い。



第240图 6区20号住居・掘り方 平・断面図、出土遺物 (1)

6区 竪穴住居跡



第241図 6区20号住居 出土遺物

21号住居 (第207・242図、P L46・92)

位置 6区 X=32426-428 Y=-41117~121

重複遺構 18号土坑と重複。遺構平面確認の状況により、18号土坑より、本住居の方が古い。

形態 住居北側が調査区外に位置し、18号土坑とも重複しているため、全形は不明である。調査区内の住居の状況から方形あるいは長方形を呈すると推察できる。

方位 計測不能 (N-6°-E)

規模 長軸(2.96)×短軸(1.57)m

調査区住居確認面のみ

面積 (3.213)㎡

壁高 28cm

床面 上部からの削平を受け、住居東側を18号土坑により打ち壊されているため遺存状態が悪い。そのため掘り方面の調査のみ行った。土層断面観察から、掘り方面から12cm程埋め土を施し、床面を構築している。掘り方面は多少の凹凸があるが、概ね平坦である。住居中央部にてピット1基を検出した。

ピット 住居中央部に径36cm、深さ36cm程のP1を検出した。

貯蔵穴 調査区内では未確認

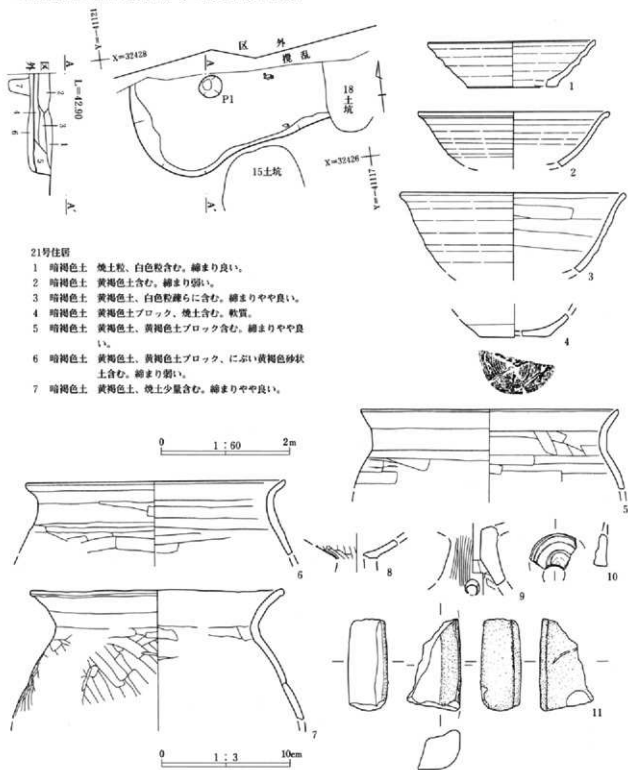
周溝 調査区内では未確認

炉・竈 調査区内では未確認。消失しているいずれかの壁に構築されていたと考えられる。

遺物 1・2・4は須恵器坏, 3は須恵器碗, 5~7は土師器甕, 8・9は土師器器台, 10は土師器五徳, 11は石製品で石仏の後背か。その他、土師器片多数、

須恵器片出土。小片のため図化できなかった。

所見 遺存状態が悪く全体を調査できず、詳細は不明である。出土遺物と埋土の状況から古墳時代前期と比定される。



## 21号住居

- 1 暗褐色土 焼土粒、白色粒含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 黄褐色土含む。締まり弱い。
- 3 暗褐色土 黄褐色土、白色粒雜らに含む。締まりやや良い。
- 4 暗褐色土 黄褐色土ブロック、焼土含む。軟質。
- 5 暗褐色土 黄褐色土、黄褐色土ブロック含む。締まりやや良い。
- 6 暗褐色土 黄褐色土、黄褐色土ブロック、にぶい黄褐色砂状土含む。締まり弱い。
- 7 暗褐色土 黄褐色土、焼土少量含む。締まりやや良い。

第242図 6区21号住居 平・断面図、出土遺物

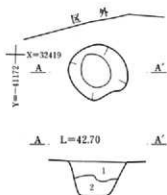
## 6区 土坑跡

### (2)土坑跡

6区から19基の土坑跡を検出した。平成13年度に調査が行われた1区の東側にあたり、1区と6区の調査区境に土坑が近接しているため、関係する遺構の続きを期待されたが、該当する遺構は検出できなかった。他の調査区と同様に同一遺構確認面上での調査であるため明確な時期判定は難しかった。埋没土の土質・色調及び遺物の検討を行った。ただ、出土遺物や埋土・重複関係などから時期・用途を想定できたものは少なかった。また、住宅跡地のためか、上部からの削平や後世の攪乱があるものの、他の調査区に比して遺構の残存状況は良かった。それぞれ

の形態・規模については一覧表、遺構図を掲げてある。土坑は、主に調査区の東西に分かれて分布している。西に分布する土坑からは遺物の出土は少なく、東に分布する土坑からは多数の遺物が出土している。ピットも含めて掘立柱建物跡、欄干等の関連に着目し、整理時に検討を加えてみたが、該当するものはなかった。土坑は平面形態から、長方形(隅丸長方形も含む)、楕円形か円形、不整形に分けられる。以下、土坑について詳述する。

#### 1号土坑 (第207・243図、第11表、P L47)

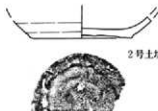


##### 1号土坑

- 1 暗褐色土 ローム層かに含む。
- 2 暗褐色土 ローム中量含む。

##### 2号土坑

- 1 黒褐色土 現表土。
- 2 暗褐色土 ローム粒少量含む。
- 3 暗褐色土 ローム粒2層より少ない。綿まり強い。
- 4 暗褐色土 ローム粒2層より多く含む。

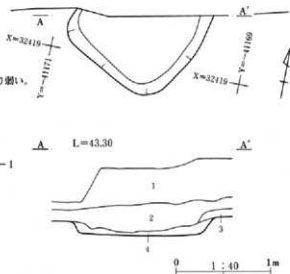


2号土坑-1

0 1:3 10cm

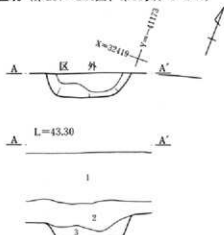
#### 2号土坑 (第207・243図、第11表、P L47・92)

2号土坑は、調査区西側北境に位置し、1号土坑に近接する。北側が調査区外となるため全形は不明である。調査区内の状況から隅丸長方形を呈すると推察される。上部からの削平のため深さは10cmである。断面形は皿状を呈し、底部は平坦である。埋土は、暗褐色土を主体にローム粒・ブロックを含む。遺物は1の須恵器碗。その他、土師器片2点出土。小片のため図化できず時期の特定もできなかった。



第243図 6区1・2号土坑 平・断面図、2号土坑出土遺物

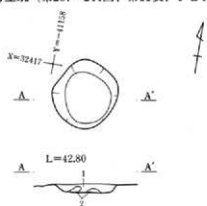
3号土坑 (第207・244図、第11表、P L47)



3号土坑

- 1 黒褐色土 現表土。上に砂石盛土。
- 2 暗褐色土 ローム粒少量含む。
- 3 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック少量含む。

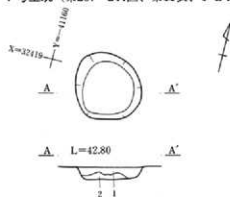
5号土坑 (第207・244図、第11表、P L47)



5号土坑

- 1 暗褐色土 粘性。
- 2 明褐色土 暗褐色土ブロックと地山ブロックの混土。

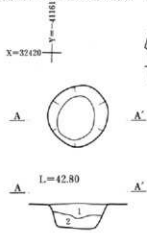
7号土坑 (第207・244図、第11表、P L47)



7号土坑

- 1 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
- 2 明褐色土 ロームと暗褐色土の混土。

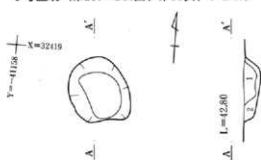
4号土坑 (第207・244図、第11表、P L47)



4号土坑

- 1 暗褐色土 ローム少量含む。
- 2 暗褐色土 ローム主体。暗褐色土多量に含む。

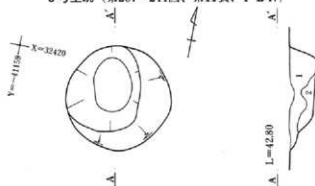
6号土坑 (第207・244図、第11表、P L47)



6号土坑

- 1 暗褐色土 ローム粒含む。粘性。
- 2 明褐色土 ローム土に暗褐色土ブロック状に含む。

8号土坑 (第207・244図、第11表、P L47)



8号土坑

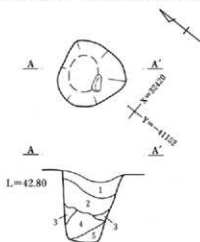
- 1 暗褐色土 ローム小ブロック少量含む。
- 2 暗褐色土 ローム小ブロック少量・ローム中ブロック含む。色調やや明色。

第244図 6区3～8号土坑 平・断面図

0 1 : 40 1m

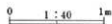
6区 土坑跡

9号土坑 (第207・245図、第11表、P.L.48)

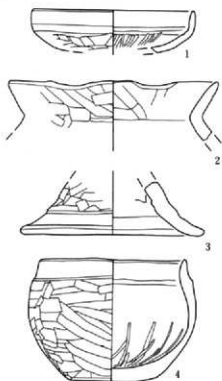


9号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒、白色粒含む。締まりやや良い。
- 2 暗褐色土 焼土粒、白色粒含む。締まり強い。
- 3 暗褐色土 黄褐色土多量に含む。締まり弱い。
- 4 にぶい黄褐色土 黄褐色土ブロック中量含む。
- 5 にぶい黄褐色土 黄褐色土ブロック多量に含む。

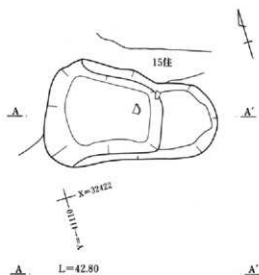


10号土坑



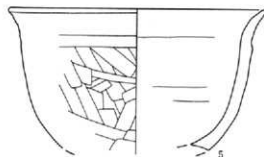
10号土坑 (第207・245図、第11表、P.L.92)

10号土坑は、調査区東側に位置する。北西側を15号住居と重複する。本遺構は15号住居より新しい。全形はやや瓢箪型の不整形であり、東西に長い。断面は東側が緩やかに立ち上がり、西側が急峻に立ち上がる台形を呈する。深さ28cmを測る。底部は平坦である。埋土は、暗褐色土を主体に白色粒、焼土粒を含む。遺物は1が土師器環、2は土師器甕、3は土師器高環、4は土師器小型甕、5は土師器鉢。その他、土師器片3点出土。小片のため図化できなかつた。15号住居より新しいことから、遺物は流れ込みと考えられる。



10号土坑

- 1 暗褐色土 焼土中量含む。締まりやや弱い。
- 2 暗褐色土 焼土、炭化物多く含む。

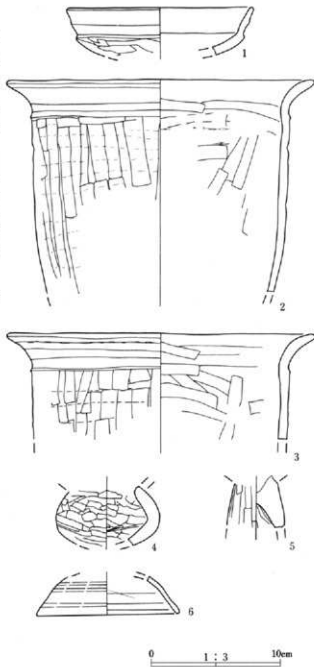
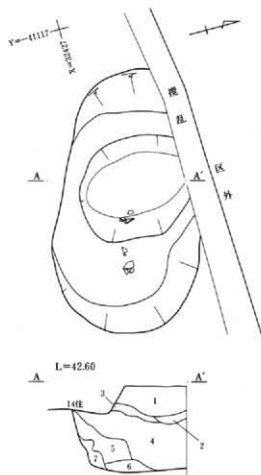


第245図 6区9・10号土坑 平・断面図、出土遺物



## 11号土坑 (第207・246図、第11表、P L48・92)

11号土坑は、調査区東側の北壁に位置し、14号住居と重複する。14号住居により掘り壊されていることから本遺構の方が古い。北側を擾乱によって消失し、全形は不明である。調査区内の状況から、楕円形を呈すると推察される。断面は四角形を呈し、深さ95cmを測る。底部はやや丸い。中央部をやや深く掘り下げている。埋土は暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土、焼土粒を含む。人為的に埋め戻された可能性が高い。遺物は1が土師器杯、2・3は土師器長胴甕、4は土師器小型埴、5は土師器高杯、6は須恵器蓋。その他、土師器片多数、須恵器片7点、近世陶器口縁出土。小片のため図化できず時期の特定もできなかった。



## 11号土坑

- 1 暗褐色土 黄褐色土、黒色土ブロック、焼土粒含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 黄褐色土小ブロック含む。締まり良い。
- 3 暗褐色土 砂質。黄褐色土含む。
- 4 暗褐色土 黄褐色土、焼土粒含む。粘性。締まりやや良い。
- 5 暗褐色土 黄褐色土含む。締まり悪い。
- 6 暗褐色土 焼土粒含む。締まり悪い。
- 7 暗褐色土 黄褐色土小ブロック含む。締まり悪い。

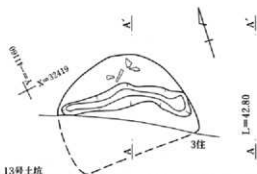
0 1 : 40 1m

第246図 6区11号土坑 平・断面図、出土遺物

6区 土坑跡

13号土坑 (第207・247図、第11表、P.L48・92)

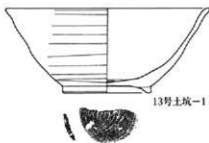
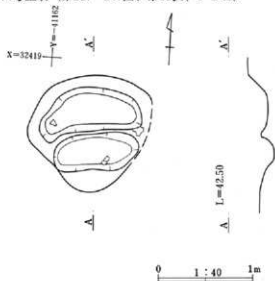
13号土坑は、調査区西側に位置し、南側を3号住居と重複し、西側に14号土坑、東側に7号土坑と近接する。13号住居により掘り壊されていることから本遺構の方が古い。重複のため、南側の一部を消失し、全形は不明である。調査区から、隅丸長方形と推定される。断面は台形を呈すると推察される。深さ35cmを測る。埋土は、上層が暗褐色土に白色粒、赤褐色粒を含む。中層はにぶい黄褐色土に白色粒を含む。下層は暗褐色土に白色粒、にぶい黄褐色土との混土となっている。底部は平坦である。遺物は1の須恵器碗。その他、土師器片16点、須恵器片2点出土。小片のため固化できず時期の特定もできなかった。



13号土坑

- 1 暗褐色土 白色微粒子疎ら、赤褐色粒子極僅かを含む。締まり良い。
- 2 にぶい黄褐色土 黄褐色土ブロック、白色粒僅かに含む。
- 3 暗褐色土 にぶい黄褐色土疎らを含む。

14号土坑 (第207・247図、第11表、P.L48)



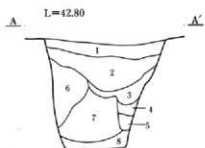
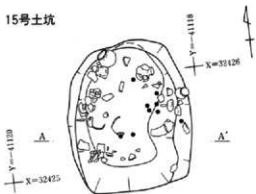
第247図 6区13・14号土坑 平・断面図、出土遺物

15号土坑 (第207・248～250図、第11表、P.L48-93-94)

15号土坑は、調査区東側に位置し、北側で21号住居に近接する。北側が丸味を帯びた長方形である。断面は西側が垂直で、東側が膨らんだ袋状を呈し、深さ112cmを測る。底部は丸底である。埋土は、暗褐色土を主体に、中層西側ににぶい黄褐色土層、下層が褐色土層である。埋土の状況から一度埋没しかけた土坑を二次利用をした形跡が残る。上層から下層まで遺物が多数出土した。1～5は土師器杯、6・7は土師器碗、8・21は小型壺、9～20は土師器甕、22・23は土師器壺、24は土師器高坏、25は土師器器

台、26はミニチュア土器。その他、多数の土師器片と須恵器片出土。固化できる遺物はなかった。8・15・16・21・26の遺物は、ほぼ完形である。また21の土師器小型甕内の土から炭化物とともに種子が採取できた。種子同定の結果、炭化した米粒であることが判明した。詳細は付録に掲載している。15号土坑は、一次利用、二次利用とも貯蔵穴として活用されたと考えられる。出土遺物から、一次利用としては古墳時代前半、二次利用としては古墳時代後半と推定される。

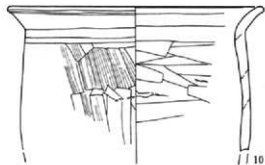
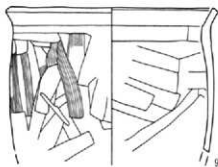
15号土坑



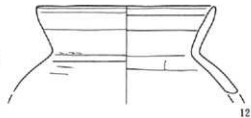
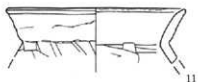
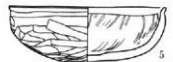
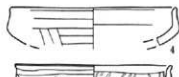
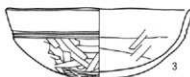
15号土坑

- 1 暗褐色土 焼土跡らに含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 黄褐色土、焼土、白色粒含む。締まり良い。
- 3 暗褐色土 砂質。にぶい黄褐色土ブロック含む。締まり良い。
- 4 暗褐色土 砂質。黄褐色土ブロック含む。
- 5 暗褐色土 砂質。にぶい黄褐色土含む。
- 6 にぶい黄褐色土 砂質。粒子均一。締まり良い。
- 7 暗褐色土 炭化物少量含む。
- 8 褐色土 砂質。褐色土ブロック、金雲母多量に含む。

0 1 : 40 1m



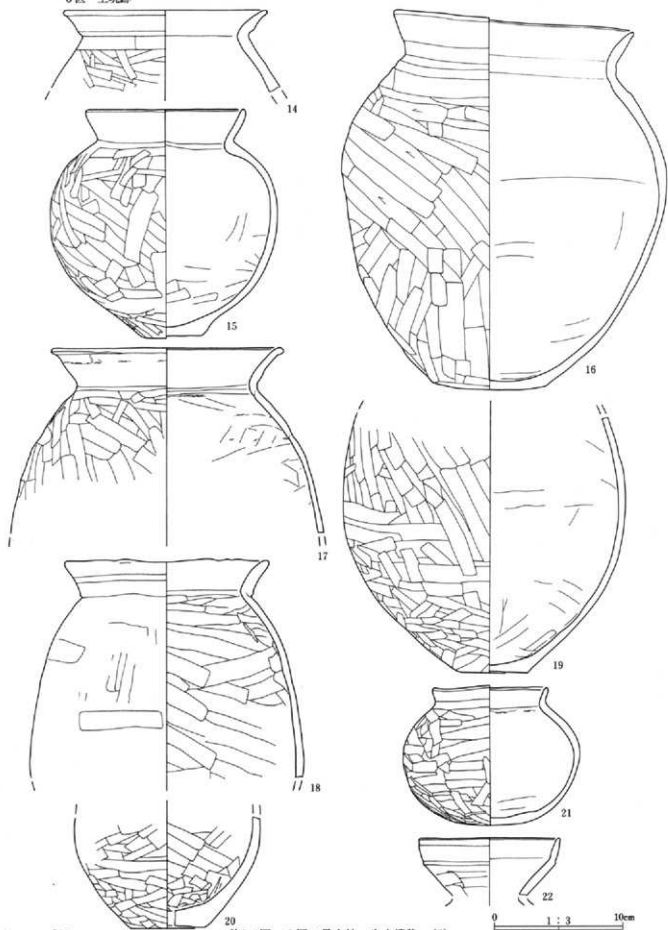
6区 土坑跡



0 1 : 3 10cm

第248図 6区15号土坑 平・断面図、出土遺物 (1)

6区 土坑葬



## 6区 土坑跡



第250図 6区15号土坑 出土遺物 (3)

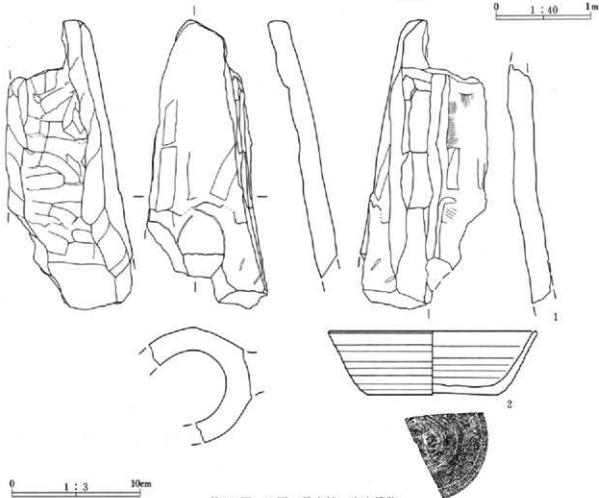
16号土坑 (第207・251図、第11表、P L 49・94)

16号土坑は、調査区東側に位置し、14号住居と重複する。14号住居により掘り壊されていることから本遺構の方が古い。隅丸長方形に近い不整形である。断面は台形を呈し、深さ30cmを測る。底部は概ね平坦である。埋土は、暗褐色土を主体に、焼土粒、黄褐色ローム粒・ブロックを含む。遺物は1が形象埴輪、2は須恵器杯。その他、土師器片33点出土。小片のため図化できなかつた。出土遺物の状況から古墳時代後期と比定される。



16号土坑

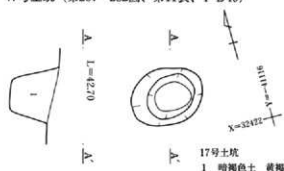
1 暗褐色土 黄褐色土、黄褐色土小ブロック中量、焼土跡らを含む。



第251図 6区16号土坑 出土遺物

6区 土坑跡

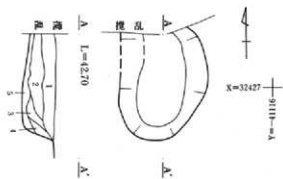
17号土坑 (第207・252図、第11表、P.L.49)



17号土坑  
1 暗褐色土 黄褐色土含む。

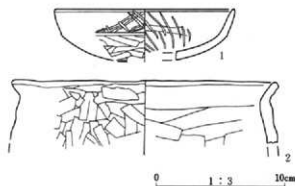
18号土坑 (第207・252図、第11表、P.L.49・95)

18号土坑は、調査区東側に位置し、14・20号堅穴住居跡と重複し、11号土坑と近接する。北側を擾乱により一部消失している。また、14・20号堅穴住居跡を掘り壊していることから、本遺構の方が新しい。調査区内の状況から楕円形と推察される。断面は皿状を呈し、深さ32cmを測る。底部は多少の凹凸はあるが平坦である。埋土は、暗褐色土を主体に、黄褐色

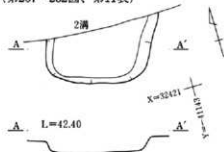


18号土坑

- 1 暗褐色土 焼土、炭化物疎ら、白色土粒含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック、焼土、炭化物含む。締まりやや強い。
- 3 暗褐色土 焼土、炭化物含む。締まり弱い。
- 4 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む。締まり良い。
- 5 暗褐色土 黄褐色土含む。締まり弱い。



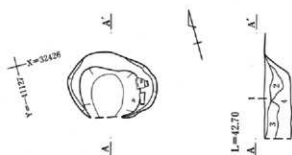
20号土坑 (第207・252図、第11表)



ローム粒・ブロックを含む。遺物は1が土師器環、2は土師器甕。その他、土師器片多数、須恵器片少数出土。図化できる遺物はなかった。出土遺物は完形はなく、小片が多いことから土器廃棄場所の可能性が高い。また、出土遺物と埋土の状況から古墳時代後期と比定される。

19号土坑 (第207・252・253図、第11表、P.L.49・95)

調査区東側に位置し、21号住居と近接する。平面は楕円形で、断面は皿状を呈し、深さ22cmを測る。底部はやや丸い。埋土は暗褐色土を主体に下層に褐色土とにぶい黄褐色土層が分布する。遺物は1・2は埴輪。出土位置は主に暗褐色土層の下面からである。その他、土師器胴部片7点出土。小片のため図化できず、時期の特定もできなかった。



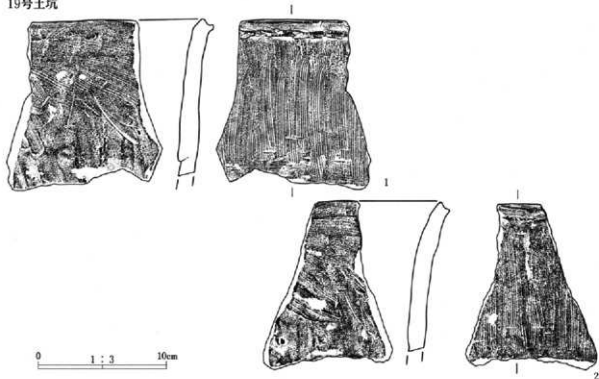
19号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒、炭化物疎らに含む。
- 2 暗褐色土 焼土粒疎ら、炭化物疎かに含む。1層より硬い。
- 3 暗褐色土 焼土粒、炭化物疎らに含む。
- 4 にぶい黄褐色土 黄褐色土多量、焼土、炭化物ほんの僅か含む。



第252図 6区17～19号土坑 平・断面図、出土遺物

19号土坑



第253図 6区19号土坑 出土遺物

第11表 6区 土坑一覧表

| 番号 | 遺構番号  | 位置               | 形態      | 主軸方向    | 規模(m)  |        |      | 出土遺物             | 備考  |
|----|-------|------------------|---------|---------|--------|--------|------|------------------|---|
|    |       |                  |         |         | 長径     | 短径     | 深さ   |                  |   |
| 1  | 1号土坑  | X=32418 Y=-41170 | 楕円形     | N-59°-E | 0.6    | 0.54   | 0.28 |                  |   |
| 2  | 2号土坑  | X=32418 Y=-41169 | (楕丸長方形) | N-29°-E | 1.22   | (0.98) | 0.1  | 須恵器鉢             | 北側が調査区外となるため金形不明。                           |
| 3  | 3号土坑  | X=32418 Y=-41173 | (楕円形)   | N-78°-E | 0.86   | 0.28   | 0.15 | 須恵器杯             | 北側が調査区外となるため金形不明。                           |
| 4  | 4号土坑  | X=32419 Y=-41160 | 円形      | N-8°-E  | 0.66   | 0.62   | 0.26 |                  |   |
| 5  | 5号土坑  | X=32416 Y=-41157 | 楕円形     | N-32°-E | 0.7    | 0.65   | 0.1  |                  |   |
| 6  | 6号土坑  | X=32418 Y=-41156 | 楕円形     | N-20°-W | 0.66   | 0.62   | 0.15 |                  | 6号住と重複。                                     |
| 7  | 7号土坑  | X=32418 Y=-41159 | 楕円形     | N-23°-W | 0.72   | 0.68   | 0.16 |                  |   |
| 8  | 8号土坑  | X=32419 Y=-41157 | 円形      | N-11°-W | 1.12   | 1.08   | 0.2  |                  |   |
| 9  | 9号土坑  | X=32420 Y=-41151 | 楕円形     | N-83°-W | 0.66   | 0.66   | 0.2  |                  | 8号住居内、2号溝とも重複、2号溝より旧く8号住居より新しい。             |
| 10 | 10号土坑 | X=32422 Y=-41108 | 不整形     | N-71°-W | 1.8    | 1.1    | 0.28 | 土師器甕             | 15号住居と重複、本土坑の方が新しい。                         |
| 11 | 11号土坑 | X=32425 Y=-41113 | (楕円形)   | N-70°-W | 2.8    | 1.53   | 0.95 | 土師器甕、その他         | 14号住居と重複、本土坑の方が古い。北側が調査区外となるため金形は不明。        |
| 12 | 13号土坑 | X=32418 Y=-41159 | (楕円形)   | N-0°    | (1.04) | 1.22   | 0.35 | 須恵器鉢             | 3住と重複、本土坑の方が古い。                             |
| 13 | 14号土坑 | X=32417 Y=-41160 | 不整形     | N-35°-E | 1.2    | 1.16   | 0.29 |                  | 3号住居内、本土坑の方が新しい。                            |
| 14 | 15号土坑 | X=32424 Y=-41118 | 長方形     | N-0°    | 1.56   | 1.28   | 1.12 | 土師器甕<br>多数の遺物が出土 |   |
| 15 | 16号土坑 | X=32422 Y=-41114 | 不整形     | N-65°-E | 0.95   | 0.72   | 0.3  | 土師器、須恵器杯         |   |
| 16 | 17号土坑 | X=32422 Y=-41116 | 楕円形     | N-83°-W | 0.76   | 0.68   | 0.33 |                  |   |
| 17 | 18号土坑 | X=32426 Y=-41116 | (楕円形)   | N-0°    | (1.1)  | 0.9    | 0.32 | 土師器甕、高杯、杯        | 北側を擾乱によって消失しているため金形は不明。                     |
| 18 | 19号土坑 | X=32425 Y=-41125 | 楕円形     | N-70°-W | 0.94   | (0.66) | 0.22 | 埴輪、土師器甕、杯        |   |
| 19 | 20号土坑 | X=32420 Y=-41143 | (楕丸長方形) | N-73°-W | 1.08   | (0.60) | 0.14 |                  | 10号住居と重複、本土坑の方が新しい。北側を2号溝によって消失しているため金形は不明。 |

6区 溝跡

(3) 溝跡

浜町遺跡6区からは、8条の溝を検出した。溝についても時期不明のものが多く、埴土からの出土遺物は、古墳時代から近・現代のものまで混在している。東西に走行する溝が大半であるが、6・7号溝跡が南北に走行する溝である。さほど時間差のない溝

1号溝 (第72・254・255図、P.L50・95)

位置 6区X=32413~420 Y=-41168~170

調査区西側に位置する。

重複遺構 1・2号住居、8号溝と重複。遺構平面確認と土層断面の観察により本遺構の方が新しい。

走向 南から北(N-2°-E)

形態 直線的で、断面形は箱状を呈する。8号溝と直行する。南側から調査区内に現れ、北側で調査区外へと続く。

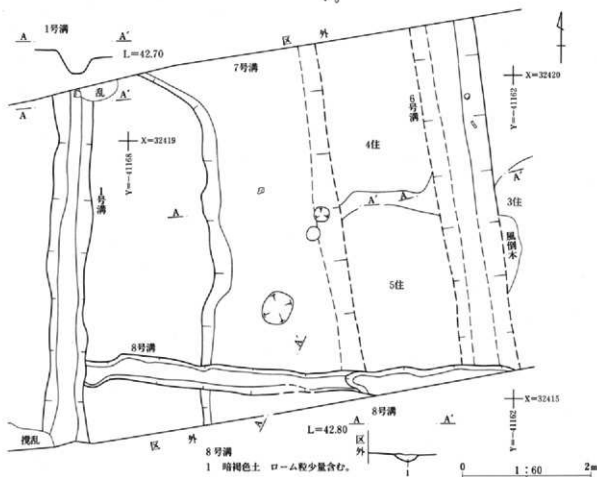
の重複の場合や、出土遺物が少数で小片ばかりの場合どちらが混入品か判断ができなかった。ほとんどの溝跡が堅穴住居跡を掘り壊していること、他遺構との埋土の比較と出土遺物から中世から近世までの溝跡が大半であると推察される。

規模 検出全長 5.54m 上幅 0.50~0.66m

底幅 0.16~0.38m 深さ 0.36m

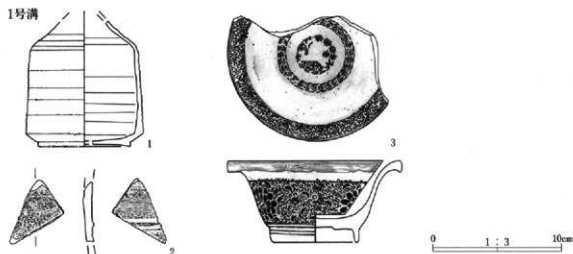
遺物 1は陶器、2は須恵器甕、3は陶磁器。その他、内耳鍋、軟質陶器、土師器片、須恵器片出土。小片のため図化できなかった。中世~近世にかけての遺物が多い。

所見 遺物の出土状況から、長くても中世から近世に利用されたと考えられる。また、須恵器片、土師器片は重複遺構の遺物か混入の遺物の可能性が高い。



第254図 6区1・6~8号溝 平・断面図





第255図 6区1号溝 出土遺物

6号溝 (第72・254・256図、P.L50・95)

位置 6区 X=32418~421 Y=-41162~164

調査区西側に位置する。

重複遺構 3~5号住居、8号溝と重複。遺構平面確認と土層断面の観察により本遺構が、3~5号住居、8号溝より新しい。

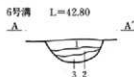
走向 北西から南東 (N-8°-W)

形態 直線的で、断面形は逆台形状を呈する。調査区北壁から現れ、調査区南壁に延びていく。重複遺構が多く、埋土も酷似しており、上部からの削平のため遺構の遺存状態も悪く、平成14・15年度の2年

にわたり調査されたため、遺構を明確に確認できなかった。溝北側の東壁と西壁の一部しか検出することができなかった。上幅、底幅ともに推定である。規模 検出全長 2.76m 上幅 (0.90~1.00)m 底幅 (0.34~0.40)m 深さ (0.33)m

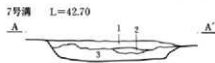
遺物 1はコンロ出土。その他、土師器片、須恵器片少数出土。小片のため図化できなかった。

所見 時期を特定することはできなかった。遺物の出土状況と埋土の状況、重複関係から、近世の比較的新しい溝と推察される。



6号溝

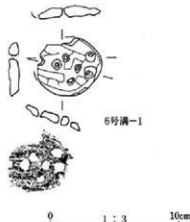
- 1 暗褐色土 微小白色土含む。締まり良い。
- 2 暗褐色土 砂質。微小白色、黄褐色土含む。締まりやや弱い。
- 3 暗褐色土 砂質。黄褐色土多量に含む。



7号溝 L=42.70

7号溝

- 1 暗褐色土 にくい黄褐色土、焼土粒、炭化物僅かに含む。
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック、焼土粒、炭化物僅かに含む。
- 3 暗褐色土 にくい黄褐色土多量、小礫僅か、炭化物極僅かに含む。締まりやや良い。



第256図 6区6・7号溝 断面図、6号溝出土遺物

6区 溝跡

7号溝 (第72・254・257図、P L50・95)

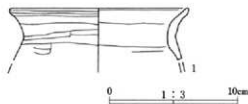
位置 6区X=32414~421 Y=-41165~168

調査区西側に位置する。

重複遺構 2・4・5号住居、8号溝と重複。遺構平面確認と土層断面の観察により本遺構が、3~5号住居より新しく、8号溝より古い。

走向 北西から南東(N-8°-W)

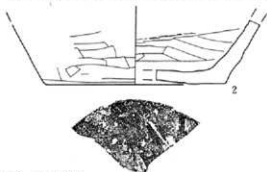
形態 直線的で、断面形は皿状を呈する。調査区北壁から現れ、調査区南壁に延びていく。調査区の複雑な埋土、遺構の重複等により調査区内において溝



の東側部分の一部確認できたが、溝全体を検出することが困難であった。上幅、底幅ともに推定である。全体は検出することができなかった。

規模 検出全長 5.6m 上幅 (0.62~1.84)m  
底幅 (0.40~1.18)m 深さ 0.30m

遺物 1は土師器甕、2は須恵器甕。その他、土師器片、須恵器片多数出土。小片のため固化できなかった。所見 遺物の出土状況と重複関係から、奈良・平安時代以降と考えられるが、走行からは比較的新しい溝と判断できるため時期を特定できなかった。



第257図 6区7号溝 出土遺物

8号溝 (第72・254図、P L50)

位置 6区X=32415~416 Y=-41164~169

調査区西側、南壁付近に位置する。

重複遺構 1・3・5号住居、1・6・7号溝と重複。遺構平面確認と土層断面の観察により本遺構が、1・3・5号住居、6・7号溝より新しく、1号溝より古い。

走向 西から東(N-84°-W)

形態 直線的で、断面形は逆台形状を呈する。1号溝南側より現れ、調査区南壁に延びていく。

規模 検出全長 4.05m 上幅 0.28~0.40m  
底幅 0.18~0.28m 深さ 0.22m

遺物 なし

所見 遺構の重複関係と埋土の状況から比較的新しい溝と推察される。1区2号溝と同一の可能性がある。

2号溝 (第72・258図、P L95)

位置 6区X=32419~426 Y=-41117~167

調査区中央部に位置する。

重複遺構 8・9・11・12・19・27号住居、3・4号溝と重複する。遺構平面確認と土層断面の観察により3・4号溝のほうが本遺構より新しく、8・9・11・12・19・27号住居が本遺構より古い。

走向 西から東(N-82°-W)

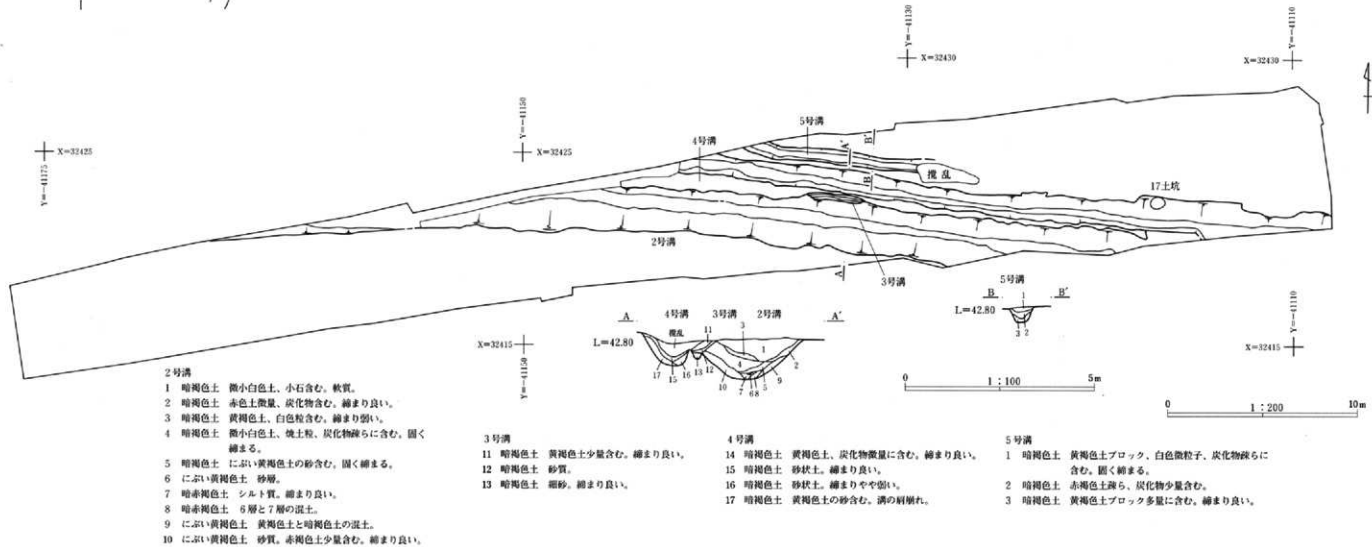
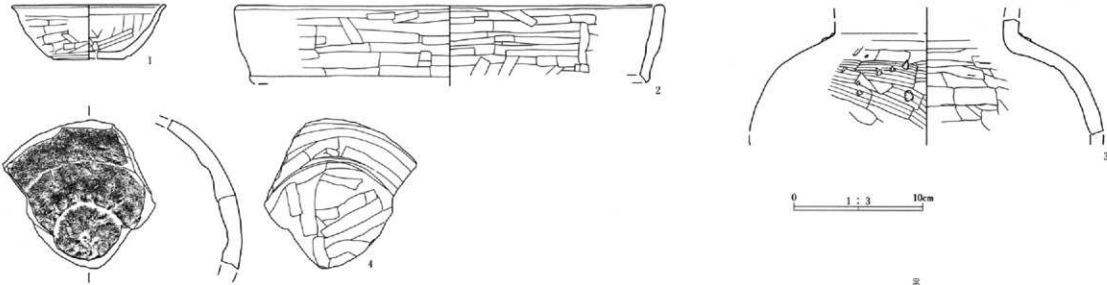
形態 直線的で、断面形は緩やかな法面をもつ逆台形状を呈する。3・4号溝と並行し、調査区北側から現れ、調査区東壁付近の南東側へと続く。

規模 検出全長 25.604m 上幅 2.30~2.80m  
底幅 0.30~0.80m 深さ 0.80~1.20m

遺物 1は須恵器坏、2は近世の軟質陶器焙烙、3は須恵器甕、4は須恵器横瓶。その他、骨片、須恵器片、土師器片多数、明治時代のコンロ、近世の甕出土。小片のため固化できなかった。

所見 遺物の出土状況から、長くて江戸時代から近代にかけての比較的新しい溝と考えられる。須恵器片、土師器片については、やや摩滅気味であることから混入と考えられる。

2号溝



第258図 6区2～5号溝 平・断面図、出土遺物



## 3号溝 (第72・258図)

位置 6区X=32422~423 Y=-41132~136

調査区西側に位置する。

重複遺構 2・4号溝と重複。遺構平面確認と土層断面の観察により本遺構は、2号溝より新しく、4号溝より古い。

走向 西から東 (N-82° -W)

形態 他の遺構と重複しているため、本遺構の一部検出。そのため、全形は不明。直線的で、断面形は皿状を呈すると推察される。

## 4号溝 (第72・258図)

位置 6区X=32420~425 Y=-41108~142

調査区中央部から東側に位置する。

重複遺構 2・3号溝と重複。遺構平面確認と土層断面の観察により本遺構が、2・3号溝より新しい。

走向 北西から南東 (N-82° -W)

形態 直線的で、断面形はやや急峻な法面をもつ逆

## 5号溝 (第72・258図)

位置 6区X=32424~426 Y=-41129~139

調査区中央部から東側に位置する。

重複遺構 13・17号住居と重複。遺構平面確認と土層断面の観察により本遺構が、13・17号住居より新しい。

走向 北西から南東 (N-85° -W)

形態 直線的で、断面形はやや急峻な法面をもつ逆台形状を呈する。北側調査区壁から現れ、13号竪穴住居跡内と擾乱付近で消失する。

## (4)ピット跡

本遺跡から3基のピットを確認したが、調査時2基をピットと認定した。出土遺物や埋土・重複関係などから時期・用途を想定できたものはなかった。整理時点に掘立柱建物跡、橋列跡等の遺構関連の検討を行ったが該当するものはなかった。水田耕作、線路敷設時の土地整備により、上部からの削平が著

規模 検出全長 2.80m 上幅 0.20~0.40m

底幅 0.10~0.30m 深さ 0.10m

遺物 平安時代の須恵器片9点、土師器片25点、近現代の急須、スレート、江戸時代の内耳鍋などが出土。小片のため図化できなかった。

所見 遺物の出土状況と重複関係から、近世の比較的新しい溝で、現代まで使用されていた可能性がある。須恵器片、土師器片については、やや摩滅気味であることから混入と考えられる。

台形状を呈する。

規模 検出全長 30.55m 上幅 0.85~1.80m

底幅 0.20~0.60m 深さ 0.88m

遺物 時期不明の遺物2点出土。

所見 埋土の状況と重複関係から、近世の比較的新しい溝で、現代まで使用されていた可能性がある。

規模 検出全長 8.45m 上幅 0.70~0.80m

底幅 0.25~0.40m 深さ 0.39m

遺物 刷毛目のある甕の胴部片、土師器片、現代の遺物も出土。小片のため図化できなかった。

所見 遺物の出土状況と埋土の状況から、近世の比較的新しい溝で、現代まで使用されていた可能性がある。2号溝から4号溝と走行も一致し、埋土も酷似している状況から、それぞれの遺構はさほど時間差なく利用されていた可能性がある。

しく、掘削深度の浅いピットは、この時点で消失してしまつたものと推察される。ピットについては他地区と同様、それぞれの形態・規模については一覧表に掲げ、位置については遺跡全体図の中に提示した。2基のピットはいずれも出土遺物が少なく時期を特定するまでにはいたらなかった。

## 6区 ビット跡・遺構外出土遺物

第12表 6区 ビット一覧表

| 番号 | 遺構番号  | 位置               | 形態  | 主軸方向    | 規模(m) |      |      | 出土遺物   | 備考 |
|----|-------|------------------|-----|---------|-------|------|------|--------|----|
|    |       |                  |     |         | 長径    | 短径   | 深さ   |        |    |
| 1  | 1号ビット | X=32422 Y=-41139 | 円形  | N-72°-W | 0.30  | 0.30 | 0.33 | 土師器胴部片 |    |
| 2  | 2号ビット | X=32426 Y=-41110 | 楕円形 | N-42°-E | 1.66  | 0.70 | 0.52 |        |    |

## (5) 6区の遺構外出土遺物 (第259・260図、P.L.96)

浜町遺跡6区で出土した遺構に伴わない遺物を報告する。旧石器、弥生時代の明確な遺物は、確認されていない。調査時遺構のほとんどは、約30cm～40cmの遺物を多く含んだ暗褐色土下より検出されている。調査のためグリッドから遺物採取も行われているため、整理時グリッドと遺構位置の検討を行い、土器接合・復元をおこなった。遺物は古墳時代から近現代まで、様々な遺物が多数出土しているが、小片のため図化できた遺物は少なかった。

## 古墳時代

明らかに古墳時代のもので確認できる遺物は、2～5が土師器杯、6は土師器器台、7は埴輪、10は勾玉である。その他、土師器片多数、須恵器片23点出土。摩耗も激しく図化できる遺物はなかった。

## 奈良・平安時代

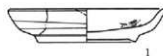
検出された、遺物は、土師器口縁片と胴部片が多数出土。時期を特定するまでにはいたらなかった。また、図化できる遺物はほとんどなかった。

## 中・近世

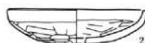
1は陶器皿、9は甕の釜止めである。この時期の検出遺構はなく、表面採取遺物として、現代のものも含む陶磁器片が37点出土。図化できる遺物は少なかった。

## 時期不明

8の羽口と鉄製品3点。その他、陶器片、軟質陶器片、磁器片などが出土。時期を特定できなかった。



1



2



3



4



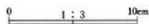
5



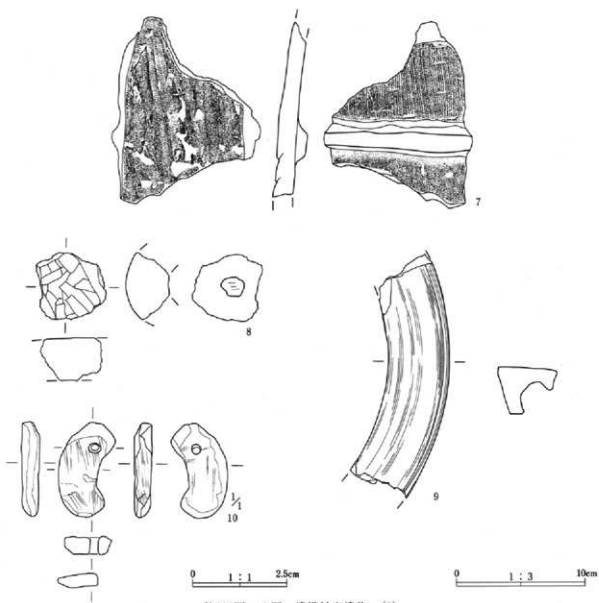
6



8



第259図 6区 遺構外出土遺物 (1)



第260图 6区 遺構外出土遺物 (2)

## 浜町遺跡遺物観察表（0区）

### 0区 6号土坑

| 検出番号<br>図版番号 | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                      | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴   | 備考    |
|--------------|----|----------|--------------|--|------------------------|---|-------|
| 第6図<br>P.L51 | 1  | 土師器<br>杯 | 1/4          | 口径<br>— (10.2)<br>底径<br>— (5.6)<br>高さ<br>— (3.8) | ①粗砂粒やや多い<br>②良好<br>③褐色 | 内外面ともに器面の荒れがひどい。腰部が<br>はり、体部直線的に立ち上がる。口縁部や<br>や外傾する。底部欠損の為詳細不明、残存<br>状況からヘラ削りと考えられる。内面口縁<br>部～底部ヘラナデ。 | 6世紀前半 |

### 0区 遺構外出土遺物

| 検出番号<br>図版番号 | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴   | 備考          |
|--------------|----|----------|--------------|--|-------------------------|---|-------------|
| 第7図<br>P.L51 | 1  | 土師器<br>壺 | 表深<br>底部1/2  | 口径<br>—<br>底径<br>— (5.6)<br>高さ<br>— (2.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄色 | 内外面ともに器面の荒れがひどい。外面ヘ<br>ラ削り。内面ヘラナデ、底部木葉痕、欠損<br>の為詳細不明。 | 木葉痕<br>5世紀頃 |
| 第7図<br>P.L51 | 2  | 須恵器<br>片 | 表深<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>— (6.2)<br>高さ<br>—        | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色 | 轆轤成形。口縁部外面に波状文が2段、突<br>帯一条、突帯上部に比喩一葉。                 | 時期不明        |
| 第7図<br>P.L51 | 3  | 須恵器<br>蓋 | 表深<br>口縁部    | 口径<br>— (11.0)<br>底径<br>— (3.1)<br>高さ<br>— | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色 | 轆轤成形。外面上部手持ちヘラ調整。欠損<br>の為詳細不明。                        | 6世紀後半       |

## 浜町遺跡遺物観察表（1区）

### 1区 1号住居

| 検出番号<br>図版番号 | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                  | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴  | 備考    |
|--------------|----|----------|--------------|--|--------------------------|--|-------|
| 第9図<br>P.L51 | 1  | 須恵器<br>杯 | 床面<br>2/3    | 口径<br>— (14.6)<br>底径<br>— 8.8<br>高さ<br>— 4.2 | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰白色 | 轆轤成形（回転方向不明）。腰部が張り、体<br>部・口縁部が直線的に立ち上がる。内面丁<br>家なヘラナデ。 | 8世紀後半 |

### 1区 2号住居

| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴                                 | 備考              |
|---------------|----|-----------|--------------|--|-------------------------|---|-----------------|
| 第12図<br>P.L51 | 1  | 土師器<br>土釜 | 床面<br>口縁部    | 口径<br>— (24.0)<br>底径<br>— (8.3)<br>高さ<br>— | ①粗砂粒やや多い<br>②良好<br>③褐色  | 若干斜位ヘラナデを確認できるが、内外面<br>ともに器面の荒れがひどく、詳細不明。 | 10世紀後半～<br>11世紀 |
| 第12図<br>P.L51 | 2  | 須恵器<br>壺  | 床面<br>胴部片    | 口径<br>—<br>底径<br>— (8.5)<br>高さ<br>—        | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色 | 外面に刷毛目を確認。                                | 時期不明            |

### 1区 3号住居

| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴                                | 備考    |
|---------------|----|-------------|--------------|--|---------------------------|--|-------|
| 第14図<br>P.L51 | 1  | 土師器<br>片    | 床面<br>口縁部片   | 口径<br>—<br>底径<br>— (5.3)<br>高さ<br>—      | ①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | ヘラナデを僅かに確認できるが、内外面と<br>もに器面の荒れがひどく、詳細不明。 | 9世紀前半 |
| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴                                | 備考    |
| 第14図<br>P.L51 | 2  | 石器<br>磨石・磨石 | 床面           | 長さ<br>— 8.0<br>幅<br>— 5.0<br>高さ<br>— 4.7 | 石材<br>重量<br>— 273.8g      | 安山岩<br>側面に磨滅痕、先端部に敲打痕有り。表面<br>一部割離。      |       |

### 1区 4号住居

| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴   | 備考              |
|---------------|----|----------|--------------|--|--------------------------|---|-----------------|
| 第15図<br>P.L51 | 1  | 須恵器<br>碗 | 床面<br>高台部欠損  | 口径<br>—<br>底径<br>— (4.0)<br>高さ<br>—        | ①粗砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰黄色   | 轆轤成形（右回転）。付け高台。高台欠損の<br>為不明。腰部が張り、体部が直線的に立ち<br>上がる。   | 9世紀             |
| 第16図<br>P.L51 | 2  | 須恵器<br>杯 | 床面<br>1/2    | 口径<br>— 14.2<br>底径<br>— 7.0<br>高さ<br>— 4.9 | ①粗・細砂粒多量<br>②還元焰<br>③灰黄色 | 轆轤成形（右回転）。底部回転削り後、周<br>縁部の回転ヘラ削り。体部やや丸味を帯び<br>て立ち上がる。 | 径3～5mmの磨<br>8世紀 |



## 1区 5号住居

| 押図番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態      | 計測値<br>(cm)                             | ①粘土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴  | 備考                            |
|----------------|----|----------|-------------------|---|----------------------------|--|-------------------------------|
| 第17図<br>P.L.51 | 1  | 土師器<br>鉢 | 竈<br>口縁～胴部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(18.2)<br>—<br>(13.0) | ①微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色       | 口縁部やや外傾し、体部やや膨らむ。口縁部ヘラナデ。胴部上位傾、下位傾位ヘラ削り。内面ヘラナデ後指ナデ。                                  | 輪襷直有り<br>5住～2と同一器体<br>7世紀～8世紀 |
| 第17図<br>P.L.51 | 2  | 土師器<br>鉢 | 竈<br>胴部～底部<br>1/2 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(4.0)<br>(9.4)        | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③褐色     | 体部やや膨らむ。胴部下位傾位ヘラ削り。底部付直傾ナデ。内面ヘラナデ後指ナデ。   | 5住～1と同一器体<br>7世紀～8世紀          |
| 第17図<br>P.L.51 | 3  | 土師器<br>鉢 | 床面<br>口縁～胴部       | 口径<br>底径<br>高さ<br>(10.8)<br>—<br>(5.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 体部丸味を帯びて立ち上がる。口縁部やや内湾する。底部欠損の為詳細不明。口縁部直ナデ。胴部傾位ヘラ削り。内面口縁部～胴部ヘラナデ。                     | 6世紀後半                         |
| 第17図<br>P.L.51 | 4  | 須恵器<br>碗 | 貯蔵穴・覆土<br>1/2     | 口径<br>底径<br>高さ<br>(13.6)<br>3.3<br>5.2  | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい褐色 | 輪襷成形(回転方向不明)。内外面ともに寛れがひどい。付け高台。高台部「ハ」の字状に開く。体部・口縁部が直線的に立ち上がり、口縁部やや外反する。内面寛れがひどく詳細不明。 | 9世紀第4四半期                      |

## 1区 6号住居

| 押図番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)                               | ①粘土②焼成③色調                       | 器形・技法等の特徴   | 備考                 |
|----------------|----|-----------|--------------------|---|---------------------------------|---|--------------------|
| 第19図<br>P.L.52 | 1  | 須恵器<br>坏  | 覆土<br>1/5          | 口径<br>底径<br>高さ<br>(10.2)<br>(6.09)<br>2.3 | ①細・微砂粒少量<br>②酸化塩<br>③灰黄色        | 輪襷成形(回転方向不明)。内外面ともに寛れがひどい。回転糸切りと考えられる。体部丸味を帯びて立ち上がり、口縁部やや外傾する。          | 断面も増成している。<br>9世紀頃 |
| 第19図<br>P.L.52 | 2  | 須恵器<br>碗  | 床面<br>口縁部          | 口径<br>底径<br>高さ<br>(12.0)<br>—<br>3.4      | ①細砂粒<br>②酸化塩<br>③褐色             | 輪襷成形(回転方向不明)。体部・口縁部が直線的に立ち上がり、口縁部やや外傾する。底部欠損の為詳細不明。                     | 9世紀頃               |
| 第19図<br>P.L.52 | 3  | 須恵器<br>碗  | 床面<br>底部           | 口径<br>底径<br>高さ<br>(2.6)                   | ①細・微砂粒多量<br>②酸化塩<br>③灰白色        | 輪襷成形(回転方向不明)。高台付き。高台部欠損、内・外面とも器面寛れの為詳細不明。内面黒く磨いている。                     | 10世紀頃              |
| 第19図<br>P.L.52 | 4  | 須恵器<br>羽釜 | 覆土<br>口縁～胴部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(21.4)<br>—<br>(22.0)   | ①粗砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい褐色        | 体部丸味を帯びて立ち上がる。口縁部やや内湾する。底部欠損の為詳細不明。口縁部直ナデ。胴部傾位ヘラ削り、及びヘラナデ。内面口縁部～胴部ヘラナデ。 | 10世紀頃              |
| 第19図<br>P.L.52 | 5  | 須恵器<br>羽釜 | 床面<br>底部           | 口径<br>底径<br>高さ<br>(10.0)<br>(5.0)         | ①粗砂粒少量、細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 底部ヘラ削り、内面ヘラナデ。内外面ともに寛れがひどく、また胴部・口縁部欠損の為詳細不明。                            | 10世紀頃              |

## 1区 7号住居

| 押図番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                              | ①粘土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴  | 備考                            |
|----------------|----|-----------|--------------|--|---------------------------|--|-------------------------------|
| 第20図<br>P.L.52 | 1  | 須恵器<br>坏  | 覆土<br>2/3    | 口径<br>底径<br>高さ<br>11.6<br>6.2<br>3.6     | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③褐色   | 輪襷成形(右回転)、回転糸切り後両縁部の削り。腰部がやや張り。体部・口縁部が直線的に立ち上がる。器形が歪んでいる。          |                               |
| 第20図<br>P.L.52 | 2  | 須恵器<br>碗  | 床面<br>底部     | 口径<br>底径<br>高さ<br>(7.4)<br>(2.6)         | ①粗砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい褐色  | 輪襷成形(右回転)、付け高台。高台部「ハ」の字状に開く。腰部がやや張り。器面不明。内外面とも器面の寛れがひどい。           | 径3～5mm程の隙<br>僅かに含む。<br>10世紀後半 |
| 第20図<br>P.L.52 | 3  | 須恵器<br>碗  | 床面<br>1/2    | 口径<br>底径<br>高さ<br>(14.8)<br>(7.5)<br>6.6 | ①粗砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい黄褐色 | 輪襷成形(回転方向不明)、付け高台。高台部「ハ」の字状に開く。腰部がやや張り。体部・口縁部が直線的に立ち上がる。器面の寛れがひどい。 | 径2～3mmの隙<br>やや多い。<br>10世紀     |
| 第20図<br>P.L.52 | 4  | 須恵器<br>碗  | 床面<br>体部～底部  | 口径<br>底径<br>高さ<br>(7.0)<br>(3.9)         | ①細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③灰白色    | 輪襷成形(右回転)、付け高台。高台部「ハ」の字状に開くがやや角度が広い。高台の取り付けがやや複雑。体部・口縁部欠損の為詳細不明。   | 10世紀頃                         |
| 第20図<br>P.L.52 | 5  | 須恵器<br>羽釜 | 床面<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(24.6)<br>—<br>(11.3)  | ①粗砂粒少量<br>②酸化塩<br>③明赤褐色   | 輪襷成形後ヘラナデ調整。体部やや膨らむをもちながら立ち上がり。口縁部やや内湾する。底部欠損の為詳細不明。内面口縁部～胴部直ナデ。   |                               |
| 第20図<br>P.L.52 | 6  | 土師器<br>羽釜 | 床面<br>底部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>(8.0)<br>(5.0)         | ①粗砂粒少量<br>②酸化塩<br>③明褐色    | 口縁部～胴部欠損の為詳細不明。底部斜位ヘラ削り、内面ヘラナデ。やや粗雑な作り。                            | 10世紀～11世紀                     |

## 1区 9号住居

| 拝因番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                           | ①胎土②焼成③色調                     | 器形・技法等の特徴  | 備考                  |
|----------------|----|------------|--------------|---------------------------------------|-------------------------------|--|---------------------|
| 第22図<br>P L 52 | 1  | 縄文土器<br>深鉢 | 床面<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.0)     | ①粗砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色      | 胴部L&R部位横位施文による羽状構成。  | 堀之内I式 流れ込みの可能性有り    |
| 第22図<br>P L 52 | 2  | 須恵器<br>坏   | 覆土<br>底部     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>5.4<br>(1.1)   | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰白色      | 轆轤成形(右回転)、回転糸切り。体部・口縁部欠損。内外面とも寬れ、断面も準成している。詳細不明。   | 10世紀以降?             |
| 第22図<br>P L 52 | 3  | 須恵器<br>瓶   | 覆土<br>底部1/3  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(2.6)     | ①細・微砂粒やや多い<br>②還元焰<br>③にぶい黄褐色 | 轆轤成形(回転方向不明)、付け高台。高台部「ハ」の字状に開く。体部・口縁部欠損の為詳細不明。器面の寬れがひどい。                                   | 土師質土器?<br>10世紀後半    |
| 第22図<br>P L 52 | 4  | 須恵器<br>瓶   | 覆土<br>底部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(6.3)<br>(2.8) | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③にぶい黄褐色   | 轆轤成形(回転方向不明)、付け高台。高台部・体部・口縁部欠損の為詳細不明。器内面を吸炭させている。棒状工具による磨きと思われる部分が認められるが、内外面とも寬れがひどく、詳細不明。 | 土師質土器?<br>10世紀～11世紀 |

## 1区 1号土坑

| 拝因番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴              | 備考   |
|----------------|----|-----------|--------------|-----------------------------------|-------------------------|------------------------|------|
| 第23図<br>P L 52 | 1  | 須恵器<br>壺  | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.4) | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色 | 内外面とも器面が寬れ、詳細不明。       |      |
| 第23図<br>P L 52 | 2  | 須恵器<br>横瓶 | 覆土<br>胴部破片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(7.4) | ①粗砂粒やや多い<br>②還元<br>③灰色  | 外面刷毛目が僅かに認められる。内面ヘラナデ。 | 8世紀頃 |

## 1区 2号土坑

| 拝因番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴   | 備考      |
|----------------|----|------------|--------------|-----------------------------------|---------------------------|---|---------|
| 第23図<br>P L 53 | 1  | 土師器<br>小型壺 | 覆土<br>口縁～体部  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 体部丸味を帯びて立ち上がる。口縁部やや外傾する。底部欠損の為詳細不明。口縁部横ナデ、胴部横位・斜位ヘラ削り。内面口縁部～胴部ヘラナデ。 | 6世紀後半?  |
| 第23図<br>P L 53 | 2  | 土師器<br>壺   | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色  | 口縁部横ナデ、「く」の字状に外反する。外面刷毛目が僅かに認められる。体部、底部欠損の為不明。                      | 4世紀～5世紀 |
| 第23図<br>P L 53 | 3  | 陶磁器<br>不明  | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.4) | ③灰白色                      | 染め付け、内外面とも軸葉。   | 時期不明    |

## 1区 9号土坑

| 拝因番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴            | 備考            |
|----------------|----|----------|--------------|-----------------------------------|------------------------|----------------------|---------------|
| 第26図<br>P L 53 | 1  | 埴輪       | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.0) | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色 | 器面の寬れがひどい、外面粗い刷毛目調整。 | 流れ込み?<br>時期不明 |

## 1区 12号土坑

| 拝因番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                          | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴   | 備考    |
|----------------|----|-------------|--------------|--------------------------------------|--------------------------|---|-------|
| 第27図<br>P L 53 | 1  | 須恵器<br>坏    | 床面<br>ほぼ定形   | 口径<br>底径<br>高さ<br>12.6<br>5.6<br>4.1 | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③浅黄色 | 轆轤成形(右回転)、回転糸切り後周縁部の削り。縁部がやや張り、体部が直線的に立ち上がり、口縁部がやや外反する。 | 10世紀頃 |
| 第27図<br>P L 53 | 2  | 石器<br>磨石・最石 | 床面           | 長さ<br>幅<br>厚さ<br>12.3<br>8.3<br>5.7  | 石材<br>重量                 | 器形・技法等の特徴   | 備考    |
|                |    |             |              |                                      | 安山岩<br>753.8g            | 先端部に鋭き歯、表裏両面に摩減痕有り。                                     |       |

## 1区 13号土坑

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                  | 石材<br>重量        | 器形・技法等の特徴           | 備考 |
|----------------|----|----------|--------------|------------------------------|-----------------|---------------------|----|
| 第27回<br>P.L.53 | 1  | 石器<br>敲石 | 覆土           | 長さ (4.6)<br>幅 10.0<br>厚さ 4.8 | 石英安山岩<br>234.5g | 表裏面に摩滅痕有り、下面に敲き痕有り。 |    |

## 1区 17号住居

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)              | ①粘土②焼成③色調                     | 器形・技法等の特徴            | 備考   |
|----------------|----|----------|--------------|--------------------------|-------------------------------|----------------------|------|
| 第29回<br>P.L.53 | 1  | 須臾器<br>罌 | 覆土<br>破片     | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (2.9) | ①細・微砂粒少量・粗砂粒量が<br>②還元焰<br>③灰色 | 外面斜めの平行引き、内面青海波当て具痕。 | 時期不明 |

## 1区 3号溝

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                 | ①粘土②焼成③色調   | 器形・技法等の特徴 | 備考      |
|----------------|----|----------|--------------|-----------------------------|-------------|-----------|---------|
| 第31回<br>P.L.53 | 1  | 陶器<br>輪  | 底面<br>1/2    | 口径 10.0<br>底径 4.4<br>高さ 4.9 | ①<br>②<br>③ | 発付<br>肥前  | 18世紀後半? |

## 1区 遺構外出土遺物

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                  | ①粘土②焼成③色調                   | 器形・技法等の特徴  | 備考             |
|----------------|----|----------|--------------|------------------------------|-----------------------------|--|----------------|
| 第33回<br>P.L.53 | 1  | 須臾器<br>環 | 表採<br>1/3    | 口径 (9.2)<br>底径 4.4<br>高さ 2.0 | ①細・微砂粒少量<br>②酸化焰<br>③にぶい黄褐色 | 輪縁成形(右回転)、回転糸切り。周縁部の<br>回転へつ削り。腰部が張り口縁が外反する。<br>内外面ともに器面の荒れ。 | 土師質土器?<br>時期不明 |

## 浜町遺跡遺物観察表(2区)

## 2区 3号溝

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)              | ①粘土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴      | 備考   |
|----------------|----|------------|--------------|--------------------------|-------------------------|----------------|------|
| 第38回<br>P.L.53 | 1  | 陶器<br>器種不詳 | 覆土<br>破片     | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (3.2) | ①細・微砂粒少量<br>②<br>③にぶい黄色 | 小片の為詳細不明。外面に軸。 | 時期不明 |

## 2区 4号溝

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)              | ①粘土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴                         | 備考 |
|----------------|----|-----------|--------------|--------------------------|--------------------------|-----------------------------------|----|
| 第38回<br>P.L.53 | 1  | 埴輪        | 覆土<br>破片     | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (8.8) | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③褐色   | 器面の荒れの為整形痕不明。突帯が一条あ<br>るが、摩滅している。 |    |
| 第38回<br>P.L.53 | 2  | 陶器<br>片口鉢 | 覆土<br>底部破片   | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (5.4) | ①粗・細砂粒少量<br>②<br>③にぶい黄褐色 | 内外面とも器面の荒れの為不明。内面底部<br>に一部軸が掛かる。  |    |

## 2区 遺構外出土遺物

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)              | ①粘土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴             | 備考   |
|----------------|----|----------|--------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------|------|
| 第40回<br>P.L.53 | 1  | 縄文       | 表採<br>破片     | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (3.3) | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 半截竹管による斜位の沈線を施す。      | 踏碇 a |
| 第40回<br>P.L.53 | 2  | 縄文<br>須臾 | 覆土<br>破片     | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (5.6) | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 竹管による円形刺突文。地紋 R L 縄文。 | 踏碇 a |

### 浜町遺跡遺物観察表（3区）

#### 3区 1号住居

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種             | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調           | 器形・技法等の特徴                      | 備考  |       |
|----------------|----|----------------------|--------------|----------------|---------------------|--------------------------------|---|-------|
| 第43図<br>P.L.53 | 1  | 埴輪<br>円筒埴輪           | 覆            | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(9.0)     | ①径3～10mmの小粒<br>少量含む ②良好<br>③褐色 | 内外面ともに横い目目調整。断面M字型のタガが一条巡る。小さな円孔通し有り。     |       |
| 第43図<br>P.L.53 | 2  | 埴輪<br>縁縁の紐<br>(形不明?) | 覆            | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(16.9)    | ①径3～10mmの小粒<br>少量含む ②良好<br>③褐色 | 外面細かな縦目目調整。内面指ナゲ後刷毛目調整。上縁部に小形の円孔通しが残存する。  |       |
| 第43図<br>P.L.53 | 3  | 須志器<br>甕             | 甕<br>底部      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>7.0<br>(1.8)   | ①細・微砂粒<br>②酸化焙<br>③褐色          | 轆轤成形(右回転)付け高台。底部のみの為詳細不明。器面が荒れ、断面も摩滅している。 |       |
| 第43図<br>P.L.53 | 4  | 陶磁器<br>甕             | 覆土<br>底部1/4  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(7.0)<br>(3.3) | ①<br>②<br>③灰白色                 | 内外面とも釉が掛かる。                               | 時期不明  |
| 第43図<br>P.L.53 | 5  | 瀬戸美濃<br>皿            | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(8.0)<br>(3.1) | ①<br>②<br>③灰黄色                 | 轆轤成形。蛇の目凹型高台。染め付け、高台より内側輪差なし。             | 瀬戸・美濃 |

#### 3区 2号住居

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                     | 備考   |                |
|----------------|----|----------|--------------|----------------|------------------------|-------------------------------|--|----------------|
| 第44図<br>P.L.54 | 1  | 土師器<br>甕 | 床面<br>口径部破片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.3)        | ①褐色粗砂粒少量<br>②良好<br>③褐色        | 口径部内外面とも横ナゲ、「コ」の字状口径、口径部が外反する。胴部外面ヘラケズリ、内面横ナゲ。           | 9世紀後半          |
| 第44図<br>P.L.54 | 2  | 土師器<br>甕 | 床面<br>口径部破片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.6)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色        | 口径部内外面とも横ナゲ、「コ」の字状口径、口径部が外反する。胴部外面ヘラケズリ、内面横ナゲ。           | 9世紀頃           |
| 第45図<br>P.L.54 | 3  | 土師器<br>甕 | 床面<br>口径部破片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.7)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色        | 口径部内外面とも横ナゲ、「コ」の字状口径。                                    | 9世紀            |
| 第45図<br>P.L.54 | 4  | 須志器<br>坪 | 床面<br>1/4    | 口径<br>底径<br>高さ | (12.6)<br>(5.2)<br>3.8 | ①細・微砂粒少量<br>②還元焙<br>③灰黄色      | 轆轤成形(右回転)、回転糸切り後周縁部の削り。体部直線的に立ち上がり、口径部や外形する。内面ヘラナゲ調整。    | 9世紀第3回半期～第4回半期 |
| 第45図<br>P.L.54 | 5  | 須志器<br>坪 | 床面<br>底部     | 口径<br>底径<br>高さ | (6.0)<br>(3.2)         | ①粗砂粒少量<br>②還元焙<br>③にぶい黄褐色     | 轆轤成形(右回転)、回転糸切り後周縁部の削り。体部へラ調整。器面やや丸味を帯びる。体部、口径部欠損の為詳細不明。 | 9世紀頃           |
| 第45図<br>P.L.54 | 6  | 須志器<br>坪 | 床面<br>1/6    | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>(6.0)<br>4.4 | ①粗砂粒少量、粗砂粒僅か<br>②還元焙<br>③暗灰黄色 | 轆轤成形(回転方向不明)、回転糸切り後周縁部の削り。体部丸味を帯びて立ち上がり、口径部やや外傾する。       | 8世紀～9世紀        |
| 第45図<br>P.L.54 | 7  | 土師器<br>甕 | 床面<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.2)        | ①細・微砂粒<br>②良好<br>③にぶい褐色       | 口径部横ナゲ、体部ヘラ削り。内面横ナゲ。                                     |                |

#### 3区 3号住居

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調           | 器形・技法等の特徴               | 備考  |               |
|----------------|----|------------|--------------|----------------|---------------------|-------------------------|---|---------------|
| 第46図<br>P.L.54 | 1  | 土師器<br>台付甕 | 覆土<br>脚部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(9.4)<br>(2.6) | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 内外面とも横ナゲ。   | 時期不明          |
| 第46図<br>P.L.54 | 2  | 須志器<br>甕   | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.0)     | ①細砂粒少量<br>②還元焙<br>③灰黄色  | 内面ヘラ削り、外面輪差。                                      |               |
| 第46図<br>P.L.54 | 3  | 須志器<br>甕   | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.5)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄色 | 内面青海波当て具痕、外面叩き痕。                                  |               |
| 第46図<br>P.L.54 | 4  | 須志器<br>甕   | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.5)     | ①細砂粒少量<br>②還元焙<br>③褐色   | 内面青海波当て具痕、外面磨き沈痕。                                 | 時期不明          |
| 第46図<br>P.L.54 | 5  | 土師<br>かわらけ | 覆土<br>1/3    | 口径<br>底径<br>高さ | (9.4)<br>6.2<br>2.0 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色  | 轆轤成形(左回転)、回転糸切り後ヘラ調整。体部丸味を帯びて立ち上がる。口径部直立欠損の為詳細不明。 | 江戸時代、古くても平安時代 |

## 3区 4号住居

| 神田番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                     | ①粘土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴  | 備考                |
|----------------|----|------------|--------------|---|---------------------------|--|-------------------|
| 第47回<br>P.L.54 | 1  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁-体部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.0)<br>(3.0)     | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色      | 体部直線的に立ち上がり、口縁部が内傾する。口縁部内外面ともに横ナゲ、胴部へ丸削り。底部欠損の為詳細不明。       | 7世紀前半             |
| 第47回<br>P.L.54 | 2  | 須恵器<br>碗   | 1土坑<br>1/3   | 口径<br>底径<br>高さ<br>(13.0)<br>5.4<br>(5.6)<br>4.7 | ①細砂粒少量<br>②酸化焙<br>③灰褐色    | 罐轆成形(右回転)、回転糸切り後周縁部のへら削り。胴部が張り、体部丸味を帯びて立ち上がる。口縁部が外反する。     | 粗砂粒僅か<br>9世紀-10世紀 |
| 第47回<br>P.L.54 | 3  | 土器<br>かわらけ | 覆土<br>1/3    | 口径<br>底径<br>高さ<br>(10.0)<br>(5.6)<br>1.9        | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③褐色      | 罐轆成形(回転方向不明)、回転糸切り後へら調整。胴部が張り、体部や丸味を帯びて立ち上がる。底部半分欠損の為詳細不明。 | 江戸時代              |
| 第47回<br>P.L.54 | 4  | 土器<br>かわらけ | 表探・覆土<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(10.6)<br>2.2       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 罐轆成形(回転方向不明)、回転糸切り後へら調整。胴部が張り、体部丸味を帯びて立ち上がる。底部欠損の為詳細不明。    | 江戸時代              |
| 第47回<br>P.L.54 | 5  | 土器<br>かわらけ | 覆土           | 口径<br>底径<br>高さ<br>(10.0)<br>—<br>(2.0)          | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 罐轆成形(回転方向不明)。胴部が張り、体部丸味を帯びて立ち上がり、口縁部やや外傾する。底部欠損の為詳細不明。     | 江戸時代              |

## 3区 5号住居

| 神田番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種     | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                 | ①粘土②焼成③色調                      | 器形・技法等の特徴  | 備考              |
|----------------|----|--------------|--------------|---|--------------------------------|--|-----------------|
| 第49回<br>P.L.54 | 1  | 土師器<br>小型台付甕 | 覆<br>台部欠損    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>10.8<br>(15.2)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色      | 口縁部外反し、胴部は中位に張りをもち、口縁部横ナゲ、胴部横位位へ丸削り。台部欠損の為詳細不明。                    | 8世紀後半           |
| 第49回<br>P.L.54 | 2  | 土師器<br>小型甕   | 床面<br>口縁-胴部  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.2)<br>(6.2) | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色        | 口縁部は「く」の字状に外反し、胴部に張りをもち、口縁部横ナゲ、胴部斜位へ丸削り。胴部下位から底部欠損の為詳細不明。          | 10世紀頃           |
| 第49回<br>P.L.54 | 3  | 土師器<br>甕     | 床面<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.4)           | ①細砂粒少量、粗砂粒僅か<br>②良好<br>③或黄褐色   | 口縁部は「コ」の字状、内面横ナゲ、胴部斜位へ丸削り。胴部上位から底部欠損の為詳細不明。                        | 8世紀後半～<br>9世紀頃  |
| 第49回<br>P.L.54 | 4  | 土師器<br>甕     | 床面<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.3)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色         | 口縁部は「コ」の字状、内面横ナゲ。胴部上位から底部欠損の為詳細不明。                                 | 8世紀後半か          |
| 第49回<br>P.L.54 | 5  | 土師器<br>甕     | 床面<br>底部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(10.0)<br>(2.9) | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色        | 底部外側へ丸削り、内面へラナゲ。口縁部から胴部欠損の為詳細不明。                                   | 時期不明            |
| 第50回<br>P.L.54 | 6  | 須恵器<br>坏     | 床面<br>底部     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>5.6<br>(2.1)    | ①細・微砂粒少量<br>②還元焙<br>③灰褐色       | 罐轆成形(右回転)、回転糸切り後周縁部のへら削り。胴部中位から口縁部欠損の為詳細不明。内外面とも器面の荒れがひどい。         | 時期不明            |
| 第50回<br>P.L.54 | 7  | 須恵器<br>坏     | 床面<br>底部1/2  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(7.1)<br>(2.6)  | ①細砂粒少量、粗砂粒僅か<br>②還元焙<br>③灰色    | 罐轆成形(回転方向不明)、回転糸切り後周縁部のへら削り。胴部が張り。胴部中位から口縁部欠損の為詳細不明。やや粗雑なつくり。      | 9世紀-10世紀        |
| 第50回<br>P.L.54 | 8  | 須恵器<br>碗     | 床面<br>1/2    | 口径<br>底径<br>高さ<br>(15.6)<br>(5.4)<br>5.0    | ①粗砂粒少量<br>②還元焙<br>③灰褐色         | 罐轆成形(右回転)、回転糸切り後付け高台。体部直線的に立ち上がり、口縁部やや外反する。高台部欠損、器面の摩滅も激しく詳細不明。    | 9世紀第3～<br>第4四半期 |
| 第50回<br>P.L.54 | 9  | 須恵器<br>碗     | 床面<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(13.8)<br>(3.9) | ①細・微砂粒少量、粗砂粒僅か<br>②還元焙<br>③灰褐色 | 罐轆成形(回転方向不明)。体部直線的に立ち上がり、口縁部やや外傾する。底部欠損の為詳細不明。                     |                 |
| 第50回<br>P.L.54 | 10 | 須恵器<br>碗     | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.9)<br>(4.8) | ①褐色粗砂粒少量<br>②還元焙<br>③にぶい褐色     | 罐轆成形(回転方向不明)。体部直線的に立ち上がる。底部欠損の為詳細不明。                               | 平安時代            |
| 第50回<br>P.L.55 | 11 | 須恵器<br>碗     | 床面<br>1/2    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>7.0<br>(5.9)    | ①粗砂粒少量<br>②還元焙<br>③灰色          | 罐轆成形(右回転)、回転糸切り後付け高台。高台部一部欠損。底面高台付けの際へラナゲ。体部丸味を帯びて立ち上がる。口縁部欠損の為不明。 | 10世紀頃か          |
| 第50回<br>P.L.55 | 12 | 須恵器<br>転用の瓿  | 床面<br>破片(胴部) | 縦<br>横<br>高さ<br>(13.0)<br>(10.8)<br>(2.0)   | ①細・微砂粒少量、粗砂粒僅か<br>②還元焙<br>③灰色  | 須恵器の大形甕の胴部片の周囲を削り、甕として転用している。外面に一部胡毛目調整が認められる。内外面ともやや器面が荒れている。     |                 |

## 3区 6号住居

| 検出番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴   | 備考        |
|----------------|----|----------|--------------|--|----------------------------|---|-----------|
| 第51図<br>P.L.55 | 1  | 須恵器<br>甕 | 甕廻り方<br>底部   | 口径<br>—<br>底径<br>7.0<br>高さ<br>2.5        | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化焙<br>③灰黄色   | 轆轤成形(右回転)、付け高台。高台部「ハ」の字状に開く。体部・口縁部が欠損の為詳細不明。                |           |
| 第51図<br>P.L.55 | 2  | 須恵器<br>甕 | 甕廻り方<br>1/3  | 口径<br>(13.8)<br>底径<br>(6.3)<br>高さ<br>5.4 | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化焙<br>③にぶい褐色 | 轆轤成形(回転方向不明)、付け高台。高台部「ハ」の字状に開く。体部・口縁部が直線的に立ち上がり、口縁部がやや外反する。 | 10世紀第1四半期 |

## 3区 1号竪穴状遺構

| 検出番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴   | 備考    |
|----------------|----|----------|--------------|--|-------------------------|---|-------|
| 第52図<br>P.L.55 | 1  | 土師器<br>坏 | 床面<br>1/3    | 口径<br>(12.0)<br>底径<br>(9.8)<br>高さ<br>3.6 | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色  | 体部・口縁部直線的に立ち上がる。口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ、胴部下位工具によるナデ。内面口縁部～胴部ヘラナデ。 | 6世紀後半 |
| 第52図<br>P.L.55 | 2  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>底部片    | 口径<br>—<br>底径<br>(7.0)<br>高さ<br>(1.9)    | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色  | 底部及び底面ヘラ削り、内面ナデ。胴部及び口縁部欠損の為詳細不明。                          | 時期不明  |
| 第52図<br>P.L.55 | 3  | 須恵器<br>甕 | 床面<br>胴部片    | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(4.2)        | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化焙<br>③褐色 | 外面平行印きの後に横方向の磨き平行沈線。内面ナデ。                                 | 時期不明  |
| 第52図<br>P.L.55 | 4  | 陶磁器<br>甕 | 覆土<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(6.0)        | ①粗・微砂粒少量<br>②<br>③浅黄色   |   | 時期不明  |

## 3区 2号竪穴状遺構

| 検出番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                         | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴  | 備考   |
|----------------|----|----------|--------------|-------------------------------------|----------------------------|--|------|
| 第53図<br>P.L.55 | 1  | 土師器<br>甕 | 床面<br>底部     | 口径<br>—<br>底径<br>5.2<br>高さ<br>(4.3) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 器面の荒れのため整形痕僅かに確認。底部外面ヘラ削り後ヘラナデ、内面ヘラナデ。口縁部から胴部欠損の為詳細不明。 | 時期不明 |
| 第53図<br>P.L.55 | 2  | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(5.7)   | ①粗・微砂粒少量<br>②酸化焙<br>③灰色    | 外面平行印き。内面ナデ。   | 時期不明 |

## 3区 3号竪穴状遺構

| 検出番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                            | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴   | 備考    |
|----------------|----|----------|--------------|--|----------------------------|---|-------|
| 第54図<br>P.L.55 | 1  | 土師器<br>坏 | 床面<br>口縁～体部片 | 口径<br>(12.0)<br>底径<br>—<br>高さ<br>(3.0) | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 体部・口縁部直線的に立ち上がる。口縁部横ナデ、胴部上位ヘラナデ、胴部下位ヘラ削り。内面口縁部～胴部ヘラナデ。底部欠損の為詳細不明。 | 7世紀前半 |

## 3区 4号竪穴状遺構

| 採回番号<br>採取番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)                                 | ①粘土②焼成③色調                           | 器形・技法等の特徴   | 備 考              |
|----------------|----|------------|--------------------|---|-------------------------------------|---|------------------|
| 第55図<br>P L.55 | 1  | 土師器<br>杯   | 覆土<br>口縁～胴部<br>2/3 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(11.2)<br>(4.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色            | 体部丸みを帯びて立ち上がり、口縁部直立する。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。内面口縁部～胴部ヘラナデ。底部欠損の為詳細不明。                                | 6世紀前半?           |
| 第55図<br>P L.55 | 2  | 土師器<br>杯   | 覆土<br>1/4          | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>4.1             | ①細砂粒少量、<br>粗砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい褐色   | 器面の荒れの為整形痕僅かに確認。体部丸味を帯びて立ち上がる。口縁部直立気味である。口縁部横ナデ、胴部及び底部ヘラ削り。内面口縁部～胴部ヘラナデ後工具による磨きを一部確認。       | 8世紀後半            |
| 第57図<br>P L.55 | 3  | 土師器<br>杯   | 床面<br>1/2割         | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>4.6             | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 器面の荒れの為整形痕僅かに確認。体部丸味を帯びて立ち上がる。口縁部やや外傾である。口縁部横ナデ、胴部及び底部ヘラ削り。内面口縁部～胴部横ナデ。                     | 7世紀前半～<br>8世紀    |
| 第57図<br>P L.55 | 4  | 土師器<br>杯   | 覆土<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.0)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 体部丸みを帯びて立ち上がり、口縁部やや直立する。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。器面の荒れの為やや整形痕不明瞭。内面口縁部～胴部ヘラナデ。底部欠損の為詳細不明。              |                  |
| 第57図<br>P L.55 | 5  | 土師器<br>杯   | 床面<br>底部1/3        | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(1.8)           | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 胴部及び底部ヘラ削り。内面横ナデ。   |                  |
| 第57図<br>P L.55 | 6  | 土師器<br>碗   | 床面<br>口縁部          | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.0)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 体部丸みを帯びて立ち上がり、口縁部内湾する。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り。器面の荒れの為やや整形痕不明瞭。内面口縁部～胴部ヘラナデ。底部欠損の為詳細不明。                |                  |
| 第57図<br>P L.55 | 7  | 土師器<br>小型壺 | 床面<br>2/3          | 口径<br>底径<br>高さ<br>11.2<br>7.0<br>6.7        | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 胴部が張り、やや直線的に立ち上がり、口縁部が内湾する。口縁部横ナデやや段上となる。胴部ヘラ削り後ナデ。底部木葉痕。内面胴部～底部ヘラナデ。                       | 6世紀後半            |
| 第57図<br>P L.55 | 8  | 土師器<br>小型壺 | 床面<br>口縁～胴部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(8.4)           | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色            | 体部丸みを帯びて立ち上がり、口縁部外反する。口縁部横ナデ、胴部横位ヘラ削り、胴部下位から底部欠損の為不明。内面口縁部～胴部横ナデ、ヘラナデ。                      | 6世紀後半            |
| 第57図<br>P L.56 | 9  | 土師器<br>小型壺 | 床面<br>ほぼ完形         | 口径<br>底径<br>高さ<br>16.8<br>6.2<br>11.4       | ①細砂粒やや多い、<br>粗砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 胴部中位がやや丸みを帯び、口縁部やや外傾する。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り後丁寧なナデ。底部ヘラ削り。器面の荒れの為やや整形痕不明瞭。内面口縁部～底部ヘラナデ。             |                  |
| 第57図<br>P L.56 | 10 | 土師器<br>小型壺 | 床面<br>ほぼ完形         | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>11.0            | ①粗砂粒やや多い<br>②良好<br>③浅黄褐色            | 胴部中位がやや丸みを帯び、口縁部外傾する。口縁部横ナデやや段状となる。胴部上位へ削り後丁寧なナデ、胴部下位から底部ヘラ削り。器面の荒れの為やや整形痕不明瞭。内面口縁部～底部ヘラナデ。 | 7世紀前半?           |
| 第57図<br>P L.56 | 11 | 土師器<br>壺   | 床面<br>口縁～胴部        | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.4)          | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色            | 器面の荒れがひどい為整形痕不明。胴部中位が弱く膨らむ。底部欠損のため詳細不明。   | 6世紀後半～<br>7世紀前半? |
| 第57図<br>P L.56 | 12 | 土師器<br>壺   | 床面<br>1/2          | 口径<br>底径<br>高さ<br>15.2<br>6.6<br>26.4       | ①細砂粒少量、<br>粗砂粒僅か<br>②良好<br>③褐色      | 胴部中位が膨らみ、口縁部やや外傾する。口縁部横ナデ、胴部縦斜位ヘラ削り。器面の荒れの為やや整形痕不明瞭。内面口縁部～胴部ヘラナデ。                           | 7世紀前半            |

|                 |    |            |                    |  |                                      |  |                   |
|-----------------|----|------------|--------------------|--|--------------------------------------|--|-------------------|
| 第578回<br>P L.56 | 13 | 土師器<br>類   | 床面<br>口縁～胴部片       | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(14.0)<br>(6.9)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色               | 器面の荒れがひどい為整形痕不明。口縁部外傾する。口縁部横ナデ。胴部上位斜位ヘラナデ。器面の荒れの為やや整形痕不明。胴部中位から底部欠損の為不明。内面口縁部～胴部ヘラナデ。      | 7世紀前半             |
| 第578回<br>P L.56 | 14 | 土師器<br>類   | 床面<br>口縁部片         | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(172)<br>(6.8)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色               | 口縁部やや外傾する。口縁部横ナデ、胴部横位ヘラナデ。内面口縁部～胴部ヘラナデ。器面の荒れの為やや整形痕不明。胴部中位から底部欠損の為詳細不明。                    | 6世紀後半             |
| 第588回<br>P L.56 | 15 | 土師器<br>類   | 床面<br>口縁部 1/4      | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(14.0)<br>(6.4)  | ①細砂粒少量、<br>粗砂粒やや多い<br>②良好<br>③灰黄色    | 器面の荒れがひどい為整形痕不明。口縁部やや外傾する。口縁部横ナデ、頸部段が2条。胴部中位から底部欠損の為不明。内面口縁部～胴部ヘラナデ。                       | 18と同一固体と考えられる     |
| 第588回<br>P L.56 | 16 | 土師器<br>類   | 床面<br>胴部           | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(8.0)            | ①細砂粒少量、<br>粗砂粒やや多い<br>②良好<br>③淡黄褐色   | 器面の荒れがひどい為整形痕不明。胴部中位が膨らみ、外面斜位ヘラナデと考えられ、内面はヘラナデ。底部欠損の為詳細不明。                                 | 17と同一固体と考えられる     |
| 第588回<br>P L.56 | 17 | 土師器<br>類   | 床面<br>底部           | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(3.0)            | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③外によい黄褐色<br>内帯灰色    | 底部ヘラナデ。内面磨き有り。口縁部、胴部欠損の為詳細不明。  |                   |
| 第588回<br>P L.56 | 18 | 土師器<br>類   | 覆土<br>底部           | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>6.6<br>(4.0)     | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③によい褐色            | 胴部下位斜位ヘラナデ、底部横位ヘラナデ。底面ヘラナデ。内面ヘラナデ。口縁部～胴部欠損の為詳細不明。  | 時期不明              |
| 第588回<br>P L.56 | 19 | 土師器<br>類   | 床面<br>底部           | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>6.4<br>(3.2)     | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色               | 器面の荒れがひどい為整形痕不明。胴部下位ヘラナデ、底部横位ヘラナデ。底面ヘラナデ。器面の荒れの為やや整形痕不明。胴部中位から底部欠損の為詳細不明。                  |                   |
| 第588回<br>P L.56 | 20 | 土師器<br>類   | 床面<br>底部片          | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(7.6)<br>(4.1)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③によい褐色            | 器面の荒れがひどい為整形痕不明。胴部下位縦位ヘラナデ、底部横位ヘラナデ。内面ヘラナデ。口縁部～胴部欠損の為詳細不明。                                 | 時期不明              |
| 第588回<br>P L.56 | 21 | 土師器<br>長胴類 | 床面<br>口縁部片         | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(17.0)<br>(4.8)  | ①粗・細砂粒少量、<br>粗砂粒僅か<br>②良好<br>③によい黄褐色 | 体部直立気味に立ち上がり、口縁部外反する。口縁部横ナデ。胴部横位ヘラナデ、胴部下位から底部欠損の為不明。内面口縁部～胴部横ナデ、ヘラナデ。                      | 6世紀後半～<br>7世紀前半?  |
| 第588回<br>P L.56 | 22 | 土師器<br>長胴類 | 床面<br>胴部～底部<br>2/3 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>7.0<br>(21.3)    | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③によい褐色              | 胴部中位が弱く膨らむ。底部平底。器面の荒れがひどい為整形痕不明。胴部外面縦位ヘラナデ、底部横ナデ。内面胴部～底部ヘラナデ。口縁部欠損の為詳細不明。                  | 粗砂粒やや多い<br>7世紀前半? |
| 第588回<br>P L.56 | 23 | 土師器<br>大甕  | 覆土<br>1/2          | 口径<br>29.5<br>底径<br>6.8<br>高さ<br>57.8        | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                 | 大形で、かなり歪みの激しい胴部、口縁部僅かに外反。胴部上位に最大径。底部平底。口縁部横ナデ、胴部縦位ヘラナデ、不定方向ヘラナデ、底部ヘラナデ。内面横ナデ。胴部に比して底部が小さい。 |                   |
| 第588回<br>P L.57 | 24 | 土師器<br>長胴類 | 床面<br>口縁～胴部片       | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(21.8)<br>(17.6) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③によい黄褐色           | 胴部中位やや丸みを帯び、口縁部外傾する。口縁部横ナデ。胴部上位縦位ヘラナデ、胴部下位から底部欠損の為不明。内面口縁部～胴部ヘラナデ。                         | 6世紀後半<br>～7世紀前半?  |
| 第588回<br>P L.57 | 25 | 土師器<br>高坏  | 床面<br>胴部           | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(8.0)            | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③によい褐色            | 器面の荒れがひどい為整形痕不明。内面ヘラナデ。  | 時期不明              |



| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)   | 石材<br>重量           | 器形・技法等の特徴      | 備 考                                    |  |
|----------------|----|----------|--------------|---------------|--------------------|----------------|--|--|
| 第59回<br>P L 57 | 26 | 石器<br>石核 | 床面           | 長さ<br>幅<br>厚さ | 7.7<br>4.4<br>3.7  | チャート<br>207g   | 角礫素材、右側上部から剥離。                         |  |
| 第59回<br>P L 57 | 27 | 石器<br>石核 | 床面           | 長さ<br>幅<br>厚さ | 11.6<br>5.5<br>3.0 | チャート<br>297g   | 角礫素材、下端より剥離。                           |  |
| 第59回<br>P L 57 | 28 | 石器<br>礫石 | 床面           | 長さ<br>幅<br>厚さ | 9.6<br>8.8<br>9.6  | 多孔質安山岩<br>527g | 表面に2ヶ所磨削面、側面に刃部調整痕・<br>敲打痕有り。<br>粗砥用か。 |  |
| 第59回<br>P L 57 | 29 | 石器<br>礫石 | 床面           | 長さ<br>幅<br>厚さ | 9.3<br>8.4<br>7.0  | 石英安山岩<br>663g  | 全面に使用痕有り。下端は特に摩滅してい<br>る。              |  |

### 3区 5号壑穴状道構

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴              | 備 考   |  |
|----------------|----|------------|--------------|----------------|-----------------|------------------------|---|--|
| 第60回<br>P L 57 | 1  | 埴輪<br>形象埴輪 | 床面<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.2) | ①粗砂粒やや多い<br>②良好<br>③褐色 | 外面斜位へう割り、断面ケガが一条走る。<br>小さな円孔透かし有り。内面縦位へう割り。 |  |

### 3区 1号土坑

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種     | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                    | 備 考  |         |
|----------------|----|--------------|--------------|----------------|------------------------|------------------------------|--|---------|
| 第62回<br>P L 57 | 1  | 須恵器<br>碗     | 覆土<br>口径～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (13.1)<br>—<br>(4.1)   | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③外灰白色内黒色 | 轆轤成形(回転方向不明)、底部欠損の為詳<br>細不明。体部丸みを帯びて立ち上がる。口<br>縁部やや外反。器内面に吸炭させ後、棒状<br>工具による磨き。                           | 10世紀頃   |
| 第62回<br>P L 57 | 2  | 須恵器<br>碗     | 床面<br>口径～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>—<br>(5.7)   | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③外灰白色内黒色 | 轆轤成形(回転方向不明)、底部欠損の為詳<br>細不明。体部丸みを帯びて立ち上がる。口<br>縁部やや外反。器内面に吸炭させ後、棒状<br>工具による磨き。                           |         |
| 第62回<br>P L 57 | 3  | 須恵器<br>碗     | 覆土<br>口径～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (15.2)<br>—<br>(4.2)   | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③外灰白色内黒色 | 轆轤成形(回転方向不明)、底部欠損の為詳<br>細不明。体部丸みを帯びて立ち上がる。口<br>縁部やや外反。器内面に吸炭させ後、棒状<br>工具による磨き。                           |         |
| 第62回<br>P L 57 | 4  | 須恵器<br>碗     | 覆土<br>口径～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (15.6)<br>—<br>(5.0)   | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③外灰白色内黒色 | 轆轤成形(回転方向不明)、底部欠損の為詳<br>細不明。体部丸みを帯びて立ち上がる。口<br>縁部やや外反。器内面に吸炭させ後、棒状<br>工具による磨き。                           |         |
| 第62回<br>P L 57 | 5  | 須恵器<br>碗     | 覆土<br>体部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.2)        | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③外灰白色内黒色 | 轆轤成形(回転方向不明)、付け高台。高台<br>一部残存の為詳細不明。高台断面四角形。<br>器部が張り、体部が丸みを帯びて立ち上<br>がる。口径部欠損の為不明。器内面に吸炭<br>後、棒状工具による磨き。 | 10世紀頃   |
| 第62回<br>P L 57 | 6  | 須恵器<br>坏? 甗? | 覆土<br>底部1/4  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(6.0)<br>(2.3)    | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③外灰白色内黒色 | 轆轤成形(回転方向不明)、底部半分欠損し<br>ている為詳細不明。体部～口径部欠損の<br>為詳細不明。器内面に吸炭させ後、棒状工<br>具による磨き。                             | 10世紀頃   |
| 第62回<br>P L 57 | 7  | 須恵器<br>碗     | 覆土<br>1/2    | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>(7.0)<br>4.5 | ①粗砂粒やや多い<br>②<br>③外灰白色内黒色    | 轆轤成形(回転方向不明)、付け高台。高台<br>部「ハ」の字状に開く。高台断面台形。器<br>部が張り、体部が直線的に立ち上がり、口<br>縁部がやや外反する。内面内黒。棒状工<br>具による磨き。      | 10世紀後半? |

|               |   |          |                    |                |                          |                              |  |       |
|---------------|---|----------|--------------------|----------------|--------------------------|------------------------------|--|-------|
| 第62図<br>P L57 | 8 | 須恵器<br>椀 | 床面<br>体部～底部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.0)<br>(3.5) | ①細・微砂粒少量<br>②還元層<br>③外灰白色内黒色 | 輪軸成形(回転方向不明)、付け高台。高台部「ハ」の字状に開く。高台断面台形。体部丸みを帯びて立ち上がる。口縁部欠損のため詳細不明。器内面に吸戻させ、棒状工具による磨き有り。 | 10世紀頃 |
|---------------|---|----------|--------------------|----------------|--------------------------|------------------------------|--|-------|

### 3区 2号土坑

| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調          | 器形・技法等の特徴                      | 備考   |       |
|---------------|----|----------|--------------|----------------|--------------------|--------------------------------|--|-------|
| 第62図<br>P L57 | 1  | 土師器<br>坏 | 床面<br>ほぼ完形   | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>3.8      | ①細砂粒少量、<br>粗砂粒僅か<br>②良好<br>③褐色 | 腰部がやや張り出し、体部が直線的に立ち上がる。口縁部やや外傾。口縁部・胴部指ナゲ・ヘラ磨き、底部ヘラ削り。口縁部から底部丁寧なヘラナゲ。     | 6世紀後半 |
| 第62図<br>P L57 | 2  | 土師器<br>坏 | 床面<br>2/3    | 口径<br>底径<br>高さ | 14.6<br>6.0<br>3.8 | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色      | やや器面が荒れ、整形度が不明瞭である。口縁部接線をもち、やや外傾する。口縁部横ナゲ、胴部ヘラ削り、底部木素直。内面口縁部から底部丁寧なヘラナゲ。 |       |

### 3区 5号土坑

| 検出番号<br>図版番号 | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴               | 備考   |      |
|--------------|----|----------|--------------|----------------|-----------------|-------------------------|--|------|
| 第64図         | 1  | 陶文<br>深鉢 | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.2) | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③黒褐色 | 口縁部把手破片。突起下端より「8」の字状凸付文、横位沈線文が誕生する。内面内文有り。 | 願之内1 |

### 3区 1号溝

| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴              | 備考                               |     |
|---------------|----|------------|--------------|----------------|-----------------|------------------------|----------------------------------|-----|
| 第67図<br>P L57 | 1  | 埴輪<br>内埴輪軸 | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.1) | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③褐色 | 外面粗い刷毛目調整。内面指ナゲ後刷毛目調整。上腹部に突帯が走る。 |     |
| 第67図<br>P L57 | 2  | 陶器<br>土瓶   | 覆土           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.2) | ①<br>②<br>③            | 益子か笠岡。体部外面下位以下を除き灰釉。体部外面に染め付け。   | 近代  |
| 第67図<br>P L57 | 3  | 陶器<br>急須の蓋 | 覆土<br>完形     | 口径<br>底径<br>高さ | 5.2<br>—<br>2.3 | ①<br>②<br>③            | 万古風の急須蓋。柄みは、はめ込み式で回転する。          | 近現代 |
| 第67図<br>P L57 | 4  | ガラス<br>薬瓶  | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.0) |                        | 「木村醫(院)薬瓶」                       | 近現代 |

### 3区 2号溝

| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴                | 備考                     |  |
|---------------|----|----------|--------------|----------------|-----------------|--------------------------|------------------------|--|
| 第68図<br>P L57 | 1  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>底部片    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(1.9) | ①微砂粒少量<br>②還元層<br>③にぶい黄色 | 輪軸成形(回転方向不明)、破片の為詳細不明。 |  |

### 3区 3号溝

| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴                | 備考  |       |
|---------------|----|----------|--------------|----------------|---------------------------|--------------------------|---|-------|
| 第68図<br>P L58 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～底部  | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>(10.4)<br>(3.8) | ①微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 腰部がやや張り出し、体部が直線的に立ち上がる。口縁部有段でやや外傾する。口縁部・胴部指ナゲ・ヘラ磨き、底部ヘラ削り。口縁部から底部丁寧なヘラナゲ。吸戻磨きが行われた痕跡が見られるが、器面の荒れの為詳細不明。 | 6世紀後半 |

|                |   |          |           |                                       |                             |   |                  |
|----------------|---|----------|-----------|---------------------------------------|-----------------------------|---|------------------|
| 第69回<br>P L 58 | 2 | 須恵器<br>罎 | 覆土<br>高台  | 口径<br>—<br>底径<br>(6.6)<br>高さ<br>(1.5) | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい橙色  | 轆轤成形(回転方向不明)、付け高台。高台部「ハ」の字状に開く。高台断面台形。内面ヘラナデ、胴部から口縁部欠損の為詳細不明。 | 時期不明             |
| 第69回<br>P L 58 | 3 | 土師器<br>甕 | 覆土<br>底部片 | 口径<br>—<br>底径<br>(6.8)<br>高さ<br>(1.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色  | 胴部外面縦段ヘラ削り、底部横ナデ。内面胴部～底部ヘラナデ。口縁部・胴部欠損の為詳細不明。                  | 時期不明             |
| 第69回<br>P L 58 | 4 | 土師器<br>甕 | 覆土<br>底部片 | 口径<br>—<br>底径<br>(6.2)<br>高さ<br>(3.1) | ①褐色粗砂粒やや多い<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 胴部外面縦段ヘラ削り、底部ヘラ削り。内面胴部～底部ヘラナデ。口縁部・胴部欠損の為詳細不明。                 | 古墳後半～<br>奈良・平安時代 |
| 第69回<br>P L 58 | 5 | 灰輪陶器     | 覆土        | 口径<br>—<br>底径<br>(2.8)<br>高さ          | ①微砂粒少量<br>②還元塩<br>③灰オリーブ    | 胎が外面全体に広がる。内面ヘラ削り。  | 時期不明             |

### 3区 4号溝

| 探因番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                  | ①粘土②焼成③色調             | 器形・技法等の特徴  | 備考           |
|----------------|----|-----------|--------------|------------------------------|-----------------------|--|--------------|
| 第70回<br>P L 58 | 1  | 須恵器<br>坏  | 覆土<br>底部片    | 口径<br>—<br>底径<br>(0.8)<br>高さ | ①微砂粒少量<br>②還元塩<br>③灰色 | 轆轤成形(回転方向不明)、回転余切り、周縁部回転ヘラ削り。底部半分欠損しているため詳細不明。体部～口縁部欠損の為詳細不明。内面ヘラナデ。 |              |
| 第70回<br>P L 58 | 2  | 磁器<br>飯茶碗 | 覆土           | 口径<br>—<br>底径<br>(2.6)<br>高さ | ①<br>②<br>③           | 内外面ともに銅版。  | 瀬戸・美濃<br>近現代 |

### 3区 遺構外出土遺物

| 探因番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                             | ①粘土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴  | 備考            |
|----------------|----|------------|--------------|---|---------------------------|--|---------------|
| 第71回<br>P L 58 | 1  | 土師器<br>坏   | 表採<br>口縁部片   | 口径<br>(14.2)<br>底径<br>(3.3)<br>高さ       | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③橙色      | 器面の荒れの為技法不明。体部やや丸味を帯びて立ち上がり、口縁部やや外縁する。口縁部横ナデ、底部ヘラ削り。         | 7世紀後半         |
| 第71回<br>P L 58 | 2  | 土師器<br>甕   | 表採<br>底部 1/2 | 口径<br>(5.8)<br>底径<br>(2.3)<br>高さ        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 胴部外面ヘラナデ、底部木葉痕。内面胴部～底部ヘラナデ。僅かに工具による工作痕が認められる。口縁部・胴部欠損の為詳細不明。 | 木葉痕<br>6世紀後半? |
| 第71回<br>P L 58 | 3  | 土師器<br>高坏  | 表採<br>脚部     | 口径<br>—<br>底径<br>(7.0)<br>高さ            | ①粗砂粒やや多い<br>②良好<br>③橙色    | 器面の荒れがひどく、整形等詳細不明。胴部底面・内面ヘラナデ。体部・口縁部欠損の為詳細不明。                |               |
| 第71回<br>P L 58 | 4  | 須恵器<br>坏   | 表採<br>底部     | 口径<br>—<br>底径<br>(1.8)<br>高さ            | ①粗砂粒、ガラス少量<br>②還元塩<br>③灰色 | 轆轤成形(右回転)、底部回転ヘラ削り。口縁部・体部欠損の為詳細不明。                           |               |
| 第71回<br>P L 58 | 5  | 埴輪<br>円筒埴輪 | 表採<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>(11.3)<br>高さ           | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色    | 外面ヘラナデ、突帯が一糸走る。内面ヘラナデ。                                       | 時期不明          |
| 第71回<br>P L 58 | 6  | 土器<br>かわらけ | 表採<br>1/2    | 口径<br>(8.4)<br>底径<br>(6.4)<br>高さ<br>1.5 | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③橙色      | 轆轤成形(右回転)、底部周縁部ヘラ削り、体部やや丸味を帯びて立ち上がり、口縁部内湾する。底部やや粗輪へラナデ。      | 平安～江戸時代       |
| 第71回<br>P L 58 | 7  | 墨          | 表採<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>(4.8)<br>高さ            | ①<br>②<br>③黒色             |  | 時期不明          |

浜町遺跡遺物観察表（5区）

5区 1号住居

| 検出番号<br>図版番号  | 番号 | 種別<br>器種     | 出土位置<br>残存状態            | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調                    | 器形・技法等の特徴                           | 備考   |                 |
|---------------|----|--------------|-------------------------|----------------|------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------|
| 第75図<br>P.L58 | 1  | 土師器<br>坏     | N○25・90<br>ほぼ定形         | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>16.0<br>4.8        | ①細・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は段を有し外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ後工具による磨き。  | 5世紀後半?          |
| 第75図<br>P.L58 | 2  | 土師器<br>坏     | N○154<br>口縁～体部          | 口径<br>底径<br>高さ | (17.0)<br>—<br>(4.1)         | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外にぶい黄褐色<br>内明黄色 | 口縁部は直立気味で、体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面横ナデ後工具による磨き。  | 5世紀後半?          |
| 第75図<br>P.L58 | 3  | 土師器<br>坏     | N○3<br>1/3              | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(14.0)<br>(4.1)    | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色              | 体部が直線的に立ち上がり、口縁部直立する。口縁部内外面ともに横ナデ、胴部斜位へう割り、底部へう割り。内面横ナデ。   | 7世紀後半           |
| 第75図<br>P.L58 | 4  | 土師器<br>坏     | N○95<br>1/3             | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>(3.6)<br>4.9       | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色            | 体部が直線的に立ち上がり、口縁部直立する。口縁部内外面ともに横ナデ、胴部斜位へう割り。内面横ナデ。  |                 |
| 第75図<br>P.L58 | 5  | 土師器<br>坏     | N○80<br>1/4             | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>(4.0)<br>(4.5)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 体部は直線的に立ち上がり、口縁部は直立気味。外面口縁部横ナデ、体部～底部へう割り、内面横ナデ後磨き。   | 5世紀後半?          |
| 第75図<br>P.L58 | 6  | 土師器<br>小型壺   | 覆土                      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(12.4)<br>(9.09)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 底部欠損の為詳細不明。体部やや丸みを帯び、胴部中央部に最大径。口縁部やや内湾する。内外面ともに器面の荒れがひどく、整形痕も一部のみ確認。外面口縁部、胴部斜位ナデ、内面へう割り、口縁部指痕。             | 6世紀後半?          |
| 第75図<br>P.L58 | 7  | 土師器<br>小型壺   | 覆土<br>2/3               | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>13.0<br>6.0<br>8.3 | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色             | 腰部が張り、胴部丸みを帯びて立ち上がる。口縁部やや外傾する。底部高台気味になる。器面の荒れの為整形痕不明。ナデの痕跡がみられる。へうによる調整せずに焼成を行ったと考えられる。内面口縁部横ナデ、胴部工具による磨き。 | 6世紀後半           |
| 第75図<br>P.L58 | 8  | 土師器<br>手捏ね土器 | N○35・覆土<br>胴部～底部<br>1/2 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.0)              | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 手捏ね成形。胴部球形。口縁部欠損のための形態不明。外面胴部上位指ナデ、下位へう割り後ナデ、内面指ナデ。  | 古墳時代前期?         |
| 第75図<br>P.L58 | 9  | 土師器<br>小型埴   | 覆土<br>1/4               | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.6)<br>(7.8)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部はやや外傾し、胴部中に最大の膨らみを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部丁取なへうナデ、内面上位指ナデ、下位へうナデ。   | 粗砂粒僅か<br>5世紀後半? |
| 第75図<br>P.L58 | 10 | 土師器<br>埴     | N○24・覆土<br>胴部～底部片       | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.2)<br>(10.1)    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 胴部僅かに最大径を持ち、底部丸底。器面はやや荒れている。外面胴部上位へうナデ、下位へう割り後ナデ、底部へう割り、内面剥落の為不明。一部横ナデ。                                    |                 |
| 第75図<br>P.L58 | 11 | 土師器<br>小型壺   | 覆土<br>1/4               | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(11.0)<br>(6.8)    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色          | 口縁部は外傾し、胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部上位へうナデ、中位へう割り後ナデ、下位へう割り、内面へうナデ。  |                 |
| 第75図<br>P.L59 | 12 | 土師器<br>小型壺   | N○41・61<br>口縁～胴部片       | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.0)<br>(4.5)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は外傾し、胴部は中位に張りを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部上部横ナデ、中位へう割り、内面横ナデ。接合痕有り。   | 5世紀前半           |
| 第75図<br>P.L59 | 13 | 土師器<br>小型埴   | 覆土<br>胴部                | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.6)              | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 手捏ね成形。内外面へうナデ。   | 時期不明            |
| 第75図<br>P.L59 | 14 | 土師器<br>小型壺   | 覆土<br>口縁部片              | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(9.4)<br>(3.0)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 口縁部は段を有し外傾する。外面口縁部上位横ナデ、下位刷毛目状工具によるナデ、内面ナデ。  | 5世紀前半?          |

|                |    |            |                       |                |                           |                                  |   |                 |
|----------------|----|------------|-----------------------|----------------|---------------------------|----------------------------------|---|-----------------|
| 第75回<br>P L.59 | 15 | 土師器<br>壺   | N o 190<br>口縁部片       | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(18.0)<br>(6.2) | ①微細砂粒多量<br>②良好<br>③褐色            | 右段口縁。口縁端部は外傾し器面の荒れがひどい。整形は不明瞭。外面斜位へう割り、横ナ、内面横ナ。                       | 5世紀頃            |
| 第75回<br>P L.59 | 16 | 土師器<br>壺   | N o 180・245<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.4)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色           | 胴部、底部欠損の為詳細不明。胴部外反し、口縁部直立意味になる。胴部斜位へう割り、口縁部横ナ、内面やや強いナ。                | 5世紀前半           |
| 第75回<br>P L.59 | 17 | 土師器<br>小壺型 | 覆土<br>口縁部片            | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.8)           | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色           | 器面が荒れている為、整形は不明瞭。口縁部は外反。外面口縁部横ナ、内面横ナ。胴部斜位方向へのう割り。                     | 5世紀後半           |
| 第75回<br>P L.59 | 18 | 土師器<br>壺   | N o 55・135<br>口縁部片    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.6)           | ①粗・微砂粒多量<br>②良好<br>③褐色           | 「く」の字状口縁。器面が荒れている為、整形は不明。内外面横ナ。                                       | 5世紀前半?          |
| 第75回<br>P L.59 | 19 | 土師器<br>壺   | N o 29<br>口縁～胴部片      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.9)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色           | 口縁部は外反。外面口縁部横ナ、胴部斜位方向へのう割り後ナ、内面横ナ、接合痕有り。                              | 5世紀後半           |
| 第75回<br>P L.59 | 20 | 土師器<br>壺   | N o 22<br>口縁～胴部片      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.5)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色           | 器面が荒れている為、整形は不明瞭。口縁部は外反。外面口縁部横ナ、胴部斜位方向へのう割り後ナ、内面横ナ。胴部に整形痕多数。          |                 |
| 第75回<br>P L.59 | 21 | 土師器<br>壺   | N o 141<br>口縁～胴部片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.0)           | ①微細粒少量<br>②良好<br>③褐色             | 器面が荒れている為、整形は不明瞭。口縁部は外傾し、口縁端部は平坦。外面口縁部横ナ、胴部斜位へう割り、内面横ナ。               | 5世紀頃            |
| 第75回<br>P L.59 | 22 | 土師器<br>壺   | 覆土<br>口縁～胴部片          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(9.6)           | ①粗粒少・細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色    | 胴部下位、底部欠損の為詳細不明。口縁部は外傾し、胴部膨らむ。内外面ともに器面の荒れが整形痕不明瞭。横方向にう割りかナダの痕跡が認められる。 | 8世紀頃?           |
| 第75回<br>P L.59 | 23 | 土師器<br>壺   | N o 227<br>口縁部片       | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.3)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色       | 口縁部は外反。胴部、底部欠損の為整形は不明瞭。外面口縁部横ナ、胴部斜位へう割り、内面横ナ。                         | 6世紀前半?          |
| 第76回<br>P L.59 | 24 | 土師器<br>壺   | N o 85<br>口縁片         | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.1)           | ①粗・微砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色       | 口縁部外傾し、胴部膨らむ。口縁部内外面ともに横ナ。胴部斜位へう割り、粘土接合痕。内面横ナ。                         | 8世紀前半           |
| 第76回<br>P L.59 | 25 | 土師器<br>壺   | N o 71・220<br>口縁部片    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(9.9)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色           | 胴部下位、底部欠損のため詳細不明。口縁部外傾し、胴部膨らむ。器面の荒れが整形痕の一部を確認。胴部へう割り後ナ、口縁部・胴部内面斜位ナ。   | 7世紀後半～<br>8世紀前半 |
| 第76回<br>P L.59 | 26 | 土師器<br>壺   | N o 148・191<br>2/3    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(22.7)          | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色           | 口縁部外反、胴部膨らみ中位に最大径。口縁部横ナ、胴部上位へう割り後横位ナ、中・下位横位へう割り。内面斜位ナ。底部欠損の為詳細不明。     | 6世紀前半?<br>8世紀前半 |
| 第76回<br>P L.59 | 27 | 土師器<br>壺   | N o 172・177<br>口縁～胴部  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(17.1)          | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色           | 口縁部外傾し、胴部膨らみ中位に最大径。口縁部横ナ。胴部上位へう割り後横位ナ。中・下位横位へう割り。内面斜位ナ。粘土接合痕。         | 6世紀前半?<br>8世紀前半 |
| 第76回<br>P L.59 | 28 | 土師器<br>壺   | N o 51・84・86<br>口縁～胴部 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(10.5)          | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色        | 口縁部外傾し、胴部膨らむ。外面口縁部・胴部横ナ、胴部斜位へう割り、粘土接合痕。内面ナ。                           | 8世紀第4西半期        |
| 第76回<br>P L.60 | 29 | 土師器<br>胴部  | N o 80・89・96<br>胴部    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(17.0)          | ①粗砂粒・細砂粒少量<br>②良好<br>③内褐色外にぶい黄褐色 | 口縁部・底部欠損の為詳細不明。胴部膨らむ。胴部やや乱雑なへう割り、内面粗雑なナ。                              | 7世紀後半?          |
| 第76回<br>P L.60 | 30 | 土師器<br>壺   | N o 5・25<br>胴部～底部片    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.0)<br>(7.9)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③黒褐色～褐色       | 口縁部・胴部欠損の為詳細不明。胴部斜位へう割り、胴部内面斜位ナ。                                      | 時期不明            |
| 第76回<br>P L.60 | 31 | 土師器<br>壺   | N o 234・覆土<br>底部      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.0)<br>(3.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰褐色          | 外面斜方向へう割り、内面横ナ。   |                 |

|               |    |              |                 |  |                                     |  |                |
|---------------|----|--------------|-----------------|--|-------------------------------------|--|----------------|
| 第76図<br>P L60 | 32 | 土師器<br>壺     | 覆土<br>底部片       | 口径<br>—<br>底径<br>(7.7)<br>高さ<br>(4.6)    | ①細・微砂粒少量・<br>粗砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部・胴部欠損の為詳細不明。胴部斜位<br>ヘラ削り、胴部内面斜位ナデ。  | 時期不明           |
| 第76図<br>P L60 | 33 | 土師器<br>壺     | N o 189<br>底部   | 口径<br>—<br>底径<br>5.0<br>高さ<br>(4.2)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 口縁部・胴部欠損の為詳細不明。外面器面<br>の荒れの為判断不能、胴部内面刷毛目調整。  | 時期不明           |
| 第77図<br>P L60 | 34 | 土師器<br>小型高坏  | N o 145<br>2/3  | 口径<br>—<br>底径<br>9.0<br>高さ<br>(9.2)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | やや粗雑な作り。坏部上半は外反し下半は<br>丸味を帯び、脚部は短脚で「ハ」の字状に<br>開く。外面坏部ヘラ削り後ナデ、脚部ヘラ<br>ナデ、裾部横ナデ、内面坏部ヘラナデ、脚<br>部ナデ。                             | 5世紀後半          |
| 第77図<br>P L60 | 35 | 土師器<br>高坏    | N o 83<br>坏部1/2 | 口径<br>—<br>底径<br>(6.2)                   | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色              | 脚部欠損の為詳細不明。坏部直線的に立ち<br>上がり、口縁部外傾する。口縁部・胴部内<br>外面ともに横ナデ。  | 7世紀前半          |
| 第77図<br>P L60 | 36 | 土師器<br>高坏?   | N o 70<br>口縁部   | 口径<br>—<br>底径<br>(3.5)                   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 体部は直線的に立ち上がり、口縁部は外傾。<br>内外面横ナデ後磨き。   |                |
| 第77図<br>P L60 | 37 | 土師器<br>高坏    | N o 152<br>坏部   | 口径<br>—<br>底径<br>(4.6)                   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 器面が荒れている、整形痕の一部のみ確認<br>。外面ヘラ削り、内面ナデ。   | 5世紀後半?         |
| 第77図<br>P L60 | 38 | 土師器<br>高坏    | N o 6<br>1/2    | 口径<br>(18.0)<br>底径<br>15.0<br>高さ<br>12.7 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 坏部上位は外傾して開き、下位は浅い、脚<br>部は緩やかに外反し「ハ」の字状に開く。<br>外面坏部ヘラ削り後ナデ、脚部ヘラナデ後<br>工具による磨き、裾部横ナデ、内面坏部横<br>ナデ、脚部上位指ナデ、紋り目、下位ヘラ<br>ナデ。接合痕有り。 | 5世紀後半          |
| 第77図<br>P L60 | 39 | 土師器<br>高坏    | N o 45<br>脚部    | 口径<br>—<br>底径<br>(11.0)<br>高さ<br>(8.0)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 坏部欠損の為詳細不明。脚部中央付近にや<br>や膨らみを持つ。外面ヘラ削り、底部横ナ<br>デ。内面底部ヘラ磨き。  | 7世紀前半          |
| 第77図<br>P L60 | 40 | 土師器<br>高坏    | N o 82<br>脚部    | 口径<br>—<br>底径<br>(14.0)<br>高さ<br>(9.7)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 坏部欠損の為詳細不明。脚部中央付近にや<br>や膨らみを持つ。外面工具による磨き、底<br>部横ナデ。内面指ナデ、底部ヘラ磨き。   | 7世紀前半?         |
| 第77図<br>P L60 | 41 | 土師器<br>高坏    | N o 139<br>脚部片  | 口径<br>—<br>底径<br>(8.7)                   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 脚部はエンタシス状の膨らみを持つ。器面<br>が荒れている為整形不明。内面紋り目。  | 粗砂粒僅か<br>6世紀後半 |
| 第77図<br>P L60 | 42 | 土師器<br>高坏    | 覆土<br>薬部片       | 口径<br>—<br>底径<br>(15.0)<br>高さ<br>(2.1)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 薬部「ハ」の字状に開く。外面ヘラ削り後<br>ヘラナデ、内面横ナデ。   | 時期不明           |
| 第77図<br>P L60 | 43 | 土師器<br>高坏    | N o 161<br>脚部   | 口径<br>—<br>底径<br>11.0<br>高さ<br>(6.1)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 短脚で「ハ」の字状に開く。外面ヘラ削り、<br>裾部部横ナデ、内面横ナデ。  | 6世紀後半?         |
| 第77図<br>P L60 | 44 | 土師器<br>手捏丸土器 | N o 37<br>ほぼ完形  | 口径<br>6.6<br>底径<br>4.4<br>高さ<br>3.7      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 手捏ね成形。口縁部は内傾し、胴部は直線的<br>に立ち上がる。底部平底、外面指ナデ、<br>ヘラナデ、内面指ナデ、紋り目。  | 古墳時代前期?        |
| P L60         | 45 | 焼成粘土塊        | N o 45          |  | 重さ104.7g                            |  | 写真のみ掲載         |
| P L61         | 46 | 焼成粘土塊        | 覆土              |  | 重さ26.3g                             |  | 写真のみ掲載         |
| P L61         | 47 | 焼成粘土塊        | 覆土              |  | 重さ41.0g                             |  | 写真のみ掲載         |
| P L61         | 48 | 焼成粘土塊        | 覆土              |  | 重さ16.0g                             |  | 写真のみ掲載         |
| P L61         | 49 | 焼成粘土塊        | 覆土              |  | 重さ7.6g                              |  | 写真のみ掲載         |
| P L61         | 50 | 焼成粘土塊        | N o 35          |  | 重さ7.1g                              |  | 写真のみ掲載         |

|        |    |       |        |  |           |  |        |
|--------|----|-------|--------|--|-----------|--|--------|
| P L 61 | 51 | 焼成粘土塊 | N o 11 |  | 重さ 52.7 g |  | 写真のみ掲載 |
| P L 61 | 52 | 焼成粘土塊 | N o 62 |  | 重さ 37.7 g |  | 写真のみ掲載 |
| P L 61 | 53 | 焼成粘土塊 | N o 43 |  | 重さ 18.7 g |  | 写真のみ掲載 |
| P L 61 | 54 | 焼成粘土塊 | N o 11 |  | 重さ 36.0 g |  | 写真のみ掲載 |
| P L 61 | 55 | 焼成粘土塊 | N o 12 |  | 重さ 29.3 g |  | 写真のみ掲載 |

## 5区 2号住居

| 押函番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態      | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調             | 器形・技法等の特徴               | 備 考   |                         |
|----------------|----|-----------|-------------------|----------------|-----------------------|-------------------------|---|-------------------------|
| 第78図<br>P L 61 | 1  | 土師器<br>埴  | N o 17<br>3 / 4   | 口径<br>底径<br>高さ | 12.7<br>5.5<br>16.8   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③淡黄色 | 頸部外傾し底部直立気味になる。胴部膨らみ中位に最大径、口径径とほぼ同じである。外面口径部横ナデ、頸部へう削りの後棒状工具による磨き、胴部斜位へう削り。内面口径部から胴部に横ナデ後棒状工具による磨き。粘土接合痕。 | 5世紀後半～<br>6世紀前半         |
| 第79図<br>P L 61 | 2  | 土師器<br>坏  | P 3<br>口径～体部片     | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>(3.1)  | ①微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | やや器面が荒れている。口径部は直立気味に外反し、底部丸底。外面口径部横ナデ、体部へう削り。   | 5世紀前半?                  |
| 第79図<br>P L 61 | 3  | 土師器<br>坏  | N o 13・22<br>ほぼ完形 | 口径<br>底径<br>高さ | 13.6<br>—<br>4.0      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色  | 扁平な形状で口径部が皿状に強く開き体部は浅い。外面口径部・胴部中位横位へう削り、口径部・胴部内面横ナデ。  | 6世紀～7世紀                 |
| 第79図<br>P L 61 | 4  | 土師器<br>甕  | N o 15<br>口径～肩部片  | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(8.4)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色  | 胴部下位、底部欠損の為詳細不明。口径部外傾し、胴部膨らむ。外面胴部横位へう削り、口径部外面・胴部内面ともに横ナデ。   |                         |
| 第79図<br>P L 61 | 5  | 土師器<br>甕  | 2住・42土坑<br>胴部破片   | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(11.1)      | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③明褐色 | 口径部・底部欠損の為詳細不明。胴部膨らむ。胴部へう削り後了なナデ、内面斜位ナデ。  | 2住と42土坑の覆土の物が多い<br>時期不明 |
| 第79図<br>P L 61 | 6  | 土師器<br>高坏 | N o 8・9・24<br>坏部  | 口径<br>底径<br>高さ | (21.1)<br>—<br>(4.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色 | 胴部欠損の為詳細不明。坏部は直線的に立ち上がり外傾する。坏部内外面横ナデ、胴部下位へう削り、内面ナデ。   | 6世紀後半                   |
| 第79図<br>P L 61 | 7  | 土師器<br>高坏 | N o 19<br>脚部1 / 3 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(12.8)<br>(11.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色  | 坏部欠損の為詳細不明。胴部中位横位ナデ、下位工具による磨き、底部横ナデ。内面上位縦位縦削り、下位横ナデ。  | 6世紀後半～<br>7世紀前半         |
| 第79図<br>P L 61 | 8  | 焼成粘土      | 覆土                | 長さ<br>短<br>厚さ  | 12.9<br>8.0<br>5.2    | ①粗・細少量<br>②良好<br>③橙色    | 表面に不定方向のへうナデ痕。裏面指圧痕。余剰の粘土か、使途不明。  | 374.3 g                 |
| 第79図<br>P L 61 | 9  | 焼成粘土      | 覆土                | 長さ<br>短<br>厚さ  | 14.0<br>12.0<br>7.1   | ①粗・細少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 表面に指圧痕、へうナデ痕。裏面へう痕。上面磨き取ったような痕跡有り。余剰の粘土か、使途不明。  | 1283.7 g                |

## 5区 3号住居

| 棟目番号<br>図版番号  | 番号 | 類別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                     | 器形・技法等の特徴   | 備考       |
|---------------|----|------------|--------------|---|-------------------------------|---|----------|
| 第81図<br>P.L61 | 1  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁-体部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(14.0)<br>(3.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色        | 口縁部は内斜し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面坏部横ナデ、体部ヘラナデ、内面横ナデ。                        | 5世紀後半?   |
| 第81図<br>P.L61 | 2  | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.8)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色        | 口縁部は厚刃外傾する。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面横ナデ、一部割線。接合痕有り。                        | 時期不明     |
| 第81図<br>P.L61 | 3  | 土師器<br>高坏  | No 3<br>坏部   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.3)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色～暗赤灰色 | 坏部欠損の為詳細不明。坏部直線的に立ち上がり、直立気味になる。内外面ともに器面の荒れ。口縁部・胴部内外面ともに横ナデ後工具による磨き。 | 5世紀前半～後半 |
| 第81図<br>P.L61 | 4  | 土師器<br>高坏  | 覆土<br>脚部     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(8.8)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色        | 脚部上位が長く、穿孔はない。器部の広がりはない可能性がある。外面縦方向のナデ、内面割り目。                       | 時期不明     |
| 第81図<br>P.L61 | 5  | 土師器<br>器台  | P 1<br>脚部    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.0)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色     | 坏部と脚部に孔が貫通し、脚部に円孔を持つ。外面ヘラナデ、内面ナデ。                                   | 古墳前期?    |
| 第81図<br>P.L61 | 6  | 須恵器<br>長頸壺 | No 1<br>頸部   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.7)           | ①細・微砂粒少量<br>②還元焙<br>③褐色       | 轆轤成形後ヘラナデ、内面指ナデ。自然釉が掛かり輪ダレがある。接合痕有り。                                |          |

## 5区 4号住居

| 棟目番号<br>図版番号  | 番号 | 類別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)                        | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴   | 備考             |
|---------------|----|----------|-----------------|------------------------------------|----------------------------|---|----------------|
| 第84図<br>P.L62 | 1  | 土師器<br>坏 | No 2・振り方<br>1/6 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>3.6    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は段を有し弱く外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面ナデ。                      | 7世紀後半?         |
| 第84図<br>P.L62 | 2  | 土師器<br>坏 | No 2<br>口縁-体部片  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(2.9)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部はやや内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面ヘラナデ。                        | 粗砂粒少量<br>7世紀後半 |
| 第84図<br>P.L62 | 3  | 土師器<br>坏 | No 4<br>完形      | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>4.4    | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄橙色   | 口縁部は外傾し、腰部が張り、体部直線的に立ち上がる。外面ヘラナデ、底部同輪ヘラナデ。口縁部・胴部内面ともにヘラナデ。              | 8世紀中葉          |
| 第84図<br>P.L62 | 4  | 土師器<br>坏 | No 1<br>1/3     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>2.9    | ①粗・細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色   | 口縁部は外傾し皿状に開き、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸成。内外面とも荒れの為やや整形痕不明。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面ナデ。 | 8世紀前半?         |
| 第84図<br>P.L62 | 5  | 土師器<br>坏 | No 1・覆土<br>1/5  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.1)  | ①粗・細砂粒僅か<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は段を有し皿状に開き、体部は丸味を帯びて立ち上がる。器形。扁平な形状。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面横ナデ。器面が荒れている。   | 6世紀～7世紀        |
| 第84図<br>P.L62 | 6  | 土師器<br>甕 | No 3<br>口縁部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(7.4)  | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色   | 体部下位、底部欠損のため詳細不明。口縁部外傾し、体部膨らむ。胴部ヘラナデ、口縁部・胴部内面丁寧ナデ。                      | 8世紀中葉          |
| 第84図<br>P.L62 | 7  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁部片      | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.0)  | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄橙色 | 口縁部は外反する。内外面横ナデ。  | 7世紀?           |
| 第84図<br>P.L62 | 8  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>把手        | 長さ<br>幅<br>厚さ<br>6.3<br>3.8<br>3.3 | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 瓶の把手か、手柄ね成形。ヘラナデ後一部ヘラナデ。  |                |



## 5区 5号住居

| 採回番号<br>図取番号   | 番号 | 種類<br>器種   | 出土位置<br>残存状態        | 計測値<br>(cm)                                       | ①胎土②焼成③色調                    | 器形・技法等の特徴   | 備 考                     |
|----------------|----|------------|---------------------|---|------------------------------|---|-------------------------|
| 第86図<br>P.L.62 | 1  | 土師器<br>坏   | N o 4・覆土<br>2/3     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>12.4<br>—<br>4.1 | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③黒褐色      | 体部丸みを帯びて立ち上がり、口縁部内湾する。外面胴部へラ削り、口縁部内外面・胴部内面横ナデ。  | 6世紀後半～<br>7世紀前半         |
| 第86図<br>P.L.62 | 2  | 土師器<br>碗   | N O 1<br>1/2        | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>8.2<br>(5.4)     | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色      | 口縁部内湾し、胴部膨らみ中位に最大径。底部欠損の為詳細不明。口縁部から胴部上位丁寧な横ナデ、胴部下位へラ削り。内面横ナデ。   | 6世紀前半?                  |
| 第86図<br>P.L.62 | 3  | 土師器<br>長胴甕 | N O 6<br>口縁～胴部      | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>19.9<br>(28.3)   | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色      | 胴部下位、底部欠損の為詳細不明。口縁部外傾し、胴部やや膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部横位へラ削り。胴部縦位へラ削り。口縁部・胴部内面横ナデ。                                    | 甕埴遺部<br>7世紀後半～<br>8世紀前半 |
| 第86図<br>P.L.62 | 4  | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁～胴部片        | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(19.5)<br>(8.2)  | ①粗砂粒・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 胴部中下位、底部欠損の為詳細不明。口縁部外傾する。胴部縦位へラ削り、口縁部・胴部内面横ナデ。  | 8世紀～9世紀                 |
| 第86図<br>P.L.62 | 5  | 土師器<br>甕   | N o 1<br>口縁 1/4     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(23.0)<br>(6.8)  | ①微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色         | 胴部中下位、底部欠損の為詳細不明。口縁部外傾する。胴部へラ削り、口縁部・胴部内面斜ナデ。  | 6世紀後半～<br>7世紀前半         |
| 第86図<br>P.L.62 | 6  | 土師器<br>甕   | N o 10<br>口縁～胴部     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(13.0)<br>(8.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色    | 口縁部は直立気味に外傾し、胴部膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部上位横ナデ、中位横方角へラ削り、内面ナデ。   | 5世紀後半                   |
| 第86図<br>P.L.62 | 7  | 土師器<br>甕   | N o 6<br>口縁部片       | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(14.0)<br>(5.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色       | 口縁部は外反する。内外面横ナデ。  | 7世紀                     |
| 第86図<br>P.L.62 | 8  | 土師器<br>小型甕 | N o 1・覆土<br>口縁～胴部片  | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(12.0)<br>(8.6)  | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③褐色         | 口縁部外傾、胴部膨らみ中位に最大径。底部欠損の為詳細不明。器面の荒れがひどい。工具による磨き一部確認。内面口縁部横ナデ、胴部へラナデ後、工具による磨き。                              | 6世紀後半                   |
| 第86図<br>P.L.62 | 9  | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁～胴部片        | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(12.8)<br>(5.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色      | 口縁部外傾、胴部膨らみ中位に最大径。底部欠損の為詳細不明。内外面ともに器面の荒れがひどい。工具による磨き一部認められる。整形痕不明。  |                         |
| 第86図<br>P.L.62 | 10 | 土師器<br>壺   | 5住・1土坑<br>口縁～胴部片    | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(12.2)<br>(4.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色     | 口縁部はやや受け口状口縁、口唇部に1条沈線走る。外面口縁部横ナデ、胴部へラ削り後横ナデ、内面へラナデ。   | 粗砂粒僅か                   |
| 第87図<br>P.L.63 | 11 | 土師器<br>埴   | N o 3<br>ほぼ完形       | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>9.4<br>13.7      | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③褐色       | 胴部外傾し口縁部やや内湾する。胴部膨らみ中位に最大径。口縁径より大きい。外面口縁部横ナデ、胴部・胴部上位へラ削りの後棒状工具による磨き、胴部中、下位斜位へラ削り。内面口縁部から胴部に横ナデ後棒状工具による磨き。 | 5世紀後半                   |
| 第87図<br>P.L.62 | 12 | 土師器<br>小型埴 | N o 1・掘り方<br>胴部～胴部片 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(7.2)            | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色         | 胴部外傾、胴部膨らみ中位に最大径。底部欠損の為詳細不明。内外面ともに器面の荒れがひどい。胴部から胴部中位へラナデ、胴部下位へラ削り、内面へラナデ。                                 | 6世紀前半                   |
| 第87図<br>P.L.63 | 13 | 土師器<br>高坏  | 掘り方 N o 2<br>坏部     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>—<br>(16.0)<br>(4.6)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色   | 坏部は外傾し開く。外面口縁部横ナデ、坏部上位へラナデ。下位へラ削り、内面ナデ後工具による磨き。   | 5世紀後半                   |

|                |    |            |              |   |                                   |  |                              |
|----------------|----|------------|--------------|---|-----------------------------------|--|------------------------------|
| 第87回<br>P.L.63 | 14 | 土師器<br>高坏  | 握り方<br>裾部片   | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(14.0)<br>(1.4) | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 裾部「ハ」の字状に開く。器面が荒れている。外面ヘラナデ後工具による磨き、内面横ナデ。             | 粗砂粒僅か<br>時期不明                |
| 第87回<br>P.L.63 | 15 | 土師器<br>高坏  | No.2<br>脚部   | 口径<br>—<br>底径<br>12.8<br>高さ<br>(9.1)        | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 坏部欠損の為詳細不明。脚部中央付近にやや膨らみを持つ。外面ナデの後工具による磨き、内面底部横ナデ。      | 6世紀後半?                       |
| 第87回<br>P.L.63 | 16 | 須恵器<br>長圓壺 | No.5<br>完形   | 口径<br>14.9<br>底径<br>11.2<br>高さ<br>30.6      | ①粗砂粒少量<br>②酸化品<br>③内明赤褐色<br>外明黄褐色 | 轆轤成形、肩部に接合痕。頸部から口縁部迄強く外反し、肩部が強く張る。内面器面の荒れがひどく表面割離が著しい。 | 5号仕覆土より出土。別遺構があったか。<br>9世紀前半 |
| 押戻番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                 | 石材<br>重量                          | 器形・技法等の特徴  | 備 考                          |
| 第87回<br>P.L.63 | 17 | 石製品<br>勾玉  | No.7         | 長さ<br>—<br>幅<br>1.7<br>1.1<br>高さ<br>0.5     | 滑石 重さ0.8g                         | 小型品。孔径0.3cm。右側面に調整痕が良く残る。                              |                              |
| 押戻番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                 | ①粘土②焼成③色調                         | 器形・技法等の特徴  | 備 考                          |
| P.L.63         | 18 | 埴土粘土塊      | 電漕り方         |   | 重さ 17.4g                          |  | 写真のみ掲載                       |
| P.L.63         | 19 | 埴土粘土塊      | 握り方          |   | 重さ 6.4g                           |  | 写真のみ掲載                       |
| P.L.63         | 20 | 埴土粘土塊      | 電漕り方         |   | 重さ 6.6g                           |  | 写真のみ掲載                       |

#### 5区 6号住居

|                |    |          |                    |   |                                     |  |        |
|----------------|----|----------|--------------------|---|-------------------------------------|--|--------|
| 押戻番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)                               | ①粘土②焼成③色調                           | 器形・技法等の特徴  | 備 考    |
| 第82回<br>P.L.63 | 1  | 土師器<br>坏 | 420-090G<br>2/3    | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>7.0<br>5.4    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 体部やや丸みを帯びて立ち上がり、口縁部直立する。口縁部内外面横ナデ、胴部～底部ヘラ削り。内面横ナデ。   |        |
| 第82回<br>P.L.63 | 2  | 須恵器<br>坏 | No.1<br>1/2        | 口径<br>10.2<br>底径<br>6.5<br>高さ<br>2.5      | ①細・微砂粒少量・<br>粗砂粒僅か<br>②酸化品<br>③淡赤褐色 | 轆轤成形(右回転)、回転糸切り後周縁部の削り。体部外反気味に外傾する。                  |        |
| 第82回<br>P.L.63 | 3  | 土師器<br>壺 | 420-090G<br>口縁部1/2 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>17.7<br>(9.5) | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 胴部下位、底部欠損の為詳細不明。口縁部外反、胴部膨らむ。胴部ヘラ削り、口縁部内外面横ナデ・胴部内面ナデ。 | 6世紀後半? |

#### 5区 7号住居

|                |    |          |                       |   |                                     |  |                 |
|----------------|----|----------|-----------------------|---|-------------------------------------|--|-----------------|
| 押戻番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態          | 計測値<br>(cm)                                 | ①粘土②焼成③色調                           | 器形・技法等の特徴  | 備 考             |
| 第89回<br>P.L.63 | 1  | 土師器<br>坏 | 握り方<br>口縁部片           | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(12.0)<br>(2.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 口縁部は直立し段を有し、体部は丸味を帯び立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                          | 6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第89回<br>P.L.63 | 2  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁部片            | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(12.0)<br>(3.2) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外明褐色<br>内いぶい黄褐色 | 口縁部はやや外傾し、体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面底部ヘラナデ。                         | 7世紀頃            |
| 第89回<br>P.L.63 | 3  | 土師器<br>坏 | No.10<br>口縁～体部<br>1/4 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(13.0)<br>(4.4) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色            | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面器面が荒れている。口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後ナデ、内面横ナデ後工具による磨き。輪痕み痕有り。 |                 |
| 第89回<br>P.L.63 | 4  | 土師器<br>坏 | No.19<br>1/2          | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>12.6<br>(3.1)   | ①細・微砂粒少量・<br>粗砂粒僅か<br>②良好<br>③褐色    | 口縁僅かに外傾、底部丸底。口縁部横ナデ、体部から底部ヘラ削り。  | 7世紀頃～<br>8世紀前半  |
| 第89回<br>P.L.63 | 5  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁部片            | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(13.0)<br>(2.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ヘラナデ。                           | 粗砂粒僅か           |

|                 |    |            |                   |                |                      |                                     |   |                   |
|-----------------|----|------------|-------------------|----------------|----------------------|-------------------------------------|---|-------------------|
| 第890E<br>P L 63 | 6  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>ほぼ完形        | 口径<br>底径<br>高さ | 12.0<br>—<br>(3.2)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁直立、底部丸底。口縁部横ナデ、体部不明瞭なナデ、底部ヘラ削り。                                     | 7世紀頃              |
| 第890E<br>P L 63 | 7  | 土師器<br>破片  | N o 11            | 口径<br>底径<br>高さ | (12.4)<br>—<br>(3.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 口縁部やや外傾、底部平底。器面の荒れのため、整形痕不明瞭。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り後ナデか。内面工具による磨き。             | 6世紀前半～<br>7世紀後半?  |
| 第890E<br>P L 63 | 8  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁部片        | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>—<br>(2.7) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ヘラナデ。                        | 7世紀後半             |
| 第890E<br>P L 63 | 9  | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁部片        | 口径<br>底径<br>高さ | (15.0)<br>—<br>(4.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 器面の荒れがひどく整形痕不明瞭。内外面横ナデ。   | 7世紀前半             |
| 第890E<br>P L 63 | 10 | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁～胴上位<br>片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.7)      | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 口縁部は外反し、胴部はやや膨らみを持つ。器面が荒れている為整形痕不明瞭。口縁部横ナデ。                           |                   |
| 第890E<br>P L 64 | 11 | 土師器<br>甕   | N o 2<br>口縁部片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.7)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 口縁部は外反する。内外面横ナデ。  |                   |
| 第900E<br>P L 64 | 12 | 土師器<br>甕   | N o 12<br>口縁～胴部   | 口径<br>底径<br>高さ | 23.4<br>—<br>(27.5)  | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 胴部下位、底部欠損のため詳細不明。口縁部外傾し、胴部直立する。外面口縁部から胴部横ナデ、胴部部位ヘラ削り。内面口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ。 | 7世紀後半             |
| 第900E<br>P L 64 | 13 | 土師器<br>埋か坏 | N o 17<br>底部      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.6)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 外面斜位ヘラ削り、内面工具による磨き。   | 6世紀前半?            |
| 第900E<br>P L 64 | 14 | 土師器<br>瓶   | N o 8<br>ほぼ完形     | 口径<br>底径<br>高さ | 15.6<br>4.5<br>10.4  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 底部平底、1孔。表面の割落と器面の荒れのため、整形痕不明瞭。口縁部弱く外反、胴部ヘラ削り後ナデか。口縁部横ナデ。              | 6世紀前半             |
| 第900E<br>P L 64 | 15 | 須恵器<br>壺   | N o 3<br>口唇部      | 口径<br>底径<br>高さ | (20.0)<br>—<br>(1.8) | ①細・微砂粒少量<br>②薄光輝<br>③外灰白色<br>内にぶい褐色 | 轆轤成形(回転方向不明)。灰釉。  | 粗砂粒僅か<br><br>時期不明 |
| 第900E<br>P L 63 | 16 | 須恵器<br>壺   | 覆土<br>口縁部片        | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.8)      | ①細・微砂粒少量<br>②薄光輝<br>③褐色             | 轆轤成形(回転方向不明)。内面灰釉。外面刷毛目状工具によるナデ。口縁部外反する。口唇部三角形、肩部に稜線一筋。               |                   |
| P L 64          | 17 | 埴成粘土塊      |                   |                |                      | 重さ 5.9g                             |   | 写真のみ掲載            |
| P L 64          | 18 | 埴成粘土塊      |                   |                |                      | 重さ 7.2g                             |   | 写真のみ掲載            |
| P L 64          | 19 | 埴成粘土塊      |                   |                |                      | 重さ 3.9g                             |   | 写真のみ掲載            |

#### 5区 8号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴              | 備 考  |               |
|-----------------|----|-----------|--------------|----------------|----------------------|------------------------|--|---------------|
| 第920E<br>P L 64 | 1  | 土師器<br>坏  | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(2.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色 | 口縁部は内屈し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。 | 7世紀後半～<br>8世紀 |
| 第920E<br>P L 64 | 2  | 土師器<br>高坏 | N o 1<br>脚部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.8)      | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色 | 外面縦方向ヘラナデ、内面ナデ。輪轆み痕有り。                       | 時期不明          |

#### 5区 9号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調           | 器形・技法等の特徴                          | 備 考  |       |
|-----------------|----|----------|---------------|----------------|---------------------|------------------------------------|--|-------|
| 第940E<br>P L 64 | 1  | 土師器<br>坏 | N o 1<br>ほぼ完形 | 口径<br>底径<br>高さ | 13.0<br>10.6<br>3.7 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外にぶい褐色<br>内黒褐色 | 口縁部は2段を有し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。やや扁平。外面口縁部ヘラナデ、体部ヘラ削り、内面ヘラナデ。内面ヘラナデ。吸灰? | 6世紀後半 |

|               |    |                     |                              |                |                       |                            |  |                 |
|---------------|----|---------------------|------------------------------|----------------|-----------------------|----------------------------|--|-----------------|
| 第94図<br>P.L64 | 2  | 土師器<br>杯            | N <sub>o</sub> 4<br>1/2      | 口径<br>底径<br>高さ | (13.8)<br>11.5<br>4.0 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は段を有し外反気味に立ち上がり、<br>体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁<br>部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。  | 6世紀後半           |
| 第94図<br>P.L64 | 3  | 土師器<br>杯            | 籠籠り方<br>2/3                  | 口径<br>底径<br>高さ | 10.6<br>3.1<br>3.9    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色   | 口縁部は段を有し外傾し、体部は丸味を帯<br>びて立ち上がる。底部丸底、外面口縁部横<br>ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。  | 6世紀～<br>7世紀前半   |
| 第94図<br>P.L64 | 4  | 土師器<br>杯            | 覆土<br>口縁～体部片                 | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(2.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄色  | 口縁部は弱く外傾し、体部は丸味を帯びて<br>立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ<br>削り、内面ナデ。   | 6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第94図<br>P.L64 | 5  | 土師器<br>杯            | 覆土<br>口縁～体部片                 | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(3.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は内傾し、体部は丸味を帯びて立ち<br>上がる。外傾口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、<br>内面ナデ後工具による磨き。   | 6世紀後半           |
| 第94図<br>P.L64 | 6  | 土師器<br>S字状口<br>鉢台付葉 | 覆土<br>口縁～肩部片                 | 口径<br>底径<br>高さ | (17.6)<br>—<br>(4.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色   | 「S」字状口縁。器面が荒れている。外面<br>口縁部横ナデ、肩部ヘラ削り後胡毛目状工<br>具によるナデ、内面ナデ。   | 4世紀後半           |
| 第94図<br>P.L64 | 7  | 土師器<br>葉            | N <sub>o</sub> 5<br>口縁部片     | 口径<br>底径<br>高さ | (19.0)<br>—<br>(2.9)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は外反し、口唇部は弱く折り返す。<br>内外面横ナデ。   | 4世紀後半?          |
| 第94図<br>P.L64 | 8  | 土師器<br>葉            | N <sub>o</sub> 8・12<br>口縁～胴部 | 口径<br>底径<br>高さ | 15.5<br>—<br>(16.0)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は弱く外反し、胴部は長胴形。外面<br>口縁部横ナデ、胴部縦方向ヘラ削り後胡毛<br>目状工具によるナデ、内面ヘラナデ。  | 6世紀後半           |
| 第94図<br>P.L64 | 9  | 土師器<br>葉            | 覆土<br>口縁～胴部片                 | 口径<br>底径<br>高さ | (15.6)<br>—<br>(8.7)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③黒褐色    | 口縁部は直立気味で弱く外反する、胴部は<br>弱く膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部ヘラ<br>削り、内面ナデ。吸戻?  | 6世紀後半           |
| 第94図<br>P.L64 | 10 | 土師器<br>葉            | 覆土<br>口縁～胴部片                 | 口径<br>底径<br>高さ | (18.6)<br>—<br>(9.8)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 「く」の字状口縁。胴部は膨らみを持つ。<br>外面口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り後ナデ、<br>内面ナデ。  | 5世紀前半?          |
| 第94図<br>P.L64 | 11 | 土師器<br>葉            | 籠籠り方<br>口縁部片                 | 口径<br>底径<br>高さ | (14.6)<br>—<br>(3.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は外反し、胴部は膨らむ。外面口縁<br>部横ナデ、胴部縦方向ヘラ削り、内面ナデ。  | 5世紀後半           |
| 第94図<br>P.L64 | 12 | 土師器<br>鉢            | 掘り方<br>口縁～体部片                | 口径<br>底径<br>高さ | (22.6)<br>—<br>(8.2)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口唇部は平直で、体部は直線的に開く。内<br>外面ヘラナデ。   | 4世紀後半～<br>5世紀前半 |
| 第95図<br>P.L64 | 13 | 土師器<br>台付葉          | 掘り方<br>台部1/5                 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(10.0)<br>(6.6)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 台端部を内側に折り返す。外面ヘラナデ後<br>胡毛目状工具による調整。下半部此が漆布、<br>内面ヘラナデ。   | 4世紀後半           |
| 第95図<br>P.L64 | 14 | 土師器<br>高杯           | 420-070G<br>坏部               | 口径<br>底径<br>高さ | (13.2)<br>—<br>(4.6)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は弱く外反し、坏部上位に段を持ち<br>開く。口縁部～坏部上位横ナデ、下位ヘラ<br>削り、内面ナデ後ヘラによる磨き。やや器<br>面が荒れている。                              | 6世紀後半           |
| 第95図<br>P.L65 | 15 | 土師器<br>高杯           | N <sub>o</sub> 2<br>胴部1/2    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.6)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 外面ナデ後工具による磨き、内面ヘラナデ。   | 時期不明            |
| 第95図<br>P.L65 | 16 | 土師器<br>台付葉          | N <sub>o</sub> 6<br>台部1/2    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>11.0<br>(5.4)    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 短台部で「ハ」の字状に開く。器面が荒れ<br>表面割線が見られる。外面台部上位横ナデ<br>?、下位縦方向ヘラ削り、胴部横ナデ、内<br>面割線ヘラナデ?                              | 6世紀前半?          |
| 第94図<br>P.L65 | 17 | 土師器<br>筒型土器         | N <sub>o</sub> 9・14<br>ほぼ完成  | 口径<br>底径<br>高さ | 10.5<br>7.1<br>43.0   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は直立し、胴部は寸前で下位に弱く<br>膨らみを持つ。底部木葉張。口縁の半分は<br>上方向に延びる。外面胴部縦方向ヘラ削り、<br>中位以下荒れの為整形痕不明瞭。内面縦方<br>向ヘラナデ。輪轆み痕明瞭。 |                 |

## 5区 11号住居

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)                         | ①粘土②焼成③色調   | 器形・技法等の特徴  | 備 考            |
|-----------------|----|-----------|--------------------|-------------------------------------|---|--|----------------|
| 第97図<br>P L.65  | 1  | 土師器<br>坏  | 覆土<br>1/3          | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>3.8     | (10.6)<br>—<br>3.8<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色               | 口縁部弱く外傾し、稜明瞭。底部丸底。口縁部横ナデ、底部へナゲリ。   | 7世紀前半          |
| 第97図<br>P L.65  | 2  | 土師器<br>坏  | 覆土<br>口縁～体部片       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(2.8)   | (11.0)<br>—<br>(2.8)<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へナゲリ、内面ナデ。                             | 7世紀後半          |
| 第97図<br>P L.65  | 3  | 土師器<br>坏  | 覆土<br>口縁～体部片       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.6)   | (11.6)<br>—<br>(3.6)<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へナゲリ後ナデ、内面横ナデ。                         | 7世紀前半～後半       |
| 第97図<br>P L.65  | 4  | 土師器<br>坏  | 覆土<br>口縁～体部片       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.0)   | (12.0)<br>—<br>(3.0)<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 口縁部はやや内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へナゲリ、内面ナデ。                           | 7世紀後半          |
| 第97図<br>P L.65  | 5  | 土師器<br>坏  | N o 4<br>1/2       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>3.2     | 9.8<br>—<br>3.2<br>①細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                       | 口縁部弱く内傾し、体部丸みを帯びる。底部丸底。口縁部横ナデ、底部へナゲリ。                                    | 7世紀頃           |
| 第97図<br>P L.65  | 6  | 土師器<br>坏  | 覆土<br>口縁～体部片       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.4)   | (15.0)<br>—<br>(4.4)<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外明赤褐色<br>内にはぶい黄褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部横方向へナゲリ、内面ナデ。                          | 6世紀前半?         |
| 第97図<br>P L.65  | 7  | 土師器<br>坏  | N o 2<br>完形        | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>7.4     | (10.7)<br>—<br>7.4<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                  | 口縁部弱く内傾し、稜明瞭。体部丸みを帯びる。底部丸底。口縁部横ナデ、底部斜位へナゲリ。                              |                |
| 第97図<br>P L.65  | 8  | 土師器<br>罍  | N o 3<br>口縁～胴部     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(11.9)  | 14.0<br>—<br>(11.9)<br>①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色               | 口縁部やや外傾。胴部丸みを帯び、中位に最大径。内外面とも器面の寛れ。口縁部横ナデ、胴部斜位へナゲリ、底部欠損の為不明。              | 7世紀前半          |
| 第97図<br>P L.65  | 9  | 土師器<br>罍  | N o 1・覆土<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.3)   | (13.6)<br>—<br>(6.3)<br>①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい褐色             | 口縁部は外反し、体部は膨らみを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へナゲリ、内面寛れの為整形不明。                         | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半 |
| 第97図<br>P L.65  | 10 | 土師器<br>罍  | N o 1<br>口縁～胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(7.1)   | (14.2)<br>—<br>(7.1)<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 口縁部は外反し、胴部は膨らむ。器厚。外面口縁部横ナデ、胴部横方向へナゲリ、内面斜方向ナデ。                            | 6世紀後半          |
| 第97図<br>P L.65  | 11 | 土師器<br>高坏 | N o 6<br>脚部        | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.5)   | —<br>—<br>(6.5)<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色                  | 粘土の塊から整形していると考えられる。内部を僅かししか掘り抜いていない。器面が寛れ表面剥離がある。外面やや細かい硝毛状工具によるナデ、内面ナデ。 | 14号住居          |
| 第97図<br>P L.65  | 12 | 土師器<br>器台 | N o 5<br>脚部片       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.1)   | —<br>—<br>(4.1)<br>①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                     | 坏部と脚部に孔が貫通し、脚部に円孔を穿つ。脚部には「ハ」の字状に開く。外面ナデ、内面ナデ。                            | 古墳時代前期         |
| 第100図<br>P L.65 | 13 | 須恵器<br>壺  | 覆土<br>胴部           | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.3)   | —<br>—<br>(5.3)<br>①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰黄色                   | 横楕圆形(胴部方向不明)。胴部中央に張りを持ち、沈線2条通る。  | 7世紀頃           |
| 第100図<br>P L.65 | 14 | 須恵器<br>罍  | 覆土<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.4)   | —<br>—<br>(5.4)<br>①粗・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③褐灰色                   | 横楕圆形。口縁部中央に突帯が1条、口唇部には沈線が1条通る。下位に波状文、内面一部剥離。                             |                |
| 第100図<br>P L.65 | 15 | 陶器<br>壺   | 覆土<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.8)   | —<br>—<br>(3.8)<br>①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③褐灰色                   | 口縁部に突帯が1条通る。内外面輪が掛かる。  |                |
| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)                         | 石材  | 器形・技法等の特徴  | 備 考            |
| 第100図<br>P L.65 | 16 | 石器<br>礫石  | N o 9              | 長さ<br>幅<br>厚さ<br>12.5<br>5.7<br>3.6 | ヘルンフェルス<br>重量 312.2g  | 下端部に敲打痕による剥離有り。  |                |

## 5区 14号住居

| 棟目番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態     | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調             | 器形・技法等の特徴                  | 備考  |        |
|-----------------|----|-----------|------------------|----------------|-----------------------|----------------------------|---|--------|
| 第102図<br>P L.65 | 1  | 土師器<br>罍  | N o 2~4・6<br>3/4 | 口径<br>底径<br>高さ | 19.1<br>(4.0)<br>25.4 | ①細・微砂粒<br>②良好<br>③にぶい赤褐色   | 「コ」の字状口縁。胴部丸みを帯び、上位に最大径。口縁部横ナデ、胴部上位斜位ヘラ削り、中位・下位縦位ヘラ削り。内面ナデ。 | 9世紀    |
| 第102図<br>P L.65 | 2  | 土師器<br>浅鉢 | N o 6<br>口縁~胴部片  | 口径<br>底径<br>高さ | (18.0)<br>—<br>(5.8)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は直立気味に立ち上がり、体部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面ナデ。              | 7世紀前半? |
| 第102図<br>P L.65 | 3  | 土師器<br>罍  | P 1<br>口縁部片      | 口径<br>底径<br>高さ | (15.0)<br>—<br>(4.7)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は外反し、やや扁平。器厚。外面口縁部横ナデ後、ヘラナデ、内面ナデ、下位表面割離の為整形痕不明瞭。         | 9世紀前半? |
| 第102図<br>P L.65 | 4  | 土師器<br>罍  | 甕<br>口縁部片        | 口径<br>底径<br>高さ | (19.0)<br>—<br>(5.7)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色    | 「コ」の字状口縁。胴部は膨らむ。口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り、内面刷毛目状工具によるナデ。                | 9世紀後半  |
| 第102図<br>P L.65 | 5  | 土師器<br>罍  | N o 5<br>底部片     | 口径<br>底径<br>高さ | (8.0)<br>—<br>(2.5)   | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 底部平底。外面ヘラナデ、内面一部ヘラナデ。表面割離。                                  | 時期不明   |

## 5区 15号住居

| 棟目番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種            | 出土位置<br>残存状態           | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調             | 器形・技法等の特徴                          | 備考  |                           |
|-----------------|----|---------------------|------------------------|----------------|-----------------------|------------------------------------|---|---------------------------|
| 第104図<br>P L.66 | 1  | 縄文<br>注口土器          | 覆土<br>破片               | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.8)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄褐色           | 注口土器部。縦式瓶による構内形状意匠か。縄文はLR光焼放文。  | 瓶之内2式か                    |
| 第104図<br>P L.66 | 2  | 土師器<br>坏            | N o 43~46<br>1/2       | 口径<br>底径<br>高さ | 14.2<br>—<br>(4.6)    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色           | 口縁部は段を有し、直立気味に内湾し、体部は丸みを帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部整形痕不明瞭、内面ナデ後工具による磨き。                    | 6世紀後半~<br>7世紀前半           |
| 第104図<br>P L.66 | 3  | 土師器<br>坏            | N o 1<br>底部1/3         | 口径<br>底径<br>高さ | (6.0)<br>—<br>(2.5)   | ①細・微砂粒微小<br>②良好<br>③にぶい黄褐色         | 口縁部は外反し、体部は丸みを帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面横ナデ後工具による磨き。                               | 7世紀後半?                    |
| 第104図<br>P L.66 | 4  | 土師器<br>碗            | N o 7・27<br>2/3        | 口径<br>底径<br>高さ | 14.5<br>—<br>8.3      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | 内斜口縁。体部は丸みを帯びて立ち上がる。器面が荒れている為整形痕不明瞭。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後ナデ、内面ナデ後工具による磨き。                | 5世紀後半~<br>6世紀前半           |
| 第104図<br>P L.66 | 5  | 土師器<br>小型罍          | N o 1<br>口縁~胴部         | 口径<br>底径<br>高さ | (10.0)<br>—<br>(3.9)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外にぶい黄褐色<br>内褐色 | 口縁部は外反し、胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部刷毛目状工具によるナデ後推ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面口縁部刷毛目状工具によるナデ後一部ヘラナデ、胴部ヘラナデ。 | 粗砂粒僅か                     |
| 第104図<br>P L.66 | 6  | 土師器<br>罍            | N o 7<br>口縁部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(4.3)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | 口縁部は、弱く外反する。内外面横ナデ。   | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半?           |
| 第104図<br>P L.66 | 7  | 土師器<br>S字状口<br>縁合付罍 | N o 7<br>台部1/2         | 口径<br>底径<br>高さ | (9.6)<br>—<br>(7.7)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色         | 台部は「ハ」の字状に開き、端部は折り返し。外面刷毛目状工具によるナデ。   | 粗砂粒僅か<br>4世紀前半~<br>5世紀後半? |
| 第104図<br>P L.66 | 8  | 土師器<br>高坏           | N o 3・5・6<br>腹部欠損      | 口径<br>底径<br>高さ | 16.7<br>—<br>(11.9)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色           | 口縁部は直立し、坏部上位は外傾して開く。胴部は長筒で「ハ」の字状に開く。外面ヘラナデ後工具による磨き、内面横ナデ後工具による磨き。                   | 5世紀前半?                    |
| 第104図<br>P L.66 | 9  | 土師器<br>高坏           | N o 3・6<br>坏~胴部<br>1/2 | 口径<br>底径<br>高さ | (19.8)<br>—<br>(12.1) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色             | 口縁部は直立し、坏部上位は外傾して開く。胴部は短筒で「ハ」の字状に開く。外面ヘラナデ後工具による磨き、内面刷毛目。                           | 5世紀前半~<br>6世紀前半           |
| 第104図<br>P L.66 | 10 | 土師器<br>高坏           | N o 26・覆土<br>脚部1/2     | 口径<br>底径<br>高さ | (17.0)<br>—<br>(8.1)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色             | 胴部は縦やかに広がり、腹部は段を持ち屈曲し開く。外面胴部下位~腹部横ナデ後工具による磨き、腹部端部横ナデ、内面刷毛目、胴部下位~腹部横ナデ。              | 6世紀後半?                    |

|                 |    |                |               |                               |                          |                                   |                  |
|-----------------|----|----------------|---------------|-------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|------------------|
| 第104図<br>P L.66 | 11 | 土師器<br>高坏      | N o 26<br>胴部片 | 口径 —<br>底径 (14.0)<br>高さ (2.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色 | 裾部は「ハ」の字状に開く。外面ナデ後工具による磨き、内面横ナデ。  | 5世紀?             |
| 第104図<br>P L.66 | 12 | 土師器<br>ミニチュア土器 | 覆土<br>ほぼ完形    | 口径 4.0<br>底径 4.0<br>高さ 3.0    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色   | 手捏ね製成形。外面ヘラナデ、内面滑ナデとヘラナデ。         | 粗砂粒僅か<br>古墳時代後期? |
| 第105図<br>P L.66 | 13 | 須恵器<br>大型甕     | N o 3<br>胴部片  | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (28.4)     | ①微砂粒僅か 緻密<br>②還元焰<br>③灰色 | 外面並行叩き目、上中位は自然熱に砂粒が着る、内面青海波とヘラナデ。 |                  |

#### 5区 16号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                     | ①粘土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴   | 備考     |
|-----------------|----|----------|--------------|---------------------------------|------------------------|---|--------|
| 第106図<br>P L.66 | 1  | 土師器<br>甕 | P 2<br>口縁部片  | 口径 — (16.0)<br>底径 —<br>高さ (4.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色 | 有段口縁。口縁部は大きく外反し、口唇部に短い段を有す。外面口縁部横ナデ、内面ナデ後工具による磨き。 | 5世紀後半? |

#### 5区 17号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態               | 計測値<br>(cm)                     | ①粘土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴  | 備考               |
|-----------------|----|------------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------|--|------------------|
| 第108図<br>P L.66 | 1  | 土師器<br>坏   | N o 1<br>1/3               | 口径 — (14.0)<br>底径 —<br>高さ 3.8   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は段を有し弱く外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ。                           | 6世紀後半～<br>7世紀前半? |
| 第108図<br>P L.66 | 2  | 須恵器<br>甕   | 掘り方・覆土<br>1/2              | 口径 15.0<br>底径 —<br>高さ 4.8       | ①粗・微砂粒中量<br>②還元焰<br>③灰色   | 輪軸成形後へう調整、回転へう起こし。受け口縁で、腹部が張り体部は直線的に立ち上がる。底部丸底。内面口縁部1条染指が走る。                 | 6世紀前半?<br>7世紀    |
| 第108図<br>P L.66 | 3  | 土師器<br>甕   | N o 4・18<br>口縁・胴部          | 口径 — 14.0<br>底径 — (9.8)         | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は短く僅かに外反し、小さな唇部を持ち胴部の張りは小さい。器面一部潤滑。外面口縁部横ナデ、胴部縦方向へう割り、内面ナデ。吸気。            | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半?  |
| 第108図<br>P L.67 | 4  | 土師器<br>甕   | 掘り方<br>N o 4・5<br>胴部       | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (13.3)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色  | 外面斜方向へう割り、内面ヘラナデ後工具による磨き。  | 3mm程度の縦線かを含む     |
| 第108図<br>P L.67 | 5  | 土師器<br>甕   | 掘り方<br>N o 13・覆土<br>口縁・胴部片 | 口径 — (14.8)<br>底径 —<br>高さ (9.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口縁部は外反し、口唇部はやや平坦、胴部は膨らみを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へう割り後ナデ、内面ヘラナデ。                     | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半?  |
| 第108図<br>P L.67 | 6  | 土師器<br>長胴甕 | N o 3・掘り方<br>1/2           | 口径 21.0<br>底径 6.3<br>高さ 34.5    | ①粗・微砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は短く僅かに外反し、体部中位に張りがある。底部平底。器面が荒れている為一部剥離。外面口縁部横ナデ、胴部長い縦方向へう割り後ナデ、内面弱いヘラナデ。 |                  |
| 第108図<br>P L.67 | 7  | 須恵器<br>甕   | 17住内 2土坑<br>胴部片            | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (5.6)        | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色   | 外面並行叩き目、内面青海波。   | 時期不明             |

#### 5区 18号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)                     | ①粘土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴  | 備考   |
|-----------------|----|----------|-----------------|---------------------------------|----------------------------|--|------|
| 第110図<br>P L.67 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁・体部片    | 口径 — (12.0)<br>底径 —<br>高さ (3.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は外傾する。外面口縁部ヘラナデ、体部へう割り、内面ナデ。                  |      |
| 第110図<br>P L.67 | 2  | 土師器<br>甕 | N o 1・覆土<br>胴部片 | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (14.0)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色 | 胴部中位に最大径。器面が荒れている為、器形類不明。外面斜方向のヘラナデかへう割り、内面ヘラナデ。 | 時期不明 |

## 5区 19号住居

| 拝啓番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種            | 出土位置<br>残存状態        | 計測値<br>(cm)                   | ①胎土②焼成③色調                           | 器形・技法等の特徴  | 備考               |
|-----------------|----|---------------------|---------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--|------------------|
| 第111図<br>P.L.67 | 1  | 土師器<br>環            | 握り方<br>口縁～体部<br>1/4 | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(13.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り後ナデ、内面横ナデ後工具による磨き。   | 5世紀後半            |
| 第111図<br>P.L.67 | 2  | 土師器<br>甕            | N o 2<br>2/3        | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>6.2    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部へう割り後ナデ、内面横ナデ後工具による磨き。内面覓れや割離あり。                            | 5世紀後半?           |
| 第111図<br>P.L.67 | 3  | 土師器<br>S字状口<br>縁台付甕 | N o 2<br>口縁部片       | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(3.4)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | S字状口縁で、胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部刷毛目状工具によるナデ、内面ナデ。やや割離な作り。   |                  |
| 第111図<br>P.L.67 | 4  | 土師器<br>鉢            | 握り方<br>口縁部片         | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(4.3)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 口縁部はやや内傾気味に直立する。口唇部は丸く器際。外面口縁部横ナデ、沈線2条筋る。内面横ナデ。  | 粗砂粒僅か<br>6世紀後半?  |
| 第113図<br>P.L.67 | 5  | 土師器<br>小型甕          | N o 3<br>口縁部片       | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(3.3)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は外反す。胴部はやや膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部横方向のヘラナデ、内面ヘラナデ。   | 6世紀後半            |
| 第113図<br>P.L.67 | 6  | 土師器<br>甕            | 握り方<br>口縁部片         | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(15.0) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③外にぶい黄褐色<br>内 褐色 | 口縁部はやや外反し、胴部膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部ナデ、内面横ナデ。   | 5世紀後半～<br>6世紀前半  |
| 第113図<br>P.L.67 | 7  | 土師器<br>甕            | 握り方<br>口縁～肩部片       | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(7.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は外反し、胴部膨らむ。外面口縁部横ナデ、肩部ヘラナデ、胴部へう割り後ナデ、内面横ナデ。   | 粗砂粒僅か<br>6世紀後半   |
| 第113図<br>P.L.67 | 8  | 土師器<br>甕            | N o 3<br>口縁～肩部片     | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(4.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 口縁部は外反する。外面口縁部横ナデ、胴部横ナデ、胴部縦方向ヘラナデ、内面横ナデ。   | 5世紀?             |
| 第113図<br>P.L.67 | 9  | 土師器<br>高坏           | N o 4<br>1/3        | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(14.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は直立し、坏部上半は外傾して開き、胴部は長筒で胴部は長く「ハ」の字状に開く。器面が覓れている為一部整形不明。外面口縁部～体部～胴部ナデ後ヘラによる磨き、内面坏部ナデ後ヘラ磨き、胴部ヘラナデ。 | 5世紀後半～<br>6世紀前半? |

## 5区 20号住居

| 拝啓番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)                  | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴  | 備考    |
|-----------------|----|----------|----------------|------------------------------|--------------------------|--|-------|
| 第115図<br>P.L.68 | 1  | 土師器<br>環 | N o 1<br>口縁～体部 | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(5.4) | ①細・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色 | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ後工具による磨き。 | 5世紀後半 |

## 5区 21号住居

| 拝啓番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態            | 計測値<br>(cm)                   | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴   | 備考             |
|-----------------|----|----------|-------------------------|-------------------------------|--------------------------|---|----------------|
| 第118図<br>P.L.68 | 1  | 土師器<br>環 | 甕・握り方<br>1/5            | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(14.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色   | 口縁部は外傾し、体部は直線的に屈曲しながら立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面横ナデ。 |                |
| 第118図<br>P.L.68 | 2  | 土師器<br>甕 | N o 1・2<br>口縁～胴部<br>1/2 | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(14.0) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色   | 口縁部は外傾し、胴部上位に張りを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へう割り後ナデ、内面横ナデ。   | 8世紀後半～<br>9世紀頃 |
| 第118図<br>P.L.68 | 3  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>底部1/2             | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(5.9)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄褐色 | 底部平底。器厚。内外面ヘラナデ、底部窪減の為不明。                         | 時期不明           |
| 第118図<br>P.L.68 | 4  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>底部1/6             | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(1.1)  | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③褐色  | 輪軸成形(回転方向不明)。付け高台。高台の断面は台形。                       | 時期不明           |
| 第118図<br>P.L.68 | 5  | 土師器<br>甕 | 420-070G<br>底部片         | 口徑<br>底径<br>高さ<br>—<br>(1.5)  | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③褐色  | 輪軸成形(回転方向不明)。付け高台。高台の断面は台形。                       | 時期不明           |



|                 |   |                   |                |                |                      |                            |  |        |
|-----------------|---|-------------------|----------------|----------------|----------------------|----------------------------|--|--------|
| 第118回<br>P.L.68 | 6 | 土師器<br>坏?<br>カワケ? | 覆土<br>口縁~底部    | 口径<br>底径<br>高さ | (8.2)<br>4.4<br>2.5  | ①細・微砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい褐色 | 轆轤成形(右回転)。底部回転糸切り。口縁部は外反し、腹部・体部は直線的に立ち上がる。 | 時期不明   |
| 第118回<br>P.L.68 | 7 | 須恵器<br>壺          | N o 6<br>裾部灰釉  | 口径<br>底径<br>高さ | (22.0)<br>—<br>(3.5) | ①粗・微砂粒少量<br>②還元塩<br>③灰白色   | 轆轤成形。口縁部はやや外傾し、体部は緩やかに湾曲し口唇部は折れる。外面自然釉。    | 8世紀後半? |
| 第118回<br>P.L.68 | 8 | 須恵器<br>壺          | N o 3・7<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(5.0)<br>(4.2)  | ①粗・微砂粒少量<br>②還元塩<br>③灰色    | 轆轤成形(右回転)。須恵部3段回転ヘラ削り。横み横ナデ。体部は緩やかに湾曲する。   | 8世紀後半? |

## 5区 23号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴                | 備考  |       |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|-----------------|--------------------------|---|-------|
| 第119回<br>P.L.68 | 1  | 須恵器<br>壺 | 焼土<br>胴部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.7) | ①細・微砂粒少量<br>②還元塩<br>③灰色  | 外面並行明き目、内面青海敢。                                      | 時期不明  |
| 第119回<br>P.L.68 | 2  | 埴輪<br>円筒 | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.5) | ①細・微砂粒中量<br>②良好<br>③明赤褐色 | 胴部片、突帯1条高る。突帯下部のナゲが強い。外面粗い刷毛目状工具による縦刷毛後ヘラナデ、内面ヘラナデ。 | 粗砂粒僅か |

## 5区 24号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴                 | 備考   |       |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|-----------------|---------------------------|--|-------|
| 第120回<br>P.L.68 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆覆土<br>口縁部片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.2) | ①細・微砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ後工具による磨き。               | 6世紀後半 |
| 第120回<br>P.L.68 | 2  | 埴輪<br>円筒 | 覆覆土<br>破片    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 胴部片、突帯1条高る。器面が荒れている為整形痕不明瞭。外面突帯の上下ヘラナデ、細かい刷毛目有り、赤色塗彩の可能性有り、内面ヘラナデ。 |       |

## 5区 25号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態          | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                           | 備考  |                     |
|-----------------|----|----------|-----------------------|----------------|----------------------|-------------------------------------|---|---------------------|
| 第123回<br>P.L.68 | 1  | 土師器<br>坏 | 22径<br>口縁~体部片         | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>—<br>(4.4) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 口縁部は、段と轆轤を持ち外傾し、体部はやや丸味を帯びる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ヘラナデ、吸灰。  | 6世紀後半               |
| 第123回<br>P.L.68 | 2  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>口縁~体部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(4.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は外反し、体部は直線的で有る。外面口縁部横ナデ、体部回転ヘラ削り、内面体部下位に比線2条高る。      | 10世紀後半              |
| 第123回<br>P.L.68 | 3  | 土師器<br>坏 | N o 17・覆土<br>口縁部1/3   | 口径<br>底径<br>高さ | (14.4)<br>—<br>(3.7) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は外反する。内外面横ナデ。  | 6世紀後半?              |
| 第123回<br>P.L.68 | 4  | 須恵器<br>筒 | N o 22・覆土<br>2/3      | 口径<br>底径<br>高さ | 10.3<br>6.0<br>3.8   | ①粗・微砂粒少量<br>②酸化塩<br>③外にぶい黄褐色<br>内黒色 | 轆轤成形(回転方向不明)。付け高台。口縁部は外反し、体部は直線的に立ち上がる。高台は「ハ」の字状に開く。内照。 | 10世紀後半~11世紀         |
| 第123回<br>P.L.68 | 5  | 土師器<br>坏 | P 6<br>口縁部片           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(2.5)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外状黄褐色<br>内褐色    | 口縁部に段を持ち、外反気味に立ち上がる。外面口縁部ヘラナデ、体部ヘラ削り。                   | 粗砂粒僅か<br>6世紀頃       |
| 第123回<br>P.L.68 | 6  | 須恵器<br>坏 | N o 4<br>口縁~底部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ | (14.5)<br>6.6<br>4.5 | ①細・微砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい褐色          | 轆轤成形(右回転)。回転糸切り後外面ヘラ調整。体部丸味を帯びて立ち上がり、口縁部外反する。           | 10世紀頃               |
| 第123回<br>P.L.68 | 7  | 須恵器<br>坏 | N o 6<br>底部           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>6.0<br>(1.4)    | ①粗・微砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい褐色          | 轆轤成形(右回転)。回転糸切り。  |                     |
| 第123回<br>P.L.68 | 8  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>口縁部片            | 口径<br>底径<br>高さ | (15.0)<br>—<br>(4.4) | ①粗砂粒僅か<br>②還元塩<br>③灰黄色              | 轆轤成形。体部は直線的に立ち上がり、口縁部は外反する。                             |                     |
| 第123回<br>P.L.68 | 9  | 土師器<br>壺 | 覆土<br>口縁~胴部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (25.0)<br>—<br>(6.6) | ①粗・微砂粒多量<br>②良好<br>③外黒褐色<br>内にぶい黄褐色 | 口縁部は外反し、体部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、体部斜方向ヘラ削り、内面横方向ヘラナデ。            | 3mm程度の微塵か含む<br>時期不明 |

|                  |    |              |                      |                |                            |                                  |   |                                |
|------------------|----|--------------|----------------------|----------------|----------------------------|----------------------------------|---|--------------------------------|
| 第12388<br>P L 68 | 10 | 土師器<br>土蓋    | No 25<br>口縁-胴部上<br>部 | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(27.0)<br>(11.1) | ①粗砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色            | やや粗雑な作り。口縁部は外反し、体部やや歪む。外面体部腹方向へ丸削り後、横ナデ、内面ヘラナデ。                       | 10世紀頃                          |
| 第12389<br>P L 68 | 11 | 土師器<br>壺     | 覆土<br>口縁部片           | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(16.0)<br>(3.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③におい黄褐色       | 口縁部やや外傾する。外面口縁部横ナデ、胴部腹方向へ丸削り、内面横ナデ。                                   | 10世紀頃                          |
| 第12389<br>P L 69 | 12 | 土師器<br>羽釜    | No 6<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(5.6)            | ①粗・細砂粒中量<br>②酸化焙<br>③橙褐色         | 口縁部は直立する。内外面ヘラナデ。   | 10世紀頃                          |
| 第12389<br>P L 69 | 13 | 土師器<br>羽釜    | No 10<br>口縁部片        | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(18.0)<br>(4.7)  | ①粗砂粒僅か<br>②微砂粒多量<br>③酸化焙<br>④橙褐色 | 口縁やや内傾する。外面口縁部横ナデ、体部横ナデ、内面ヘラナデ。                                       | 10世紀頃                          |
| 第12389<br>P L 69 | 14 | 土師器<br>羽釜    | 覆土<br>口縁部片           | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(18.8)<br>(7.5)  | ①粗砂粒多量<br>②酸化焙<br>③橙褐色           | 口縁やや内傾する。外面口縁部横ナデ、体部斜方向ナデ、内面ヘラナデ。                                     | 10世紀頃                          |
| 第12389<br>P L 69 | 15 | 土師器<br>埴     | P 2<br>底部            | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(3.5)            | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色         | 器面の荒れが激しい。体部は丸味を帯びて立ち残る。外面上部の白色の残りは、塗彩の痕跡と思われるが、本来の色は不明。              | 粗砂粒僅かに含む。<br>7世紀後半?            |
| 第12389<br>P L 69 | 16 | 須恵器<br>壺     | P 2<br>胴部片           | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(4.7)            | ①細・微砂粒僅か<br>②還元焙<br>③灰褐色         | 外面並行叩き、内面青海波。   | 時期不明                           |
| 第12389<br>P L 69 | 17 | 須恵器<br>壺     | No 1・P 4<br>胴部-底部片   | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(5.6)            | ①細・微砂粒少量<br>②還元焙<br>③灰褐色         | 外面並行叩き、内面ヘラナデ。  |                                |
| 第12489<br>P L 69 | 18 | 形象埴輪<br>楕形埴輪 | No 5・8・16            | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(17.5)           | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙褐色          | 盾形埴輪上部破片。文様なし。髷縁の張り出し残る。外面上部の白色の残りは、塗彩の痕跡と思われるが、本来の色は不明。              | 56土坑・No 2・5と接合                 |
| 第12489<br>P L 69 | 19 | 形象埴輪<br>楕形埴輪 | No 7・27<br>破片        | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(17.0)           | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③におい橙褐色       | 盾形埴輪上部破片。文様なし。髷縁の張り出し残る。外面上部の白色の残りは、塗彩の痕跡と思われるが、本来の色は不明。              | 3～5mm程の隙間に含む。<br>56土坑・No 1・5接合 |
| 第12489<br>P L 69 | 20 | 埴輪<br>円筒     | No 1<br>破片           | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(5.4)            | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③におい橙褐色       | 胴部片。外面粗い縦刷毛後、隆起の大きな突帯、突帯上下ナデ、内面粗い目の斜め刷毛後ナデ。                           | 3mm程の隙間に含む。                    |
| 第12489<br>P L 69 | 21 | 埴輪<br>円筒     | 覆土<br>破片             | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(5.5)            | ①粗砂粒僅か<br>②良好<br>③橙褐色            | 胴部片。突帯1条走る。突帯の隆起低い。突帯上下に横ナデ、刷毛目不明。                                    |                                |
| 第12589<br>P L 69 | 22 | 埴輪           | No 11<br>破片          | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(11.0)           | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色         | 外面細い目による縦刷毛。段が明瞭で突帯1条走る。内面粗い目の斜め刷毛。赤色塗彩の可能性有り。                        |                                |
| 第12589<br>P L 69 | 23 | 埴輪<br>円筒     | No 1<br>破片           | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(11.0)           | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙褐色          | 口縁部片。外面細い縦刷毛後、1条の突帯を明確に構成する突帯有り。円孔達かし、口縁部横ナデ、内面やや粗い目の斜め刷毛目後、口縁部横ナデ。   | 赤色塗彩<br>6世紀前半                  |
| 第12589<br>P L 69 | 24 | 埴輪           | No 8・9・12<br>破片      | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(15.0)<br>(15.7) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙褐色          | 底部片。外面粗い縦刷毛工具によるナデ、内面ヘラナデ。  | 3～5mm程の隙間に含む。                  |
| 第12589<br>P L 69 | 25 | 埴輪<br>円筒     | No 3・覆土<br>破片        | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(11.5)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙褐色          | 胴部片。突帯1条走る。突起は低い。外面摩擦激しく、目のやや粗い縦刷毛が微かに観察出来る。内面粗い目の斜め刷毛工具による斜め刷毛、ナデ有り。 | 3～5mm程の隙間に含む。                  |
| 第12589<br>P L 69 | 26 | 埴輪<br>円筒     | No 1・覆土<br>破片        | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(10.8)           | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③橙褐色          | 底部片。外面粗い目による縦刷毛、内面指頭によるナデ。  |                                |
| 第12589<br>P L 69 | 27 | 埴輪<br>円筒     | No 5<br>破片           | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(7.8)            | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③におい橙褐色       | 胴部片。外面やや粗い縦刷毛、円孔の造かし有り、内面ナデ。  | 3～5mm程の隙間に含む。                  |

|                 |    |              |              |                |                    |                          |   |      |        |
|-----------------|----|--------------|--------------|----------------|--------------------|--------------------------|---|------|--------|
| 第126回<br>P L 69 | 28 | 埴輪<br>円筒     | N o 2<br>破片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.1)    | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色   | 底部片、低位置突帯。突帯は最下位ギリギリに付ける。山形の突帯。粗い縦刷毛痕、突帯貼り付け。突帯上下ナダ、内面ナダ。 |      |        |
| 第126回<br>P L 69 | 29 | 埴輪<br>円筒     | N o 4<br>破片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(11.3)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色 | 胴部片。外面粗い刷毛、円孔?透かし、内面粗い目の斜め刷毛土部に有り、下位はナダ。                  | 赤色塗痕 | 5世紀頃   |
| 第126回<br>P L 69 | 30 | 鉄製品          | 覆土           | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 4.4<br>0.9<br>0.4  | 重さ 3.1g                  | 鑑   |      |        |
| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種     | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | 石材                 |                          | 器形・技法等の特徴   |      | 備 考    |
| 第125回<br>P L 69 | 31 | 石製品<br>磨石・磨石 | N o 3        | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 19.0<br>9.0<br>6.3 | 重さ 1370.8g               | 安山岩   |      |        |
| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種     | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | 石材                 |                          | 器形・技法等の特徴   |      | 備 考    |
| P L 69          | 32 | 埴成粘土塊        | 覆土           |                |                    | 重さ 2.4g                  |   |      | 写真のみ掲載 |
| P L 69          | 33 | 埴成粘土塊        |              |                |                    | 重さ 7.2g                  |   |      | 写真のみ掲載 |
| P L 69          | 34 | 埴成粘土塊        |              |                |                    | 重さ 11.2g                 |   |      | 写真のみ掲載 |
| P L 69          | 35 | 埴成粘土塊        | 覆土           |                |                    | 重さ 2.3g                  |   |      | 写真のみ掲載 |

#### 5区 26号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態     | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                          | 備 考   |                  |
|-----------------|----|----------|------------------|----------------|------------------------|------------------------------------|---|------------------|
| 第127回<br>P L 70 | 1  | 土師器<br>杯 | P 1<br>完形        | 口径<br>底径<br>高さ | 11.5<br>—<br>4.4       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | 口縁部は段を有し内傾気味に直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナダ、体部へラ削り、内面ナダ後工具による磨き。   | 7世紀前半?           |
| 第127回<br>P L 70 | 2  | 土師器<br>杯 | 覆土<br>1/4        | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(4.2)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色         | 口縁部は段を有し内傾気味に直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。器面が荒れている為、整形痕不明。外面口縁部横ナダ、内面ヘラナダ。                                 | 6世紀後半～<br>7世紀前半  |
| 第127回<br>P L 70 | 3  | 土師器<br>杯 | N o 2・5・8<br>2/3 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.7)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色         | 体部丸味を帯びて立ち上がる。外面へラ削り、内面ナダ後工具による磨き。吸灰。   | 6世紀後半～<br>7世紀前半? |
| 第127回<br>P L 70 | 4  | 土師器<br>罍 | 覆土<br>口縁部片       | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.4)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外灰黄色<br>内にぶい褐色 | 口縁部は外反し、胴部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナダ、胴部ヘラナダ。内面横ナダ後工具による磨き。接合部多数有り。   |                  |
| 第127回<br>P L 70 | 5  | 土師器<br>罍 | 覆土<br>1/2        | 口径<br>底径<br>高さ | (9.7)<br>8.3<br>(23.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | 胴部は寸割でやや歪み、下位に深い凹らみ有り。底部は平底で木蓋痕有り。全体的に粗雑な作り。内外面輪積み痕が明瞭。外面口縁部～胴上部斜方向へラナダ、中位～下位縦方向へラ削り、内面指ナダ後ヘラナダ、底部紋目。 | 6世紀前半～後半         |

## 5区 27号住居

| 押込番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態            | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                       | 器形・技法等の特徴   | 備考               |
|-----------------|----|-----------|-------------------------|---|---------------------------------|---|------------------|
| 第129図<br>P.L.70 | 1  | 土師器<br>坏  | 覆土<br>口縁～体部片            | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(14.0)<br>(4.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色         | 口縁部は直立気味、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面横ナデ。                                    | 6世紀後半            |
| 第129図<br>P.L.70 | 2  | 土師器<br>坏  | N○13<br>口縁～体部片          | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(13.0)<br>(3.4) | ①微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色        | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面横ナデ。                                     | 6世紀後半            |
| 第129図<br>P.L.70 | 3  | 土師器<br>坏  | N○16・覆土<br>口縁～体部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(14.0)<br>(3.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色          | 口縁部は段を有し直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ナデ？内面ヘラナデ。                                  | 6世紀前半～後半         |
| 第130図<br>P.L.70 | 4  | 須恵器<br>碗  | N○10<br>口縁～底部片          | 口径<br>底径<br>高さ<br>(10.0)<br>(6.0)<br>3.9    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③黒灰色         | 轆轤成形(回転方向不明)。底部回転糸切り後付け高台。口縁部は外傾し、腹部が張り体部は直線的に立ち上がり、高台は「ハ」の字状に大きく開く。全体的に丸味を帯びた台形。 | 8世紀?             |
| 第130図<br>P.L.70 | 5  | 土師器<br>甕  | 覆土<br>口縁部片              | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.5)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③黄褐色         | 口縁部は外傾し、口縁部下に縦10mm横18mm程の突帯を持つが、底部欠損の為詳細不明。胴部は彫りこむ。外面口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り後ナデ、内面ナデ。       | 時期不明             |
| 第130図<br>P.L.70 | 6  | 土師器<br>甕  | N○15<br>口縁～胴部片          | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(17.0)<br>(5.6) | ①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③外黒灰色<br>内褐色 | 口縁部は外反し、胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面ヘラナデ。   | 6世紀後半            |
| 第130図<br>P.L.70 | 7  | 土師器<br>甕  | N○24<br>口縁部片            | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(18.0)<br>(5.3) | ①細・微砂粒中量<br>②良好<br>③暗褐色         | 「コ」の字状口縁。胴部膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面ナデ。   | 9世紀前半            |
| 第130図<br>P.L.70 | 8  | 土師器<br>甕  | N○4<br>口縁～胴部片           | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(21.2)<br>(5.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色          | 口縁部は外反し、口管部は器厚、胴部は弱く膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り、内面ナデ。                                     | 6世紀後半            |
| 第130図<br>P.L.70 | 9  | 土師器<br>甕  | N○3・覆土<br>口縁部片          | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(20.0)<br>(4.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色          | 口縁部中に段を有し、密く外反する。器厚。外面口縁部横ナデ、内面削磨と並列の為整形不明。                                       | 粗砂粒僅か<br>7世紀前半   |
| 第130図<br>P.L.70 | 10 | 須恵器<br>壺  | N○26<br>1/5             | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(11.0)<br>(7.3) | ①細・微砂粒少量<br>②澄元塩<br>③黄灰色        | 轆轤成形。回転方向不明。口縁部は内傾し、胴部上位に最大径を持ち、沈線が1本走る。胴部下半ヘラによる調整。                              | 8世紀後半～<br>9世紀    |
| 第130図<br>P.L.70 | 11 | 土師器<br>高坏 | N○19<br>坏部片             | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(2.8)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色          | 口縁部は外反気味で下半は丸味を帯びて立ち上がる。外面坏縁上半横ナデ、下半部ヘラ削り、内面ナデ後工具による磨き。                           | 6世紀後半～<br>7世紀前半? |
| 第130図<br>P.L.70 | 12 | 土師器<br>高坏 | 覆土<br>胴部片               | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.9)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色          | 胴部上位に膨らみを持つ。外面ヘラナデ、内面紋目。  | 時期不明             |
| 押込番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態            | 計測値<br>(cm)                                 | 石材                              | 器形・技法等の特徴   | 備考               |
| 第130図<br>P.L.70 | 13 | 石器<br>石皿  | N○28                    | 縦<br>幅<br>厚さ<br>19.6<br>26.0<br>9.7         | 多孔質安山岩<br>重量 5336.3g            | 縄文時代石皿として使用し、その後古墳時代に台石として用いらたと考えられる。表面は平滑になっている。外面には敷き敷が多数見られる。裏面鉄分付着。           | 縄文時代             |
| 押込番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態            | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                       | 器形・技法等の特徴   | 備考               |
| P.L.70          | 14 | 焼成粘土塊     | 覆土                      |   | 重量 14.8g                        |   | 写真のみ掲載           |

|        |    |       |    |  |  |         |  |        |
|--------|----|-------|----|--|--|---------|--|--------|
| P L 70 | 15 | 焼成粘土塊 | 覆土 |  |  | 重さ 5.1g |  | 写真のみ掲載 |
| P L 70 | 16 | 焼成粘土塊 | 覆土 |  |  | 重さ 2.5g |  | 写真のみ掲載 |

## 5区 28号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態              | 計測値<br>(cm)                         | ①粘土②焼成③色調                      | 器形・技法等の特徴  | 備 考             |
|-----------------|----|----------|---------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|--|-----------------|
| 第133回<br>P L 70 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部<br>1/5        | 口径 — (12.4)<br>底径 —<br>高さ (3.4)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄褐色       | 口縁部は段を有し直立灰味で、体部は丸味を帯びて立ち上がる。器面は荒れている。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面横ナデ後工具による磨き。 | 6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第133回<br>P L 70 | 2  | 土師器<br>坏 | 甕掘り方<br>口縁～体部<br>1/4      | 口径 — (13.0)<br>底径 — (3.3)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外褐色<br>内褐色 | 口縁部は外反し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ヘラナデ。                       |                 |
| 第133回<br>P L 70 | 3  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>1/3                 | 口径 — (13.1)<br>底径 (7.6)<br>高さ (3.9) | ①粗・細砂粒僅か<br>②還元焰<br>③灰色        | 壺輪成形(回転方向不明)。口縁部は外反し、体部は直線の立ち上がる。底部回転ヘラ削り。                           | 9世紀前半           |
| 第133回<br>P L 71 | 4  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>底部                  | 口径 —<br>底径 8.0<br>高さ (2.5)          | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色        | 壺輪成形(回転方向不明)。底部回転糸切り後、ヘラ削り調整。  |                 |
| 第133回<br>P L 71 | 5  | 土師器<br>甕 | N o 10・覆土<br>口縁～胴部<br>1/5 | 口径 (20.0)<br>底径 — (10.0)            | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色       | 「コ」の字状口縁。外面口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面ヘラナデ。口縁部に接合痕有り。                        | 粗砂粒僅か<br>9世紀後半? |
| 第133回<br>P L 71 | 6  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁部片                | 口径 — (22.0)<br>底径 —<br>高さ (5.6)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色        | 「コ」の字状口縁。外面口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面ヘラナデ。接合痕有り。                            | 9世紀頃            |
| 第133回<br>P L 71 | 7  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁～胴部<br>1/3        | 口径 — (14.2)<br>底径 — (13.4)          | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色         | 口縁部は外反し、胴部は中位に最大径の膨らみを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部斜位方向ヘラ削り、内面上位横方向ヘラナデ、下位斜方向ヘラナデ。  | 7世紀前半           |
| 第133回<br>P L 71 | 8  | 須恵器<br>甕 | 掘り方<br>胴部片                | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (4.4)            | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色        | 外面磨き後一部ナデ、内面当て具痕。  |                 |
| 第133回<br>P L 71 | 9  | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>胴部片                 | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (5.8)            | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰白色       | 外面磨き痕、内面当て具痕。  |                 |
| 第133回<br>P L 71 | 10 | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>口縁～体部片              | 口径 — (11.5)<br>底径 — (3.0)           | ①粗・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色        | 壺輪成形(回転方向不明)。口縁部はやや外傾する。   |                 |
| 第133回<br>P L 71 | 11 | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>握み部                 | 握み部 (3.8)<br>底径 — (1.7)             | ①粗・細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色      | 壺輪成形。環状握み。体部は緩やかに湾曲する。   |                 |
| P L 71          | 12 | 焼成粘土塊    | 覆土                        |                                     |                                | 重さ 6.5g  | 写真のみ掲載          |
| P L 71          | 13 | 焼成粘土塊    | 覆土                        |                                     |                                | 重さ 10.1g   | 写真のみ掲載          |
| P L 71          | 14 | 焼成粘土塊    | 覆土                        |                                     |                                | 重さ 13.5g   | 写真のみ掲載          |

## 5区 30号住居

| 押印番号<br>図版番号   | 番号 | 類別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態          | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調             | 器形・技法等の特徴                           | 備 考   |                 |
|----------------|----|-------------|-----------------------|----------------|-----------------------|-------------------------------------|---|-----------------|
| 第135図<br>P.L71 | 1  | 土師器<br>坏    | N o 16<br>1/3         | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>—<br>(4.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰褐色             | 口縁部は内傾し、口唇部は段を有し平坦。<br>体部は丸味を持ち立ち上がる。底部丸底。<br>外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り。                          | 6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第135図<br>P.L71 | 2  | 土師器<br>坏    | N o 17・107<br>1/3     | 口径<br>底径<br>高さ | (14.4)<br>—<br>4.2    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色              | 口縁部は直立し口唇部は外反する。体部は<br>丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面<br>口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後工具による<br>磨き。内面ヘラナデ後工具による磨き。 | 7世紀前半?          |
| 第135図<br>P.L71 | 3  | 土師器<br>坏    | N o 10・覆土<br>口縁部1/3   | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(4.1)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 口縁部は外傾し、腹部が張り体部は丸味を<br>帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体<br>部ヘラ削り。                                    | 6世紀後半           |
| 第135図<br>P.L71 | 4  | 土師器<br>坏    | 覆土<br>口縁～体部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(4.6)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上る。<br>外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内<br>面ナデ。                                       | 6世紀後半           |
| 第135図<br>P.L71 | 5  | 土師器<br>坏    | 覆土<br>口縁～体部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(3.3)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 口縁部は外傾し、腹部が張り体部は直線的<br>に立ち上がる。器面が荒れている為成形不<br>明瞭。外面口縁部ナデ? 内面ヘラナデ。                       | 8世紀後半           |
| 第135図<br>P.L71 | 6  | 土師器<br>坏    | N o 11・覆土<br>口縁部1/3   | 口径<br>底径<br>高さ | (14.2)<br>—<br>(3.6)  | ①粗・微砂粒中量<br>②良好<br>③橙色              | 口縁部は直線気味で、体部は丸味を帯びて<br>立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ<br>削り、内面ナデ。                                  | 6世紀後半           |
| 第135図<br>P.L71 | 7  | 土師器<br>坏    | N o 1<br>口縁～体部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(3.7)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 口縁部は外反し皿状に開き、体部は丸味を<br>帯びて立ち上がる。やや扁平。外面口縁部<br>横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                          | 8世紀前半?          |
| 第135図<br>P.L71 | 8  | 土師器<br>坏    | N o 107<br>口縁～体部片     | 口径<br>底径<br>高さ | (10.0)<br>—<br>(3.8)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色              | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち<br>上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、<br>内面ヘラナデ。                                  | 8世紀前半?          |
| 第135図<br>P.L71 | 9  | 土師器<br>坏    | 掘り方・覆土<br>口縁～体部片      | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(4.6)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色              | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち<br>上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、<br>内面ヘラナデ。                                  |                 |
| 第135図<br>P.L71 | 10 | 須恵器<br>坏    | 覆土<br>口縁～体部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(3.1)  | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③外灰色<br>内にぶい黄褐色 | 轆轤成形(回転方向不明)。口縁部は外傾し、<br>体部は直線的に立ち上がる。  |                 |
| 第135図<br>P.L71 | 11 | 土師器<br>甕    | 覆土<br>口縁部片            | 口径<br>底径<br>高さ | (14.4)<br>—<br>(4.2)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色              | 口縁部は強く外反し、口唇部に沈線1条並<br>る。内外面横ナデ。  | 時期不明            |
| 第135図<br>P.L71 | 12 | 須恵器<br>甕    | N o 4<br>胴部片          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.2)       | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③にぶい褐色          | 外面並行引き目、内面磨き後磨めのヘラに<br>よるナデ。  |                 |
| 第135図<br>P.L71 | 13 | 土師器<br>高坏   | N o 18<br>脚部片         | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.7)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色              | 外面ヘラナデ、内面細かい刷毛目状工具に<br>よるナデ。  | 時期不明            |
| 第135図<br>P.L71 | 14 | ミニチュ<br>ア土器 | 覆土<br>1/2             | 口径<br>底径<br>高さ | 2.5<br>4.2<br>3.8     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 手捏ね成形。外面指ナデ、内面ヘラナデ。   | 古墳時代後期?         |
| 第136図<br>P.L72 | 15 | 土師器<br>長胴甕  | N o 9<br>口縁～胴部        | 口径<br>底径<br>高さ | (23.6)<br>—<br>(30.7) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 口縁部は外反し、胴部上位に張りを持つ。<br>外面口縁部横ナデ、胴部上位長い斜方向へ<br>ラ削り、下位斜方向ヘラ削り、内面ナデ。<br>接合痕有り。             | 8世紀前半           |
| 第136図<br>P.L72 | 16 | 土師器<br>長胴甕  | N o 9<br>2/3          | 口径<br>底径<br>高さ | 21.1<br>5.8<br>32.5   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | 口縁部は外反し、胴部上位に張りを持つ。<br>底部平底。器内が深い。外面口縁部横ナデ、<br>胴部斜方向ヘラ削り、内面ナデ。                          | 7世紀後半           |
| P.L71          | 17 | 焼成粘土        | N o 9                 |                |                       | 重さ 14.2g                            |   | 写真のみ掲載          |
| P.L71          | 18 | 焼成粘土        | N o 9                 |                |                       | 重さ 18.8g                            |   | 写真のみ掲載          |

|        |    |      |       |  |  |           |  |        |
|--------|----|------|-------|--|--|-----------|--|--------|
| P L 71 | 19 | 焼成粘土 | N o 9 |  |  | 重さ 9.7 g  |  | 写真のみ掲載 |
| P L 71 | 20 | 焼成粘土 | 覆土    |  |  | 重さ 11.4 g |  | 写真のみ掲載 |

### 5区 31号住居

| 押込番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態        | 計測値<br>(cm)                       | ①粘土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴  | 備 考              |
|-----------------|----|----------|---------------------|-----------------------------------|----------------------------|--|------------------|
| 第139回<br>P L 72 | 1  | 土師器<br>杯 | 覆土<br>口縁～底部片        | 口径 (11.8)<br>底径 (10.0)<br>高さ —    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色   | 口縁部は外傾し段を持つ。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り。                                | 7世紀前半            |
| 第139回<br>P L 72 | 2  | 土師器<br>杯 | 覆土<br>口縁～体部片        | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (2.3)          | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色     | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り、内面ナデ。                | 粗砂粒僅か<br>8世紀前半?  |
| 第139回<br>P L 72 | 3  | 土師器<br>杯 | N o 76<br>口縁～体部片    | 口径 (13.0)<br>底径 (8.0)<br>高さ (3.6) | ①細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色       | 口縁部は外傾し、腰部が張り丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り、内面横方向へラナデ。吸込。      | 粗砂粒僅か<br>7世紀頃    |
| 第139回<br>P L 72 | 4  | 土師器<br>杯 | 覆土<br>口縁～体部片        | 口径 (14.0)<br>底径 —<br>高さ (2.8)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は内湾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り。                     | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半   |
| 第139回<br>P L 72 | 5  | 土師器<br>杯 | N o 46<br>1/4       | 口径 (11.0)<br>底径 —<br>高さ (3.1)     | ①粗砂粒少量・細砂粒多量<br>②良好<br>③橙色 | 口縁部はやや内湾気味、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部斜・横方向へ丸り、内面ヘラナデ。 | 7世紀後半～<br>8世紀    |
| 第139回<br>P L 72 | 6  | 土師器<br>杯 | N o 50<br>1/3       | 口径 (11.2)<br>底径 (5.3)<br>高さ 4.3   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り、内面ナデ。接合痕有り。     |                  |
| 第139回<br>P L 72 | 7  | 土師器<br>杯 | 覆土・掘り方<br>覆土<br>1/6 | 口径 (11.2)<br>底径 (7.2)<br>高さ (4.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り、内面ヘラナデ。         | 7世紀後半～<br>8世紀前半  |
| 第139回<br>P L 72 | 8  | 土師器<br>杯 | N o 89<br>口縁～体部片    | 口径 (10.0)<br>底径 —<br>高さ (3.2)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は内湾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り、内面横ナデ。               | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半   |
| 第139回<br>P L 72 | 9  | 土師器<br>杯 | N o 7・覆土<br>口縁部 1/3 | 口径 (10.6)<br>底径 —<br>高さ (3.1)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は直立気味に立ち上がり、体部は丸味を帯びる。外面口縁部横ナデ、体部横方向へ丸り、内面ヘラナデ。         | 7世紀後半～<br>8世紀前半  |
| 第139回<br>P L 72 | 10 | 土師器<br>杯 | N o 14・16<br>1/2    | 口径 (11.2)<br>底径 —<br>高さ 3.3       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り、内面ナデ後工具による磨き。   | 5世紀後半～<br>6世紀前半? |
| 第139回<br>P L 72 | 11 | 土師器<br>杯 | 覆土<br>口縁～体部片        | 口径 (12.0)<br>底径 —<br>高さ (2.7)     | ①粗・微砂粒多量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部はやや内湾気味、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部斜方向へ丸り。          | 7世紀後半～<br>8世紀前半  |
| 第139回<br>P L 72 | 12 | 土師器<br>杯 | N o 85・86<br>口縁～体部片 | 口径 (11.2)<br>底径 —<br>高さ (3.0)     | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部はやや内湾気味、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り、内面ヘラナデ。      | 7世紀～8世紀          |
| 第139回<br>P L 72 | 13 | 土師器<br>杯 | 覆土<br>口縁～体部<br>1/4  | 口径 (12.4)<br>底径 —<br>高さ (3.4)     | ①粗・微砂粒多量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯び立ち上がり、底部は厚みを持つ。外面口縁部横ナデ、体部斜方向へ丸り、内面ヘラナデ。 | 7世紀後半～<br>8世紀前半  |
| 第139回<br>P L 72 | 14 | 土師器<br>杯 | N o 22<br>口縁～体部片    | 口径 (13.0)<br>底径 —<br>高さ (3.7)     | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部はやや内湾気味、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部へ丸り、内面ヘラナデ。      | 7世紀後半～<br>8世紀前半  |
| 第139回<br>P L 72 | 15 | 土師器<br>杯 | N o 8<br>1/3        | 口径 (13.2)<br>底径 —<br>高さ 3.9       | ①細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 口縁部は短く内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ。             | 7世紀後半?           |

|                 |    |                     |                        |                |                         |                       |  |  |        |
|-----------------|----|---------------------|------------------------|----------------|-------------------------|-----------------------|--|--|--------|
| 第139回<br>P.L.72 | 16 | 土師器<br>坏            | 覆土<br>口縁～体部片           | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (14.0)<br>(2.8)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色                            | 口縁部は内湾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へナデ。                                     | 7世紀後半  |
| 第139回<br>P.L.72 | 17 | 土師器<br>坏            | N o 19<br>口縁部片         | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (13.6)<br>(3.0)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色                               | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へナデ、内面ヘラナデ後工具による磨き。                      |        |
| 第139回<br>P.L.72 | 18 | 土師器<br>坏            | N o 69<br>口縁～体部片       | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (17.7)<br>(3.3)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明褐色                              | 口縁部は外反し、腰部に張りを持ち、体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へナデ、内面ナデ。                         | 古墳時代後期 |
| 第139回<br>P.L.73 | 19 | 土師器<br>S字状口<br>縁台付委 | 覆土・掘り方<br>口縁部片         | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (14.2)<br>(5.0)       | ①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③灰黄褐色                             | S字状口縁、胴部膨らむ。外面口縁部横ナデ、体部剛毛目状工具による整形、内面口縁部横ナデ、体部ナデ。                          | 古墳時代後期 |
| 第139回<br>P.L.73 | 20 | 土師器<br>壺            | N o 57<br>口縁～胴部片       | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (18.0)<br>(6.7)       | ①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③橙色                               | 口縁部は外反し、内面に弱い段を有す。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へナデ、内面ナデ。                                  |        |
| 第139回<br>P.L.73 | 21 | 土師器<br>壺            | N o 30<br>口縁～胴部片       | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (19.0)<br>(6.2)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色                           | 口縁部は受け口状に外反し、胴部はやや膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部へナデ、内面ヘラナデ。                               |        |
| 第139回<br>P.L.73 | 22 | 土師器<br>壺            | N o 48<br>口縁～胴部片       | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (19.0)<br>(7.8)       | ①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい橙色                            | 口縁部は外反し、上部に1条の稜線が走る。胴部はやや膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部指ナデ、胴部へナデ、内面横ナデ。                   | 7世紀前半? |
| 第139回<br>P.L.73 | 23 | 土師器<br>壺            | N o 58<br>口縁～胴部<br>1/3 | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (22.0)<br>(8.9)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明褐色                              | 口縁部は外反し、体部はやや膨らむ。器面がやや荒れている為、整形痕不明瞭。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へナデ、内面口縁部に1条稜線が走る。胴部横ナデ。 | 7世紀前半  |
| 第139回<br>P.L.73 | 24 | 土師器<br>高坏           | N o 79<br>胴部           | 口徑<br>底徑<br>高さ | —<br>—<br>—             | (8.5)                 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色                               | 器面が荒れている。外面へナデ、内面ヘラナデ。   |        |
| 第139回<br>P.L.73 | 25 | 鉄製品<br>刀子           | 覆土                     | 長さ<br>幅<br>厚さ  | (4.8)<br>(1.1)<br>(0.7) | 重量 5.8 g              |  |  |        |
| 棒図番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種            | 出土位置<br>残存状態           | 計測値<br>(cm)    | 石材                      | 器形・技法等の特徴             | 備 考  |  |        |
| 第139回<br>P.L.73 | 26 | 石製品<br>敲石           | 覆土                     | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 8.3<br>6.3<br>4.7       | ホルンフェルス<br>重さ 282.3 g | 両側面に敲打痕。表裏面に摩滅痕有り。                                   |  |        |
| 第140回<br>P.L.73 | 27 | 石製品<br>磨石           | 覆土                     | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 10.2<br>4.5<br>3.8      | 砂岩<br>重さ 260.6 g      | 右側縁・両先端部に敲打痕。  |  |        |
| 第140回<br>P.L.73 | 28 | 石製品<br>砥石           | N o 102                | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 9.0<br>5.9<br>4.4       | 流紋岩<br>重さ 313.3 g     | 鉄器用、5面使用、中位が著しく磨滅する。接痕は、長軸方向を主としている。端部に刃部調整痕が多数見られる。 |  |        |
| 第140回<br>P.L.73 | 29 | 石製品<br>刷形石製品        | N o 12                 | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 4.3<br>2.0<br>0.6       | 滑石質蛇紋岩<br>重量 5.8 g    | 孔一穴、孔径1 cm。表面から片側穿孔。表面四面、側面、裏面に工作痕が残る。               |  |        |
| P.L.73          | 30 | 鉄関連遺物<br>鉄滓         | 覆土                     |                |                         | 重さ 193.4 g            |  |  | 写真のみ掲載 |
| 棒図番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種            | 出土位置<br>残存状態           | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴             | 備 考  |  |        |
| P.L.73          | 31 | 焼成粘土塊               | 覆土                     |                |                         | 重さ 7.6 g              |  |  | 写真のみ掲載 |
| P.L.73          | 32 | 焼成粘土塊               | 覆土                     |                |                         | 重さ 11.2 g             |  |  | 写真のみ掲載 |
| P.L.73          | 33 | 焼成粘土塊               | 覆土                     |                |                         | 重さ 16.1 g             |  |  | 写真のみ掲載 |



|        |    |      |       |  |  |         |  |        |
|--------|----|------|-------|--|--|---------|--|--------|
| P L 73 | 34 | 焼成粘土 | 覆土    |  |  | 重さ 3.5g |  | 写真のみ掲載 |
| P L 73 | 35 | 焼成粘土 | 覆土    |  |  | 重さ 7.9g |  | 写真のみ掲載 |
| P L 73 | 36 | 焼成粘土 | 掘り方覆土 |  |  | 重さ 6.9g |  | 写真のみ掲載 |

### 5区 33号住居

| 押出番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態             | 計測値<br>(cm)                   | ①粘土②焼成③色調                   | 器形・技法等の特徴  | 備 考                               |
|-----------------|----|------------|--------------------------|-------------------------------|-----------------------------|--|-----------------------------------|
| 第1428<br>P L 73 | 1  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁-体部片             | 口径 (10.6)<br>底径 —<br>高さ (3.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色    | 口縁部は段を有し、直立気味に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部斜方向へ削り、内面ナデ。  | 7世紀前半?                            |
| 第1428<br>P L 73 | 2  | 土師器<br>坏   | N o 3<br>ほぼ定形            | 口径 12.0<br>底径 6.0<br>高さ 3.5   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色      | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部平底。やや扁平。外面口縁部横ナデ、体部へ削り、内面横ナデ。接合痕有り。                       | 9世紀頃                              |
| 第1428<br>P L 73 | 3  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁-体部片             | 口径 (12.0)<br>底径 —<br>高さ (3.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色      | 口縁部はやや短く内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へ削り、内面ナデ。                                    | 7世紀後半                             |
| 第1428<br>P L 73 | 4  | 土師器<br>坏   | 掘り方覆土<br>口縁-体部<br>1/4    | 口径 (10.0)<br>底径 —<br>高さ (2.9) | ①細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③橙色      | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へ削り、内面ナデ後工具による磨き。                                | 7世紀後半                             |
| 第1438<br>P L 73 | 5  | 須恵器<br>坏   | 覆土<br>2/3                | 口径 13.0<br>底径 6.9<br>高さ 3.2   | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色     | 罐罐成形(右回転)。口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。底部糸切後、周廻削り。   |                                   |
| 第1438<br>P L 73 | 6  | 須恵器<br>坏   | N o 12・13<br>ほぼ定形        | 口径 12.5<br>底径 7.2<br>高さ 3.6   | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色     | 罐罐成形(右回転)。口縁部は外傾し、腰部に張り上げる。体部は丸味を帯びて立ち上がる。周縁部に削り。底部糸切未切り。                          |                                   |
| 第1438<br>P L 73 | 7  | 土師器<br>椀   | 覆土<br>1/3                | 口径 (16.2)<br>底径 —<br>高さ (8.5) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色      | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。内外面に潤滑有り。外面口縁部横ナデ、体部斜方向へ削り、内面ナデ。                            | 3～5cmの窪を僅かに含む。<br>6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第1438<br>P L 73 | 8  | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁-胴部<br>1/3       | 口径 (20.5)<br>底径 —<br>高さ (7.0) | ①粗・細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 「コ」の字状口縁。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へ削り。  | 9世紀頃                              |
| 第1438<br>P L 74 | 9  | 土師器<br>甕   | N o 7<br>口縁部片            | 口径 (19.6)<br>底径 —<br>高さ (3.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色      | 口縁部は外反し、口唇部外面に沈線有り。接合痕有り。内外面ヘラナデ。  |                                   |
| 第1438<br>P L 74 | 10 | 土師器<br>甕   | N o 9・覆土<br>胴部-底部<br>1/2 | 口径 —<br>底径 (3.8)<br>高さ (20.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色   | 胴部上位に最大径を持つ。底部小さい平底。器内薄い。外面胴部上位斜方向へ削り、下位縦方向へ削り、内面横ナデ。                              | 8世紀後半～<br>9世紀前半?                  |
| 第1438<br>P L 74 | 11 | 土師器<br>埴   | 覆土<br>口縁-胴部<br>1/3       | 口径 (11.4)<br>底径 —<br>高さ (5.3) | ①粗・細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口縁部は直線的に外傾し、体部は球形と推定される。器面が荒れている為、整形不明瞭。口縁部外面縦・斜方向へ削り、胴部横ナデ、体部縦方向へ削り、内面ヘラナデ。一部へ削り。 |                                   |
| 第1438<br>P L 74 | 12 | 須恵器<br>壺   | 覆土<br>胴部片                | 口径 (14.0)<br>底径 —<br>高さ (0.8) | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色     | 罐罐成形(回転方向不明)。揃み部欠損の為詳細不明。  | 時期不明                              |
| 第1438<br>P L 74 | 13 | 土師器<br>甕   | 覆土<br>底部1/2              | 口径 —<br>底径 (5.8)<br>高さ (1.8)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色    | 底部中央に11mm程の單孔が有る。外面胴部横ナデ、底部へ削り、内面ナデ。   | 古墳時代後期?                           |
| 押出番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態             | 計測値<br>(cm)                   | 石材                          | 器形・技法等の特徴  | 備 考                               |
| 第1438<br>P L 74 | 14 | 石製品<br>紡錘車 | N o 10<br>未製品            | 長さ 3.5<br>幅 0.8<br>厚さ 3.9     | 片岩質蛇紋岩<br>重さ 17.1g          | 成形時の窪かい削痕を残す。未完成品の為か孔はない。下面に敲打痕有り。表裏両面に先円痕有り。                                      |                                   |

|                 |    |             |       |               |                   |                       |  |
|-----------------|----|-------------|-------|---------------|-------------------|-----------------------|--|
| 第143図<br>P.L.74 | 15 | 石製品<br>砥石   | No.15 | 長さ<br>幅<br>厚さ | 8.2<br>4.2<br>2.4 | 流紋岩<br><br>重さ 140.1g  | 鉄器用 5面使用、中位が著しく磨減する。擦痕は、長軸方向を主としている。刃部調整痕が多数見られる。上部割部、中央部斜方向に孔があく。孔径0.9cm、中央部より折れる。両面穿孔。 |
| 第143図<br>P.L.74 | 16 | 石製品<br>紡錘車? | No.5  | 長さ<br>幅<br>厚さ | 5.9<br>3.3<br>2.0 | 軽石<br><br>重さ 17.4g    | 中央部孔一穴、孔径約1.5cm。表面、側面、裏面に工作痕・研磨痕が残る。   |
| 第141図<br>P.L.74 | 17 | 石製品<br>勾玉   | 覆土    | 長さ<br>幅<br>厚さ | 5.0<br>1.9<br>0.4 | 片岩質蛇紋岩<br><br>重さ 7.3g | 扁平。片割穿孔。孔径0.2cm。表面、裏面に縦方向の工作痕が残る。背面の研磨痕・敲打痕は明確。  |

#### 5区 35号住居

| 探検番号<br>図版番号    | 番号 | 類別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調        | 器形・技法等の特徴                 | 備考   |        |
|-----------------|----|------------|---------------|----------------|------------------|---------------------------|--|--------|
| 第144図<br>P.L.74 | 1  | 土師器<br>環   | 覆土<br>口縁一部破片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(2.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部はやや外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面寬れの角整形不明。       |        |
| 第144図<br>P.L.74 | 2  | 土師器<br>大型環 | No.2・3<br>1/2 | 口径<br>底径<br>高さ | 18.3<br>—<br>8.9 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は直立気味に外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部斜方向へう割り、内面横ナデ。 | 粗細砂粒僅か |

#### 5区 36号住居

| 探検番号<br>図版番号    | 番号 | 類別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態          | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                  | 備考  |                 |
|-----------------|----|-------------|-----------------------|----------------|----------------------|----------------------------|---|-----------------|
| 第145図<br>P.L.74 | 1  | ニニチュア<br>土器 | 覆土<br>1/2             | 口径<br>底径<br>高さ | (5.7)<br>4.0<br>3.6  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 手捏成形。内外面口縁部ヘラナデ。  |                 |
| 第145図<br>P.L.74 | 2  | 土師器<br>高環   | 掘り方覆土<br>脚部片          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.5)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 内外面ヘラナデ。  |                 |
| 第145図<br>P.L.74 | 3  | 土師器<br>台付壺  | 掘り方覆土<br>台部1/3        | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.5)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 外面刷毛目状工具によるナデ、内面ヘラナデ。   | 時期不明            |
| 第145図<br>P.L.74 | 4  | 土師器<br>高環   | 覆土<br>環部片             | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(4.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色   | 口縁部は直立し、體部が張り体部が直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部は横ナデ後工具による磨き、内面ナデ後工具による磨き。 | 5世紀後半           |
| 第146図<br>P.L.74 | 5  | 土師器<br>環    | No.2<br>2/3           | 口径<br>底径<br>高さ | 12.8<br>—<br>4.5     | ①細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は段を有し内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ後工具による磨き。   |                 |
| 第146図<br>P.L.74 | 6  | 土師器<br>環    | No.6<br>完形            | 口径<br>底径<br>高さ | 13.0<br>—<br>4.0     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ。                  | 6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第146図<br>P.L.74 | 7  | 土師器<br>環    | 覆土<br>口縁～底部<br>1/4    | 口径<br>底径<br>高さ | (13.6)<br>—<br>(3.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色   | 口縁部は直立し、口唇部は平直で、体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面体部ヘラナデ。          | 6世紀後半           |
| 第146図<br>P.L.74 | 8  | 土師器<br>環    | 覆土<br>口縁～底部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (13.2)<br>—<br>(2.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色   | 口縁部はやや外傾気味で、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面横ナデ。               |                 |
| 第146図<br>P.L.74 | 9  | 土師器<br>環    | No.4<br>1/2           | 口径<br>底径<br>高さ | 13.0<br>—<br>3.5     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り後ナデ、内面ナデ。                 |                 |
| 第146図<br>P.L.74 | 10 | 土師器<br>環    | 貯蔵穴覆土<br>口縁～底部<br>1/5 | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>—<br>(4.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯びる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面横ナデ。                      | 7世紀後半           |

|                 |    |            |                 |                |                       |                            |   |                 |
|-----------------|----|------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------------|---|-----------------|
| 第146図<br>P.L.74 | 11 | 土師器<br>坏   | 貯蔵穴覆土<br>口径～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(3.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 口径部は直立気味で、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                              | 7世紀頃            |
| 第146図<br>P.L.74 | 12 | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口径～体部片    | 口径<br>底径<br>高さ | (15.0)<br>—<br>(3.3)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口径部は直立気味で、体部は丸味を帯びる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                                   | 7世紀後半           |
| 第146図<br>P.L.74 | 13 | 土師器<br>長頸壺 | N o 9<br>口径～胴部  | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(19.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口径部は短く器厚で外反し、胴部はやや歪み胴部上位が僅かに張る。外面口径部横ナデ、胴部上位斜方向ヘラ削り、中位腹方向ヘラ削り、内面ヘラナデ。接合痕有り。 | 6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第146図<br>P.L.74 | 14 | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口径部1/4    | 口径<br>底径<br>高さ | (17.2)<br>—<br>(5.1)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 口径部は外反する。器面が荒れている為、内面整形痕不明瞭。外面ヘラナデ。   | 7世紀頃            |
| 第146図<br>P.L.74 | 15 | 須恵器<br>甕   | 覆土<br>破片        | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.2)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③黄灰色    | 外面並行叩き目、内面青海波文様ヘラナデ。  | 時期不明            |
| P.L.74          | 16 | 埴成粘土塊      | 貯蔵穴覆土           |                |                       | 重さ 14.8g                   |   | 写真のみ掲載          |

## 5区 37号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態              | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                 | 備 考  |                 |
|-----------------|----|----------|---------------------------|----------------|----------------------|---------------------------|--|-----------------|
| 第149図<br>P.L.75 | 1  | 土師器<br>坏 | N o 5<br>1/3              | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>3.0   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口径部は段を有し内傾する。体部は丸味を帯びて立ち上がり、底部丸底。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                       | 7世紀前半?          |
| 第149図<br>P.L.75 | 2  | 土師器<br>坏 | N o 22<br>口径～体部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (12.8)<br>—<br>(2.7) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色  | 口径部は弱く外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                               | 7世紀前半?          |
| 第149図<br>P.L.75 | 3  | 土師器<br>坏 | N o 7<br>1/3              | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>—<br>(4.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 口径部は段を有し内傾する。体部は丸味を持ち立ち上がり、底部丸底。器面が荒れている為整形痕不明瞭。外面口径部横ナデ、体部ナデが削り、内面器面剥落の為不明。 | 粗砂粒僅か<br>7世紀中葉  |
| 第149図<br>P.L.75 | 4  | 土師器<br>坏 | N o 1<br>1/4              | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>3.3   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口径部はやや直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                               | 7世紀後半～<br>8世紀前半 |
| 第149図<br>P.L.75 | 5  | 土師器<br>坏 | N o 19<br>完形              | 口径<br>底径<br>高さ | 11.2<br>—<br>3.4     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 口径部は直立気味に内屈し、体部は丸味を持って立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                            | 7世紀後半           |
| 第149図<br>P.L.75 | 6  | 土師器<br>坏 | N o 37<br>口径～体部片          | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(2.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口径部は直立気味で、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                               |                 |
| 第149図<br>P.L.75 | 7  | 土師器<br>坏 | 掘り方覆土<br>口径～体部片           | 口径<br>底径<br>高さ | (13.4)<br>—<br>(3.2) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口径部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ナデとヘラ削り、内面ナデ。                              | 7世紀後半           |
| 第149図<br>P.L.75 | 8  | 土師器<br>坏 | N o 36<br>1/5             | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>3.3   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口径部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面横ナデ。                                | 粗砂粒僅か<br>7世紀頃   |
| 第149図<br>P.L.75 | 9  | 土師器<br>坏 | N o 33<br>1/4             | 口径<br>底径<br>高さ | (12.6)<br>—<br>(3.4) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口径部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ後工具による磨き。                         | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半  |
| 第149図<br>P.L.75 | 10 | 土師器<br>坏 | N o 25・覆土<br>口径～体部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ | (17.0)<br>—<br>(3.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明褐色   | 口径部は強く皿状に開き、体部は扁平ではあるがやや丸味を持ち立ち上がる。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                     | 8世紀頃            |
| 第149図<br>P.L.75 | 11 | 土師器<br>坏 | N o 17・18<br>はは完形         | 口径<br>底径<br>高さ | 16.3<br>—<br>3.4     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口径部は皿状に開き、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口径部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ヘラナデ。                        | 6世紀～7世紀         |

|                 |    |                     |                        |                |                       |                                     |  |                    |
|-----------------|----|---------------------|------------------------|----------------|-----------------------|-------------------------------------|--|--------------------|
| 第149回<br>P.L.75 | 12 | 土師器<br>坏            | 覆土<br>1/4              | 口径<br>底径<br>高さ | (16.2)<br>—<br>(3.2)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は直立し、口唇部はやや扁平。外部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、外部ヘラ削り接ナデ、内面ナデ。             | 8世紀                |
| 第149回<br>P.L.75 | 13 | 土師器<br>S字状口縁<br>台付甕 | 覆土<br>口縁部片             | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(2.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | S字状口縁。内外面横ナデ。  |                    |
| 第149回<br>P.L.75 | 14 | 土師器<br>S字状口縁<br>台付甕 | 覆土<br>口縁～胴部片           | 口径<br>底径<br>高さ | (15.0)<br>—<br>(4.1)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色          | S字状口縁。外面口縁部横ナデ、肩部刷毛目状工具によるナデ、内面ナデ。                                   | 4世紀後半              |
| 第149回<br>P.L.75 | 15 | 土師器<br>甕            | N○27<br>口縁部片           | 口径<br>底径<br>高さ | (20.0)<br>—<br>(9.8)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は外反する。器面が荒れている為整形痕不明。外面口縁部横ナデか、内面口唇部に1条沈線が走る。                     | 7世紀頃?              |
| 第149回<br>P.L.75 | 16 | 土師器<br>甕            | N○4・14<br>口縁～胴部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ | (22.0)<br>—<br>(7.3)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 口縁部は大きく外傾する。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向ヘラ削り、内面ヘラナデ。                               | 7世紀後半～<br>8世紀前半    |
| 第149回<br>P.L.75 | 17 | 土師器<br>甕            | N○3・4・20<br>口縁～胴部      | 口径<br>底径<br>高さ | (22.0)<br>—<br>(20.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 口縁部は器厚で外反し、内面口唇部に1条沈線が走る。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向ヘラ削り、内面横ナデ。接合痕有り。             | 7世紀後半～<br>8世紀前半    |
| 第149回<br>P.L.75 | 18 | 土師器<br>甕            | N○3・4・20<br>口縁～胴部      | 口径<br>底径<br>高さ | (22.0)<br>—<br>(22.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色            | 口縁部は器厚で外反し、内面口唇部に1条沈線が走る。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向ヘラ削り、内面横ナデ。接合痕有り。             | 7世紀後半～<br>8世紀前半    |
| 第149回<br>P.L.75 | 19 | 土師器<br>台付甕          | 土埃<br>台部               | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(9.0)<br>(5.7)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 外面ヘラナデ、内面ヘラナデ、指ナデ。   | 時期不明               |
| 第149回<br>P.L.75 | 20 | 土師器<br>高坏           | N○24<br>胴部片            | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.4)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色           | 外面ヘラナデ。内面紋目。   | 時期不明               |
| 第150回<br>P.L.76 | 21 | 須恵器<br>大型甕          | N○10・11<br>胴部片         | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(18.4)      | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③外灰黄色<br>内にぶい褐色 | 外面並行明き目、内面青海泡。   | 3～5mm程の白色<br>礫少量含む |
| 第150回<br>P.L.75 | 22 | 須恵器<br>長頸甕          | N○9<br>胴部～底部           | 口径<br>底径<br>高さ | 11.0<br>11.6<br>(7.5) | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③暗灰黄色           | 轆轤成形(右回転)。底部回転切削りの付け高台。長頸部の肩部から下を転用。胴部上位に最大径を持ち、高台部は「ハ」の字状に開く。断面四角形。 | 骨窓の再利用<br><br>時期不明 |
| 第150回<br>P.L.75 | 23 | 土師器<br>甕?           | 覆土<br>胴部片              | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.5)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外褐色<br>内淡黄褐色    | 外面ヘラナデ、内面ヘラナデ、接合痕が顕著。  | 時期不明               |
| 押因番号<br>国図番号    | 番号 | 種類<br>器種            | 出土位置<br>残存状態           | 計測値<br>(cm)    | 石材                    | 器形・技法等の特徴                           | 備考   |                    |
| 第150回<br>P.L.75 | 24 | 石製品<br>砥石           | N○39                   | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 10.2<br>4.6<br>1.9    | 流紋岩<br>重さ 164.1g                    | 鉄器用 5面使用、中位が著しく磨減する。横度は、長軸方向を主としている。上端周辺に刃部調整痕が多数見られる。仕上げ用砥石か。       |                    |
| 押因番号<br>国図番号    | 番号 | 種類<br>器種            | 出土位置<br>残存状態           | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調             | 器形・技法等の特徴                           | 備考   |                    |
| P.L.76          | 25 | 焼成粘土塊               | 覆土                     |                |                       | 重さ 1.9g                             |  | 写真のみ掲載             |
| P.L.76          | 26 | 焼成粘土塊               | 覆土                     |                |                       | 重さ 5.3g                             |  | 写真のみ掲載             |
| P.L.76          | 27 | 焼成粘土塊               | 覆土                     |                |                       | 重さ 13.4g                            |  | 写真のみ掲載             |
| P.L.76          | 28 | 焼成粘土塊               | 覆土                     |                |                       | 重さ 12.5g                            |  | 写真のみ掲載             |

## 5区 40号住居

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                  | 備 考  |       |
|------------------|----|----------|---------------|----------------|------------------------|----------------------------|--|-------|
| 第1528回<br>P L 76 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～底部片  | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(2.6)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙褐色 | 口縁部はやや外反し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り。                          | 7世紀   |
| 第1528回<br>P L 76 | 2  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>1/5     | 口径<br>底径<br>高さ | (12.2)<br>(3.0)<br>3.6 | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③黄灰色   | 楕圓成形。底部回転糸切り。口縁部は外反、体部は直線的に立ち上がる。                                  |       |
| 第1528回<br>P L 76 | 3  | 土師器<br>壺 | N o 1<br>ほぼ完形 | 口径<br>底径<br>高さ | 20.4<br>6.2<br>15.7    | ①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③明赤褐色   | 「コ」の字状口縁。胴部上位に張りを持ち、ナデ肩の球彫形。外面口縁部横ナデ、胴部上位横方向へう割り、下位斜方向へう割り。内面ヘラナデ。 | 7世紀後半 |

## 5区 41号住居

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                         | 備 考  |                 |
|------------------|----|----------|--------------------|----------------|----------------------|-----------------------------------|--|-----------------|
| 第1538回<br>P L 76 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～底部        | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>(2.5) | ①細・砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色         | 口縁部は外反。外面口縁部横ナデ、体部はへう割り、内面横ナデ、底部付近に磨き。                     |                 |
| 第1538回<br>P L 76 | 2  | 土師器<br>碗 | 覆土<br>口縁～体部片       | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>(3.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙褐色           | 口縁部はやや内湾。外面口縁部横ナデ、体部斜方向のへう割り、内面横ナデ。                        | 6世紀前半～<br>7世紀後半 |
| 第1538回<br>P L 76 | 3  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片       | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(3.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色        | 器面が荒れている為、整形痕不明瞭。口縁部はやや内湾。外面口縁部横ナデ、体部斜方向のへう割り、内面横ナデ。       | 7世紀             |
| 第1538回<br>P L 76 | 4  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片       | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(3.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色         | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ。             |                 |
| 第1548回<br>P L 76 | 5  | 土師器<br>甕 | N o 7・10<br>口縁～胴上部 | 口径<br>底径<br>高さ | (16.6)<br>—<br>(8.1) | ①細・微細砂少量<br>②良好<br>③にぶい橙褐色        | 器面が荒れている。口縁部はやや外反し、胴部は膨らみを持つ。外面口縁部は横ナデ、胴部は斜横方向にへう割り、内面横ナデ。 | 7世紀前半?          |
| 第1548回<br>P L 76 | 6  | 土師器<br>甕 | N o 12<br>口縁部片     | 口径<br>底径<br>高さ | (21.6)<br>—<br>(4.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色        | 口縁部は外反。外面口縁部は横ナデ、斜方向にへう割り、内面横ナデ、沈線有り。                      | 6世紀後半           |
| 第1548回<br>P L 76 | 7  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.7)      | ①粗砂粒多量<br>②良好<br>③外黒褐色<br>内にぶい黄褐色 | 器面が荒れている。口縁部はやや外反。破片の為整形痕不明瞭。外面横ナデ、縦方向のへう割り。               | 時期不明            |
| 第1548回<br>P L 76 | 8  | 須恵器<br>壺 | 覆土<br>体部片          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.1)      | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色           | 楕圓成形。外面波状文。中央に1条の沈線有り、内面横ナデ。                               | 時期不明            |
| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)    | 石材                   | 器形・技法等の特徴                         | 備 考  |                 |
| 第1548回<br>P L 76 | 9  | 敲石       | N o 13             | 縦幅<br>厚さ       | 9.8<br>6.1<br>4.5    | 安山岩<br>重さ 384.8 g                 | 先端部に敲打痕。表裏面に斜方向の磨痕が多数見られる。                                 |                 |

## 5区 42号住居

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴               | 備 考   |               |
|------------------|----|----------|--------------------|----------------|----------------------|-------------------------|---|---------------|
| 第1558回<br>P L 76 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>(3.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③黒褐色 | 口縁部はやや外傾し、腹部が張り体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ。 | 6世紀後半         |
| 第1558回<br>P L 76 | 2  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(2.6) | ①粗・微砂粒多量<br>②良好<br>③橙褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ。        | 7世紀後半?        |
| 第1558回<br>P L 76 | 3  | 土師器<br>坏 | N o 3<br>口縁～体部片    | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(3.2) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう割り、内面ナデ。        | 7世紀後半～<br>8世紀 |

|                 |   |            |                      |                |                 |                            |   |               |
|-----------------|---|------------|----------------------|----------------|-----------------|----------------------------|---|---------------|
| 第155回<br>P L 76 | 4 | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁部片           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り後ナデ、内面ナデ。 | 7世紀後半～<br>8世紀 |
| 第155回<br>P L 76 | 5 | 土師器<br>甕   | No 8<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.4) | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 「コ」の字状口縁。器面が荒れている。外面口縁部横ナデ、肩部へラ削り、内面不明。         | 9世紀頃?         |
| 第155回<br>P L 76 | 6 | 土師器<br>甕   | No 6・7<br>口縁部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.5) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 器面が荒れている為、整形痕不明。内外面横ナデ。                         | 時期不明          |
| 第155回<br>P L 76 | 7 | 土師器<br>台付甕 | 覆土<br>台部片            | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.2) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 器面が荒れている為、整形痕不明。内外面ナデか。                         |               |
| 第155回<br>P L 76 | 8 | 土師器<br>高坏  | No 4<br>脚部           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色 | 脚中央に円孔有り。外面へラ削り後へラナデ、内面紋目。                      | 時期不明          |

#### 5区 44号住居

| 棟号<br>図版番号      | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調             | 器形・技法等の特徴                | 備考  |                   |
|-----------------|----|----------|--------------------|----------------|-----------------------|--------------------------|---|-------------------|
| 第158回<br>P L 77 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(2.9)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③焼灰色  | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り、内面ナデ後工具による磨き。吸灰。 | 7世紀後半?            |
| 第158回<br>P L 77 | 2  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>1/4          | 口径<br>底径<br>高さ | (9.4)<br>(5.0)<br>2.4 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色 | 輪縁成形。底部ナデ。口縁部はやや外傾し、口唇部は平坦。体部は直線的に立ち上がる。器面の荒れが強い。       | 粗砂粒僅か<br>10世紀?    |
| 第158回<br>P L 77 | 3  | 土師器<br>鉢 | 覆土<br>口縁部          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.4)       | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③黒色   | 口縁部は直立気味で、口唇部は内傾する。外面口縁部横ナデ、肩部へラ削り、内面不明。吸灰。             | 3mm程度の確合む<br>時期不明 |
| 第158回<br>P L 77 | 4  | 須恵器      | 覆土<br>底部           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(12.0)<br>(2.2)  | ①粗・細砂粒僅か<br>②還元焰<br>③灰黄色 | 輪縁成形。一部軸が損かる。内面へラ調整。                                    |                   |
| 第158回<br>P L 77 | 5  | 羽口       | No 4<br>破片         | 長さ<br>幅<br>厚さ  | (5.0)<br>(7.7)<br>3.2 | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色   | 手捏ね成形、一部還元。   | 時期不明              |

#### 5区 2号土坑(1号土坑)

| 棟号<br>図版番号      | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調        | 器形・技法等の特徴              | 備考                             |      |
|-----------------|----|-----------|--------------|----------------|------------------|------------------------|--------------------------------|------|
| 第159回<br>P L 77 | 1  | 土師器<br>高坏 | No 1<br>脚部   | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(10.0) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色 | 脚部上部は円錐形、裾部は外反。外面破方向へラ削り、内面紋目。 | 時期不明 |

#### 5区 8号土坑

| 棟号<br>図版番号 | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm) | ①胎土②焼成③色調 | 器形・技法等の特徴 | 備考            |         |
|------------|----|----------|--------------|-------------|-----------|-----------|---------------|---------|
| 第261回      | 1  | 舎        | 覆土           |             |           |           | 下顎右側部片及び右上腕骨片 | 324頁に写真 |

#### 5区 20号土坑

| 棟号<br>図版番号      | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴                | 備考               |  |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|-----------------|--------------------------|------------------|--|
| 第162回<br>P L 77 | 1  | 灰輪<br>甕  | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.4) | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰黄色 | 外面一面軸が折かる、内面青海泡。 |  |

#### 5区 32号土坑

| 棟号<br>図版番号      | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調         | 器形・技法等の特徴                | 備考   |        |
|-----------------|----|-----------|--------------|----------------|-------------------|--------------------------|--|--------|
| 第165回<br>P L 77 | 1  | 土師器<br>高坏 | No 5<br>坏部片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.8)   | ①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③浅黄褐色 | 坏部下部が浅く、口縁部が直状に開く。脚部欠損。外面口縁部横ナデ、下部斜方向へラ削り、内面横ナデ。 | 6世紀後半  |
| 棟号<br>図版番号      | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | 石材                | 器形・技法等の特徴                | 備考   |        |
| 第165回<br>P L 77 | 2  | 石製品<br>勾玉 | No 1         | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 2.8<br>1.9<br>1.1 | 瑪瑙<br>重さ 7.7g            | 孔径0.2cm。表面、側面、裏面に縦方向の研磨痕が残る。下部欠損。は12片開孔。         | 穴0.3cm |

## 5区 34号土坑

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調           | 器形・技法等の特徴                 | 備考                          |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|---------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 第166図<br>P.L.77 | 1  | 土師器<br>罌 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | — (17.0)<br>— (4.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は外反。内外面横ナデ。<br><br>6世紀後半 |

## 5区 35号土坑

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                  | 備考   |
|-----------------|----|----------|---------------|----------------|----------------------|----------------------------|--|
| 第167図<br>P.L.77 | 1  | 土師器<br>罌 | 覆土<br>口縁部     | 口径<br>底径<br>高さ | — 16.0<br>— (3.0)    | ①細・微砂粒やや多い<br>②良好<br>③黄褐色  | 口縁部は外反。内外面横ナデ。<br><br>6世紀?   |
| 第167図<br>P.L.77 | 2  | 土師器<br>罌 | 覆土<br>口縁部片    | 口径<br>底径<br>高さ | — (19.0)<br>— (4.2)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は外反。胴部は膨らみを持つ。外面<br>口縁部斜方向へ削り後、横ナデ、内面刷<br>毛目状工具によるナデ。<br><br>6世紀～7世紀  |
| 第167図<br>P.L.77 | 3  | 土師器<br>罌 | No 1<br>口縁～胴部 | 口径<br>底径<br>高さ | — (15.6)<br>— (5.4)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は外反。胴部は膨らみを持つ。外面<br>口縁部横方向へ削りナデ、肩部横ナデ、内面<br>横ナデ、口縁中央に1条の沈線有り。<br><br>6世紀～7世紀                                      |
| 第167図<br>P.L.77 | 4  | 土師器<br>罌 | No 1<br>ほぼ完形  | 口径<br>底径<br>高さ | 14.0<br>7.0<br>17.4  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は強く外反し、胴部は中位に最大径<br>を持つ球形。底部平底。外面口縁部横ナデ、<br>胴部上位刷毛目状工具による縦方向ナデ、<br>下位横方向へ削り、内面横ナデ、一部表<br>面潤飾。接合痕有り。<br><br>5世紀前半? |
| 第168図<br>P.L.77 | 5  | 土師器<br>罌 | No 2<br>完形    | 口径<br>底径<br>高さ | 15.0<br>4.0<br>20.0  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は大きく直線的に外傾し、胴部は中<br>位に最大径を持つ球形。全体の扁平。底<br>部平底。外面口縁部横ナデ、胴部上位へ<br>削り後横ナデ、下位斜方向へ削り、内面<br>ナデ。<br><br>6世紀後半            |
| 第168図<br>P.L.77 | 6  | 土師器<br>罌 | 覆土<br>口縁～胴部   | 口径<br>底径<br>高さ | — 16.3<br>— (9.3)    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 「く」の字状口縁。胴部は膨らむ。外面口<br>縁部横ナデ、胴部へ削り後ナデ、内面横<br>ナデ。接合痕有り。<br><br>5世紀後半?   |
| 第168図<br>P.L.77 | 7  | 土師器<br>罌 | 覆土<br>口縁～胴部   | 口径<br>底径<br>高さ | — (16.2)<br>— (11.0) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は短く外傾し、胴部は膨らむ。外面<br>口縁部横ナデ、胴部ナデ、内面ヘラナデ?<br>表面潤飾。<br><br>6世紀後半?  |
| 第168図<br>P.L.78 | 8  | 土師器<br>罌 | 覆土<br>口縁～胴部   | 口径<br>底径<br>高さ | — (18.4)<br>— (23.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は外反し、胴部は中央に最大径を<br>持つ球形。外面口縁部横ナデ、胴部上位横<br>方向へ削り後ナデ、下位斜方向へ削り<br>後ナデ、内面ヘラナデ。<br><br>5世紀後半～<br>6世紀                   |
| 第168図<br>P.L.78 | 9  | 土師器<br>罌 | 覆土<br>胴部片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>— (12.8)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 胴部は球形状。外面斜方向へ削り、内面<br>横ナデ。<br><br>6世紀後半  |

## 5区 36号土坑

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調    | 器形・技法等の特徴                  | 備考                              |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|--------------|----------------------------|---------------------------------|
| 第169図<br>P.L.78 | 1  | 土師器<br>罌 | 覆土<br>S字罌    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>— (2.9) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 破片の為、整形痕不明瞭。内外面横ナデ。<br><br>4世紀頃 |

## 5区 37号土坑

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)   | 石材                | 器形・技法等の特徴     | 備考                              |
|-----------------|----|----------|--------------|---------------|-------------------|---------------|---------------------------------|
| 第169図<br>P.L.78 | 1  | 石器<br>石皿 | 覆土           | 長さ<br>幅<br>厚さ | 3.7<br>1.3<br>0.4 | 頁岩<br>重さ 1.8g | 有葉石織。基部下端一部欠損。ほぼ完形。<br><br>縄文時代 |

## 5区 40号土坑

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調          | 器形・技法等の特徴              | 備考  |
|-----------------|----|------------|--------------|----------------|--------------------|------------------------|---|
| 第170図<br>P.L.78 | 1  | 土師器<br>台付罌 | 覆土<br>台部     | 口径<br>表径<br>高さ | — (9.6)<br>— (5.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色 | 器面が覆れている為、一部整形痕不明。外<br>面ナデ後刷毛目状工具によるナデ、内面ヘ<br>ラナデ。<br><br>6世紀後半 |

## 5区 43号土坑

| 埴田番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調           | 器形・技法等の特徴               | 備考  |       |
|-----------------|----|-----------|--------------|----------------|---------------------|-------------------------|---|-------|
| 第171図<br>P.L.78 | 1  | 土師器<br>高坏 | 覆土<br>坏部片    | 口径<br>底径<br>高さ | — (13.4)<br>— (3.2) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰褐色 | 坏部下部深く、口縁部は皿状に開く。外面<br>口縁部横ナデ。下部へラ削り、内面横ナデ。<br>内外面吸灰。 | 6世紀後半 |

## 5区 45号土坑

| 埴田番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調 | 器形・技法等の特徴              | 備考            |       |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|-----------|------------------------|---------------|-------|
| 第172図<br>P.L.78 | 1  | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ | — (6.2)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰色 | 外面輪がけ、内面青海波文。 | 7世紀頃? |

## 5区 46号土坑

| 埴田番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調           | 器形・技法等の特徴                   | 備考                                    |        |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|---------------------|-----------------------------|---------------------------------------|--------|
| 第171図<br>P.L.78 | 1  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | — (18.0)<br>— (4.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色  | 輪縁成形。口縁部は外反し、体部は丸味を<br>帯びる。           | 10世紀頃? |
| 第171図<br>P.L.78 | 2  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>口縁～底部片 | 口径<br>底径<br>高さ | — (6.6)<br>— (4.3)  | ①細・微砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい黄褐色 | 輪縁成形(右回転) 回転糸切り後周縁部の<br>削り、体部は丸味を帯びる。 | 10世紀頃? |

## 5区 47号土坑

| 埴田番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴              | 備考  |  |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|-----------------|------------------------|---|--|
| 第172図<br>P.L.78 | 1  | 土師器<br>坏 | N o 78<br>完形 | 口径<br>底径<br>高さ | — 12.1<br>— 5.5 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色 | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち<br>上がる。外面口縁部横ナデ、体部横ナデ、<br>内面口縁部斜方向へラナデ、体部横方向へ<br>ラナデ。複合直有り。 |  |

## 5区 50号土坑

| 埴田番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調           | 器形・技法等の特徴                | 備考                           |       |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|---------------------|--------------------------|------------------------------|-------|
| 第173図<br>P.L.78 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | — (10.6)<br>— (2.2) | ①微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は内湾(内屈口縁部?) 内外面横ナ<br>デ。   | 7世紀後半 |
| 第173図<br>P.L.78 | 2  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | — (18.8)<br>— (3.5) | ①粗砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は弱く外反する。外面横ナデ、一部<br>へラナデ。 | 時期不明  |
| 第173図<br>P.L.78 | 3  | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ | — (5.5)             | ①粗・細砂粒少量<br>②還元塩<br>③灰色  | 外面定れている為整形很不明、内面青海波。         |       |

## 5区 53号土坑

| 埴田番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調           | 器形・技法等の特徴                    | 備考   |        |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|---------------------|------------------------------|--|--------|
| 第174図<br>P.L.78 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | — (11.0)<br>— (2.5) | ①微砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい褐色      | 口縁部は外反、体部はやや丸い。外面口縁<br>横ナデ、体部へラ削り、内面ナデ。          | 6世紀後半  |
| 第174図<br>P.L.78 | 2  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | — (12.8)<br>— (3.1) | ①細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい褐色    | 口縁部は直立気味に立ち上がる。外面口縁<br>部横ナデ、体部へラ削り、内面横ナデ。        | 6世紀    |
| 第174図<br>P.L.78 | 3  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | — (12.0)<br>— (2.5) | ①細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③褐色       | 口縁部は内湾し、体部は丸味を帯びる。外<br>面口縁部横ナデ、体部へラ削り、内面横ナ<br>デ。 | 7世紀後半? |
| 第174図<br>P.L.78 | 4  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | — (11.0)<br>— (4.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色       | 口縁部は弱く外反。外面横ナデ、内面斜<br>方向ナデ。                      | 時期不明   |
| 第174図<br>P.L.78 | 5  | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ | — (13.8)            | ①粗砂粒僅か・細砂粒少量<br>②還元塩<br>③黄灰色 | 外面並行織目、内面青海波。                                    | 時期不明   |



## 5区 57号土坑

| 探検番号<br>図版番号     | 番号 | 種類<br>器種   | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴   | 備考           |
|------------------|----|------------|-----------------|---|----------------------------|---|--------------|
| 第175図<br>P.L.78  | 1  | 土師器<br>杯   | 覆土<br>口縁-体部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.6)<br>(3.2) | ①細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③棕色     | 口縁部に段を持ち、外反気味に立ち上がる。体部は扁平。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り平。           | 古墳時代<br>6世紀頃 |
| 第175B図<br>P.L.78 | 2  | 土師器<br>杯   | 覆土<br>口縁-体部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(10.4)<br>(2.7) | ①細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は内湾し、体部はやや丸味を帯びる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。             | 7世紀後半        |
| 第175C図<br>P.L.78 | 3  | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁部片      | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(18.6)<br>(1.7) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は外反する。内外面横ナデ。                                      | 時期不明         |
| 第175D図<br>P.L.78 | 4  | 須恵器<br>蓋   | 覆土<br>胴部片       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(19.0)<br>(2.7) | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰白色   | 壺罐成形。やや器面が荒れている。上部に輪が掛かる。                             | 9世紀?         |
| 第175E図<br>P.L.78 | 5  | 須恵器<br>短頸炊 | No 1・2<br>口縁-胴部 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>9.8<br>(9.8)    | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色    | 壺罐成形(回転方向不明)。口縁-胴部に自然胎。口縁部は外反し、口唇部は逆三角形を呈す。肩部に最大径を持つ。 | 9世紀?         |

## 5区 59号土坑

| 探検番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                        | 備考 |
|-----------------|----|----------|--------------|---|------------------------|----------------------------------|----|
| 第176図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>杯 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.0)<br>(2.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色 | 口縁部はやや外傾する。口縁部内面に1条沈線が走る。内外面横ナデ。 |    |

## 5区 60号土坑

| 探検番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                             | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴  | 備考    |
|-----------------|----|----------|--------------|---|---------------------------|--|-------|
| 第177図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>杯 | No 1<br>1/2  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>13.6<br>3.9 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後一部ナデ。内面横ナデ。 | 6世紀後半 |

## 5区 63号土坑

| 探検番号<br>図版番号     | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴  | 備考     |
|------------------|----|----------|--------------|---|----------------------------|--|--------|
| 第177A図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>甕 | P 1<br>口縁部片  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(16.0)<br>(3.6) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色    | 口縁部は外反する。内外面口縁部横ナデ。                                    | 6世紀前半? |
| 第177B図<br>P.L.79 | 2  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.7)           | ①微・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は直立気味に立ち上がり、体部は弱く膨らむ。外面口縁部横ナデ、体部削り方向ヘラ削り、内面ヘラナデ。吸灰。 | 7世紀頃   |
| 第177C図<br>P.L.79 | 3  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.1)           | ①微・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 外面削り・筋方向ヘラ削り、内面ヘラナデ後工具による磨き。                           | 時期不明   |

## 5区 64号土坑

| 探検番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴     | 備考 |
|-----------------|----|----------|--------------|-----------------------------------|-------------------------|---------------|----|
| 第178図<br>P.L.79 | 1  | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.3) | ①微・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色 | 外面垂直引き、内面青海成。 |    |

## 5区 65号土坑

| 探検番号<br>図版番号    | 番号 | 種類<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴    | 備考 |
|-----------------|----|------------|--------------|-----------------------------------|--------------------------|--------------|----|
| 第179図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>台付甕 | 覆土<br>台部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.7) | ①微・細砂粒少量<br>②良好<br>③灰青褐色 | 外面ヘラナデ、内面ナデ。 |    |

## 5区 67号土坑

| 押戻番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                           | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴   | 備 考  |
|-----------------|----|----------|--------------|---------------------------------------|---------------------------|---|------|
| 第180図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>— (13.2)<br>底径<br>— (4.5)<br>高さ | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は外反する。内外面横ナデ。                                      | 時期不明 |
| 第180図<br>P.L.79 | 2  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁～胴部片 | 口径<br>— (16.0)<br>底径<br>— (5.8)<br>高さ | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口縁部は緩やかに外反し、胴部は直線的。器面は荒れている。外面口縁部横ナデ、胴部縦方向へ削り、内面ヘラナデ。 |      |

## 5区 68号土坑

| 押戻番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種         | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                    | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴               | 備 考  |
|-----------------|----|------------------|--------------|--------------------------------|------------------------|-------------------------|------|
| 第181図<br>P.L.79 | 1  | 軟質陶器<br>内耳<br>塔落 | 覆土<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>— (5.2)<br>高さ | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰色 | 内耳下露体部中に貼り付け、体部内面中に段有り。 | 16世紀 |

## 5区 69号土坑

| 押戻番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種            | 出土位置<br>残存状態         | 計測値<br>(cm)                            | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴  | 備 考   |
|-----------------|----|---------------------|----------------------|--|----------------------------|--|-------|
| 第182図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>S字状口縁<br>付付葉 | No 1<br>口縁～胴部<br>1/3 | 口径<br>— (12.2)<br>底径<br>— (17.5)<br>高さ | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | S字状口縁。胴部中に膨らみを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部刷毛目状工具による斜方向ナデ、内面刷毛目状工具による横方向ナデ。         | 4世紀後半 |
| 第182図<br>P.L.79 | 2  | 土師器<br>埴            | No 1・2<br>ほぼ定形       | 口径<br>— 13.0<br>底径<br>— 5.9<br>高さ      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は直線的に開き、胴部は丸味を持って立ち上がる。内外面口縁部横ナデ後工具による磨き、外面胴部横方向へ削り、内面ナデ後工具による磨き。 |       |
| 第182図<br>P.L.79 | 3  | 土師器<br>坏            | 覆土<br>底部片            | 口径<br>—<br>底径<br>— (1.2)<br>高さ         | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 外面へ削り、内面ナデ後工具による磨き。  | 時期不明  |
| 第182図<br>P.L.79 | 4  | 土師器<br>坏            | 覆土<br>口縁部片           | 口径<br>—<br>底径<br>— (2.5)<br>高さ         | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色   | 口縁部は直立気味に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へ削り、内面ナデ。                                  | 7世紀頃  |

## 5区 71号土坑

| 押戻番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                    | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴       | 備 考 |
|-----------------|----|-----------|--------------|--------------------------------|------------------------|-----------------|-----|
| 第183図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>高坏 | 覆土<br>脚部片    | 口径<br>—<br>底径<br>— (4.4)<br>高さ | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色 | 外面へラナデ後磨き、内面紋目。 |     |

## 5区 72号土坑

| 押戻番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴   | 備 考   |
|-----------------|----|------------|--------------|---|---------------------------|---|-------|
| 第183図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>小型甕 | No 1<br>ほぼ定形 | 口径<br>— 12.5<br>底径<br>— 5.0<br>高さ<br>— 12.4 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は外傾し、胴部中央に張りを持ちやや膨んだ器形。器面が荒れている為、整形底不明確。外面口縁部横ナデ、胴部上位ナデ?下位斜方向へ削り、内面へラナデ?接合痕有り。 | 6世紀後半 |

## 5区 74号土坑

| 押戻番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                           | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴                              | 備 考                  |
|-----------------|----|----------|--------------|---------------------------------------|---------------------------|--|----------------------|
| 第184図<br>P.L.79 | 1  | 土師器<br>壺 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>—<br>底径<br>— (6.1)<br>高さ        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 外面刷毛目状工具による、縦方向ナデ、内面刷毛目状工具による、横方向ナデ。   |                      |
| 第184図<br>P.L.79 | 2  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>— (12.0)<br>底径<br>— (2.7)<br>高さ | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へ削り。 | 74坑-3同一個体<br>7世紀～8世紀 |

## 5区 75号土坑

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種        | 出土位置<br>残存状態      | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴                 | 備考  |        |
|-----------------|----|-----------------|-------------------|----------------|----------------------------|---------------------------|---|--------|
| 第184図<br>P L.79 | 1  | 土師器<br>甕        | 覆土<br>口縁～胴上位<br>片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(14.0)<br>(5.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部はやや外反し、胴部は膨らみを持つ。<br>外面口縁部横ナデ、胴部丁寧なヘラナデ、<br>内面ヘラナデ。                          | 6世紀前半? |
| 第184図<br>P L.79 | 2  | 土師器<br>大型埴<br>土 | N o 1・覆土<br>口縁～胴部 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(15.8)<br>(22.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は外傾し、胴部中央やや下に最大形<br>を持ち、球形を呈する。外面口縁部上位横<br>ナデ、中位斜方向ヘラナデ、胴部斜方向ヘ<br>ラナデ後丁寧なナデ。 | 5世紀後半? |
| 第185図<br>P L.79 | 3  | 土師器<br>甕        | 覆土<br>胴部～底部片      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.0)<br>(8.0)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 底部平底。外面斜方向ナデ、内面横ナデ。<br>接合痕有り。   |        |
| 第185図<br>P L.79 | 4  | 土師器<br>台付甕      | 覆土<br>台部          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(10.0)<br>(7.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色  | 外面は器面突れている為、整形痕不明瞭。<br>外面刷毛状工具によるナデ?内面刷毛状工<br>具による横ナデ。                          | 5世紀前半? |

## 5区 2号溝

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種      | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴               | 備考   |     |
|-----------------|----|---------------|--------------|----------------|---------------------------|-------------------------|--|-----|
| 第189図<br>P L.80 | 1  | 土師器<br>埴<br>土 | 覆土<br>底部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>—               | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄色 | 体部は丸味を帯びて立ち上がり、口縁部直<br>立する。底部器内厚い。口縁部横ナデ、体<br>部～底部ヘラナデ。内面ナデ後工具による<br>磨き。 |     |
| 第189図<br>P L.80 | 2  | 軟質陶器<br>コンロ   | 覆土           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.2)           | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明褐色 | 三河土器コンロの内側。内面被熱。   | 近現代 |
| 第189図<br>P L.80 | 3  | 横木鉢           | 覆土           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(10.0)<br>(3.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄色 | 轆轤成形。体部は丸味を帯びて立ち上がる。<br>底部平底。鼻孔有り。器内やや厚い。                                | 近世  |
| 第189図<br>P L.80 | 4  | 土師器<br>高坏     | 覆土<br>胴部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.6)           | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色  | 胴部外面縦位ナデ、内面上位紋目、下位<br>横ナデ。   |     |

## 5区 3号溝

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴               | 備考                                   |    |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|-----------------|-------------------------|--------------------------------------|----|
| 第190図<br>P L.80 | 1  | 土製品か     | 覆土           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色  | 口縁端部に横線が走る。内外面とも横ナデ<br>か?<br>器種・用途不明 | 近世 |
| 第190図<br>P L.80 | 2  | 須恵器<br>甕 | 覆土           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.2) | ①粗・微砂粒少量<br>②還元焼<br>③褐色 | 外面平行叩き目、内面当て具痕。                      |    |

## 5区 4号溝

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm) | ①粘土②焼成③色調 | 器形・技法等の特徴 | 備考           |      |
|-----------------|----|------------|--------------|-------------|-----------|-----------|--------------|------|
| 第193図<br>P L.80 | 1  | 古銭<br>寛永通宝 | 覆土           |             |           | 重さ 41g    | 高寛永通宝、背文11波。 | 17世紀 |

## 5区 4・9号溝

| 採掘番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調       | 器形・技法等の特徴               | 備考                         |  |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|-----------------|-------------------------|----------------------------|--|
| 第193図<br>P L.80 | 1  | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>胴部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.5) | ①粗・微砂粒少量<br>②還元焼<br>③褐色 | 外面細かい格子目叩き目、内面青海波当て<br>具痕。 |  |

## 5区 9号溝

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種別<br>器種     | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                    | ①胎土②焼成③色調                          | 器形・技法等の特徴                                     | 備考    |
|------------------|----|--------------|--------------|--|------------------------------------|---|-------|
| 第1938H<br>P.L.80 | 1  | 土師器<br>壺     | N o 4<br>底部  | 口径<br>—<br>底径<br>5.5<br>高さ<br>(2.7)            | ①粗備小・粗・微砂粒<br>少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 器面が荒れている為、整形痕不明。外面ヘラナデかヘラナデ、底部本業痕、内面ヘラナデ。     |       |
| 第1938H<br>P.L.80 | 2  | 軟質陶器<br>内耳培培 | 覆土<br>口縁～底部片 | 口径<br>—<br>底径<br>(32.2)<br>高さ<br>(28.8)<br>5.3 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄色            | 外面やや強いナデ、内面ナデ。                                | 江戸～中世 |
| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種別<br>器種     | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                    | 石材                                 | 器形・技法等の特徴                                     | 備考    |
| 第1938H<br>P.L.80 | 3  | 砥石           | 覆土           | 長さ<br>5.8<br>幅<br>3.7<br>厚さ<br>2.2             | 軽石<br>重さ 21.2g                     | 4面使用、中位に著しく磨滅箇所有り。推板は、長軸方向を主としている。裏面に刃部調整痕有り。 |       |
| 第1938H<br>P.L.80 | 4  | 古銭           | 覆土           | 長さ<br>—<br>幅<br>—<br>厚さ<br>—                   | 重さ 2.0g                            | 口元通貫  |       |

## 5区 10号溝

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                        | ①胎土②焼成③色調                   | 器形・技法等の特徴      | 備考            |
|------------------|----|----------|--------------|------------------------------------|-----------------------------|----------------|---------------|
| 第1948H<br>P.L.80 | 1  | 須恵器<br>壺 | N o 1<br>胴部片 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(11.1) | ①細・細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③にぶい赤褐色 | 外側並行叩き目、内面青海成。 | 時期不明<br>(古墳?) |

## 5区 11号溝

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態          | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                                | 備考   |
|------------------|----|----------|-----------------------|---|------------------------|--|------|
| 第1938E<br>P.L.80 | 1  | 土師器<br>杯 | N o 4<br>口縁～体部<br>1/4 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(12.0)<br>(3.3) | ①細・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色 | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯び、底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ。 | 7世紀頃 |

## 5区 17号溝

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                         | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴                                      | 備考   |
|------------------|----|------------|--------------|-------------------------------------|----------------------------|--|------|
| 第1978H<br>P.L.80 | 1  | 土師器<br>壺   | N o 2<br>底部片 | 口径<br>—<br>底径<br>5.2<br>高さ<br>(4.5) | ①細・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色 | 外面胴部ヘラナデ、底部本業痕。内面ヘラナデ。                         | 時期不明 |
| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                         | 石材                         | 器形・技法等の特徴                                      | 備考   |
| 第1978H<br>P.L.80 | 2  | 石器<br>尖頭器  | 覆土           | 長さ<br>9.8<br>幅<br>4.0<br>厚さ<br>1.6  | チャート<br>重さ 60.6g           | 横長割片素材。交互剥離によりバイフェイスの素材を製作している。鋭入の可能性が高い。      | 縄文時代 |
| 第1978H<br>P.L.80 | 3  | 石製品<br>振り鉢 | N o 1        | 長さ<br>9.0<br>幅<br>13.2<br>厚さ<br>2.5 | 多孔質安山岩<br>重さ 287.1g        | 外面口縁縁方向の研削痕有り。外胴部は斜め右上がりの調整痕有り。内面平滑。口縁端部丁寧な作り。 |      |

## 5区 1号井戸

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                            | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴                                   | 備考 |
|------------------|----|----------|--------------|--|--------------------------|---|----|
| 第1988E<br>P.L.80 | 1  | 土師器<br>壺 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>—<br>底径<br>(19.0)<br>高さ<br>(3.0) | ①細・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色   | 器面が荒れている。やや粗雑な作り。口縁部外反。外面横ナデ、斜方向ヘラナデ、内面横ナデ。 |    |
| 第1988E<br>P.L.80 | 2  | 土師器<br>壺 | 覆土<br>底部1/2  | 口径<br>—<br>底径<br>(5.0)<br>高さ<br>(2.4)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色 | 底部平底。口縁～胴部欠損の為整形痕不明瞭。外面ヘラナデ、内面ヘラナデ。         |    |

## 5区 2号井戸

| 採回番号<br>図版番号     | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴    | 備考 |
|------------------|----|----------|--------------|-----------------------------------|-------------------------|--------------|----|
| 第1998H<br>P.L.80 | 1  | 須恵器<br>壺 | 覆土<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(3.6) | ①細・細砂粒少量<br>②還元塩<br>③灰色 | 外側叩き、内面当て具痕。 |    |

## 5区 49号ピット

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                 | 備考   |  |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|----------------------|---------------------------|--|--|
| 第200図<br>P.L.80 | 1  | 土師器<br>坏 | N o 1<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(4.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 口縁部は内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナゲ、体部へラ削り、内面へラナゲ後工具による磨き。 |  |

## 5区 81号ピット

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                  | 備考   |      |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|----------------------|----------------------------|--|------|
| 第200図<br>P.L.80 | 1  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>(3.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄橙色 | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯び立ち上がる。外面口縁部横ナゲ、体部へラ削り、内面荒れのためナゲ? | 6世紀頃 |

## 5区 1号遺物集中部

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                  | 備考   |           |
|-----------------|----|-------------|-----------------|----------------|------------------------|----------------------------|--|-----------|
| 第201図<br>P.L.81 | 1  | 土師器<br>坏    | イ40<br>口縁部片     | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>—<br>(3.6)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③黄灰色    | 口縁部は内傾気味に立ち上がり、体部は丸味を帯びる。外面口縁部横ナゲ、体部へラ削り、内面横ナゲ。底部付近に工具による磨き。 |           |
| 第201図<br>P.L.81 | 2  | 土師器<br>小型壺  | N o 5<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (14.4)<br>—<br>(7.7)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 口縁部はやや外反し、胴部は固く膨らむ。外面口縁部横ナゲ、胴部横ナゲ方向へラ削り、内面横ナゲ。               | 7世紀頃      |
| 第201図<br>P.L.81 | 3  | 土師器<br>高坏   | N o 32<br>坏部    | 口径<br>底径<br>高さ | (17.0)<br>—<br>(3.6)   | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄橙色 | 器面が荒れている為、内面整形不明。外面坏部上半へラナゲ、下半へラ削り。                          |           |
| 第201図<br>P.L.81 | 4  | 土師器<br>高坏   | N o 98<br>脚部    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.2)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色   | 坏部欠損のため詳細不明。外面へラナゲ、内面横ナゲ。                                    | 時期不明      |
| 第201図<br>P.L.81 | 5  | 須恵器<br>壺    | N o 78<br>口縁部   | 口径<br>底径<br>高さ | (19.0)<br>—<br>(6.7)   | ①粗・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰黄褐色  | 横縁成形(回転方向不明)。短頸密か横縁の口縁部か。                                    | 3mmの隙間に混入 |
| 第202図<br>P.L.81 | 6  | 須恵器<br>壺    | N o 80<br>口縁部片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.0)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰色     | 横縁成形か。外面口縁部横ナゲ、内面横ナゲの荒れのため不明。                                |           |
| 第202図<br>P.L.81 | 7  | 須恵器<br>壺    | N o 21<br>口縁部片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.1)        | ①粗・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③黄灰色   | 外面刷毛目状工具によるナゲ後横ナゲ、内面横ナゲ。                                     | 時期不明      |
| 第202図<br>P.L.81 | 8  | 土師器<br>手掘土器 | N o 55<br>2/3   | 口径<br>底径<br>高さ | (8.8)<br>5.0<br>(3.5)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③淡黄色    | 口縁部は内傾気味に立ち上がり、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面へラナゲ、指ナゲ、内面滑ナゲ、絞り目状。         | 時期不明      |
| 第202図<br>P.L.81 | 9  | 黄銅製<br>皿    | 覆土<br>破片        | 口径<br>底径<br>高さ | (10.8)<br>(5.6)<br>2.5 | ②良好<br>③明黄褐色               | 銅板転写。<br>瀬戸・美濃   | 近現代       |

## 5区 遺構外(グリッド)

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                  | 備考   |                              |
|-----------------|----|-----------|--------------------|----------------|----------------------|----------------------------|--|------------------------------|
| 第203図<br>P.L.81 | 1  | 縄文<br>鉢   | 405-980G<br>胴部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.0)      | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 沈積区画による磨消縄文の構成。R.L縄文縦穴光頭施文。  | 加納利E3式                       |
| 第203図<br>P.L.81 | 2  | 土師器<br>壺  | 410-935G<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(6.5) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部外反し、胴部膨らむ。外面口縁部横ナゲ、胴部横ナゲ方向へラ削り、内面横ナゲ。                           | 2～3mmの隙間か<br>6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第203図<br>P.L.81 | 3  | 土師器<br>高坏 | 410-935G<br>坏部片    | 口径<br>底径<br>高さ | (20.0)<br>—<br>(5.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 坏部下半に胴部を持ち、直線的に開く。内外面とも器面が荒れている。外面口縁部横ナゲ、坏部横ナゲ後、工具による磨き、内面へラナゲ後磨き。 | 古墳時代前期                       |
| 第203図<br>P.L.81 | 4  | 土師器<br>坏  | 410-940G<br>1/2    | 口径<br>底径<br>高さ | (12.3)<br>—<br>3.5   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明黄褐色   | 口縁部内湾、横明瞭。口縁部横ナゲ、底部へラ削り。底部一部欠損のため詳細不明。                             | 6世紀後半                        |

|                 |    |                     |                          |                |                      |                   |                             |   |                             |
|-----------------|----|---------------------|--------------------------|----------------|----------------------|-------------------|-----------------------------|---|-----------------------------|
| 第203図<br>P.L.81 | 5  | 土師器<br>坏            | 410-940G<br>1/4          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>5.0        | (12.8)            | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③黄褐色     | 口縁部内湾、梗明瞭。口縁部横ナデ、底部<br>ヘラ削り。内面工具による磨き。  | 6世紀後半                       |
| 第203図<br>P.L.81 | 6  | 土師器<br>小型壺          | 405-940G<br>1/2          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>9.0        | 10.0              | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色  | 口縁部外傾、体部丸みを帯び、中位に最大<br>径。口縁部から体部上位横ナデ、中位～底<br>部ヘラ削り。内面横ナデ、指圧痕。                | 5世紀前半                       |
| 第203図<br>P.L.81 | 7  | 陶器<br>碗             | 410-996G<br>胴部片          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.2)      | —                 | ①<br>②<br>③灰白色              | 外面黒色で菊文を描く。   | 近現代                         |
| 第203図<br>P.L.81 | 8  | 土師器<br>坏            | 415-006G<br>1/3          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.3)      | (12.0)            | ①粗・微砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい藍色   | 口縁部は弱く反し、体部は丸味を帯びて<br>立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ<br>ナデ、内面横ナデ。                        |                             |
| 第203図<br>P.L.81 | 9  | 土師器<br>磨り?          | 415-006G                 | 長さ<br>幅<br>厚さ  | —<br>—<br>3.3<br>3.3 | 4.1<br>3.3<br>3.3 | ①粗・微砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい藍色   | 椀の様な形状。上面に2個円孔有り、底面<br>に金属の刺さった円孔も有る。瓶の蓋の様<br>である。用途不明。                       | 時期不明                        |
| 第203図<br>P.L.81 | 10 | 須恵器<br>蓋            | 420-040G<br>胴部           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(1.9)      | —                 | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰色      | 甕壺成形。   | 8世紀後半                       |
| 第203図<br>P.L.81 | 11 | 土師器<br>高坏           | 420-056G<br>脚部           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.0)      | —                 | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色  | 器面が変れている為、整形痕不明。外面ナ<br>デか、内面紋り目。  | 時期不明                        |
| 第203図<br>P.L.81 | 12 | 須恵器<br>坏            | 420-070G<br>1/6          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>4.8        | (14.2)<br>(6.2)   | ①粗・微砂粒少量<br>②難化塩<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は(外傾方向不明)、底部回転糸切り。<br>横縫成形(外傾し、体部は直線的に立ち上<br>がる。                           |                             |
| 第203図<br>P.L.81 | 13 | 土師器<br>羽釜           | 420-070G<br>口縁部          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.7)      | (21.0)            | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色  | 口縁部やや内傾する。外面横ナデ、淵縁が<br>著しい。内面横ナデ。   | 1-3mm程の礫混<br>入<br>10世紀頃     |
| 第203図<br>P.L.81 | 14 | 土師器<br>壺            | 420-070G<br>口縁～胴部        | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(15.8)     | (24.4)            | ①粗・微砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい藍色   | 口縁部は弱く反し、胴部中位に緩やかな<br>膨らみを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部ナ<br>デ、内面ヘラナデ。                        | 3-5mm程の礫を<br>備かに含む。<br>時期不明 |
| 第204図<br>P.L.81 | 15 | 土師器<br>坏            | 420-075G<br>1/4          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.3)      | (14.8)            | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色      | 口縁部は直立気味で、体部は弱い丸味を帯<br>びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部<br>上位横ナデ、下位丁寧ナデ、内面ナデ。              | 6世紀前半～後半                    |
| 第204図<br>P.L.81 | 16 | 土師器<br>碗            | 420-075G<br>1/6          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.4)      | (11.6)            | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色  | 口縁部は外反し、体部は丸味を帯びて立ち<br>上がる。器厚。外面口縁部横ナデ、体部ヘ<br>ラ削り、内面ヘラナデ。接合痕有り。               | 5世紀前半                       |
| 第204図<br>P.L.81 | 17 | 土師器<br>壺            | 420-075G<br>口縁～胴部        | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(11.0)     | (14.4)            | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色  | 口縁部は直立し口唇部が外傾する。胴部は<br>球状を呈する。外面口縁部横ナデ、胴部ヘ<br>ラナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面ヘラナ<br>デ。接合痕有り。 | 8世紀後半?                      |
| 第204図<br>P.L.82 | 18 | 土師器<br>坏            | 420-080G<br>口縁～体部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.3)      | (14.4)            | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色      | 口縁部はやや直立気味で、体部は丸味を帯<br>びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部<br>ヘラ削り、内面ナデ。                      | 7世紀後半                       |
| 第204図<br>P.L.82 | 19 | 土師器<br>壺            | 425-080G<br>口縁～胴部        | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.9)      | (13.8)            | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色  | 口縁部は外反し、胴部は膨らみを持つ。外<br>面口縁部横ナデ、胴部斜方向ナデ、内面ヘ<br>ラナデ。                            |                             |
| 第204図<br>P.L.82 | 20 | 土師器<br>小型<br>台付壺    | 420-080G<br>口縁～胴部        | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.7)      | (9.8)             | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰褐色     | 口縁部は外反し、胴部は球形を呈す。外面<br>口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面<br>ナデ。                             | 6世紀後半                       |
| 第204図<br>P.L.82 | 21 | 土師器<br>S字状口縁<br>台付壺 | 420-080G<br>台部           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.1)      | —                 | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄色   | 台部外周刷毛目状工具によるナデ。内面器<br>面の荒れの為整形痕不明。ナデか。                                       |                             |
| 第204図<br>P.L.82 | 22 | 土師器<br>高坏           | 420-080G<br>坏部片          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.2)      | (24.0)            | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色    | 坏部は段を有し、口唇部はやや直立し、直<br>線的に立ち上がる。外面坏部上位横ナデ、<br>中位～下位ナデ後工具による磨き、内面ナ<br>デ。       |                             |

|                 |    |                         |                          |                |                            |                            |  |                   |
|-----------------|----|-------------------------|--------------------------|----------------|----------------------------|----------------------------|--|-------------------|
| 第204回<br>P.L.82 | 23 | 須恵器<br>蓋                | 420-080G<br>1/4          | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(13.6)<br>(3.2)  | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色    | 橢圓成形(回転方向不明)。口縁部やや外傾。  | 6世紀後半             |
| 第204回<br>P.L.82 | 24 | 須恵器<br>壺                | 420-080G<br>肩部片          | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(1.7)            | ①細・微砂粒多量<br>②良好<br>③灰色     | 外面縄目紋が残る。内面輪が残る。   | 時期不明              |
| 第204回<br>P.L.82 | 25 | 須恵器<br>壺                | 420-080G<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(4.3)            | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色    | 口縁部は突帯2条雲る。灰輪が僅かる。外面横ナデ、下位に波状文、内面ヘラナデ。                                 |                   |
| 第204回<br>P.L.82 | 26 | 須恵器<br>壺                | 420-080G<br>胴部片          | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(5.2)            | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③暗灰色   | 外面並行叩き目、内面当て具痕。  |                   |
| 第204回<br>P.L.82 | 27 | 古銭<br>一銭                | 420-080G                 |                |                            | 重さ 0.6g                    |  | 写真のみ掲載<br>昭和16年   |
| 第204回<br>P.L.82 | 28 | 古銭<br>一銭                | 420-080G                 |                |                            | 重さ 3.7g                    |  | 写真のみ掲載<br>昭和13年   |
| 第204回<br>P.L.82 | 29 | 土師器<br>坏                | 420-085G<br>口縁-体部<br>1/5 | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(3.1)            | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は段を有し、弱く外反して直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                | 6世紀後半             |
| 第204回<br>P.L.82 | 30 | 土師器<br>坏                | 420-085G<br>口縁-体部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(3.3)            | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は直立し口唇部はやや内傾、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、底部ヘラ削り、内面横ナデ。                  | 7世紀後半             |
| 第204回<br>P.L.82 | 31 | 土師器<br>坏                | 420-085G<br>口縁-体部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(5.1)            | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は弱く外反気味に立ち上がり、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデか、内面ナデ後工具による磨き。         | 6世紀後半～<br>7世紀?    |
| 第204回<br>P.L.82 | 32 | 土師器<br>坏                | 425-085G<br>口縁-体部片       | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(10.8)<br>(3.7)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は直立し唇部が張る。体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ体部ヘラ削り、内面ナデ。器厚。                    | 7世紀?              |
| 第204回<br>P.L.82 | 33 | 土師器<br>瓶?               | 425-085G<br>口縁-胴部片       | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(28.8)<br>(12.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③淡黄褐色   | 口縁部は弱く外反し、胴部はやや直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、胴部上位斜方向ヘラ削り、内面横ナデ後工具による磨き。接合痕有り。     | グリッド-84同一<br>7世紀頃 |
| 第205回<br>P.L.82 | 34 | 土師器<br>壺                | 425-085G<br>口縁-胴部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(24.0)<br>(13.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は外反し、胴部は弱い影りを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部縦方向ヘラ削り、内面横ナデ。                           |                   |
| 第205回<br>P.L.82 | 35 | 須恵器<br>壺                | 420-085G<br>破片           | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(5.7)            | ①細・微砂粒少量 新磨<br>②還元焰<br>③灰色 | 外面並行叩き目、内面青海流。   |                   |
| 第205回<br>P.L.82 | 36 | 土師器<br>坏                | 425-080G<br>口縁-体部        | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(13.0)<br>(4.7)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は段を有し縁線が2条雲り、体部は丸味を帯び立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面横ナデ。破片。                | 6世紀後半～<br>7世紀前半   |
| 第205回<br>P.L.82 | 37 | 土師器<br>坏                | 420-080G<br>1/2          | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>5.5              | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部僅かに外傾し、口唇部に平坦面。体部丸みを帯び、中位に最大径。口縁部から体部上位横ナデ、中位-底部ヘラ削り。内面横ナデ後工具による磨き。 |                   |
| 第205回<br>P.L.82 | 38 | 須恵器<br>壺                | 420-080G<br>1/2          | 口径<br>底径<br>高さ | 9.8<br>6.2<br>2.9          | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 橢圓成形(右回転)。口縁部は弱く外反し、唇部が張り、体部は丸味を帯び立ち上がる。渦巻き状に1条沈線が走る。底部ヘラ調整。           | 9世紀頃?             |
| 第205回<br>P.L.82 | 39 | 土師器<br>S字状<br>口縁台付<br>壺 | 420-080G<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ | -<br>-<br>(11.0)<br>(3.4)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | S字状口縁、胴部陥らむ。外面口縁部横ナデ、体部刷毛目状工具による整形、内面口縁部横ナデ、体部ナデ。                      | 4世紀頃?             |

|                  |    |                     |                    |                |                           |                                    |   |                  |
|------------------|----|---------------------|--------------------|----------------|---------------------------|------------------------------------|---|------------------|
| 第2058回<br>P.L.82 | 40 | 土師器<br>S字状口<br>縁台付壺 | 420-080G<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(16.0)<br>(3.6) | ①微・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | S字状口縁、胴部ならむ。外面口縁部横ナデ、体部刷毛目状工具による整形、内面口縁部横ナデ、体部ナデ。                     | 4世紀後半?           |
| 第2059回<br>P.L.82 | 41 | 土師器<br>壺            | 430-080G<br>口縁部    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(16.0)<br>(3.5) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明褐色            | 口縁部は外反する。器面が荒れている為整形痕不明瞭。内外面横ナデ。                                      | 6世紀前半?           |
| 第2058回<br>P.L.82 | 42 | 土師器<br>壺            | 420-080G<br>口縁部    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(14.0)<br>(4.4) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色         | 受け口状口縁。口唇部に1条沈線有り。外面口縁部上位横ナデ、中位刷毛目状工具によるナデ後ヘラナデ、下位刷毛目状工具によるナデ。        | 4世紀後半～<br>5世紀前半  |
| 第2058回<br>P.L.82 | 43 | 土師器<br>壺            | 420-080G<br>口縁～胴部  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(16.0)<br>(7.9) | ①微・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色             | 「く」の字状口縁。胴部に彫らみを持つ。器面が荒れている為、整形痕不明瞭。外面口縁部横ナデ。                         | 5世紀頃             |
| 第2058回<br>P.L.82 | 44 | 灰釉<br>壺             | 420-080G<br>底部1/2  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(10.0)<br>(6.3) | ①粗・細砂粒少量<br>②還元窑<br>③灰白 釉<br>灰ナリープ | 罐轆成形、回転糸切り後付け高台。体部直線的に立ち上がる。底部内外面とも釉がつく。                              | 9世紀～10世紀         |
| 第2058回<br>P.L.82 | 45 | 陶器<br>灯明皿           | 420-080G<br>口縁一体部  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(11.6)<br>(2.0) | ①微砂粒僅か<br>②<br>③灰白色                | 罐轆成形。内外面に透明釉。胴部中位から底部へラ削り。  |                  |
| 第2058回<br>P.L.82 | 46 | 陶器<br>土瓶            | 420-080G<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(11.0)<br>(3.0) | ①粗・細砂粒僅か<br>②<br>③灰黄色              | 灰釉。   | 製作地不明<br>益子か足間系か |
| 第2058回<br>P.L.83 | 47 | 陶器<br>土瓶            | 420-080G<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.6)<br>(5.3)  | ①微砂粒僅か<br>②<br>③浅黄色                | 灰釉、釉色釉を模倣状に流す。  | 製作地不明<br>時期不明    |
| 第2058回<br>P.L.83 | 48 | 陶器<br>土瓶            | 420-080G<br>底部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(6.6)<br>(1.4)  | ①粗・細砂粒少量<br>②<br>③灰黄色              | 罐轆成形。脚が3カ所。火にかけた跡が残る。   | 近現代              |
| 第2058回<br>P.L.83 | 49 | 焼き塩釜<br>の蓋          | 420-080G<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.4)           | ①微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色               | 型作り成形。内面布目状。裏内における城以外の出土として確実な初期。                                     | 江戸時代             |
| 第2058回<br>P.L.83 | 50 | 土師器<br>坏            | 425-075G<br>1/3    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(12.4)<br>(4.4) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色            | 口縁部は外反し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面丁寧ナデ。                   |                  |
| 第206回<br>P.L.83  | 51 | 土師器<br>坏            | 425-085G<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(14.0)<br>(3.0) | ①粗・細砂粒僅か<br>②良好<br>③明赤褐色           | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。                          | 6世紀後半            |
| 第206回<br>P.L.83  | 52 | 土師器<br>坏            | 420-085G<br>1/2    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(12.4)<br>(6.2) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色           | 内外面ともに器面の荒れの為整形痕不明。口縁部やや内湾し体部丸みを帯びる。底部欠損の為詳細不明。口縁部横ナデ。                | 5世紀後半?           |
| 第206回<br>P.L.83  | 53 | 土師器<br>壺            | 420-085G<br>口縁部    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(14.0)<br>(5.9) | ①粗・細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色           | 折り返し口縁。口縁部端部は加飾は無く横ナデ、外面刷毛目状工具によるナデ後ヘラナデ、内面ナデ。                        |                  |
| 第206回<br>P.L.83  | 54 | 土師器<br>壺            | 425-085G<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(15.6)<br>(5.8) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色            | 口縁部は弱く外傾し口唇部はやや平直で、胴部は彫らみを持つ。器面が荒れている為、整形痕不明瞭。外面口縁部横ナデ、胴部ヘラナデ、内面ヘラナデ。 | 6世紀後半            |
| 第206回<br>P.L.83  | 55 | 土師器<br>S字状口<br>縁台付壺 | 420-085G<br>台部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>7.6<br>(6.5)    | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄色            | 外面横ナデ後工具による磨き。器面の荒れの為、詳細不明。   | 4世紀後半?           |
| 第206回<br>P.L.83  | 56 | 土師器<br>台付壺          | 420-085G<br>台部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>8.5<br>(4.8)    | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色             | 粘土漉からの成形。外面ヘラナデ、底部ヘラ削り後ナデ。  | 8世紀頃?            |
| 第206回<br>P.L.83  | 57 | 土師器<br>高坏           | 425-085G<br>胴部     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.0)           | ①粗・細砂粒僅か<br>②良好<br>③褐色             | エンタナス状に弱く彫らむ。外面ヘラナデ後工具による磨き、内面鏡り目、裾部横ナデ。                              | 時期不明             |
| P.L.83           | 58 | 焼成粘土塊               | 425-085G           |                |                           | 重さ 8.4g                            |   | 写真のみ掲載           |



|        |    |       |          |  |           |  |        |
|--------|----|-------|----------|--|-----------|--|--------|
| P L 83 | 59 | 焼成粘土塊 | 425-085G |  | 重さ 5.8 g  |  | 写真のみ掲載 |
| P L 83 | 60 | 焼成粘土塊 | 425-085G |  | 重さ 13.7 g |  | 写真のみ掲載 |
| P L 83 | 61 | 焼成粘土塊 | 425-085G |  | 重さ 6.8 g  |  | 写真のみ掲載 |
| P L 83 | 62 | 焼成粘土塊 | 425-085G |  | 重さ 5.6 g  |  | 写真のみ掲載 |

## 5区 遺構外

| 採回番号<br>採取番号    | 番号 | 類別<br>器種           | 出土位置<br>残存状態         | 計測値<br>(cm)                            | ①胎土②焼成③色調                       | 器形・技法等の特徴  | 備 考                    |
|-----------------|----|--------------------|----------------------|--|---------------------------------|--|------------------------|
| 第206回<br>P L 83 | 1  | 縄文<br>口縁部片         | 表採<br>口縁部片           | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.4)      | ①粗砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい橙色         | 口縁部下の隆帯による楕円形区画。区画内は8L縦位光填輪文。                                      | 加賀利E 3式<br>新段階         |
| 第206回<br>P L 83 | 2  | 土師器<br>坏           | 確認面一括<br>口縁・体部片      | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(12.0)<br>(7.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外側灰色<br>内黒色 | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯びて立ち上がり、頸部に段を持つ。外面口縁部横ナゲ、体部ヘラ削り、内面横ナゲ。吸炭。         |                        |
| 第206回<br>P L 83 | 3  | 土師器<br>坏           | 表採<br>口縁・体部<br>1/4   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(14.0)<br>(4.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色      | 口縁部は直立気味で、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナゲ、体部ヘラ削り、内面横ナゲ後工具による磨き。            |                        |
| 第206回<br>P L 83 | 4  | 土師器<br>坏           | 表採<br>ほぼ定形           | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>12.2<br>4.6     | ①粗砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい赤褐色        | 口縁部は外反し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。表面剥離。外面口縁部横ナゲ、体部ヘラ削り後ナゲ、内面横ナゲ後工具による磨き。 | 6世紀前半?                 |
| 第206回<br>P L 83 | 5  | 土器<br>かわらけ         | 覆土<br>1/2            | 口径<br>底径<br>高さ<br>(9.3)<br>6.2<br>2.0  | ①粗・微砂粒僅か<br>②良好<br>③橙色          | 底部左回転糸切り無調整。器内薄く、口縁部は立ち上がる。灯明型として使用された為か内外面黒変。                     |                        |
| 第206回<br>P L 83 | 6  | 土師器<br>甕           | 確認面一括<br>口縁部片        | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(18.0)<br>(4.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色          | 口縁部は外反し、頸部に内孔有り。外面口縁部横ナゲ、体部刷毛目状工具による、縦方向のナゲ、内面刷毛目状工具によるナゲ後、ヘラナゲ。   | 6世紀前半                  |
| 第206回<br>P L 83 | 7  | 土師器<br>甕           | No 1<br>胴部下部～底<br>部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(11.6)<br>(4.5) | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色        | 器面が荒れている。外面胴部斜方向ヘラ削り、底部横方向ヘラ削り、内面ナゲ。                               | 時期不明                   |
| 第206回<br>P L 83 | 8  | 須恵器<br>小型甕<br>短徑密か | 覆土<br>口縁部片           | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.4)      | ①細・微砂粒僅か<br>②透光端<br>③黄灰色        | 外面刷毛目状工具によるナゲ、体部舞踏文、内面ナゲ。  | 時期不明                   |
| 第206回<br>P L 83 | 9  | 土師器<br>高坏          | 表採<br>脚部             | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(11.8)     | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色          | 脚部は「ハ」の字状に開く。外面脚部ヘラナゲ、脚部横ナゲ、内面絞目。                                  | 時期不明                   |
| 第206回<br>P L 83 | 10 | 土師器<br>高坏          | 覆土<br>脚部片            | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.4)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色          | 坏部と脚部は貫通せず、脚部に内孔が有り脚部は広がりを持つ。内外面ナゲ。                                | 舞台遺跡2報告書<br>参照<br>古墳前期 |
| 第206回<br>P L 83 | 11 | 土師器<br>坏           | 表採<br>1/2            | 口径<br>底径<br>高さ<br>(8.6)<br>5.6<br>3.6  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰白色         | 手捏成形。やや強な作り。内外面ヘラナゲ。   |                        |

浜町遺跡遺物観察表 (6区)

6区 1号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴   | 備考    |
|-----------------|----|----------|-----------------|---|--------------------------|---|-------|
| 第209回<br>P.L.84 | 1  | 須恵器<br>碗 | N o 1<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(14.2)<br>(4.7) | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③褐色  | 轆轤成形(回転方向不明)。付け高台。内外面吸灰有り。口縁部は強く外傾し、体部は直線的に立ち上がる。しかし高台部は欠損している。 | 9世紀頃? |
| 第209回<br>P.L.84 | 2  | 須恵器<br>碗 | 覆土<br>体部～底部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.0)           | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③黄灰色 | 轆轤成形(回転方向不明)。付け高台。体部は直線的に立ち上がる。しかし高台部は欠損している。                   | 時期不明  |

6区 2号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                        | 石材               | 器形・技法等の特徴                                      | 備考 |
|-----------------|----|----------|--------------|------------------------------------|------------------|--|----|
| 第209回<br>P.L.84 | 1  | 石器<br>砥石 | 覆土           | 長さ<br>幅<br>厚さ<br>8.2<br>4.9<br>2.5 | 流紋岩<br>重さ 153.2g | 鉄器用。5面使用、中位が著しく磨成する。接痕は長軸方向を主としている。裏面一部剥落。使用痕。 |    |

6区 25号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態           | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                   | 器形・技法等の特徴  | 備考                  |
|-----------------|----|----------|------------------------|---|-----------------------------|--|---------------------|
| 第211回<br>P.L.84 | 1  | 土師器<br>坏 | N o 38<br>口縁～体部<br>1/4 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.4)<br>(3.2) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色  | 口縁部は段を有し立ち上がる。外面口縁部横ナデ。体部へラ削り、内面横ナデ。                                   | 6世紀後半               |
| 第211回<br>P.L.84 | 2  | 土師器<br>坏 | N o 11<br>1/2          | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>14.0<br>4.7     | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色   | 口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。底部平底。外面口縁部横ナデ。体部へラ削り。内面やや荒れている。ナデ後、工具による跡。        | 8世紀～9世紀頃            |
| 第211回<br>P.L.84 | 3  | 土師器<br>坏 | N o 13・17<br>1/3       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(13.0)<br>4.5   | ①粗砂粒中量<br>②良好<br>③赤褐色       | 口縁部は段を有し外傾。体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ。体部へラ削り、内面横ナデ。                         | 細・微砂粒少量<br>8世紀～9世紀頃 |
| 第211回<br>P.L.84 | 4  | 土師器<br>坏 | N o 30<br>1/4          | 口径<br>底径<br>高さ<br>(13.0)<br>(6.6)<br>3.8    | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色    | 口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。底部平底。外面口縁部横ナデ。体部へラ削り、内面ナデ。                        | 9世紀後半?              |
| 第211回<br>P.L.84 | 5  | 土師器<br>坏 | N o 26<br>1/4          | 口径<br>底径<br>高さ<br>(13.0)<br>(7.0)<br>4.0    | ①細・微砂粒少量<br>②酸化焰<br>③褐色     | 口縁部は直立し、体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ。体部斜方向へラ削り、底部へラ削り、内面横ナデ。                  | 9世紀～10世紀            |
| 第211回<br>P.L.84 | 6  | 土師器<br>坏 | N o 1<br>口縁～体部片        | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(13.6)<br>(3.6) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色  | 口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。体部は丸味を帯びて立ち上がる。                                   | 5世紀前半?              |
| 第211回<br>P.L.84 | 7  | 須恵器<br>坏 | N o 16・18<br>1/3       | 口径<br>底径<br>高さ<br>(14.0)<br>(6.0)<br>4.2    | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰黄色    | 轆轤成形(回転方向不明)。口縁部は外反し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。                                   | 粗砂粒僅か               |
| 第211回<br>P.L.84 | 8  | 須恵器<br>坏 | 覆土<br>1/4              | 口径<br>底径<br>高さ<br>(14.0)<br>(6.0)<br>3.8    | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③にぶい褐色  | 轆轤成形(回転方向不明)。口縁部は外反し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。                                   | 粗砂粒僅か               |
| 第211回<br>P.L.84 | 9  | 須恵器<br>碗 | N o 2<br>ほぼ完形          | 口径<br>底径<br>高さ<br>14.4<br>6.7<br>5.5        | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化焰<br>③明赤褐色   | 轆轤成形後へラ調整。やや歪み有り。口縁部は外傾し、腰部がやや張り、体部は直線的に立ち上がる。付け高台で断面台形。内面へラナデ。        | 9世紀後半               |
| 第211回<br>P.L.84 | 10 | 須恵器<br>碗 | N o 10・11<br>1/3       | 口径<br>底径<br>高さ<br>(16.5)<br>7.3<br>6.8      | ①細・微砂粒少量<br>②酸化焰<br>③にぶい黄褐色 | 轆轤成形。底部回転余切り後、付け高台。口縁部は外反し、腰部がやや張り、体部は直線的に立ち上がる。高台は「ハ」の字状に横やかに関き、断面台形。 |                     |
| 第211回<br>P.L.84 | 11 | 須恵器<br>碗 | N o 37<br>1/2          | 口径<br>底径<br>高さ<br>14.6<br>6.6<br>5.7        | ①細・微砂粒少量<br>②酸化焰<br>③にぶい黄褐色 | 轆轤成形。底部回転余切り後、付け高台。口縁部は外反し、腰部がやや張り、体部は直線的に立ち上がる。高台は「ハ」の字状に横やかに関き、断面台形。 |                     |
| 第211回<br>P.L.84 | 12 | 須恵器<br>碗 | N o 47<br>底部           | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>7.2<br>(1.9)    | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化焰<br>③赤褐色    | 轆轤成形(回転方向不明)。付け高台。器面が荒れている。内外面へラ調整。                                    |                     |
| 第211回<br>P.L.84 | 13 | 須恵器<br>碗 | 覆土<br>底部               | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>8.0<br>(2.2)    | ①細・微砂粒少量<br>②酸化焰<br>③にぶい黄褐色 | 轆轤成形(回転方向不明)。高台は「ハ」の字状に関き付け高台。内面へラ調整。                                  |                     |

|                 |    |               |                        |                                 |                                     |  |                      |
|-----------------|----|---------------|------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|--|----------------------|
| 第212回<br>P.L.84 | 14 | 須恵器<br>碗      | N o 16<br>体部～底部        | 口径 —<br>底径 (7.2)<br>高さ (3.3)    | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③淡黄色            | 轆轤成形(右回転)。底部回転糸切り後、付け高台。体部は丸味を帯びて立ち上がる。高台断面四角形。                        | 粗砂粒僅か                |
| 第212回<br>P.L.84 | 15 | 須恵器<br>碗      | 握り方<br>底部 1/2          | 口径 —<br>底径 (7.2)<br>高さ (2.2)    | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰白色            | 轆轤成形(右回転)。底部回転糸切り後、付け高台。高台断面四角形。                                       |                      |
| 第212回<br>P.L.84 | 16 | 須恵器<br>碗      | N o 2<br>体部～底部片        | 口径 —<br>底径 (7.2)<br>高さ (2.8)    | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰白色            | 轆轤成形(右回転)。底部回転糸切り後付け高台。高台断面四角形。  |                      |
| 第212回<br>P.L.84 | 17 | 須恵器<br>碗      | N o 39<br>1/3          | 口径 (14.8)<br>底径 (7.4)<br>高さ 5.6 | ①微砂粒僅か<br>②還元焰<br>③灰白色              | 轆轤成形。底部回転糸切り後付け高台。口縁部は僅かに外反し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。やや高台が高い。                   |                      |
| 第212回<br>P.L.84 | 18 | 灰釉陶器<br>碗     | 覆土<br>底部 1/3           | 口径 —<br>底径 (5.8)<br>高さ (2.8)    | ①細・微砂粒僅か 緊密<br>②還元焰<br>③灰白色         | 轆轤成形(右回転)。底部回転糸切り後付け高台。高台断面四角形。外面施釉、内面ヘラ調整。                            |                      |
| 第212回<br>P.L.84 | 19 | 土師器<br>羹      | 握り方<br>口縁部片            | 口径 (12.6)<br>底径 —<br>高さ (3.4)   | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 「コ」の字状口縁。外面横ナデ、体部ヘラ割り、内面ナデ。  | 9世紀～<br>10世紀初頭       |
| 第212回<br>P.L.84 | 20 | 土師器<br>羹      | 握り方<br>口縁部片            | 口径 (16.2)<br>底径 —<br>高さ (4.5)   | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③外にぶい赤褐色<br>内赤褐色 | 「コ」の字状口縁。内外面横ナデ。   | 9世紀頃～10世紀            |
| 第212回<br>P.L.84 | 21 | 土師器<br>羹      | N o 23<br>口縁～胴部<br>1/4 | 口径 —<br>底径 (19.0)<br>高さ (17.4)  | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③赤褐色             | 「コ」の字状口縁。胴部上位に膨らみを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部一部ヘラ割り、胴部上位斜方向ヘラ割り、下位縦方向ヘラ割り、内面横ナデ。    |                      |
| 第212回<br>P.L.85 | 22 | 土師器<br>羹      | N o 12<br>口縁～胴部        | 口径 14.2<br>底径 —<br>高さ (11.8)    | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色          | 口縁部が広く外反し、胴部中位に最大の膨らみを持つ段胴形。外面口縁部横ナデ、胴部上位～中位横、斜方向ヘラ割り、下位縦方向ヘラ割り、内面横ナデ。 | 8世紀末～<br>9世紀前        |
| 第212回<br>P.L.85 | 23 | 土師器<br>羹      | 覆土<br>底部               | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (2.0)        | ①粗・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③褐色             | 羹の底部?木葉痕有り。内面測線の為整形不詳。   | 粗・細砂粒僅か<br>古墳時代前期?   |
| 第212回<br>P.L.85 | 24 | 須恵器<br>羹      | 覆土<br>胴部片              | 口径 —<br>底径 —<br>高さ (6.0)        | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③外灰色<br>内にぶい黄褐色  | 轆轤成形。外面突帯を挟み、沈線2条、波状文2段が三る。内面指ナデによる整形。                                 | 時期不明                 |
| 第212回<br>P.L.85 | 25 | 土師器<br>環状蓋    | 握り方<br>組み部             | 口径 (4.0)<br>底径 —<br>高さ (3.5)    | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色              | 外面ヘラナデ、内面指ナデ。  |                      |
| 挿入番号<br>図録番号    | 番号 | 種別<br>器種      | 出土位置<br>残存状態           | 計測値<br>(cm)                     | 石材                                  | 器形・技法等の特徴  | 備考                   |
| 第212回<br>P.L.85 | 26 | 石器<br>砥石      | N o 32                 | 長さ 6.8<br>幅 4.4<br>厚さ 3.2       | 砂岩<br>重さ 153.2g                     | 5面使用、中位が磨滅する。磨痕は、長軸方向を主としている。中央部に孔。孔径約0.9cm。両側穿孔。裏面に刃部調整痕。             |                      |
| P.L.85          | 27 | 鉄関連遺物<br>碗状鉄滓 | N o 34                 |                                 | 重さ 74.1g                            |  | 小片のため因化できず。写真と重さのみ掲載 |
| P.L.85          | 28 | 鉄製品<br>鉄滓     | N o 7                  |                                 | 重さ 61.7g                            |  | 写真のみ掲載               |

## 6区 4号住居

| 拝因番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調                   | 器形・技法等の特徴   | 備考  |
|-----------------|----|------------|----------------|--|-----------------------------|---|---|
| 第213図<br>P.L.85 | 1  | 土師器<br>坏   | 1層1<br>完形      | 口径<br>底径<br>高さ<br>13.3<br>5.4<br>4.3     | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい褐色   | 口縁部は外傾し、口唇部に1条沈線が走る。体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部不定方向ヘラ削り、内面横ナデ。 | 9世紀後半～<br>10世紀前半                              |
| 第213図<br>P.L.85 | 2  | 土師器<br>坏   | N○2<br>1/5     | 口径<br>底径<br>高さ<br>(14.1)<br>(5.6)<br>4.3 | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色    | 口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面横ナデ。                 |   |
| 第213図<br>P.L.85 | 3  | 須恵器<br>陶   | 覆土<br>底部1/3    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(7.8)<br>(4.2)    | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③暗灰黄色   | 輪埴成形(回転方向不明)。「ハ」の字状に開く付け高台。高台断面三角形。                         |   |
| 第213図<br>P.L.85 | 4  | 土師器<br>小型甕 | N○6<br>口縁部1/2  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(12.0)<br>(5.2)   | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③褐色      | 「コ」の字状口縁。胴部は弱く膨らむ。やや器面が荒れている。外面口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面横ナデ。      | 9世紀頃  |
| 第214図<br>P.L.85 | 5  | 土師器<br>甕   | 掘り方<br>口縁部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>(22.6)<br>—<br>(3.9)   | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③外黒褐色内褐色 | 口縁部は弱く外反し、口唇部は平坦。頸部内傾。器内厚い。内外面横ナデ。                          | 9世紀後半～<br>10世紀初頭                              |
| 第214図<br>P.L.85 | 6  | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁部片     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(19.2)<br>(6.2)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色  | 「コ」の字状口縁。胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、釜合共有り、胴部横方向ヘラ削り、内面横ナデ。             | 9世紀後半?  |
| 第214図<br>P.L.85 | 7  | 土師器<br>甕   | N○1<br>口縁部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(19.0)<br>(7.0)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色  | 「く」の字状口縁で辻線が1条走る。口唇部僅かに直立し、胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面横ナデ。 | 8世紀後半?  |
| 第214図<br>P.L.85 | 8  | 土師器<br>甕   | N○10<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>(22.0)<br>(8.0)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色    | 口縁部は短く外反し、口唇部に平坦面を持つ。外面口縁部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面横ナデ。              | 9世紀後半～<br>10世紀初頭                              |
| 第214図<br>P.L.85 | 9  | 灰釉陶器<br>壺  | 覆土<br>底部       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>9.0<br>(5.2)      | ①粗僧小・微砂粒少量<br>②濃灰緑<br>③灰白色  | 輪埴成形(右回転)。回転糸切り後付け高台。高台断面四角形。外面施釉、内面釉が落ちている。                | 9世紀頃?   |
| 拝因番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)                              | 重量                          | 器形・技法等の特徴   | 備考  |
| 第214図<br>P.L.85 | 10 | 鉄製品<br>刀子  | N○13           | 長さ<br>幅<br>厚さ<br>(3.8)<br>(1.1)<br>(0.5) | 重さ 2.8g                     |   |   |
| 拝因番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)                              | 石材                          | 器形・技法等の特徴   | 備考  |
| 第214図<br>P.L.85 | 11 | 石器<br>燧石   | 覆土             | 長さ<br>幅<br>厚さ<br>12.1<br>5.8<br>4.2      | ホルンフェルス<br>重さ 436.7g        |   | 下部部に敲打痕。使用痕と考えられる。中央部にやや右上がり方向の擦痕・磨り痕が多数見られる。 |
| 拝因番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調                   | 器形・技法等の特徴   | 備考  |
| P.L.85          | 12 | 灰成粘土塊      | 覆土             |  |                             | 重さ 16.1g  | 写真のみ掲載  |
| P.L.85          | 13 | 灰成粘土塊      | 覆土             |  |                             | 重さ 18.3g  | 写真のみ掲載  |
| P.L.85          | 14 | 灰成粘土塊      | 覆土             |  |                             | 重さ 9.1g   | 写真のみ掲載  |

## 6区 5号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴   | 備考              |
|-----------------|----|----------|-----------------|-----------------------------------|----------------------------|---|-----------------|
| 第215図<br>P.L.85 | 1  | 土師器<br>坏 | No 4<br>2/3     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>3.5   | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底、やや器面が荒れている。外部へラナゲ、内面へラナゲ。           | 7世紀後半～<br>8世紀前半 |
| 第215図<br>P.L.85 | 2  | 土師器<br>坏 | No 11<br>1/2    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>4.4   | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底、やや器面が荒れている。外面口縁部横ナゲ、体部横方向へラナゲ、内面ナゲ。 | 7世紀後半～<br>8世紀前半 |
| 第216図<br>P.L.85 | 3  | 土師器<br>甕 | No 10<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(9.0) | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色  | 口縁部は外傾し、胴部は膨らむ。器面は荒れている。外面口縁部横ナゲ、胴部斜方向へラナゲ、内面ナゲ。                | 6世紀後半           |
| 第216図<br>P.L.85 | 4  | 須恵器<br>甕 | No 2<br>口縁～体部片  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(2.0) | ①細・微砂粒少量<br>②還元焼<br>③黄灰色   | 輪縁成形（回転方向不明）。   | 時期不明            |

## 6区 6号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調                             | 器形・技法等の特徴   | 備考             |
|-----------------|----|----------|---------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|----------------|
| 第218図<br>P.L.86 | 1  | 土師器<br>坏 | 1層4<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 口縁部はやや内湾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナゲ、体部へラナゲ、内面へラナゲ。          | 7世紀～8世紀?       |
| 第218図<br>P.L.86 | 2  | 土師器<br>坏 | 覆土<br>口縁～体部片  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 口縁部は外傾し器内が薄く、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナゲ、体部へラナゲ、内面ナゲ後工具による磨き。 | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半 |
| 第218図<br>P.L.86 | 3  | 須恵器<br>坏 | 掘り方<br>口縁部1/4 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.1) | ①粗・微砂粒多量<br>②還元焼<br>③外灰黄褐色<br>内にぶい黄褐色 | 輪縁成形（回転方向不明）、口縁部は外傾し、体部は丸味を帯び中心に張りを持つ。                    |                |
| 第218図<br>P.L.86 | 4  | 土師器<br>甕 | 1層2<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.0) | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色                | 口縁部は外傾し口唇部は平坦。頸部は直立し、肩部は膨らむ。外面口縁部～頸部横ナゲ、肩部へラナゲ、内面ナゲ。      | 時期不明           |

## 6区 7号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種     | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴  | 備考               |
|-----------------|----|--------------|----------------|---|----------------------------|--|------------------|
| 第219図<br>P.L.86 | 1  | 須恵器<br>坏     | 1層13<br>完形     | 口径<br>底径<br>高さ<br>13.3<br>6.2<br>3.9        | ①粗・微砂粒少量<br>②還元焼<br>③灰黄色   | 輪縁成形（右回転）。底部回転糸切り、口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。                                      | 9世紀前半?           |
| 第219図<br>P.L.86 | 2  | 土師器<br>台付甕   | 1層7<br>台部      | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.3)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色   | 台部外面へラナゲ後了家ナゲ、内面ナゲ、胴部外面ナゲ、内面へラナゲ。  | 9世紀頃?            |
| 第219図<br>P.L.86 | 3  | 土師器<br>台付甕   | 1層2<br>台部      | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.2)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 外面へラナゲ、内面へラナゲ。   |                  |
| 第219図<br>P.L.86 | 4  | 土師器<br>小形台付甕 | 1層5<br>口縁～胴部片  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.2)           | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 「く」の字状口縁。胴部膨らむ。外面口縁部横ナゲ、胴部へラナゲ、内面ナゲ。   | 9世紀中頃～<br>10世紀初頭 |
| 第220図<br>P.L.86 | 5  | 土師器<br>甕     | 1層14<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(7.2)           | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色 | 「コ」の字状口縁。頸部接合痕有り、胴部斜方向へラナゲ、内面ナゲ。   | 9世紀末～<br>10世紀初頭  |
| 第220図<br>P.L.86 | 6  | 土師器<br>甕     | 覆土<br>口縁～胴部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(18.0)          | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 「コ」の字状口縁。胴部は上位に張りを持つ。外面口縁部横ナゲ、胴部上位横方向へラナゲ、中位斜・縦方向へラナゲ、内面横ナゲ。                 | 9世紀後半～<br>10世紀前半 |
| 第220図<br>P.L.86 | 7  | 土師器<br>甕     | 覆土<br>口縁～胴部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(26.0)          | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 「コ」の字状口縁。胴部は上位に最大径有り。器面やや荒れている。外面口縁部横ナゲ、胴部上位斜方向へラナゲ、中位～下位縦方向へラナゲ、内面ナゲ、接合痕有り。 | 9世紀第4四半期         |
| 第220図<br>P.L.86 | 8  | 土師器<br>甕     | 1層3<br>胴部～底部   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.1)<br>(25.4) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色   | 胴部上位に最大径を持ち、底部平底。外面胴部上位斜方向へラナゲ、中位～下位縦方向へラナゲ、内面横ナゲ、接合痕有り。                     | 粗砂粒僅か<br>9世紀前後?  |

|                 |    |           |              |               |                           |   |               |  |
|-----------------|----|-----------|--------------|---------------|---------------------------|---|---------------|--|
| 第220回<br>P.L.87 | 9  | 須恵器<br>耳皿 | 1層 8<br>ほぼ完成 | 口径<br>10.0    | ①細・微砂粒少量<br>②酸化塩<br>③明黄褐色 | 軸線成形後ヘラナデ、「ハ」の字状に開く付<br>け高台。高台断面四角形。              |               |  |
| 第220回<br>P.L.87 | 10 | 陶器<br>壺   | 振り方<br>口径部片  | 口径<br>(11.8)  | ①粗・細砂粒僅か<br>②還元塩<br>③灰黄色  | 軸線成形。肩部台形。口部は逆三角形。<br>内外面輪が繋がる。口径部は反気味に立<br>ち上がる。 | 9世紀～10世紀頃     |  |
| 第221回<br>P.L.87 | 11 | 竈天井石      | 床面           | 長さ<br>幅<br>厚さ | 45.4<br>18.2<br>7.0       | 凝灰岩<br>重さ 5,600g                                  | 前面風化摩滅。削痕不明瞭。 |  |

## 6区 8号住居

| 検出番号<br>図面番号    | 番号 | 種類<br>器種   | 出土位置<br>残存状態        | 計測値<br>(cm)    | ①粘土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                 | 備 考   |                  |
|-----------------|----|------------|---------------------|----------------|------------------------|---------------------------|---|------------------|
| 第222回<br>P.L.87 | 1  | 須恵器<br>坏   | 1層10<br>1/3         | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>(6.0)<br>4.4 | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口径部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち<br>上がる。底部平底。外面口径部横ナデ、体<br>部へラ削り、内面へラ削り、底部へラ削り。            |                  |
| 第222回<br>P.L.87 | 2  | 土師器<br>坏   | 1層1<br>口径～体部<br>1/3 | 口径<br>底径<br>高さ | (15.6)<br>—<br>(4.3)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口径部は弱く外傾し、体部は直線的に立ち<br>上がる。外面口径部横ナデ、接合直り、体<br>部へラ削り、内面横ナデ? やや器面が荒れ<br>ている。    | 7世紀後半?           |
| 第222回<br>P.L.87 | 3  | 須恵器<br>坏?  | 覆土<br>口径～体部片        | 口径<br>底径<br>高さ | (12.4)<br>—<br>(4.5)   | ①細・微砂粒少量<br>②還元塩<br>③黄灰色  | 軸線成形(回転方向不明)。口径部は外傾し、<br>体部は直線的に立ち上がる。  | 9世紀頃?            |
| 第222回<br>P.L.87 | 4  | 須恵器<br>坏   | 覆土<br>口径～底部         | 口径<br>底径<br>高さ | (12.4)<br>5.6<br>4.2   | ①細・微砂粒少量<br>②酸化塩<br>③灰黄色  | 軸線成形(右回転)。底部回転糸切り。やや<br>器面が荒れている。口径部は外傾し、体部<br>は直線的に立ち上がる。                    | 8世紀後半～<br>9世紀?   |
| 第222回<br>P.L.87 | 5  | 須恵器<br>坏   | 覆土<br>底部            | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>6.0<br>(2.1)      | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化塩<br>③暗灰黄色 | 軸線成形(右回転)。底部回転糸切り。底部<br>中央に厚みがある。やや器面が荒れている。                                  |                  |
| 第222回<br>P.L.87 | 6  | 須恵器<br>坏   | 1層1<br>口径～底部        | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>(8.0)<br>3.0 | ①粗・細砂粒多量<br>②還元塩<br>③灰黄色  | 軸線成形(回転方向不明)。底部回転糸切り<br>接へラ調整。口径部は外傾し、体部は直線<br>的に立ち上がる。                       | 9世紀末～<br>10世紀前半? |
| 第222回<br>P.L.87 | 7  | 土師器<br>壺   | 覆土<br>口径部1/3        | 口径<br>底径<br>高さ | (13.2)<br>—<br>(3.6)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口径部は外傾し、頸部は内傾。接合直り有<br>り。外傾口径部～頸部横ナデ、肩部へラ削<br>り、内面横ナデ、接合直り有り。                 |                  |
| 第222回<br>P.L.87 | 8  | 土師器<br>罍   | 覆土<br>口径～肩部片        | 口径<br>底径<br>高さ | (18.0)<br>—<br>(5.2)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 「コ」の字状口径。口部僅かに直立し、<br>肩部膨らむ。外面口径部横ナデ、肩部へラ<br>削り、内面横ナデ。                        |                  |
| 第223回<br>P.L.87 | 9  | 土師器<br>壺   | 1層1<br>口径部1/3       | 口径<br>底径<br>高さ | (20.0)<br>—<br>(6.5)   | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 「コ」の字状口径。口部部に1条沈線が巡<br>る。外面口径部横ナデ、頸部へラ削り、内<br>面横ナデ。                           | 9世紀中葉            |
| 第223回<br>P.L.87 | 10 | 土師器<br>罍   | 1層2<br>口径～胴部        | 口径<br>底径<br>高さ | (19.7)<br>—<br>(25.0)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 「コ」の字状口径。胴部上位が張り、器面<br>は薄い。外面口径部横ナデ、胴部上位横方<br>向へラ削り、中位～下位斜・旋方向へラ削<br>り、内面横ナデ。 | 9世紀              |
| 第223回<br>P.L.87 | 11 | 土師器<br>台付罍 | 覆土<br>台部付           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(9.8)<br>(26.0)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 裾部端部は短く立ち上がる。内外面横ナデ。  | 9世紀頃             |
| 第223回<br>P.L.87 | 12 | 鉄製品<br>釘   | 覆土                  | 長さ<br>幅<br>厚さ  | (4.7)<br>1.0<br>0.5    | 重さ 4.2g                   |   |                  |

## 6区 9号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴                  | 備 考  |                 |
|-----------------|----|-------------|----------------|----------------|------------------------|----------------------------|--|-----------------|
| 第225図<br>P L.87 | 1  | 土師器<br>環    | 1層18<br>口縁-体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>(2.5)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう削り、内面横ナデ。  |                 |
| 第225図<br>P L.87 | 2  | 土師器<br>環    | 1層12<br>口縁-体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (12.4)<br>—<br>(3.8)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色 | 口縁部は直立し口唇部は平坦。体部は丸味を帯び立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部斜方向へう削り、内面横ナデ。                                  |                 |
| 第225図<br>P L.87 | 3  | 須恵器<br>碗    | 1層9<br>1/6     | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>(9.8)<br>4.5 | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③黄灰色   | 轆轤成形(回転方向不明)。底部回転糸切り後へう調整し付け高台。高台断面四角形。口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。やや器高低い。内面底部際に襷指で、沈線を作っている。 | 白色針状物質含む        |
| 第225図<br>P L.87 | 4  | 須恵器<br>碗    | 1層7<br>1/4     | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>(9.8)<br>4.4 | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色    | 轆轤成形(回転方向不明)。底部回転糸切り後へう調整し付け高台。高台断面四角形。口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。内面底部際に襷指で、沈線を作っている。        | 白色針状物質含む<br>武藏系 |
| 第225図<br>P L.88 | 5  | 土師器<br>壺    | 1層17<br>口縁-胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (20.0)<br>—<br>(15.8)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙褐色 | 口縁部は外傾し、頸部は直立する。胴部上位に丸味を帯びる。外面口縁部横ナデ、胴部上位横方向へう削り、中位へう削り、縦方向へう削り、内面横ナデ。                 | 9世紀前半           |
| 第225図<br>P L.87 | 6  | 土師器<br>壺    | 1層17<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | (19.0)<br>—<br>(4.5)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙褐色    | やや器面が荒れている。外面口縁部横ナデ、指頭痕有り、内面横ナデ。   |                 |
| 第225図<br>P L.87 | 7  | 土師器<br>壺    | 1層1<br>口縁部片    | 口径<br>底径<br>高さ | (20.2)<br>—<br>(6.4)   | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 長胴壺の口縁部?器内が厚く外反し開く。器面荒れている。外面口縁部横ナデ?胴部横ナデ?削り?内面横ナデ。                                    | 7世紀後半           |
| 第225図<br>P L.88 | 8  | 土師器<br>土直   | 1層6<br>口縁部片    | 口径<br>底径<br>高さ | (9.0)<br>—<br>(5.0)    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙褐色 | 口縁部は僅かに外傾し、頸部は直立気味に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、頸部へう削り、内面横ナデ。  |                 |
| 第225図<br>P L.88 | 9  | 須恵器<br>壺    | 甗覆土<br>胴部      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.5)        | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③暗灰色   | 外面並行明き目、内面青海泡。   |                 |
| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)    | 石材                     | 器形・技法等の特徴                  | 備 考  |                 |
| 第225図<br>P L.88 | 10 | 石器<br>磨石・磨石 | 掘り方            | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 8.8<br>4.5<br>3.8      | 安山岩<br>重さ 228.7g           | 表裏に準風痕。下端に打痕有り。  |                 |
| 第225図<br>P L.88 | 11 | 石器<br>磨石打製品 | 1層N o 19       | 長さ<br>幅<br>厚さ  | 4.1<br>2.5<br>0.5      | 片岩質粒状岩<br>重さ 7.7g          | 孔2穴、孔径0.2cm。表面、側面、裏面に研磨痕が残る。表側からの片側穿孔。   |                 |

## 6区 10号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                  | 備 考   |                |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------|----------------------|----------------------------|---|----------------|
| 第225図<br>P L.88 | 1  | 土師器<br>環 | 覆土<br>口縁-体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (11.4)<br>—<br>(2.7) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ?体部へう削り?内面ナデ。器面荒れのため、整形痕不明瞭。 | 7世紀後半          |
| 第225図<br>P L.88 | 2  | 土師器<br>環 | 覆土<br>口縁-体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (11.6)<br>—<br>(2.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙褐色    | 口縁部はやや内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう削り、内面横ナデ。             |                |
| 第225図<br>P L.88 | 3  | 土師器<br>環 | 覆土<br>口縁-体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (13.0)<br>—<br>(2.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色   | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へう削り、内面横ナデ。               | 7世紀後半?         |
| 第226図<br>P L.88 | 4  | 須恵器<br>底 | 覆土<br>底部1/3  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(6.0)<br>(2.1)  | ①粗・細砂粒多量<br>②還元焰<br>③灰白色   | 轆轤成形(右回転)。底部回転糸切りで無調整。やや器面が荒れている。                           | 混入?<br>10世紀後半? |

|                 |    |          |                    |                |                      |                            |  |          |
|-----------------|----|----------|--------------------|----------------|----------------------|----------------------------|--|----------|
| 第226回<br>P.L.88 | 5  | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>底部 1/2       | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(6.6)<br>(2.8)  | ①細・微砂粒少量<br>②酸化腐<br>③明赤褐色  | 器面が荒れている為、整形痕不明瞭。高台<br>断面四角形。  | 粗砂粒多量    |
| 第226回<br>P.L.88 | 6  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁～胴部片       | 口径<br>底径<br>高さ | (18.0)<br>—<br>(7.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 「コ」の字状口縁。胴部膨らむ。外面口縁部<br>横ナデ、胴部横方向へナテ有り、内面ナテ。                                       |          |
| 第226回<br>P.L.88 | 7  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁～肩部片       | 口径<br>底径<br>高さ | (18.0)<br>—<br>(4.8) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は外反し、口唇部に1条沈線有り、<br>頸部は直立気味。胴部膨らむ。外面口縁部<br>横ナデ、胴部へナテ有り、内面横ナテ。                   | 7世紀後半?   |
| 第226回<br>P.L.88 | 8  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ | (19.6)<br>—<br>(4.3) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 口縁部は外反。やや器面が荒れている。外面<br>口縁部横ナデ、胴部斜方向へナテ有り又は<br>腕毛目か。                               | 9世紀前半?   |
| 第226回<br>P.L.88 | 9  | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁～胴部<br>1/2 | 口径<br>底径<br>高さ | 13.0<br>—<br>(13.0)  | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 「コ」の字状口縁。胴部上位に張りを持つ。<br>外面口縁部横ナテ、胴部上位横方向へ<br>ナテ有り、中位～下位縦方向へナテ有り、内面<br>へラナテ。        | 9世紀後半    |
| 第226回<br>P.L.88 | 10 | 土師器<br>甕 | 覆土<br>口縁～胴部        | 口径<br>底径<br>高さ | (11.8)<br>—<br>(8.8) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 「コ」の字状口縁。胴部がやや膨らみ、胴部<br>中位膨らむ。外面口縁部横ナテ、胴部上<br>位横方向へナテ有り、中位～下位斜・縦方向<br>へナテ有り、内面横ナテ。 | 9世紀第3四半期 |
| 第226回<br>P.L.88 | 11 | 須恵器<br>甕 | 覆土<br>胴部片          | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.2)      | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化腐<br>③にぶい橙色 | 外面波状文が三条並行する。内面荒れの為<br>不明。   |          |

## 6区 11号住居

| 検出番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                          | 備考   |                |
|-----------------|----|------------|-----------------|----------------|----------------------|------------------------------------|--|----------------|
| 第227回<br>P.L.88 | 1  | 土師器<br>坏   | P.2<br>1/2      | 口径<br>底径<br>高さ | (12.0)<br>—<br>4.3   | ①粗・細砂粒僅か<br>②良好<br>③外灰褐色<br>内にぶい橙色 | 口縁部は段を有し直立気味に外反し、体部<br>は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横<br>ナテ、体部へナテ有り、内面へラナテ。   | 7世紀前半          |
| 第227回<br>P.L.88 | 2  | 土師器<br>坏   | 1層2<br>1/3      | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>3.2   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色          | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち<br>上がる。底部丸底、やや歪み有り。外面口<br>縁部横ナテ、体部へナテ有り、内面横ナテ。 | 粗砂粒僅か<br>7世紀後半 |
| 第227回<br>P.L.88 | 3  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁～底部片    | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>2.2   | ①粗・細砂粒僅か<br>②良好<br>③橙色             | 口縁部はやや内湾し、体部は丸味を帯びて<br>立ち上がる。外面口縁部横ナテ、体部へナ<br>テ有り、内面横ナテ。           |                |
| 第227回<br>P.L.88 | 4  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁～体部片    | 口径<br>底径<br>高さ | (10.8)<br>—<br>(1.8) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色             | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち<br>上がる。外面口縁部横ナテ、体部へナテ有<br>り、内面横ナテ。             |                |
| 第227回<br>P.L.88 | 5  | 土師器<br>小型甕 | 掘り方<br>口縁～胴部片   | 口径<br>底径<br>高さ | (10.2)<br>—<br>(3.9) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色         | 口縁部は強く外反し、頸部は直立。胴部は<br>膨らむ。外面口縁部横ナテ、胴部へナテ有<br>り、内面横ナテ。             |                |
| 第227回<br>P.L.88 | 6  | 土師器<br>甕   | No.13<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (17.0)<br>—<br>(6.5) | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③橙色             | 胴部がやや膨らむ。器面が荒れている為、<br>整形痕不明瞭。外面口縁部横ナテ、胴部へ<br>ナテ有り、内面横ナテ。          |                |
| 第227回<br>P.L.88 | 7  | 土師器<br>甕   | No.9<br>胴部～底部   | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>(5.3)<br>(7.1)  | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③外黒褐色内橙色        | 器面が荒れている為、整形痕不明瞭。底部<br>平底。外面へラナテ有り、内面へラナテ。                         | 時期不明           |

## 6区 12号住居

| 検出番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種            | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調            | 器形・技法等の特徴                          | 備考  |  |
|-----------------|----|---------------------|---------------|----------------|----------------------|------------------------------------|---|--|
| 第228回<br>P.L.88 | 1  | 土師器<br>S字状口<br>鉢台付甕 | 1層1<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(3.9) | ①粗僅か・細・微砂粒<br>少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 「S」字状口縁。口縁部僅かに外反し、<br>胴部膨らむ。器面荒れている。外面口縁部<br>横ナテ、胴部刷毛目状工具によるナテ、内<br>面横ナテ。 |  |
| 第228回<br>P.L.88 | 2  | 土師器<br>甕            | 1層3<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | (16.8)<br>—<br>(5.1) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色             | 口縁部は強く外反し、口唇部は強く直立す<br>る。内外面へラナテ後工具による磨き。                                 |  |
| 第228回<br>P.L.88 | 3  | 土師器<br>高坏           | 1層2<br>脚部片    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.0)      | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色             | 外面へラナテ、内面横ナテ。   |  |



## 6区 13号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種                                | 出土位置<br>残存状態                      | 計測値<br>(cm)                       | ①粘土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴                                   | 備考   |                  |
|-----------------|----|---|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|---|--|------------------|
| 第231回<br>P.L.89 | 1  | 土師器<br>坏                                | 掘り方N o 10<br>完形                   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>4.8   | 13.0<br>—<br>—<br>4.8     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色                   | 口縁部は2段を有し外反突に外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部上段横ナデ、下段幅の狭い工具によるナデ、体部へラ削り、内面横ナデ。   | 6世紀後半～<br>7世紀前半  |
| 第231回<br>P.L.89 | 2  | 土師器<br>坏                                | 1層28<br>口縁～底部片                    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.6) | (14.0)<br>—<br>—<br>(4.6) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③暗褐色                     | 口縁部は段を有し外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り、内面ナデ。                         | 6世紀後半～<br>7世紀前半  |
| 第231回<br>P.L.89 | 3  | 土師器<br>坏                                | 1層3<br>口縁～体部片                     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.3) | (14.0)<br>—<br>—<br>(3.3) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色                      | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り、内面ナデ後工具による磨き。                     | 6世紀後半～<br>7世紀前半  |
| 第231回<br>P.L.89 | 4  | 土師器<br>坏                                | 覆土<br>口縁部片                        | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(2.4) | —<br>—<br>—<br>(2.4)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色                  | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り、内面ナデ後工具による磨き。                     |                  |
| 第231回<br>P.L.89 | 5  | 土師器<br>N o 11<br>口縁～肩部片<br>S字状口<br>縁台付蓋 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.9) | (13.6)<br>—<br>—<br>(4.9)         | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 「S」字状口縁。肩部膨らむ。外面口縁部横ナデ、肩部頭毛目状工具によるナデ、内面横ナデ。 | 4世紀  |                  |
| 第231回<br>P.L.89 | 6  | 土師器<br>蓋                                | 掘り方覆土<br>口縁～肩部片                   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(5.1) | (19.0)<br>—<br>—<br>(5.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色                  | 口縁部は外傾し、肩部は直立。肩部膨らむ。外面口縁部横ナデ、肩部取方向へラ削り、内面横ナデ。                            |                  |
| 第231回<br>P.L.89 | 7  | 土師器<br>台付蓋                              | 掘り方N o 5<br>台部                    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(7.2) | (10.2)<br>—<br>—<br>(7.2) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色                      | 胴部と台部の接合痕明確。外面胴部粗いへラ削り、台部へラナデ、内面粗いへラ削り。                                  | 4世紀前半?           |
| 第231回<br>P.L.89 | 8  | 土師器<br>小型蓋                              | 覆土<br>口縁～胴部片                      | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.1) | (11.6)<br>—<br>—<br>(4.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色                    | 口縁部は弱く外傾し、胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部斜・横方向ナデ、内面へラナデ。                              |                  |
| 第231回<br>P.L.89 | 9  | 土師器<br>壺                                | 掘り方<br>N o 3・7<br>口縁部片            | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(6.5) | (13.6)<br>—<br>—<br>(6.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色                      | 口縁部は外反し、口唇部は面取り。腹部に細い突帯を巡らす。胴部は膨らみを持つ。外面口縁部横ナデ、胴部突帯の為整形痕不明瞭横ナデ?内面整形痕不明瞭。 | 粗砂粒僅少<br>古墳時代前期? |
| 第231回<br>P.L.89 | 10 | 土師器<br>高坏                               | 1層25<br>脚部片                       | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(4.7) | —<br>—<br>—<br>(4.7)      | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色                      | 外面へラナデ、内面絞り目。  |                  |
| 第231回<br>P.L.89 | 11 | 土師器<br>器台                               | 掘り方N o 4<br>脚部                    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(7.8) | —<br>—<br>—<br>(7.8)      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色                   | 坏部と脚部が貫通し、脚部に3個の円孔有り。脚部下位1/3程で緩やかに広がる。外面工具による磨き、内面へラナデ。                  | 古墳時代前期?          |
| 第231回<br>P.L.89 | 12 | 埴輪                                      | 1層11<br>破片                        | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(8.5) | —<br>—<br>—<br>(8.5)      | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色                  | 器面の荒れの為整形痕やや不明瞭。突帯が1条走る。外面粗い刷毛状工具による磨き。                                  | 5mmの継合む          |
| 第231回<br>P.L.89 | 13 | 陶器                                      | 覆土<br>底部片                         | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(3.9) | (12.0)<br>—<br>—<br>(3.9) | ①微砂粒少量<br>②<br>③にぶい黄褐色                      | 外面の軸の荒れは黄褐色  | 時期不明             |
| P.L.89          | 14 | 地成粘土塊                                   | 覆土                                |                                   |                           | 重さ 6.8g                                     |  | 写真のみ掲載           |
| P.L.89          | 15 | 地成粘土塊                                   | 覆土                                |                                   |                           | 重さ 10.6g                                    |  | 写真のみ掲載           |

## 6区 14号住居

| 棟図番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種            | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴                  | 備考   |          |
|-----------------|----|---------------------|--------------|----------------|---------------------------|----------------------------|--|----------|
| 第234図<br>P.L.89 | 1  | 土師器<br>坏            | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(13.0)<br>(3.0) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は直立し、口部平直。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面ナデ。               | 粗・細砂粒僅か  |
| 第234図<br>P.L.89 | 2  | 土師器<br>甕            | 1層19<br>口縁部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(14.0)<br>(4.1) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は段を持ち、反外気味に外傾する。内外面横ナデ。                       | 6世紀後半    |
| 第234図<br>P.L.89 | 3  | 須恵器<br>坏            | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(14.0)<br>(5.1) | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色    | 轆轤成形(回転方向不明)。口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。               | 9世紀第2～第3 |
| 第234図<br>P.L.89 | 4  | 土師器<br>小型甕          | 覆土<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(12.8)<br>(3.8) | ①細・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 口縁部は反外し、胴部膨らむ。外面口縁部、刷毛目状工具による斜方向ナデ、胴部斜方向ナデ、内面ナデ。 |          |
| 第234図<br>P.L.89 | 5  | 土師器<br>S字状口<br>縁台付甕 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(15.4)<br>(2.5) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 「S」字状口縁。外面横ナデ、内面ヘラナデ後刷毛目状工具によるナデ。                |          |
| 第234図<br>P.L.89 | 6  | 須恵器<br>甕            | 覆土<br>胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(3.9)           | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色    | 外面沈線を境に上下波状文、内面横ナデ。                              |          |
| 第234図<br>P.L.89 | 7  | 土師器<br>高坏           | 掘り方覆土<br>坏部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(1.8)           | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 坏部と脚部に貫通する孔有り。外面ヘラ削り、内面ナデ後工具による磨き。               | 古墳時代前期   |
| 第234図<br>P.L.89 | 8  | 埴輪                  | 掘り方覆土<br>破片  | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(5.7)           | ①粗・細砂粒僅か<br>②良好<br>③にぶい黄橙色 | 器面の変れの為形不明。段の明確な突帯1条ある。内面ナデ。                     |          |

## 6区 15号住居

| 棟図番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種      | 出土位置<br>残存状態   | 計測値<br>(cm)    | ①胎土②焼成③色調                          | 器形・技法等の特徴                  | 備考  |               |
|-----------------|----|---------------|----------------|----------------|------------------------------------|----------------------------|---|---------------|
| 第236図<br>P.L.89 | 1  | 土師器<br>土釜?    | 1層30・31<br>底部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(12.0)<br>(8.0)          | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色 | 底部はやや高台気味に作られている。外面斜方向ヘラ削り、内面ナデ。  | 古代末?          |
| 第236図<br>P.L.89 | 2  | 須恵器<br>甕      | 1層17<br>胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.6)                    | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③褐色    | 外面並行引き目、灰釉。内面青海波当て具痕。   |               |
| 第236図<br>P.L.89 | 3  | 土師器<br>羽釜     | 1層17<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(22.0)<br>(5.6)          | ①3mm前後の礫多量<br>②良好<br>③橙色   | 外面口縁部横ナデ、胴活付後ナデ調整、内面斜方向ナデ。  |               |
| 第236図<br>P.L.89 | 4  | 土師器<br>羽釜     | 1層18<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(11.0)<br>(11.4)         | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 外面口縁部横ナデ、胴活付後ナデ調整、内面斜方向ナデ。  | 3mm前後の礫少量     |
| 第237図<br>P.L.90 | 5  | 須恵器<br>羽釜     | 1層16<br>1/4    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(30.6)<br>(11.8)<br>26.3 | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③橙色    | 轆轤成形後ヘラ調整。器肉が厚く、やや粗雑な作り。底部平底。   | 10世紀後半～11世紀前半 |
| 第237図<br>P.L.89 | 6  | 土師器<br>器台     | 覆土<br>脚部片      | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.3)                    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 脚部に孔が貫通する。脚部上位に3個の円孔、下位に2個の円孔計5個有り。外面ヘラナデ、内面ヘラナデ。                         | 混入?<br>4世紀頃?  |
| 第237図<br>P.L.89 | 7  | 埴輪<br>円筒      | 1層26<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(7.1)                    | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 突帯が1条ある。外面粗い目による縦刷毛、内面ナデ。   |               |
| 第237図<br>P.L.89 | 8  | 埴輪<br>円筒      | 1層20<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(8.0)                    | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 内外面とも器面が荒れている。外面一部粗い目の縦刷毛、内面ナデ。   | 3mm程度の礫がに含む   |
| 第237図<br>P.L.90 | 9  | 奈良県湯浴<br>純型鉄洋 | 覆土             | 高さ<br>幅<br>厚さ  | 3.0<br>5.2<br>3.2                  | 重さ 177.6g                  | やや厚みを持った小型の純型鉄洋の破片。上下面は生きており、下面が破面となる。本来は中形純型鉄洋の可能性も有る。メタル度: 錆化(△)、遊着度: 3 |               |

|                 |    |               |        |                                     |           |  |        |
|-----------------|----|---------------|--------|-------------------------------------|-----------|--|--------|
| 第237回<br>P L 90 | 10 | 鉄関連遺物<br>碗型鉄滓 | 貯蔵穴    | 長さ<br>7.0<br>幅<br>6.3<br>厚さ<br>3.6  | 重さ 178g   | 含鉄部が上面に広がる中盤碗型鉄滓。上下面生きており下面が破面。部は鍛造で比重が高い。本来は大形の碗型鉄滓の可能性も有る。<br>メタル度：錆化(○) 沿革度：4 |        |
| 第237回<br>P L 90 | 11 | 鉄関連遺物<br>碗型鉄滓 | N o 24 | 長さ<br>4.8<br>幅<br>10.7<br>厚さ<br>3.0 | 重さ 284.9g | 上下面は生きており、上面が破面となる。下面に酸化土砂の付着した碗型鉄滓。<br>メタル度：錆化(△) 沿革度：3                         |        |
| P L 90          | 12 | 鉄関連遺物<br>鉄滓   | N o 8  |                                     | 重さ 21.6g  |  | 写真のみ掲載 |
| P L 90          | 13 | 鉄関連遺物<br>鉄滓   | 掘り方覆土  |                                     | 重さ 51.9g  |  | 写真のみ掲載 |
| P L 90          | 14 | 焼成粘土塊         | 覆土     |                                     | 重さ 11.7g  |  | 写真のみ掲載 |
| P L 90          | 15 | 焼成粘土塊         | 覆土     |                                     | 重さ 5.8g   |  | 写真のみ掲載 |
| P L 90          | 16 | 焼成粘土塊         | 覆土     |                                     | 重さ 6.9g   |  | 写真のみ掲載 |
| P L 90          | 17 | 焼成粘土塊         | 1層27   |                                     | 重さ 19.3g  |  | 写真のみ掲載 |

## 6区 16号住居

| 棟回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴   | 備 考            |
|-----------------|----|-----------|--------------|--|---------------------------|---|----------------|
| 第238回<br>P L 90 | 1  | 土師器<br>杯  | 1層4<br>1/4   | 口径<br>(10.0)<br>底径<br>(5.8)<br>高さ<br>2.7 | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部やや弱いヘラ削り、内面横ナデ。 | 粗砂粒僅か<br>8世紀頃? |
| 第238回<br>P L 90 | 2  | 須恵器<br>杯  | 1層2<br>1/4   | 口径<br>(13.0)<br>底径<br>(7.0)<br>高さ<br>3.7 | ①粗・細砂粒僅か<br>②還元焰<br>③灰黄色  | 轆轤成形(右回転)。底部回転糸切り後周縁部の削り。口縁部は外傾し、体部は直線的に立ち上がる。    | 8世紀?           |
| 第238回<br>P L 90 | 3  | 須恵器<br>杯  | 覆土<br>底部片    | 口径<br>—<br>底径<br>(7.0)<br>高さ<br>(2.1)    | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色   | 轆轤成形(右回転)。底部回転糸切り。                                |                |
| 第238回<br>P L 90 | 4  | 須恵器<br>甕  | 1層1<br>胴部片   | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(9.0)        | ①粗・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色   | 外面並行叩き目、内面当て具痕。                                   |                |
| 第238回<br>P L 90 | 5  | 土師器<br>高杯 | 1層3<br>胴部片   | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(5.5)        | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄褐色  | 外面工具による磨き、内面ヘラナデ。                                 | 10世紀頃?         |

## 6区 17号住居

| 棟回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態        | 計測値<br>(cm)                           | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴  | 備 考   |
|-----------------|----|------------|---------------------|---------------------------------------|---------------------------|--|-------|
| 第239回<br>P L 90 | 1  | 土師器<br>長胴甕 | 1層7<br>口縁~胴部<br>1/3 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(26.9)    | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は外反して開き、胴部上位に弱い張りがある。器面やや荒れている。外面口縁部横ナデ、胴部縦方向ヘラ削り、内面ヘラナデ。 | 7世紀後半 |
| 第239回<br>P L 90 | 2  | 土師器<br>甕   | 1層4<br>底部1/2        | 口径<br>—<br>底径<br>(5.4)<br>高さ<br>(2.6) | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 底部中央が窪む。底部平底。外面研毛目状工具によるナデ、内面ナデ。                             | 時期不明  |

## 6区 20号住居

| 検出番号<br>図版番号    | 番号 | 機別<br>器種  | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)                                     | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴   | 備 考                 |
|-----------------|----|-----------|---------------|---|----------------------------|---|---------------------|
| 第240図<br>P.L.91 | 1  | 土師器<br>杯  | N○17-2<br>完形  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>13.4<br>4.2         | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰褐色    | 口縁部は段を有し外反気味に直立、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面ヘラナデ後工具による磨き。砥灰。                                 | 粗砂粒僅か<br><br>6世紀後半? |
| 第240図<br>P.L.91 | 2  | 土師器<br>杯  | N○11<br>完形    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>14.0<br>3.9         | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にふい褐色  | 口縁部は弱く外反し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面ヘラナデ後工具による磨き。  |                     |
| 第240図<br>P.L.91 | 3  | 土師器<br>杯  | N○15<br>ほぼ完形  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>15.0<br>4.4         | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄褐色   | 口縁部は段を有し弱く外反、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面ヘラナデ。   | 6世紀                 |
| 第240図<br>P.L.91 | 4  | 土師器<br>杯  | N○17<br>完形    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>14.3<br>4.4         | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は外反気味に直立、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面ヘラナデ後工具による磨き。砥灰。                                     |                     |
| 第240図<br>P.L.91 | 5  | 土師器<br>杯  | N○17-3<br>1/2 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.3)<br>4.5       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にふい黄褐色 | 口縁部は段を有しやや内傾、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、接合痕有り、体部ヘラナデ、内面ナデ。   | 6世紀後半～<br>7世紀前半     |
| 第240図<br>P.L.91 | 6  | 土師器<br>碗  | 1層9<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(12.0)<br>(5.5)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 口縁部は短く外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラナデ、内面ヘラナデ後工具による磨き。  |                     |
| 第240図<br>P.L.91 | 7  | 土師器<br>鉢  | N○16<br>完形    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>18.8<br>11.4        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にふい黄褐色 | 口縁部は強く外反気味に開き、体部は腰部が張り丸味を帯びて立ち上がる。半球形の深い体部である。外面口縁部横ナデ、体部斜方向ヘラナデ、内面横方向ヘラナデ、接合痕有り。                 | 粗砂粒僅か<br><br>古墳時代後期 |
| 第240図<br>P.L.91 | 8  | 土師器<br>甕  | 1層9<br>底部     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>3.7<br>(3.1)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にふい褐色  | 平底。外面ヘラナデ、内面ヘラナデ。   |                     |
| 第240図<br>P.L.91 | 9  | 土師器<br>甕  | 1層5<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(20.0)<br>(6.5)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③洗黄褐色   | 口縁部下位がやや直立する。器面が荒れている。内外面口縁部横ナデ。  | 7世紀前半?              |
| 第241図<br>P.L.91 | 10 | 土師器<br>甕  | N○1<br>2/3    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>18.0<br>9.2<br>32.0 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にふい褐色  | 口縁部は外反し、胴部は狭で肩の球形を呈す。外面口縁部横ナデ、胴部縦方向ヘラナデ、内面横ナデ。  | 5世紀前半?              |
| 第241図<br>P.L.91 | 11 | 土師器<br>甕  | 1層13<br>口縁部片  | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(17.0)<br>(7.2)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にふい黄褐色 | 折り返し口縁。外面ヘラナデ後工具による磨き、内面刷毛目状工具によるナデ後磨き。   | 古墳時代前期              |
| 第241図<br>P.L.91 | 12 | 土師器<br>罎  | N○12<br>完形    | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>6.2<br>15.2         | ①細・微砂粒僅か<br>②良好<br>③にふい褐色  | 口縁・胴部は内湾して直立に近く立ち上がり、胴部は中央やや下方が張る。下膨れの球形。外面口縁部端部横ナデ、内外面口縁部・胴部中位ヘラナデ後工具による磨き、胴部中位～下位横ナデ、内面口縁部ヘラナデ。 | 5世紀前半               |
| 第241図<br>P.L.91 | 13 | 土師器<br>高杯 | N○17<br>杯部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(20.0)<br>(4.1)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 杯部は皿状に直線的に開き、外傾する。外面上位横ナデ、下位ヘラナデ、内面ヘラナデ。  |                     |
| 第241図<br>P.L.91 | 14 | 土師器<br>高杯 | 覆上<br>杯部片     | 口径<br>底径<br>高さ<br>—<br>—<br>(20.0)<br>(4.0)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色     | 杯部は皿状に直線的に開き、外傾する。外面上位斜横ナデ、下位ヘラナデ、内面ヘラナデ。   |                     |

## 6区 21号住居

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種        | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴   | 備考                             |  |
|-----------------|----|-----------------|--------------|--|---------------------------|---|--------------------------------|--|
| 第242回<br>P.L.92 | 1  | 須恵器<br>坏        | 覆土<br>口縁～底部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(13.0)<br>(7.0)<br>3.6 | ①粗・細砂粒少量<br>②酸化焙<br>③灰黄色  | 轆轤成形(回転方向不明)。口縁部は外傾し、<br>体部は直線的に立ち上がる。                                    |                                |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 2  | 須恵器<br>坏        | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(15.0)<br>—<br>(4.2)   | ①粗・細砂粒中量<br>②還元焙<br>③灰色   | 轆轤成形(回転方向不明)。口縁部は外傾し、<br>体部は弱く丸味を帯びて立ち上がる。                                | 9世紀第3四半期                       |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 3  | 須恵器<br>碗        | 覆土<br>口縁～体部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(17.4)<br>—<br>(6.2)   | ①細・微砂粒少量<br>②酸化焙<br>③灰黄色  | 轆轤成形(回転方向不明)。内面ヘラ調整。  |                                |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 4  | 須恵器<br>坏        | 覆土<br>底部1/2  | 口径<br>底径<br>高さ<br>(5.6)<br>(1.8)         | ①細・微砂粒少量<br>②還元焙<br>③灰色   | 轆轤成形(回転方向不明)。底部回転糸切り。<br>内外面潤滑。   |                                |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 5  | 土師器<br>羹        | 覆土<br>口縁部    | 口径<br>底径<br>高さ<br>(20.0)<br>—<br>(6.2)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 「コ」の字状口縁。胴部膨らむ。外面口縁<br>部横ナデ、胴部ヘラ削り、内面横ナデ。                                 |                                |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 6  | 土師器<br>羹        | No 1<br>口縁部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(20.0)<br>—<br>(5.5)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 「コ」の字状口縁。胴部膨らむ。外面口縁<br>部横ナデ、胴部横方向ヘラ削り、内面横ナ<br>デ。                          | 9世紀第2四半期                       |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 7  | 土師器<br>羹        | 覆土<br>口縁部1/4 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(20.0)<br>—<br>(10.3)  | ①粗・細砂粒量中<br>②良好<br>③橙色    | 口縁部はやや砂肉が厚く、「く」の字状に外<br>反し、胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、<br>胴部斜方向ヘラ削り、内面横ナデ。接合痕<br>有り。 | 7世紀後半?                         |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 8  | 土師器<br>器台       | 覆土<br>脚部     | 口径<br>底径<br>高さ<br>(1.5)                  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 坏部から脚部に貫通する孔有り。外面ヘラ<br>ナデ、内面ナデ。   | 古墳時代前期                         |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 9  | 土師器<br>器台       | 覆土<br>脚部     | 口径<br>底径<br>高さ<br>(4.9)                  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 坏部と脚部を貫通する孔と脚部に孔を持<br>つ。外面工具によるナデ、内面ヘラナデ。                                 | 古墳時代前期                         |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 10 | 土師器<br>五徳<br>破片 | 覆土<br>破片     | 口径<br>底径<br>高さ<br>(1.0)                  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 轆轤成形?五徳の空気調整弁。  | 時期不明                           |  |
| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種        | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                              | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴   | 備考                             |  |
| 第242回<br>P.L.92 | 11 | 石製品             | 覆土           | 長さ<br>幅<br>高さ<br>7.2<br>4.1<br>3.1       | —                         | 石材<br>多孔質安山岩  | 石仏の背骨か? 縁辺部は丁字な成形。<br>重さ 82.6g |  |

## 6区 2号土坑

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴          | 備考   |
|-----------------|----|----------|--------------|--|--------------------------|--------------------|------|
| 第243回<br>P.L.92 | 1  | 須恵器<br>碗 | 覆土<br>底部1/2  | 口径<br>底径<br>高さ<br>(14.0)<br>(7.8)<br>(1.4) | ①粗・細砂粒中量<br>②還元焙<br>③灰黄色 | 轆轤成形(回転方向不明)。ヘラ調整。 | 時期不明 |

## 6区 10号土坑

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)                             | ①胎土②焼成③色調                  | 器形・技法等の特徴  | 備考                 |
|-----------------|----|------------|---------------|---|----------------------------|--|--------------------|
| 第245回<br>P.L.92 | 1  | 土師器<br>坏   | 1層8<br>口縁部破片  | 口径<br>底径<br>高さ<br>(12.6)<br>—<br>(3.3)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は直立し、胴部接線高まる。体部は丸<br>味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、<br>体部ヘラ削り、内面ナデ後工具による磨き。 | 5世紀後半?             |
| 第245回<br>P.L.92 | 2  | 土師器<br>羹   | 1層2<br>口縁部片   | 口径<br>底径<br>高さ<br>(8.4)<br>—<br>(4.5)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 「く」の字状口縁。胴部膨らむ。口縁部斜<br>方向のナデ、内面ナデ。                                   | 5世紀後半              |
| 第245回<br>P.L.92 | 3  | 土師器<br>高坏  | 1層4<br>脚部片    | 口径<br>底径<br>高さ<br>(14.2)<br>(4.1)       | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい黄橙色 | 胴部は段を有し、「ハ」の字状に開く。器面<br>は荒れている。外面上位ヘラ削り、胴部横<br>ナデ、内面ヘラナデ。            | 古墳時代後期             |
| 第245回<br>P.L.92 | 4  | 土師器<br>小型羹 | 1層6<br>2/3    | 口径<br>底径<br>高さ<br>11.2<br>6.8<br>9.5    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③浅黄橙色   | 口縁部は内傾し、体部球形。底部平底。外<br>面口縁部横ナデ、胴部横方向ナデ、内面ヘ<br>ラナデ後工具による磨き。           | 6世紀後半              |
| 第245回<br>P.L.92 | 5  | 土師器<br>鉢   | 1層1<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ<br>(20.0)<br>—<br>(11.0) | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③にぶい黄橙色 | 口縁部は小さく外反し、胴部半球形。器面<br>は荒れている。外面口縁部横ナデ、胴部斜<br>方向ヘラ削り、内面整形痕不明。        | 3m前後の埋少量<br>6世紀後半? |

## 6区 11号土坑

| 探頭番号<br>図版番号    | 番号 | 類別<br>器種    | 出土位置<br>残存状態     | 計測値<br>(cm)                                  | ①胎土②焼成③色調                          | 器形・技法等の特徴  | 備 考              |
|-----------------|----|-------------|------------------|--|------------------------------------|--|------------------|
| 第246図<br>P.L.92 | 1  | 土師器<br>環    | 覆土<br>口縁～体部片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(14.5)<br>(3.7)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | 口縁部は段を有し外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り、内面ナデ。   | 6世紀後半～<br>7世紀前半  |
| 第246図<br>P.L.92 | 2  | 土師器<br>長胴壺  | N o 4・5<br>口縁～胴部 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(24.0)<br>(16.7) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | 口縁部は器内が厚く外反して開く、外面口縁部横ナデ、胴部縦方向へラ削り、輪轆み直り有り、内面へラナデ。 | 7世紀頃?            |
| 第246図<br>P.L.92 | 3  | 土師器<br>長胴壺  | N o 3<br>口縁～胴部片  | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(24.0)<br>(8.3)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③外黒褐色<br>内にぶい褐色 | 口縁部は器内が厚く外反する。外面口縁部横ナデ、胴部縦方向へラ削り、接合痕有り、吸沢、内面斜方向ナデ。 | 7世紀前半?           |
| 第246図<br>P.L.92 | 4  | 土師器<br>小形埴? | 覆土<br>胴部片        | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(4.6)            | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | 手捏ね成・整形。外面へラナデ、内面へラナデ、指ナデ。                         | 埴埴粒僅か<br>古墳時代後期? |
| 第246図<br>P.L.92 | 5  | 土師器<br>高坏   | 覆土<br>胴部         | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(4.1)            | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色          | 外面へラナデ、内面紋じ目。                                      |                  |
| 第246図<br>P.L.92 | 6  | 須恵器<br>蓋    | 覆土<br>口縁～体部片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(11.0)<br>(3.0)  | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色            | 籠籠成形(回転方向不明)。                                      | 6世紀後半～<br>7世紀前半  |

## 6区 13号土坑

| 探頭番号<br>図版番号    | 番号 | 類別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)  | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴  | 備 考   |
|-----------------|----|----------|--------------|--|-------------------------|--|-------|
| 第247図<br>P.L.92 | 1  | 須恵器<br>甕 | N o 1<br>1/5 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(16.0)<br>(7.0)<br>6.5 | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色 | 籠籠成形(回転方向不明)。底部回転糸切り後付け高台。高台断面台形。口縁部はやや外傾し、体部は直線的に立ち上がる。 | 埴埴粒僅か |

## 6区 15号土坑

| 探頭番号<br>図版番号    | 番号 | 類別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態     | 計測値<br>(cm)                                   | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴   | 備 考              |
|-----------------|----|------------|------------------|---|---------------------------|---|------------------|
| 第248図<br>P.L.93 | 1  | 土師器<br>坏   | N o 9<br>1/2     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>12.7<br>5.5       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ後工具による磨き、体部へラ削り後ナデ、内面ナデ後工具による磨き。       | 6世紀前半?           |
| 第248図<br>P.L.93 | 2  | 土師器<br>坏   | N o 42<br>口縁部3/4 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>13.6<br>5.4       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口縁部は段を有し内傾、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部丸底。口縁部横ナデ後工具による磨き、体部へラ削り後ナデ、内面ナデ後工具による磨き。 | 5世紀後半～<br>6世紀後半? |
| 第248図<br>P.L.93 | 3  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>1/2        | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>14.6<br>5.5       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口縁部は段を有し外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り後ナデ、内面ナデ。                   | 6世紀前半            |
| 第248図<br>P.L.93 | 4  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>口縁～体部片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(13.0)<br>(2.9)   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰褐色   | 口縁部は弱く内湾しながら、直線的に立ち上がり、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り後ナデ、内面ナデ。        | 6世紀後半?           |
| 第248図<br>P.L.93 | 5  | 土師器<br>坏   | 覆土<br>1/2        | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>12.3<br>4.4       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口縁部は短く外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り後ナデ、内面は工具による磨き。               | 6世紀前半            |
| 第248図<br>P.L.93 | 6  | 土師器<br>甕   | 覆土<br>口縁～体部片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(12.4)<br>(4.0)   | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③褐色    | 口縁部は内傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り、内面横ナデ?器面荒れている。                 | 5世紀後半?           |
| 第248図<br>P.L.93 | 7  | 土師器<br>甕   | N o 51<br>2/3    | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>12.5<br>6.1       | ①粗・細砂粒中量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り、内面器面荒れの為、整形痕不明瞭、ナデ?            | 6世紀前半            |
| 第248図<br>P.L.93 | 8  | 土師器<br>小型壺 | N o 13<br>ほぼ完形   | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>8.2<br>4.4<br>6.9 | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色  | 口縁部は内傾し、体部球形。底部平底、凹面。外面口縁部横ナデ、体部へラ削り後ナデ、内面ナデ後工具による磨き。                 | 6世紀後半            |

|                 |    |             |                    |                |                       |                            |  |                          |
|-----------------|----|-------------|--------------------|----------------|-----------------------|----------------------------|--|--------------------------|
| 第248回<br>P L.93 | 9  | 土師器<br>壺    | N o 33<br>口縁～胴部片   | 口径<br>底径<br>高さ | (16.6)<br>—<br>(11.3) | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は弱く外傾し、口唇部は平坦、体部は弱く膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部弱い刷毛目状工具によるナデ、内面斜方向ナデ。          |                          |
| 第248回<br>P L.93 | 10 | 土師器<br>壺    | N o 34<br>口縁～胴部片   | 口径<br>底径<br>高さ | (20.0)<br>—<br>(9.9)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は外反し、胴部は高く膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部細かい刷毛目状工具によるナデ、内面横ナデ、内外面接合痕有り。           |                          |
| 第248回<br>P L.93 | 11 | 土師器<br>壺    | N o 49<br>口縁部片     | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(3.8)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 「く」の字状口縁。胴部膨らむ。外面口縁部横ナデ、接合痕有り、胴部斜方向へ削り、内面横ナデ。                        | 5世紀後半?                   |
| 第248回<br>P L.93 | 12 | 土師器<br>壺    | 覆土<br>口縁～胴部片       | 口径<br>底径<br>高さ | (14.0)<br>—<br>(6.6)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は直立に近く立ち上がり、口唇部は強い内湾、胴部膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部横ナデ、内面横ナデ。                  | 5世紀前半?                   |
| 第248回<br>P L.93 | 13 | 土師器<br>壺    | 覆土<br>口縁～胴部片       | 口径<br>底径<br>高さ | (18.8)<br>—<br>(6.9)  | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 「く」の字状口縁。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へ削り、内面ナデ。                                     | 5世紀末?                    |
| 第249回<br>P L.93 | 14 | 土師器<br>壺    | N o 4<br>口縁～胴部     | 口径<br>底径<br>高さ | (15.8)<br>—<br>(6.4)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 「く」の字状口縁。胴部は膨らむ。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へ削り、内面割面の為整形痕不明瞭。                      |                          |
| 第249回<br>P L.93 | 15 | 土師器<br>壺    | N o 1<br>定形        | 口径<br>底径<br>高さ | 12.4<br>4.6<br>18.0   | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 「く」の字状口縁で、胴部中に張りを持つ球形。外面口縁部横ナデ、胴部斜方向へ削り、内面横ナデ。                       | 5世紀後半～<br>6世紀前半          |
| 第249回<br>P L.93 | 16 | 土師器<br>壺    | N o 45<br>ほぼ完形     | 口径<br>底径<br>高さ | 18.8<br>9.0<br>29.7   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 口縁部は僅かに外反し、胴部中に張りを待つ卵形。底部平底。外面口縁部横ナデ、胴部上位横方向へ削り、中位～下位斜、縦方向へ削り、内面横ナデ。 | 7世紀後半?                   |
| 第249回<br>P L.94 | 17 | 土師器<br>壺    | N o 8・10<br>口縁～胴部片 | 口径<br>底径<br>高さ | (18.0)<br>—<br>(14.5) | ①粗・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 「く」の字状口縁で口唇部は器向が厚い、胴部は張る。外面口縁部横ナデ、接合痕有り、胴部斜方向へ削り、内面ナデ。               | 5世紀後半～<br>7世紀後半?         |
| 第249回<br>P L.94 | 18 | 土師器<br>壺    | N o 4<br>口縁～胴部片    | 口径<br>底径<br>高さ | (16.0)<br>—<br>(17.2) | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③明褐色    | 口縁部は器向が厚く高く外反し、胴部膨らむ。外面口縁部横ナデ、一部表面剥落と欠損、胴部剥落と欠損の為整形痕不明瞭。内面斜・横方向ナデ。   | 6世紀後半～<br>7世紀?           |
| 第249回<br>P L.94 | 19 | 土師器<br>壺    | N o 36<br>胴部～底部    | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>5.2<br>(20.4)    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 胴部中に張りを持つ卵形。外面胴部上位斜方向へ削り、中位～下位横・斜方向へ削り、内面ナデ。                         | 7世紀後半?                   |
| 第249回<br>P L.94 | 20 | 土師器<br>壺    | N o 24・25<br>胴部～底部 | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>5.7<br>(8.5)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい赤褐色 | 器面の寬れの為、整形痕やや不明瞭。外面胴部横方向へ削り、内面ナデ。底部平底、内面になっている。                      |                          |
| 第249回<br>P L.94 | 21 | 土師器<br>小型壺  | N o 2<br>定形        | 口径<br>底径<br>高さ | 9.0<br>—<br>11.0      | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部は短く高く外傾し、胴部中に張りを待つ球形。底部丸底。外面口縁部横ナデ、胴部へ削り後不定方向のナデ、内面横ナデ。           | 粗砂粒僅か<br>5世紀後半～<br>6世紀後半 |
| 第249回<br>P L.94 | 22 | 土師器<br>壺    | 覆土<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ | (11.0)<br>—<br>(4.4)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 口縁部上半は直立し、下半は直線的に開く。内外面横ナデ。  | 5世紀前半?                   |
| 第250回<br>P L.94 | 23 | 土師器<br>壺    | 覆土<br>口縁部片         | 口径<br>底径<br>高さ | (15.4)<br>—<br>(7.2)  | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 口縁部は直線的に外傾し開く。外面口縁部横ナデ後工具による磨き、内面横ナデ後工具による磨き。                        |                          |
| 第250回<br>P L.94 | 24 | 土師器<br>高坏   | 覆土<br>胴部           | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>—<br>(4.8)       | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色     | 外面ヘラナデ、内面横ナデ。  |                          |
| 第250回<br>P L.94 | 25 | 土師器<br>器台   | N o 29<br>胴部       | 口径<br>底径<br>高さ | —<br>6.7<br>(3.7)     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 胴部に3個穿孔有り。外面ナデ、内面ヘラナデ。   |                          |
| 第250回<br>P L.94 | 26 | ヒョコニア<br>土師 | N o 26<br>完形       | 口径<br>底径<br>高さ | 6.5<br>5.4<br>3.4     | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色  | 手握ね整形。外面ヘラナデ、指ナデ、内面ヘラナデ。   |                          |

## 6区 16号土坑

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                               | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴  | 備考 |
|----------------|----|------------|--------------|---|---------------------------|--|----|
| 第251図<br>P.L94 | 1  | 形象埴輪<br>盾形 | N03<br>破片    | 長さ<br>(22.6)<br>幅<br>(9.3)<br>厚さ<br>1.8   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 盾形埴輪の側面部分と考えられる。盾形埴輪の張り出しが顕著しているものである。破損で全体は不明だが、半円形の側縁有り、内面指頭痕残る。 |    |
| 第251図<br>P.L94 | 2  | 須恵器<br>環   | N02<br>1/6   | 口径<br>(16.2)<br>底径<br>(10.0)<br>高さ<br>5.0 | ①粗・細砂粒少量<br>②還元焰<br>③灰色   | 輪縁成形(右回転)。底部回転へつ起こし。口縁部はやや外傾し、体部は直線的に立ち上がる。底部平底。                   |    |

## 6区 18号土坑

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                       | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴  | 備考              |
|----------------|----|----------|--------------|-----------------------------------|-------------------------|--|-----------------|
| 第252図<br>P.L95 | 1  | 土師器<br>環 | 覆土<br>口縁～底部片 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>2.9   | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③褐色  | 口縁部は外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ後工具による磨き、体部へつ削り、内面ナデ後工具による磨き。 | 6世紀後半～<br>7世紀前半 |
| 第252図<br>P.L95 | 2  | 土師器<br>壺 | 覆土<br>口縁部片   | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(4.9) | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③褐色 | 口縁部は外反し、胴部やや膨らむ。外面口縁部不定方向ナデ、胴部や膨らみ方向ナデ、内面口縁部横ナデ、肩部ナデ。        | 10世紀～11世紀?      |

## 6区 19号土坑

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                        | ①胎土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴  | 備考    |
|----------------|----|----------|--------------|------------------------------------|---------------------------|--|-------|
| 第253図<br>P.L95 | 1  | 埴輪<br>円筒 | N05<br>破片    | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(12.4) | ①細・細粒多量<br>②良好<br>③にぶい黄褐色 | 外面上端部横ナデ。外面細かい目の縦刷毛、内面やや細かい目による斜め刷毛、外面赤色塗彩。下部縦方向の削り。 |       |
| 第253図<br>P.L95 | 2  | 埴輪       | N02<br>破片    | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(11.7) | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい褐色 | 外面口縁部横ナデ。外面細かい目の縦刷毛、外面赤色塗彩有り。内面やや細かい目の斜め縦刷毛、斜・横方向ナデ。 | 5世紀後半 |

## 6区 1号溝

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態       | 計測値<br>(cm)                                | ①胎土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴                    | 備考             |
|----------------|----|----------|--------------------|--|-------------------------|------------------------------|----------------|
| 第255図<br>P.L95 | 1  | 陶器<br>不明 | 覆土<br>肩部～底部<br>1/2 | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(7.2)<br>(9.8) | ①粗砂粒? 緻密<br>②<br>③灰白色   | 輪縁成形(回転方向不明)。外面輪に漬ける、底部へつ削り。 |                |
| 第255図<br>P.L95 | 2  | 須恵器<br>壺 | 覆土<br>破片           | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(4.7)          | ①粗砂粒? 緻密<br>②還元焰<br>③灰色 | 輪縁成形。尖帯2条帯る。外面上下に波状文、内面へつ調整。 | 制作地不詳<br>19世紀か |
| 第255図<br>P.L95 | 3  | 陶器<br>鉢  | 覆土<br>1/2          | 口径<br>(13.6)<br>底径<br>6.6<br>高さ<br>6.4     | ①<br>②<br>③灰白色          | 蛇の目凹型高台。縦削り。                 | 制作地不詳<br>近代    |

## 6区 2号溝

| 採回番号<br>図版番号   | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)                                 | ①胎土②焼成③色調                | 器形・技法等の特徴                                      | 備考      |
|----------------|----|------------|--------------|---|--------------------------|--|---------|
| 第258図<br>P.L95 | 1  | 須恵器<br>環   | 覆土<br>口縁～底部片 | 口径<br>(11.2)<br>底径<br>(5.6)<br>高さ<br>4.3    | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄褐色 | 口縁部は短く外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部へつ削り、内面ナデ。 |         |
| 第258図<br>P.L95 | 2  | 軟質陶器<br>埴輪 | 覆土<br>口縁～底部  | 口径<br>(34.0)<br>底径<br>(21.4)<br>高さ<br>(6.1) | ①粗・細砂粒多量<br>②良好<br>③灰黄色  | 体部・口縁部直立し、口縁端部に平坦面をもつ。内外面横ナデ。                  |         |
| 第258図<br>P.L95 | 3  | 須恵器<br>壺   | 覆土<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(9.1)           | ①粗・細砂粒多量<br>②還元焰<br>③灰黄色 | 肩部がやや強く張り、胴部膨らむ。外面粗い刷毛目状工具によるナデ、内面ナデ。          |         |
| 第258図<br>P.L95 | 4  | 須恵器<br>横板  | 覆土<br>破片     | 口径<br>—<br>底径<br>—<br>高さ<br>(11.7)          | ①細・微砂粒少量<br>②還元焰<br>③黄灰色 | 輪縁成形。外面回転へつ削り後へつ調整、内面へつナデ調整。                   | 粗砂粒僅か   |
| 第262図          | 5  | 骨          | 覆土           |   |                          | 馬の右上腕骨   | 325頁に写真 |



## 6区 6号溝

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態 | 計測値<br>(cm)          | ①粘土②焼成③色調              | 器形・技法等の特徴      | 備 考    |
|-----------------|----|----------|--------------|----------------------|------------------------|----------------|--------|
| 第256回<br>P L.95 | 1  | 土師器<br>甌 | 甌土<br>底部片    | 口径 —<br>底径 —<br>高さ — | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色 | 底部多孔有り。外面ヘラナデ? | 6世紀後半? |

## 6区 7号溝

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種 | 出土位置<br>残存状態  | 計測値<br>(cm)                       | ①粘土②焼成③色調               | 器形・技法等の特徴                                | 備 考                     |
|-----------------|----|----------|---------------|-----------------------------------|-------------------------|--|-------------------------|
| 第257回<br>P L.95 | 1  | 土師器<br>甌 | 甌土<br>口縁部片    | 口径 — (14.0)<br>底径 — (4.0)<br>高さ — | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色  | 「コ」の字状口縁で、口唇部は直立する。外面口縁部横ナデ、胴部ヘラ削り、内面ナデ。 | 孔0.4~0.9cm<br>9世紀~10世紀? |
| 第257回<br>P L.95 | 2  | 須恵器<br>甌 | No 1<br>底部1/4 | 口径 —<br>底径 —<br>高さ — (4.8)        | ①粗・細砂粒少量<br>②還元塩<br>③灰色 | 横線成形ヘラナデ調整。胴部は直線的に立ち上がり、底部中央部やや窪む。接合痕有り。 |                         |

## 6区 遺構外

| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)                       | ①粘土②焼成③色調                 | 器形・技法等の特徴   | 備 考          |
|-----------------|----|------------|-----------------|-----------------------------------|---------------------------|---|--------------|
| 第259回<br>P L.95 | 1  | 陶器<br>皿    | 425-160G<br>2/3 | 口径 12.2<br>底径 7.7<br>高さ 2.5       |                           | 横線成形。底部内外面目跡3ヶ所有り。灰釉。一部刷縁釉。   | 瀬戸美濃<br>17世紀 |
| 第259回<br>P L.95 | 2  | 土師器<br>杯   | 確認面一括<br>口縁~体部片 | 口径 — (11.0)<br>底径 — (2.7)<br>高さ — | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口縁部は直立し、体部は緩やかに立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部削り。内面横ナデ。                               | 7世紀後半?       |
| 第259回<br>P L.95 | 3  | 土師器<br>杯   | 確認面一括<br>口縁~体部片 | 口径 — (13.0)<br>底径 — (4.0)<br>高さ — | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 口縁部は弱く外傾し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ナデ?削り?器面が荒れている、内面横ナデ、現丸。            |              |
| 第259回<br>P L.95 | 4  | 土師器<br>杯   | 確認面<br>1/2      | 口径 12.8<br>底径 4.4<br>高さ 5.6       | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 口縁部は直立し、体部は丸味を帯びて立ち上がる。底部は径の小さな平底。器面は荒れている。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り後ナデ、内面ナデ。     | 5世紀前半        |
| 第259回<br>P L.95 | 5  | 土師器<br>杯   | 表採<br>口縁~体部片    | 口径 —<br>底径 —<br>高さ — (5.7)        | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③明赤褐色  | 口縁部は弱く外傾し、体部は直線的に立ち上がる。外面口縁部横ナデ、体部ヘラ削り、内面横ナデ。                           |              |
| 第259回<br>P L.95 | 6  | 土師器<br>器台  | 確認面<br>脚部片      | 口径 —<br>底径 —<br>高さ — (4.5)        | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 杯部と脚部を貫通する孔と脚部に3孔確認。  | 古墳時代前期       |
| 第260回<br>P L.95 | 7  | 埴輪<br>円筒   | 表採<br>破片        | 口径 —<br>底径 —<br>高さ — (13.8)       | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③橙色    | 胴部片。段の明瞭な、高さ中ともある突起が1本出る。外面細かい目の刷縁毛髪、突起上部を横ナデ、内面ヘラナデ。やや器面が荒れ、表面が摩滅している。 |              |
| 第260回<br>P L.95 | 8  | 羽口         | 確認面一括<br>破片     | 口径 —<br>底径 —<br>高さ — (3.4)        | ①粗・細砂粒少量<br>②良好<br>③にぶい橙色 | 外面ヘラナデ、内面横ナデナデ。器面が荒れている。  |              |
| 第260回<br>P L.95 | 9  | 竈止め        | 確認面一括<br>破片     | 口径 —<br>底径 —<br>高さ — 3.7          | ①細・微砂粒少量<br>②良好<br>③灰黄色   |   |              |
| 採回番号<br>図版番号    | 番号 | 種別<br>器種   | 出土位置<br>残存状態    | 計測値<br>(cm)                       | 石材<br>重量                  | 器形・技法等の特徴   | 備 考          |
| 第260回<br>P L.95 | 10 | 石製品<br>勾玉  | 確認面一括           | 長さ 2.5<br>幅 1.5<br>厚さ 0.4         | 蛇紋岩<br>重さ 2.5g            | 孔径0.2cm。裏面からの片側穿孔。表面、側面、裏面に斜・縦方向の磨損痕が残る。                                | 孔0.3cm       |
| 第260回<br>P L.95 | 11 | 良質遺物<br>鉄滓 | 表採              |                                   | 重さ 35.4g                  |   | 写真のみ掲載       |
| 第260回<br>P L.95 | 12 | 良質遺物<br>鉄滓 | 確認面一括           |                                   | 重さ 15.3g                  |   | 写真のみ掲載       |
| 第260回<br>P L.95 | 13 | 良質遺物<br>鉄滓 | 確認面一括           |                                   | 重さ 245.1g                 |   | 写真のみ掲載       |

## 第2章 自然科学分析

### 第1節 浜町遺跡6区2号土坑出土炭化米

株式会社 古環境研究所

#### 1. はじめに

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く、堆積物中に残存する。堆積物から種実を検出しその群集の構成や組織を調べ、過去の植生や群落の構成要素を明らかにし古環境の推定を行うことが可能である。また、出土した単体試料等を同定し、栽培植物や固有の植生環境を調べることができる。

浜町遺跡の西方に位置する舞台D遺跡第1号土坑からは多量の炭化米が出土したことが報告されている。今回の浜町遺跡の調査においても、6区15号土坑出土の土師器甕の中から炭化米を抽出できたので、ここに種実同定の結果を報告する。

#### 2. 方法

出土した完形土師器甕中の土を水洗選別し、炭化物を抽出。試料を肉眼および双眼顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行った。結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

#### 3. 結果

イネ2粒と、炭化の度合いが著しいため、同定には至らなかった炭化物が2片が確認された。

以下に同定の根拠となる形態的特徴を記す。写真を図版に示す。

イネ *Oryza sativa* L. 炭化果実 イネ科

炭化しているため黒色である。長楕円形を呈し、胚の部分がくぼむ。表面には数本の筋が走る。

#### 4. 考察

浜町遺跡の種実はいずれも炭化しており、栽培植物ではイネが同定された。イネは弥生時代以降比較的良好に検出され出土例が多い。

#### 5. 文献

笠原安夫 (1985) 日本雑草図説, 養賢堂, 494p.

笠原安夫 (1988) 作物および田畑雑草種類, 弥生文化の研究第2巻生業, 雄山閣 出版, p.131-139.

南木睦彦 (1993) 養・果実・種子, 日本第四紀学会編, 第四紀試料分析法, 東京大学出版会, p.276-283.

吉崎昌一 (1992) 古代雑穀の検出, 月刊考古学ジャーナルNo. ニューサイエンス社, p.2-14.

渡辺 誠 (1975) 縄文時代の植物食, 187p.



1 イネ炭化果实



2 同左



3 イネ炭化果实片



4 同左

— 1.0mm

写真2. 浜町遺跡6区2号土坑出土炭化米

## 第2節 浜町遺跡出土人骨

植崎修一郎

### 1. はじめに

浜町遺跡は、群馬県太田市大字浜町に所在する。(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査が、平成12(2000)年～同15(2003)年に行われた。本遺跡の5区8号土坑より、人骨が出土したので以下に報告する。出土人骨の時代は、土師器及び須恵器の小片しか出土しておらず、確定できていない。出土人骨は、清掃後、できる限りの接着及び復元を行い、写真撮影・観察・計測を行った。なお、人骨の計測はマルティンの方法(馬場、1991)に従った。

### 2. 人骨の出土状況 [平成14(2002)年9月24日出土]

人骨が出土した5区8号土坑の大きさ及び形状は攪乱により不明である。

### 3. 人骨の出土部位 [第261図参照]

人骨は、現場で削られた状態であり、残存状態は、非常に悪い。人骨の出土部位は、下顎右頤骨片及び右上腕骨の骨体のみである。

### 4. 副葬品

副葬品は、土師器壺副葬品片及び須恵器副葬品片が出土している。

### 5. 被葬者の頭位・埋葬状態

被葬者の頭位及び埋葬状態は、不明である。

### 6. 被葬者の個体数

出土人骨の残存状態は非常に悪いが、明らかな重複部位が認められないため、被葬者の個体数は1個体であると推定される。

### 7. 被葬者の性別

性別推定の指標となる頭蓋骨や寛骨が出土していないので、性別推定は困難である。しかしながら、右上腕骨の大きさが比較的小さいので、被葬者の性別は女性であると推定される。

### 8. 被葬者の死亡年齢

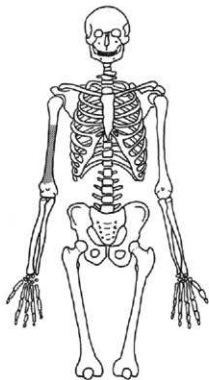
死亡年齢推定の指標となる部位が出土しておらず、被葬者の性別は不明である。恐らく、成人であろう。

### 謝辞

本出土人骨を記載する機会を与えていただいた元(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団の庭山邦幸氏 [現桐生市立相生中学校] と遺跡に関する考古学的情報をいただいた現群馬文の渡辺弘幸氏に感謝いたします。



写真3 浜町遺跡出土人骨(右) 今井三騎堂遺跡出土人骨(左)の前面観



第261図 浜町遺跡出土人骨(右上腕骨)部位図

### 第3節 浜町遺跡出土馬骨

植崎修一郎

#### 1. はじめに

浜町遺跡は、群馬県太田市大字浜町に所在する。(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団による発掘調査が、平成12(2000)年～同15(2003)年に行われた。本遺跡の6区2号溝より、馬骨〔*Equus caballus*〕が出土したので以下に報告する。出土馬骨の時代は、溝からの出土遺物より江戸時代の近世～近代に比定されている。

#### 2. 鑑定結果

馬骨は、上幅2.3m～2.8m・深さ0.8m～1.2mの6区2号溝から、平成15(2003)年4月26日に出土している。馬骨の出土部位は、右上腕骨の骨体部1点のみである。馬骨の性別は、犬歯の有無及び寛骨から推定することができる。今回、右上腕骨しか出土していないので、性別は不明である。しかしながら、中里見原遺跡出土馬骨と比較すると、華奢で小さい。また、馬骨の死亡年齢も、馬歯が出土していないので不明である。恐らく成体であろう。さらに、体高も不明であるが、馬骨の大きさからは小型馬が想定される。

#### 3. 引用文献及び参考文献

大江正直 2000 第1項中里見原遺跡出土の獣歯・獣骨観察について、『中里見原遺跡群』、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団、p.170-220。

久保和士・松井 章 1999 第10章家畜その2：ウシ・ウマ、『考古学と自然科学②：考古学と動物学』(西本豊弘・松井 章編)、同成社、p.169-208。

#### 謝辞

本出土馬骨を記載する機会を与えていただいた元(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団の庭山邦幸氏〔現桐生市立相生中学校〕と遺跡に関する考古学的情報をいただいた現群馬文の波辺弘幸氏に感謝いたします。



第262図. 出土馬骨(右上腕骨)の部位図  
〔久保・松井(1999)を改変〕



写真1 浜町遺跡出土馬骨(右上腕骨)〔右〕  
と中里見原遺跡出土馬骨(右上腕骨)〔左〕  
の前面観

## 報 告 書 抄 録

|         |  |
|---------|--|
| 書名ふりがな  | はまちょういせき                                   |
| 書 名     | 浜町遺跡                                       |
| 副書名     | 東武鉄道伊勢崎線外 2 線太田駅前付近連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻 次     | 1  |
| シリーズ名   | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書                     |
| シリーズ番号  | 358  |
| 編著者名    | 庭山邦幸 / 渡辺弘幸                                |
| 編集機関    | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団                          |
| 発行機関    | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団                          |
| 発行年月日   | 20051028                                   |
| 作成法人 ID | 21005                                      |
| 郵便番号    | 377-8555                                   |
| 電話番号    | 0279-52-2511                               |
| 住 所     | 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784- 2                       |

|           |   |
|-----------|---|
| 遺跡名ふりがな   | はまちょういせき  |
| 遺 跡 名     | 浜町遺跡  |
| 所在地ふりがな   | ぐんまけんおおたしおおあざはまちょう  |
| 遺跡所在地     | 群馬県太田市大字浜町  |
| 市町村コード    | 10205   |
| 遺跡番号      | 0194  |
| 北緯（日本測地系） | 361730  |
| 東経（日本測地系） | 1392232   |
| 北緯（世界測地系） | 361741  |
| 東経（世界測地系） | 1392220   |
| 調査期間      | 20011101-20010331/20010805-20011231/20020710-20030331/20030401-20030830   |
| 調査面積      | 2796  |
| 調査原因      | 太田駅前付近連続立体交差化   |
| 種 別       | 集落  |
| 主な時代      | 古墳 / 奈良・平安 / 中近世  |
| 遺跡概要      | 集落 - 古墳 - 竪穴住居 + 竪穴状遺構 + 土坑 + 溝 - 土師器 + 須恵器 + 石製機道具 + 鉄滓 + 焼成粘土塊 / 集落 - 奈良・平安 - 竪穴住居 + 竪穴状遺構 + 土坑 + 溝 - 土師器 + 須恵器 + 鉄滓 + 焼成粘土塊 / 中近世 - 土坑 + 溝 - 陶磁器 + カワラケ + 古銭 |
| 特記事項      | 特になし  |

# 写 真 图 版







0区 全景 (西から)



0区 1号住居掘り方 全景 (南から)



0区 3号土坑 全景 (西から)



0区 1号河道 杭出土状況 (南から)



0区 1号河道 杭出土状況 (南から)



1区 全景 (東から)



1区 1号住居 全景 (南から)



1区 2号住居 全景 (南から)



1区 3号住居・6号溝全景 (東から)



1区 4号住居 全景 (北から)



1区 4号住居竈 土層断面 (北から)



1区 4号住居 遺物出土状況 (北から)



1区 5号住居 全景 (東から)



1区 5号住居竈掘り方 全景 (西から)



1区 5号住居貯蔵穴 遺物出土状況 (西から)



1区 6号住居 全景 (北から)



1区 6号住居 全景 (南から)



1区 7号住居 全景 (西から)



1区 8号住居 全景 (西から)



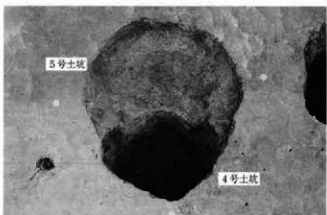
1区 1号土坑 全景 (南から)



1区 2号土坑(2号ピット含む)全景 (南から)



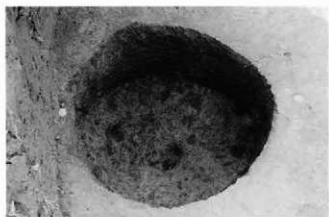
1区 3号土坑(1号ピット含む)全景 (南から)



1区 4・5号土坑 全景 (南から)



1区 6号土坑 全景 (南から)



1区 7号土坑 全景 (東から)



1区 9号土坑 全景 (南から)



1区 10号土坑 全景 (東から)



1区 11号土坑 全景 (西から)



1区 12号土坑 全景 (南から)



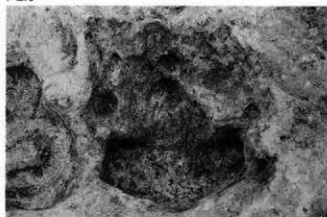
1区 12号土坑 遺物出土状況 (北から)



1区 13号土坑 全景 (南から)



1区 14号土坑 全景 (南から)



1区 15号土坑 全景 (北から)



1区 16号土坑 全景 (北から)



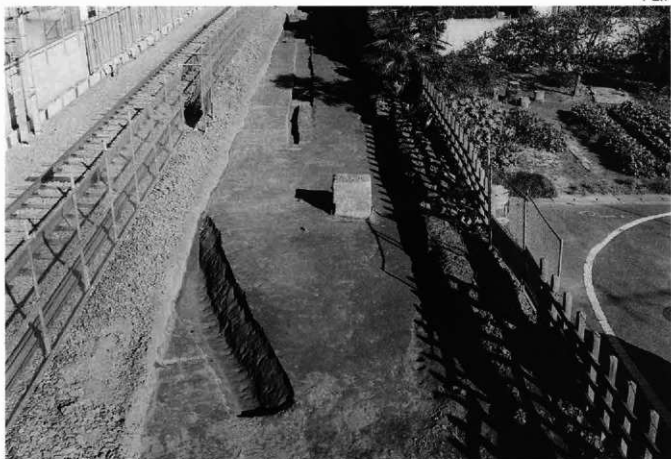
1区 17号土坑 全景 (南から)



1区 1・5号溝 全景 (南から)



1区 3・4・5号溝 全景 (南から)



2区 全景 (西から)



2区 全景 (東から)



2区 1号土坑 全景 (北から)



2区 2号土坑 全景 (南から)



2区 3号土坑 全景 (北から)



2区 4号土坑 全景 (北から)



2区 4号土坑 土層断面 (北から)



2区 1・2号溝 全景 (西から)



2区 1・2号溝 土層断面 (東から)



2区 3号溝 全景 (西から)





2区 3号溝 全景 (東から)



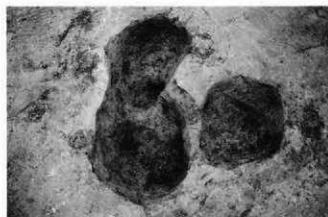
2区 3号溝 土層断面 (東から)



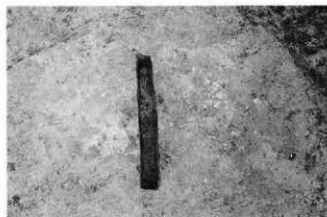
2区 4号溝 全景 (南から)



2区 5号溝 全景 (南から)



2区 1・2・3号ピット 全景 (東から)



2区 1号土痕 全景 (西から)



3区 全景 (西から)



3区 1号住居 全景 (西から)



3区 1号住居電 全景 (西から)



3区 1号住居2号電 全景 (西から)



3区 1号住居2号電掘り方 全景 (西から)



3区 2号住居 全景 (西から)



3区 3号住居 全景 (北から)



3区 4号住居 全景 (北から)



3区 5号住居 全景 (西から)



3区 5号住居 遺物出土状況 (西から)



3区 5号住居(使用面) 全景 (西から)



3区 5号住居掘り方 全景 (西から)



3区 5号住居貯蔵穴 全景 (西から)



3区 6号住居 全景 (西から)



3区 6号住居竈(焼土) 全景 (西から)



3区 6号住居内1号土坑 全景 (西から)



3区 6号住居内2号土坑 全景 (南から)



3区 1号土坑 遺物出土状況 (南から)



3区 2号土坑 全景 (南から)



3区 2号土坑 遺物出土状況 (北から)



3区 3号土坑 全景 (北から)



3区 4・5号土坑 全景 (南から)



3区 1号竪穴状遺構 全景 (西から)



3区 2号竪穴状遺構 全景 (西から)



3区 3号竪穴状遺構 全景 (南から)



3区 4号竪穴状遺構 全景 (北から)



3区 4号竪穴状遺構 遺物出土状況 全景 (南から)



3区 4号竪穴状遺構 遺物出土状況 全景 (南から)



3区 4号竪穴状遺構 遺物集中状況 全景 (南から)



3区 5号竖穴状遺構 全景 (南から)



3区 5号竖穴状遺構内1号土坑 全景 (南から)



3区 5号竖穴状遺構内2号土坑 全景 (南から)



3区 6号竖穴状遺構 全景 (南から)



3区 1号溝 全景 (西から)



3区 3号溝 全景 (東から)



3区 4号溝 全景 (西から)



5区 全景 (西から)



5区 全景 (東から)



5区 1・2号住居 全景 (南から)



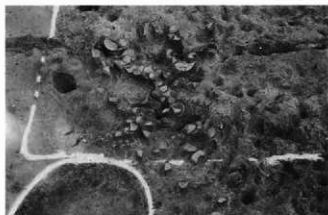
5区 1号住居掘り方 全景 (南から)



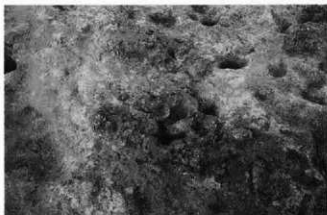
5区 1号住居2号炉 全景 (南から)



5区 1号住居 遺物出土状況 (南から)



5区 1号住居 遺物出土状況 (南から)



5区 1号住居 焼土検出状況 (南から)



5区 1号住居掘り込み (南西から)



5区 2号住居焼土 全景 (南から)





5区 3号住居 全景 (北から)



5区 3号住居掘り方 全景 (北から)



5区 3号住居 遺物出土状況 (北から)



5区 4号住居 全景 (南西から)



5区 4号住居掘り方 全景 (南西から)



5区 4号住居 遺物出土状況 (南東から)



5区 5号住居 全景 (西から)



5区 5号住居掘り方 全景 (西から)



5区 5号住居 遺物出土状況 (東から)



5区 5号住居竈 遺物出土状況 (西から)



5区 6号住居 全景 (北西から)



5区 6号住居掘り方 全景 (北から)



5区 7号住居 全景 (南から)



5区 7号住居掘り方 全景 (南から)



5区 7号住居 遺物出土状況 (南西から)



5区 7号住居竈 全景 (南から)



5区 8号住居 全景 (北から)



5区 8号住居掘り方 全景 (北から)



5区 9号住居 全景 (南から)



5区 9号住居掘り方 全景 (南から)



5区 9号住居電 全景 (南から)



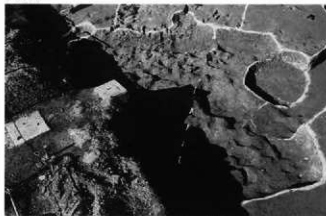
5区 9号住居電掘り方 全景 (南から)



5区 10号住居掘り方 全景 (北から)



5区 11号住居 全景 (南東から)



5区 11号住居掘り方 (南東から)



5区 11号住居遺 全景 (南から)



5区 11号住居 遺物出土状況 (東から)



5区 13号住居 全景 (東から)



5区 14号住居 全景 (北西から)



5区 14号住居掘り方 (北西から)



5区 15号住居 全景 (南から)



5区 15号住居掘り方 全景 (南から)



5区 17号住居 全景 (西から)



5区 17号住居掘り方 全景 (西から)



5区 17号住居 遺物出土状況 (南東から)



5区 17号住居掘り方 遺物出土状況 (南から)



5区 18号住居 全景 (北から)



5区 18号住居掘り方 全景 (北から)



5区 19号住居 全景 (南から)



5区 19号住居掘り方 全景 (南から)



5区 20号住居 全景 (西から)



5区 20号住居掘り方 全景 (北から)



5区 21号住居 全景 (西から)



5区 21号住居掘り方 全景 (西から)



5区 21号住居 遺物出土状況 (南西から)



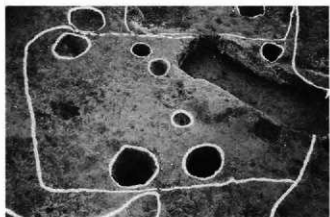
5区 25・23号住居掘り方 全景 (南から)



5区 24・25号住居掘り方 全景 (西から)



5区 25号住居貯蔵穴 遺物出土状況 (南から)



5区 26号住居掘り方 全景 (西から)



5区 26号住居内1号土坑 遺物出土状況 (東から)



5区 27号住居掘り方 全景 (西から)



5区 27号住居 遺物出土状況 (南から)



5区 28号住居 全景 (西から)



5区 28号住居掘り方 全景 (西から)



5区 30号住居 全景 (南から)



5区 30号住居掘り方 全景 (南から)



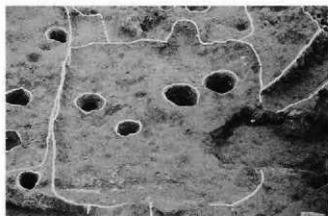
5区 31号住居 全景 (西から)



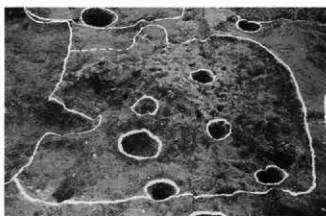
5区 31号住居掘り方 全景 (南から)



5区 33号住居 全景 (西から)



5区 33号住居掘り方 全景 (西から)



5区 35号住居掘り方 全景 (南から)



5区 36号住居 遺物出土状況 (西から)

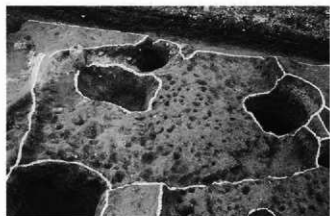




5区 36号住居 遺物出土状況 (西から)



5区 37号住居 全景 (南から)



5区 37号住居掘り方 全景 (南から)



5区 38号住居掘り方 全景 (北西から)



5区 40号住居掘り方 全景 (西から)



5区 40号住居 遺物出土状況 (南から)



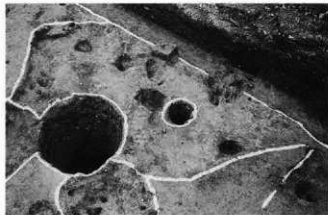
5区 41号住居 全景 (南から)



5区 41号住居掘り方 全景 (南から)



5区 42号住居 全景 (南東から)



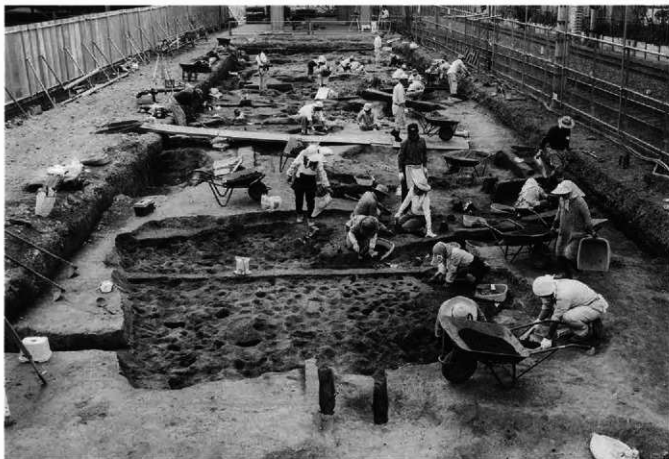
5区 42号住居掘り方 全景 (南東から)



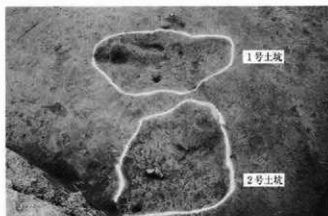
5区 43号住居 全景 (西から)



5区 44号住居 全景 (西から)



5区 作業風景 (東から)



5区 1・2号土坑 全景 (南東から)



5区 2号土坑 遺物出土状況 (北から)



5区 3号土坑 全景 (南東から)



5区 4号土坑 全景 (南から)



5区 5号土坑 全景 (北西から)



5区 6・12号土坑 全景 (北東から)



5区 4・5・6・12号土坑 全景 (北東から)



5区 7号土坑 (南東から)



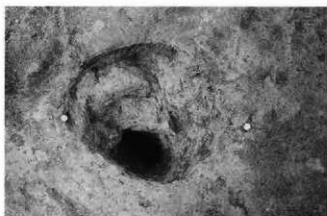
5区 8号住居 全景 (東から)



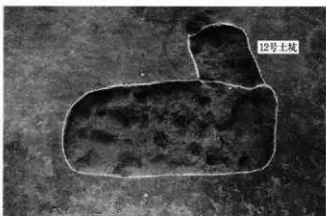
5区 8号土坑 骨片出土状況 (東から)



5区 9・10号土坑 全景 (東から)



5区 11号土坑 全景 (南東から)



5区 6・12号土坑 全景 (北東から)



5区 14号土坑 全景 (南から)



5区 15号土坑 全景 (南から)



5区 16号土坑 全景 (南から)



5区 17号土坑 全景 (南から)



5区 18号土坑 全景 (南から)



5区 19号土坑 全景 (南から)



5区 20号土坑 全景 (南から)



5区 21号土坑 全景 (東から)



5区 30号土坑 全景 (南西から)



5区 24号土坑 全景 (南から)



5区 25号土坑 全景 (南西から)



5区 26号土坑 全景 (南から)



5区 27号土坑 全景 (西から)



5区 28号土坑 全景 (南西から)



5区 29号土坑 全景 (東から)



5区 30号土坑 全景 (南から)



5区 31号土坑 全景 (北から)



5区 32号土坑 全景 (南から)



5区 32号土坑 遺物出土状況 (南から)



5区 33号土坑 全景 (南から)



5区 34号土坑 全景 (東から)



5区 35号土坑 全景 (南から)



5区 36号土坑 全景 (西から)



5区 37号土坑 全景 (南西から)



5区 38号土坑 全景 (南東から)



5区 39号土坑 全景 (南から)



5区 40号土坑 全景 (南東から)



5区 41号土坑 全景 (西から)



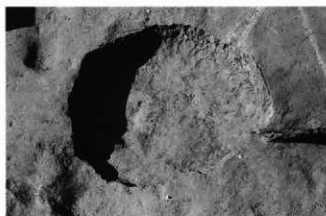
5区 43号土坑 全景 (南西から)



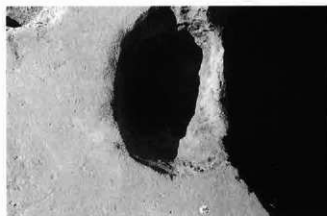
5区 44号土坑 全景 (南から)



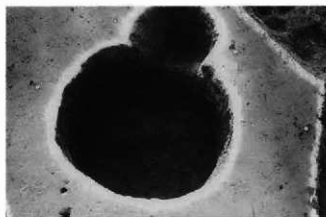
5区 45号土坑 全景 (南西から)



5区 46号土坑 全景 (東から)



5区 47号土坑 全景 (東から)



5区 48号土坑 全景 (北から)

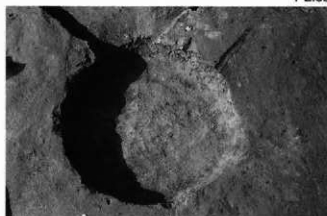


5区 49号土坑 全景 (東から)





5区 50号土坑 全景 (東から)



5区 51号土坑 全景 (東から)



5区 52号土坑 全景 (南から)



5区 53号土坑 全景 (南から)



5区 54号土坑 全景 (南から)



5区 55号土坑 全景 (南から)



5区 57号土坑 全景 (西から)



5区 58号土坑 全景 (東から)



5区 59号土坑 全景 (東から)



5区 60号土坑 全景 (南から)



5区 61号土坑 全景 (北から)



5区 63号土坑 全景 (北から)



5区 64号土坑 全景 (東から)



5区 65号土坑 全景 (北から)



5区 66号土坑 全景 (北から)



5区 67号土坑 全景 (北から)



5区 68号土坑 全景 (東から)



5区 69号土坑 全景 (北から)



5区 70号土坑 全景 (南から)



5区 71・72・73号土坑 全景 (東から)



5区 71号土坑 遺物出土状況 (東から)



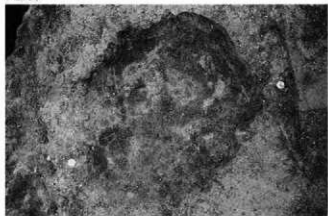
5区 74号土坑 全景 (西から)



5区 75号土坑 全景 (南から)



5区 75号土坑 遺物出土状況 (東から)



5区 78号土坑 全景 (北から)



5区 79号土坑 全景 (南から)



5区 81号土坑 全景 (東から)



5区 82号土坑 全景 (東から)



5区 1号井戸 全景 (北から)



5区 1号井戸 土層断面 (北から)



5区 2号井戸 全景 (北東から)



5区 1号ピット 全景 (南から)



5区 2号ピット 全景 (南東から)



5区 3号ピット 全景 (南東から)



5区 5・6・7号ピット 全景 (南から)



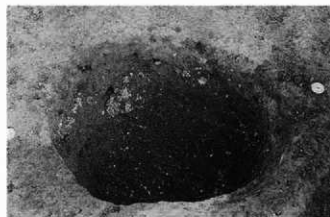
5区 8・9号ピット 全景 (南から)



5区 13号ピット 全景 (南から)



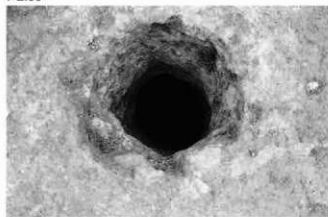
5区 14号ピット 全景 (南から)



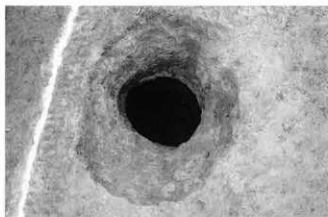
5区 15号ピット 全景 (南から)



5区 16号ピット 全景 (南から)



5区 81ピット 全景 (東から)



5区 82号ピット 全景 (北から)



5区 1号溝 全景 (南から)



5区 2号溝 全景 (東から)



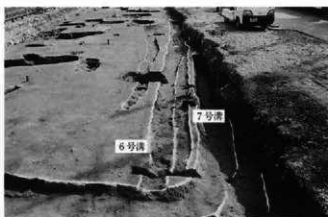
5区 3号溝 全景 (西から)



5区 4・9号溝 全景 (南東から)



5区 5号溝 全景 (東から)



5区 6・7号溝 全景 (西から)



5区 8号溝 全景 (西から)



5区 9号溝 古銭出土状況 (南から)



5区 10号溝 全景 (南から)



5区 11号溝 全景 (北東から)



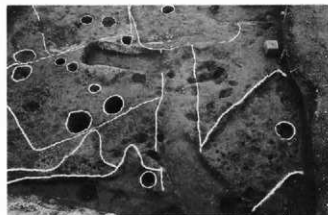
5区 11号溝 遺物出土状況 (南西から)



5区 12号溝 全景 (東から)



5区 17号溝 全景 (西から)



5区 18号溝 全景 (西から)



6区 全景 (西から)

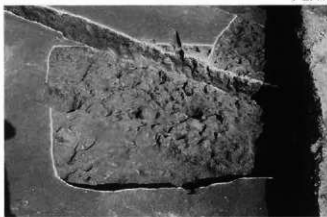


6区 全景 (東から)





6区 1号住居 全景 (西から)



6区 1号住居掘り方 全景 (西から)



6区 2号住居 全景 (北から)



6区 2号住居掘り方 全景 (北から)



6区 3号住居 全景 (西から)



6区 3号住居掘り方 全景 (西から)



6区 3号住居 遺物出土状況(遠) (西から)



6区 3号住居 遺物出土状況(近) (西から)



6区 4号住居 全景 (南から)



6区 4号住居 遺物出土状況 (南から)



6区 5号住居 全景 (西から)



6区 3号住居掘り方 全景 (西から)



6区 6号住居 全景 (南西から)



6区 6号住居掘り方 全景 (南から)



6区 7号住居 全景 (西から)



6区 7号住居掘り方 全景 (西から)



6区 7号住居竈 全景 (西から)



6区 7号住居竈 近景 (西から)



6区 7号住居竈 遺物出土状況 (西から)



6区 8号住居 全景 (南から)



6区 8号住居掘り方 全景 (南から)



6区 9号住居 全景 (南東から)



6区 9号住居掘り方 全景 (南東から)



6区 9号住居 石製品出土状況 (南東から)



6区 9号住居 遺物出土状況 (南東から)



6区 9号住居 遺物出土状況 (南東から)



6区 9号住居掘り方 全景 (西から)



6区 10号住居掘り方 全景 (西から)



6区 11号住居掘り方 全景 (西から)



6区 13号住居 全景 (南西から)



6区 13号住居掘り方 全景 (南西から)



6区 14号住居 全景 (西から)



6区 14号住居掘り方 全景 (北西から)



6区 15号住居 全景 (西から)



6区 15号住居掘り方 全景 (西から)



6区 15号住居貯蔵穴 遺物出土状況 (西から)



6区 16号住居 全景 (西から)



6区 17号住居 全景 (南から)



6区 17号住居掘り方 全景 (南から)



6区 20号住居掘り方 全景 (南から)



6区 20号住居 遺物出土状況 (南東から)



6区 20号住居 遺物出土状況 (南から)



6区 20号住居 遺物出土状況 (南から)



6区 21号住居掘り方 全景 (南から)



6区 3・25号住居掘り方 全景 (西から)



6区 3・25号住居掘り方 全景 (北西から)



6区 25号住居竈 全景 (西から)



6区 27号住居掘り方 全景 (南から)



6区 1号土坑 全景 (西から)



6区 2号土坑 全景 (南西から)



6区 3号土坑 土層断面 (南から)



6区 4号土坑 全景 (南から)



6区 5号土坑 全景 (南から)



6区 6号土坑 全景 (東から)



6区 7号土坑 全景 (南から)



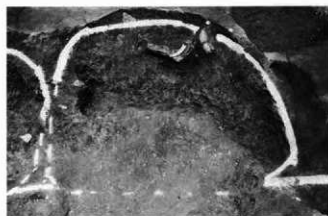
6区 8号土坑 全景 (東から)



6区 9号土坑 全景 (東から)



6区 11号土坑 全景 (南から)



6区 13号土坑 全景 (南から)



6区 13号土坑 遺物出土状況 (南から)



6区 14号土坑 全景 (南から)



6区 15号土坑 全景 (東から)



6区 15号土坑 遺物出土状況 (北から)



6区 15号土坑 遺物出土状況 (南から)





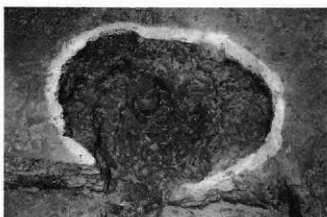
6区 16号土坑 全景 (南から)



6区 17号土坑 全景 (南から)



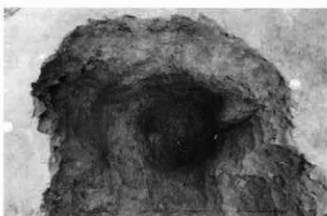
6区 18号土坑 全景 (南から)



6区 19号土坑 全景 (南から)



6区 1号ピット 全景 (南から)



6区 2号ピット 全景 (北から)



6区 1号溝 全景 (南から)



6区 6号溝 全景 (南から)



6区 7号溝 全景 (南から)



6区 8号溝 全景 (西から)

0区 6号土坑 出土遺物



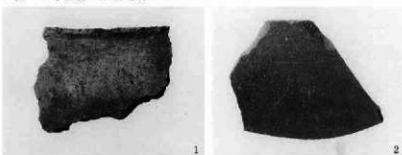
0区 遺構外 出土遺物



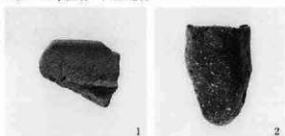
1区 1号住居 出土遺物



1区 2号住居 出土遺物



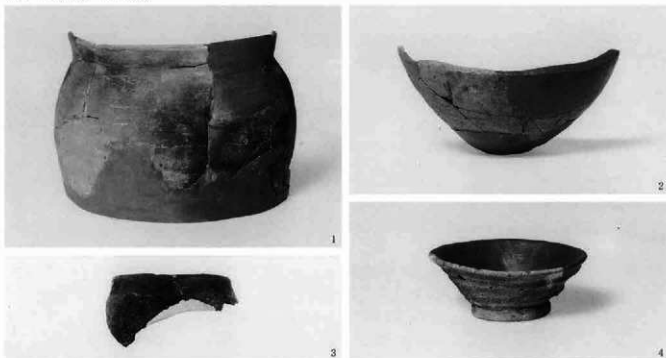
1区 3号住居 出土遺物



1区 4号住居 出土遺物

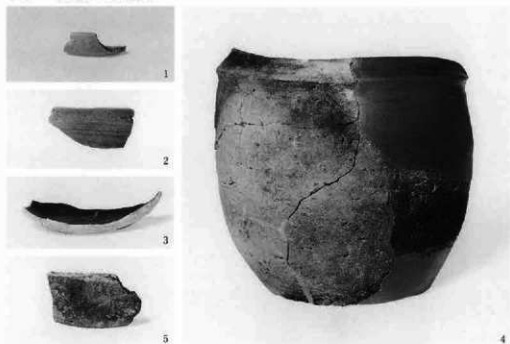


1区 5号住居 出土遺物



PL.52

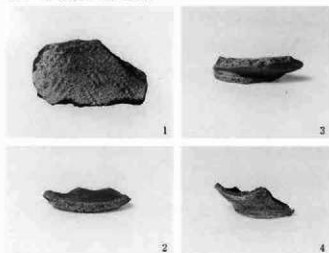
1区 6号住居 出土遺物



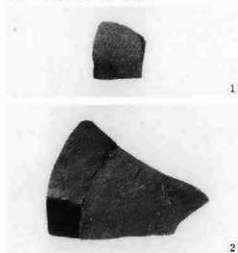
1区 7号住居 出土遺物



1区 9号住居 出土遺物



1区 1号土坑 出土遺物



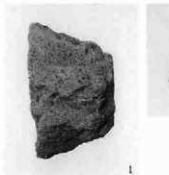
1区 2号土坑 出土遺物



1区 3号溝 出土遺物



2区 4号溝 出土遺物



1区 9号土坑 出土遺物



1区 13号土坑 出土遺物



1区 17号土坑 出土遺物



1区 遺構外 出土遺物



1区 12号土坑 出土遺物



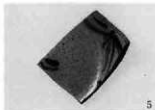
2区 3号溝 出土遺物



2区 遺構外 出土遺物

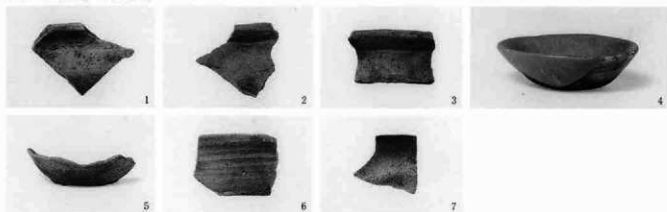


3区 1号住居 出土遺物



PL.54

3区 2号住居 出土遺物



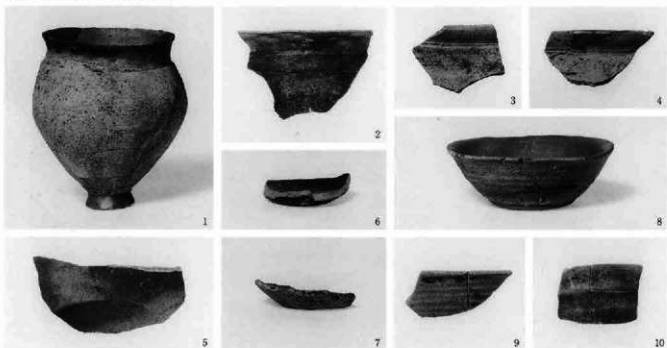
3区 3号住居 出土遺物



3区 4号住居 出土遺物



3区 5号住居 出土遺物(1)



3区 5号住居 出土遺物(2)



11



12



12

3区 6号住居 出土遺物



1



2

3区 1号竪穴状遺構 出土遺物



1



3



2



4

3区 2号竪穴状遺構 出土遺物



1



2

3区 3号竪穴状遺構 出土遺物



1

3区 4号竪穴状遺構 出土遺物(1)



1



2



3



4



6



5



7

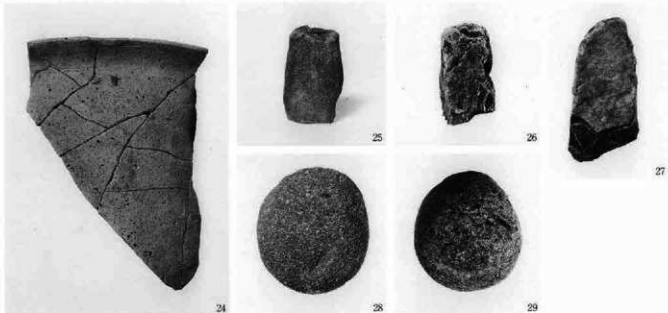


8





3区 4号竖穴状遺構 出土遺物(3)



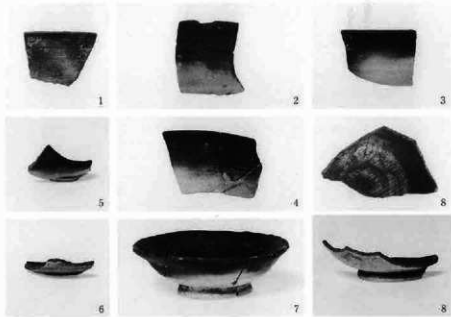
3区 5号竖穴状遺構 出土遺物



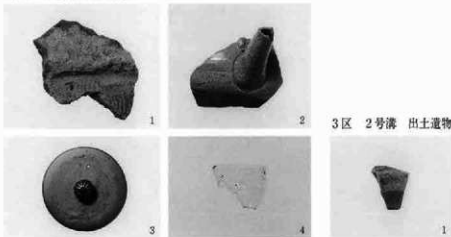
3区 2号土坑 出土遺物



3区 1号土坑 出土遺物



3区 1号溝 出土遺物



3区 2号溝 出土遺物



PL.58

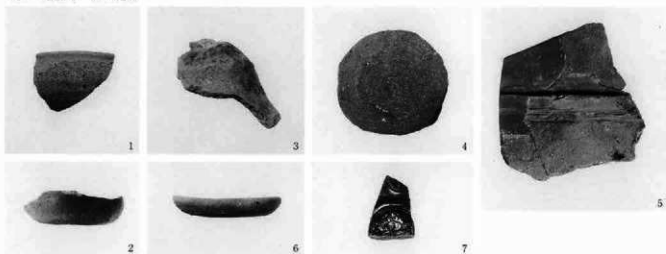
3区 3号溝 出土遺物



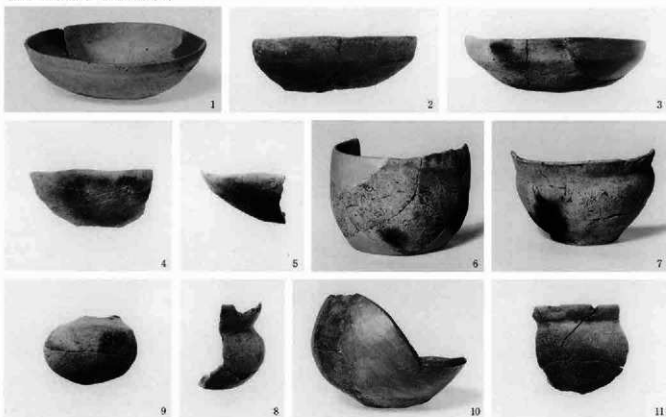
3区 4号溝 出土遺物



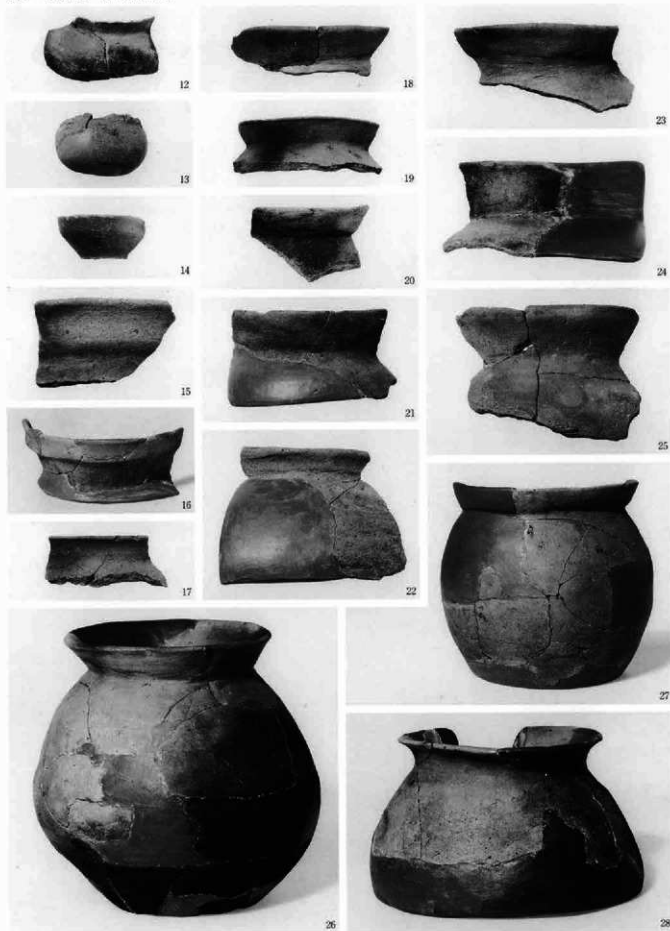
3区 遺構外 出土遺物

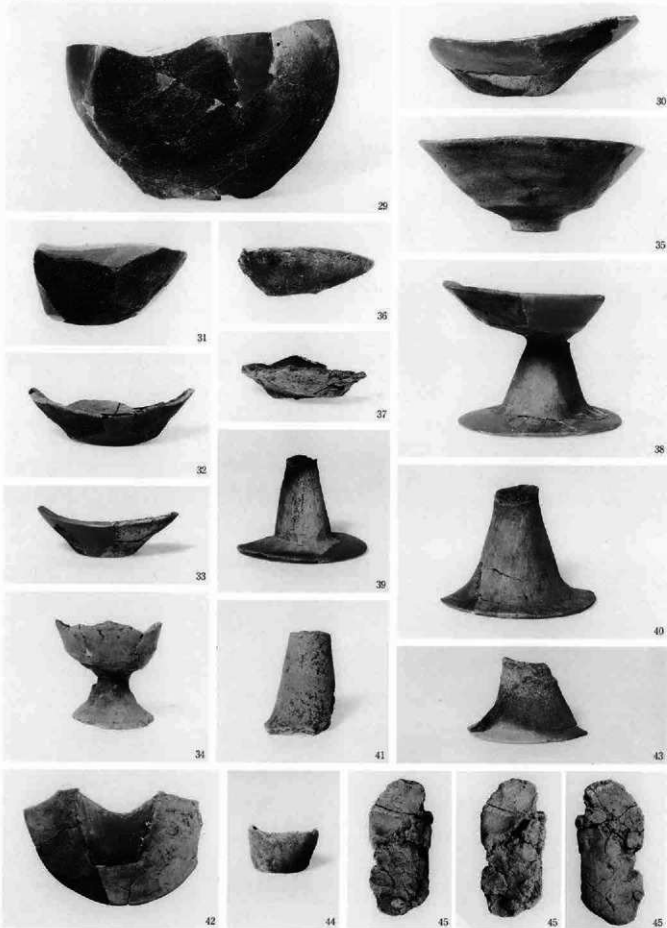


5区 1号住居 出土遺物(1)



## 5区 1号住居 出土遺物(2)





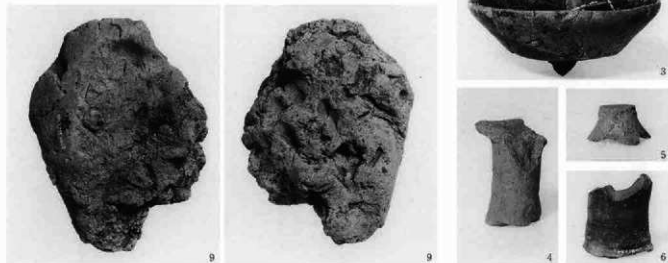
5区 1号住居 出土遺物(4)



5区 2号住居 出土遺物

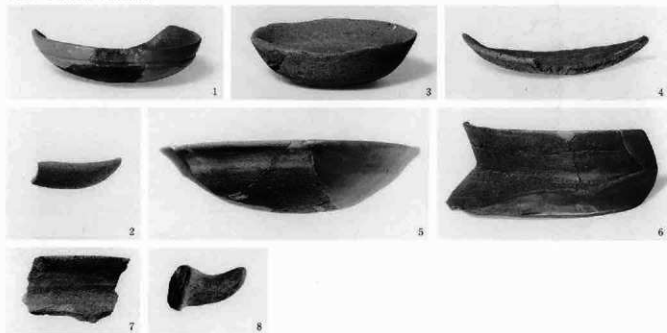


5区 3号住居 出土遺物

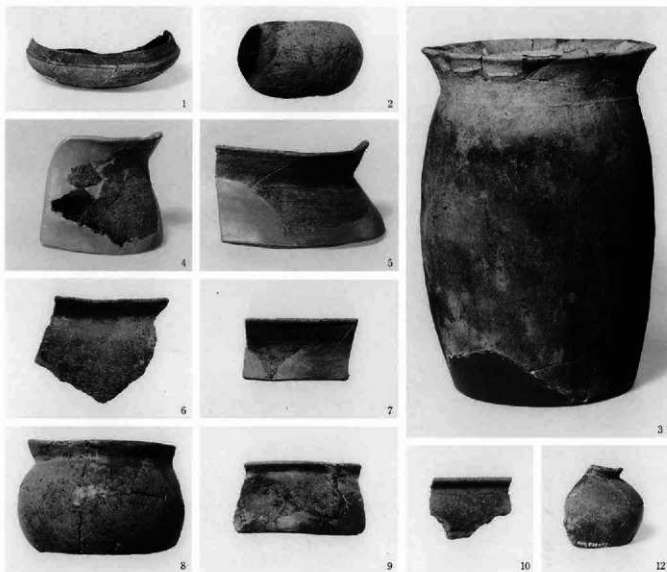


PL.62

5区 4号住居 出土遺物



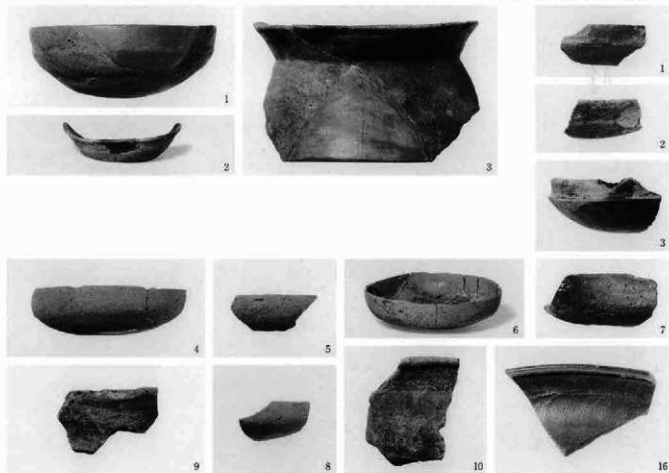
5区 5号住居 出土遺物(1)



5区 5号住居 出土遺物(2)



5区 6号住居 出土遺物



5区 7号住居 出土遺物(1)

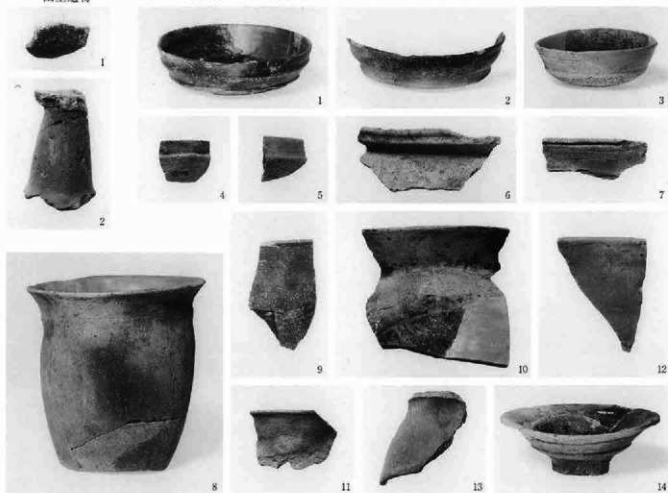
PL.64

5区 7号住居 出土遺物(2)



5区 8号住居  
出土遺物

5区 9号住居 出土遺物(1)





5区 9号住居 出土遺物(2)



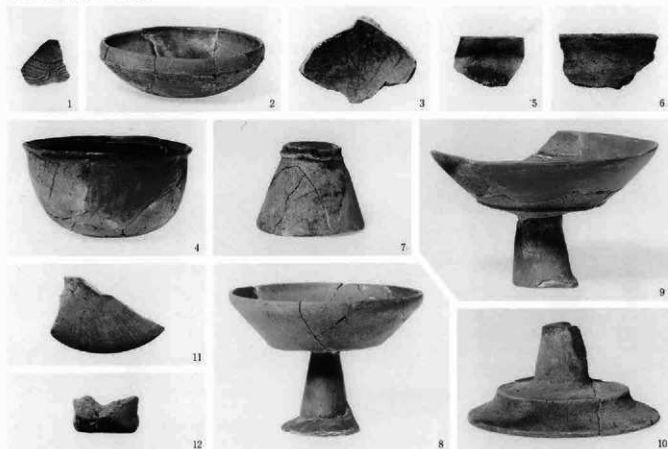
5区 11号住居 出土遺物



5区 14号住居 出土遺物



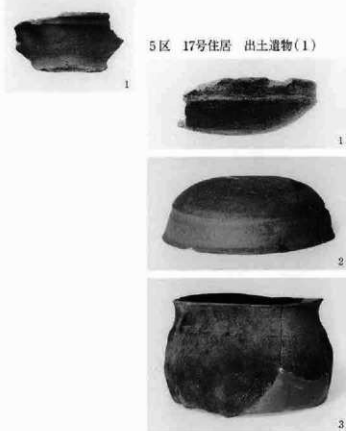
5区 15号住居 出土遺物



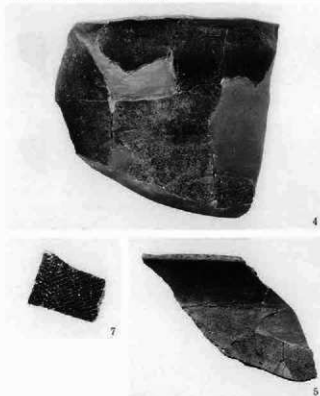
5区 16号住居 出土遺物



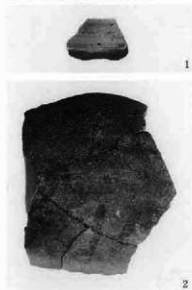
5区 17号住居 出土遺物(1)



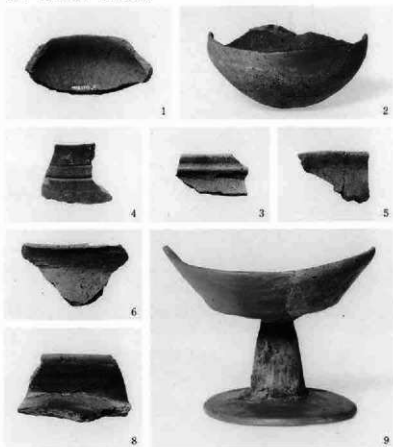
5区 17号住居 出土遺物(2)



5区 18号住居 出土遺物



5区 19号住居 出土遺物



PL.68

5区 20号住居 出土遺物



1

5区 23号住居 出土遺物



1



2

5区 24号住居 出土遺物



1



2

5区 21号住居 出土遺物



1



4



5



6



7



2



3



8

5区 25号住居 出土遺物(1)



1



2



4



3



5



6



8



10



7

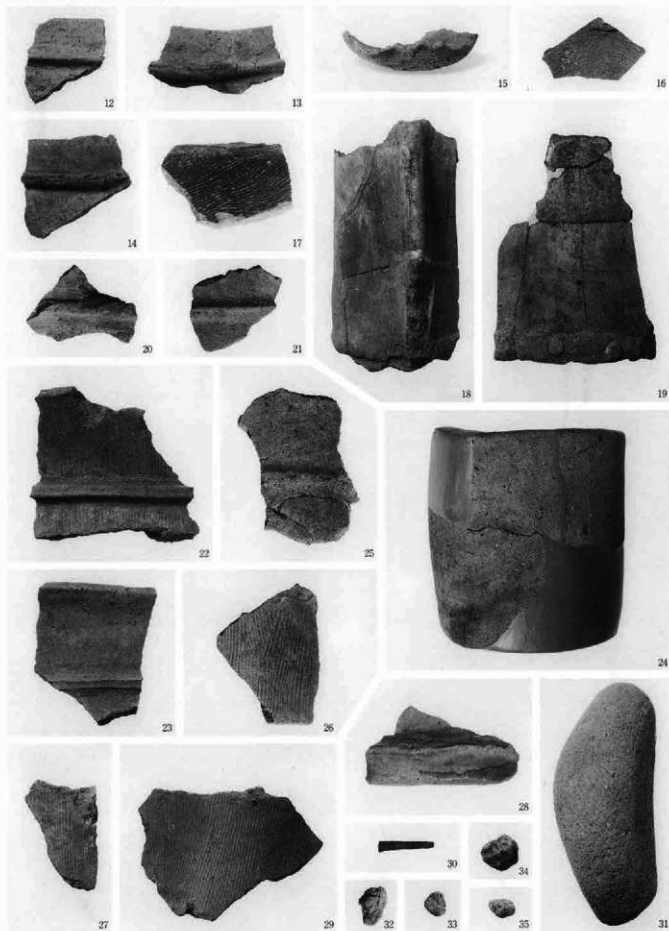


9

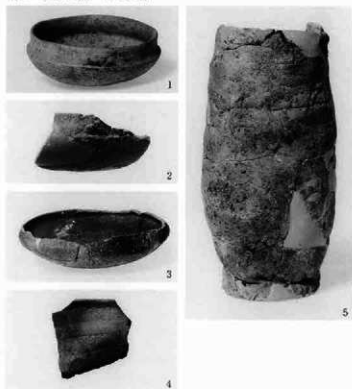


11

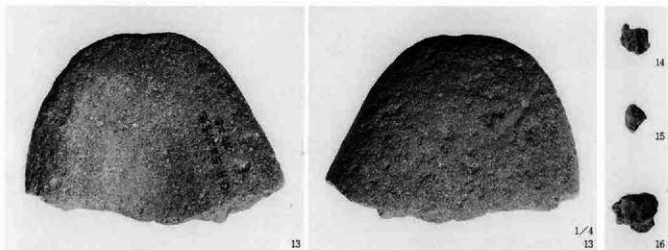
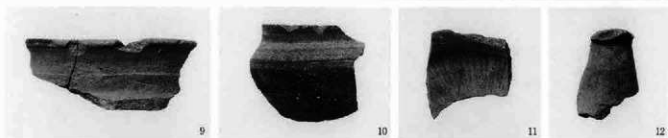
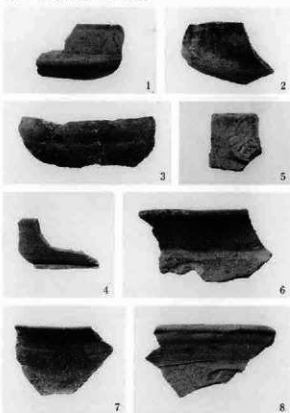
## 5区 25号住居 出土遺物(2)



5区 26号住居 出土遺物



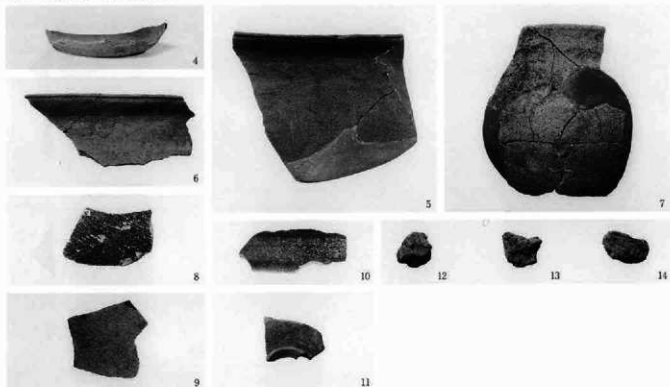
5区 27号住居 出土遺物



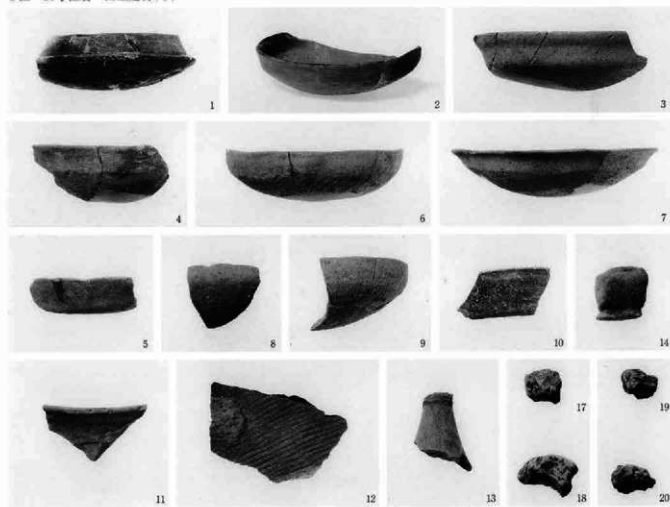
5区 28号住居 出土遺物(1)

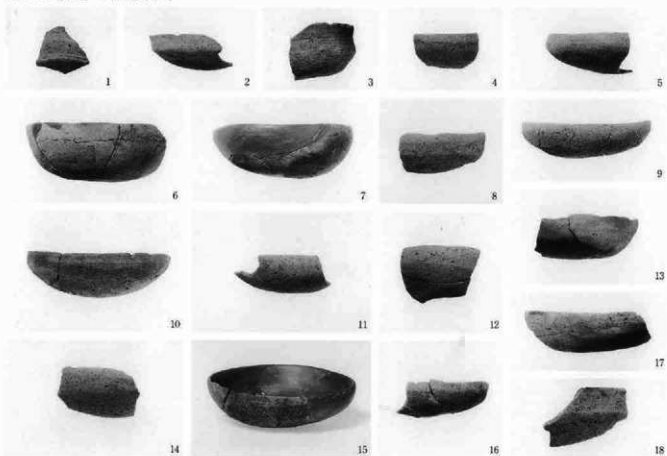


## 5区 28号住居 出土遺物(2)



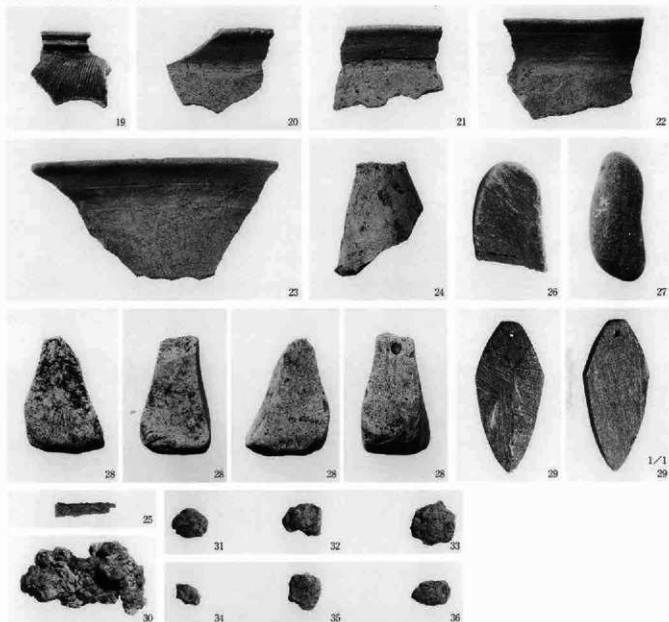
## 5区 30号住居 出土遺物(1)



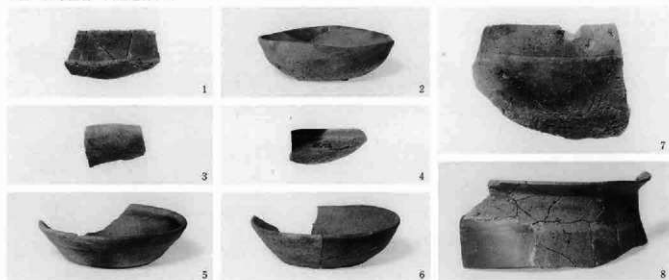




## 5区 31号住居 出土遺物(2)

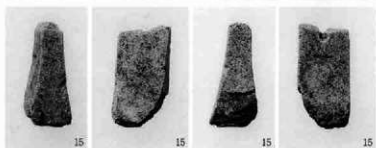


## 5区 33号住居 出土遺物(1)



PL.74

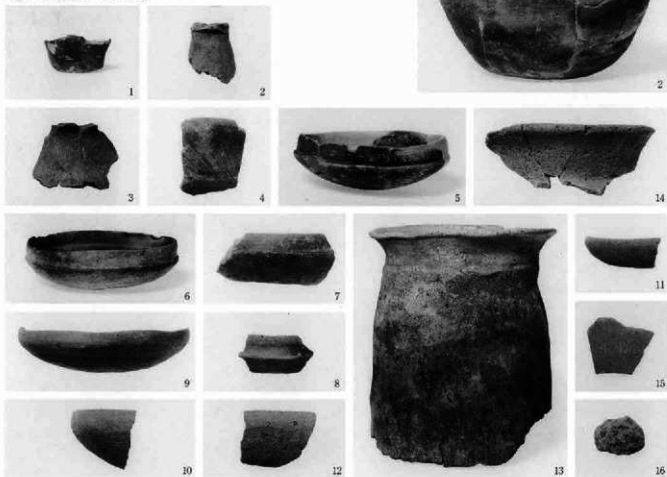
5区 33号住居 出土遺物(2)



1/1 17  
5区 35号住居 出土遺物

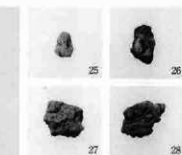
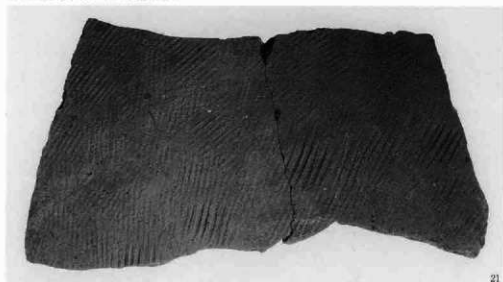


5区 36号住居 出土遺物



## 5区 37号住居 出土遺物(1)

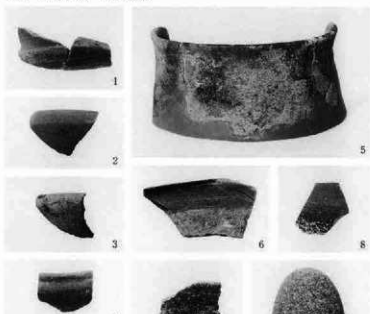




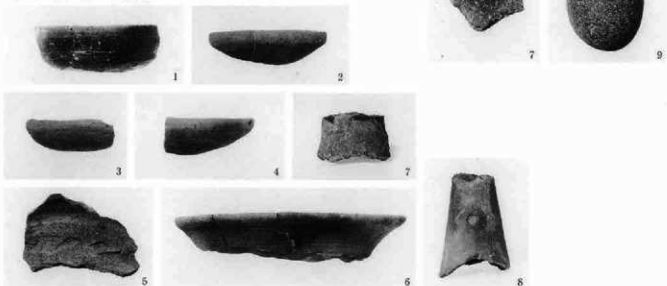
21

5区 40号住居 出土遺物

5区 41号住居 出土遺物



5区 42号住居 出土遺物



5区 44号住居 出土遺物



5区 2号土坑 出土遺物



5区 20号土坑 出土遺物



5区 34号土坑 出土遺物



5区 32号土坑 出土遺物



5区 35号土坑 出土遺物(1)





8

5区 40号土坑 出土遺物



1

5区 46号土坑 出土遺物



1



2

5区 53号土坑 出土遺物



1



2



3



4

5区 43号土坑 出土遺物



1

5区 47号土坑 出土遺物



1

5区 45号土坑 出土遺物



1



1

5区 36号土坑 出土遺物



1

5区 45号土坑 出土遺物



1

5区 37号土坑 出土遺物



1



1



1/1

1

5区 36号土坑 出土遺物

5区 37号土坑 出土遺物



1

5区 45号土坑 出土遺物



1

5区 47号土坑 出土遺物



1

5区 50号土坑 出土遺物



2

5区 57号土坑 出土遺物



1



2



3



4



5



5



5

5区 59号土坑 出土遺物



5区 60号土坑 出土遺物



5区 63号土坑 出土遺物



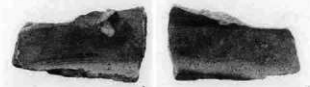
5区 64号土坑 出土遺物



5区 67号土坑 出土遺物

5区 65号土坑  
出土遺物

5区 68号土坑 出土遺物



5区 71号土坑 出土遺物



5区 69号土坑 出土遺物



5区 72号土坑 出土遺物



5区 75号土坑 出土遺物

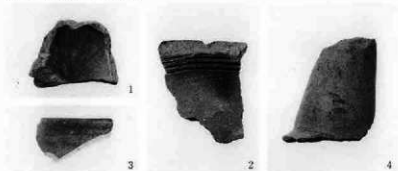


5区 74号土坑 出土遺物

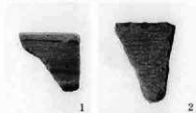


PL.80

5区 2号溝 出土遺物



5区 3号溝 出土遺物



5区 4号溝 出土遺物



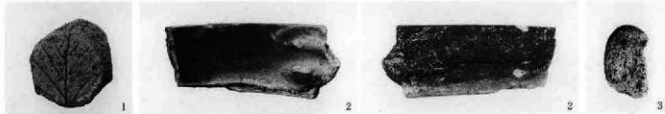
5区 4・9号溝 出土遺物



5区 10号溝 出土遺物



5区 9号溝 出土遺物



5区 11号溝 出土遺物



5区 17号溝 出土遺物



5区 1号井戸 出土遺物



5区 2号井戸 出土遺物



5区 49号ピット 出土遺物

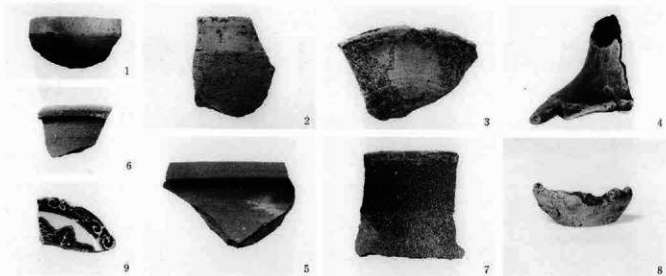


5区 81号ピット 出土遺物

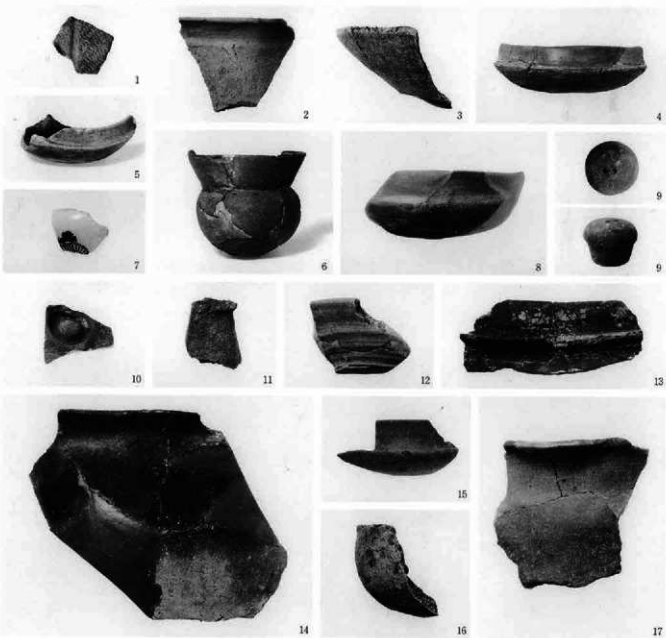


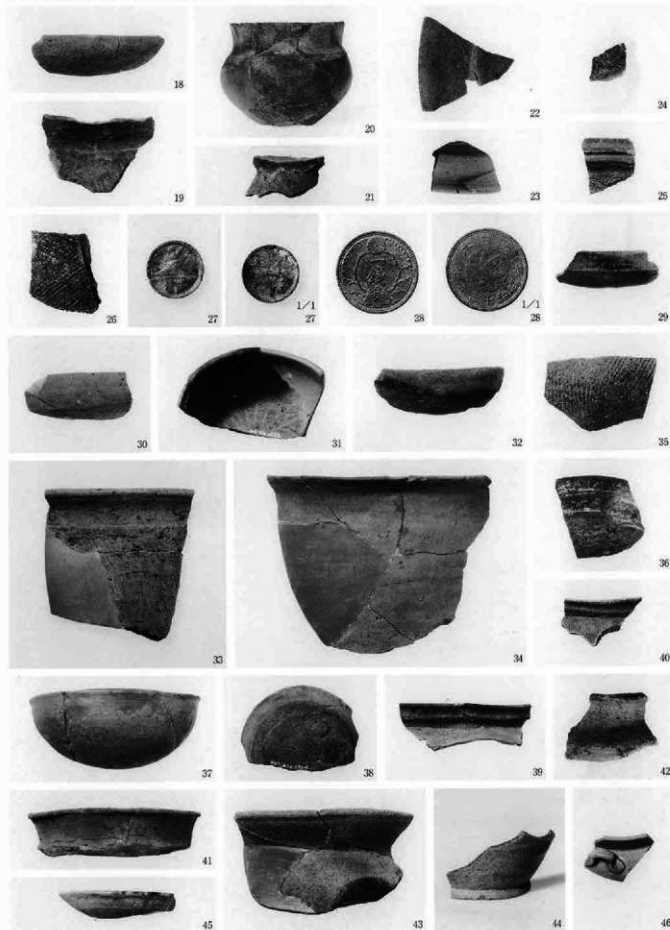


## 5区 遺物集中部 出土遺物



## 5区 遺物外(グリッド) 出土遺物(1)





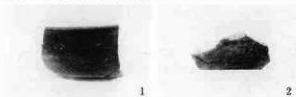
## 5区 遺構外(グリッド) 出土遺物(3)



## 5区 遺構外 出土遺物



6区 1号住居 出土遺物



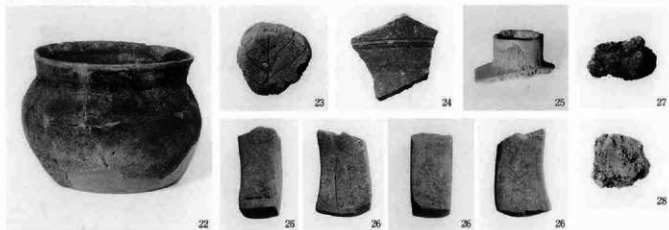
6区 2号住居 出土遺物



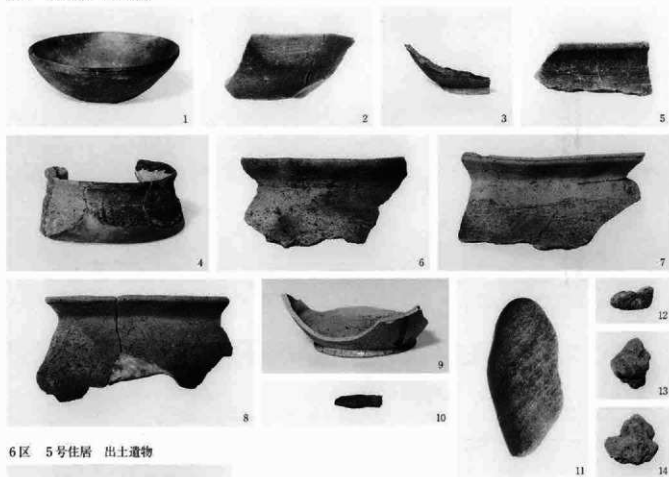
6区 25号住居 出土遺物(1)



## 6区 25号住居 出土遺物(2)



## 6区 4号住居 出土遺物



## 6区 5号住居 出土遺物





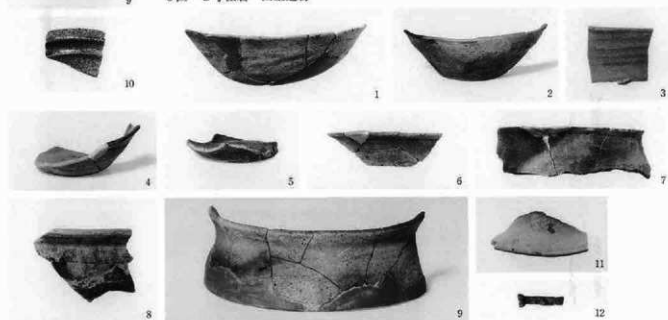
6区 7号住居 出土遺物(1)



6区 7号住居 出土遺物(2)



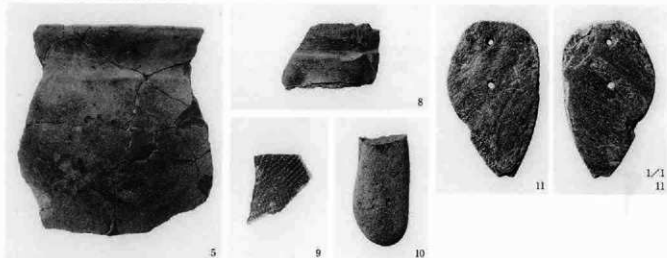
6区 8号住居 出土遺物



6区 9号住居 出土遺物(1)



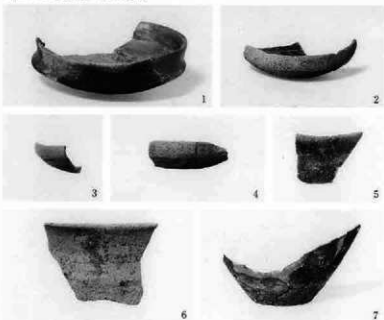
6区 9号住居 出土遺物(2)



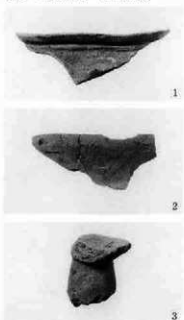
6区 10号住居 出土遺物



6区 11号住居 出土遺物

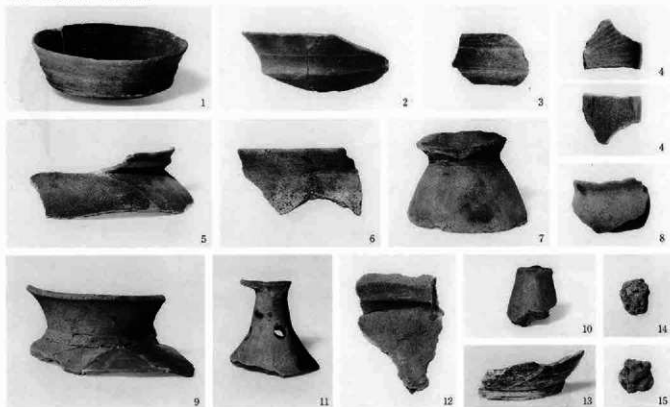


6区 12号住居 出土遺物

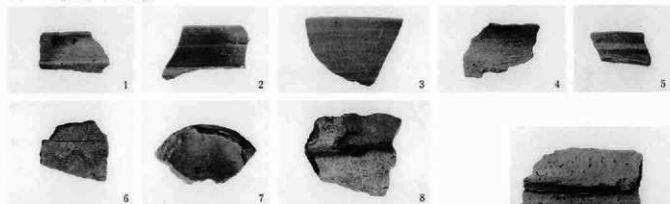




6区 13号住居 出土遺物



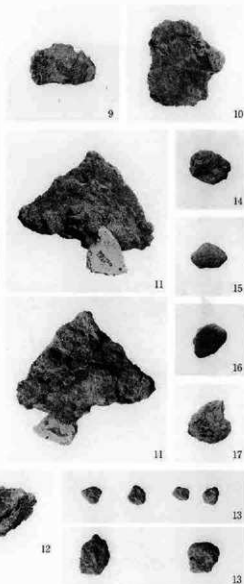
6区 14号住居 出土遺物



6区 15号住居 出土遺物(1)



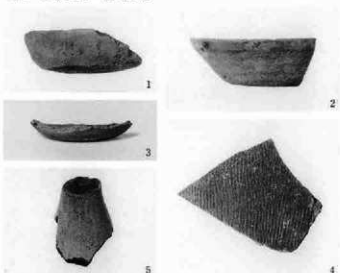
6区 15号住居 出土遺物(2)



6区 17号住居 出土遺物



6区 16号住居 出土遺物





1



2



3



4



5



6



7



10



8



9



13



12

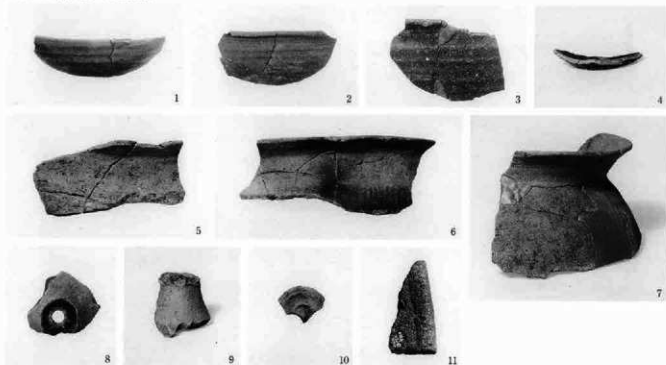


11



14

6区 21号住居 出土遺物



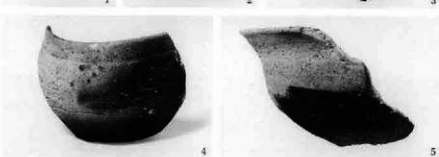
6区 2号土坑 出土遺物



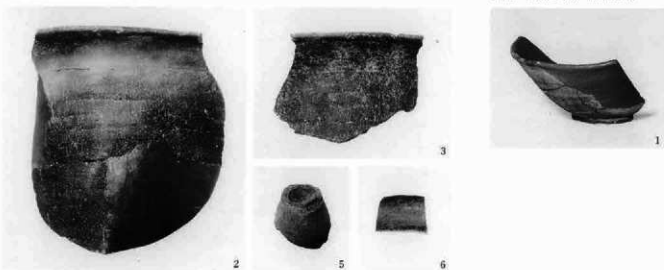
6区 10号土坑 出土遺物



6区 11号土坑 出土遺物



6区 13号土坑 出土遺物



## 6区 15号土坑 出土遺物(1)

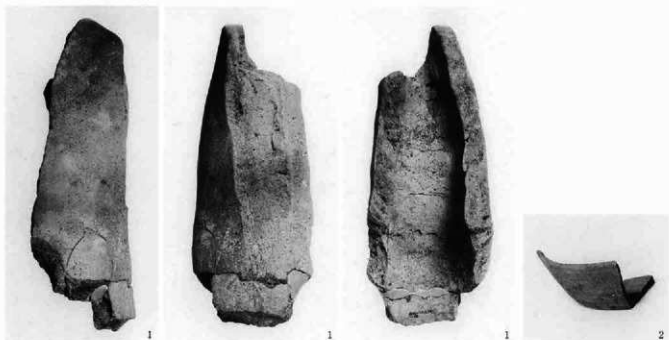


PL.94

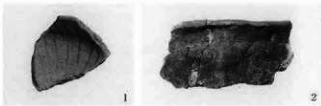
6区 15号土坑 出土遺物(2)



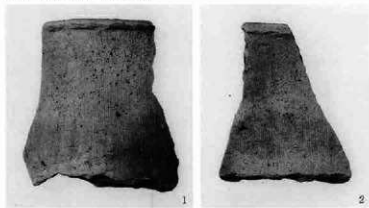
6区 16号土坑 出土遺物



6区 18号土坑 出土遺物



6区 19号土坑 出土遺物



6区 1号溝 出土遺物



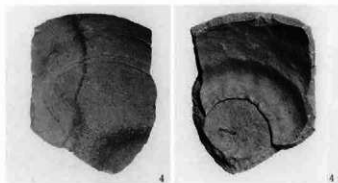
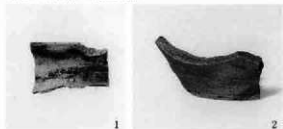
6区 2号溝 出土遺物



6区 6号溝 出土遺物

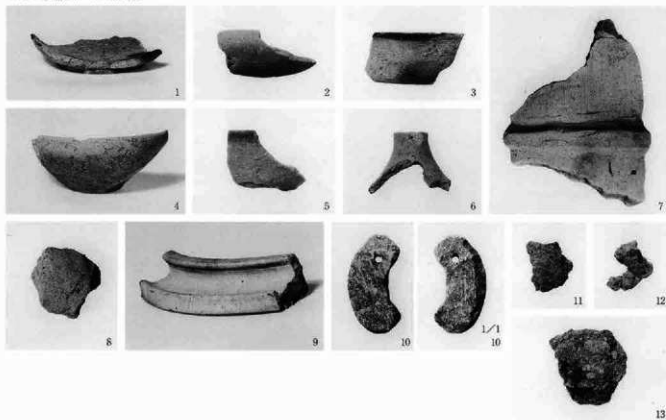


6区 7号溝 出土遺物



PL.96

6区 道構外 出土遺物





財団法人群馬県組織文化財調査事業団  
発掘調査報告書第358集

## 浜町遺跡

東武鉄道伊勢崎線外2線太田駅付近連続立体交差事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書第1集



平成17年(2005年)10月20日 印刷

平成17年(2005年)10月28日 発行

編集・発行／財団法人 群馬県組織文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県勢多郡北碓村下緒田784番地の2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

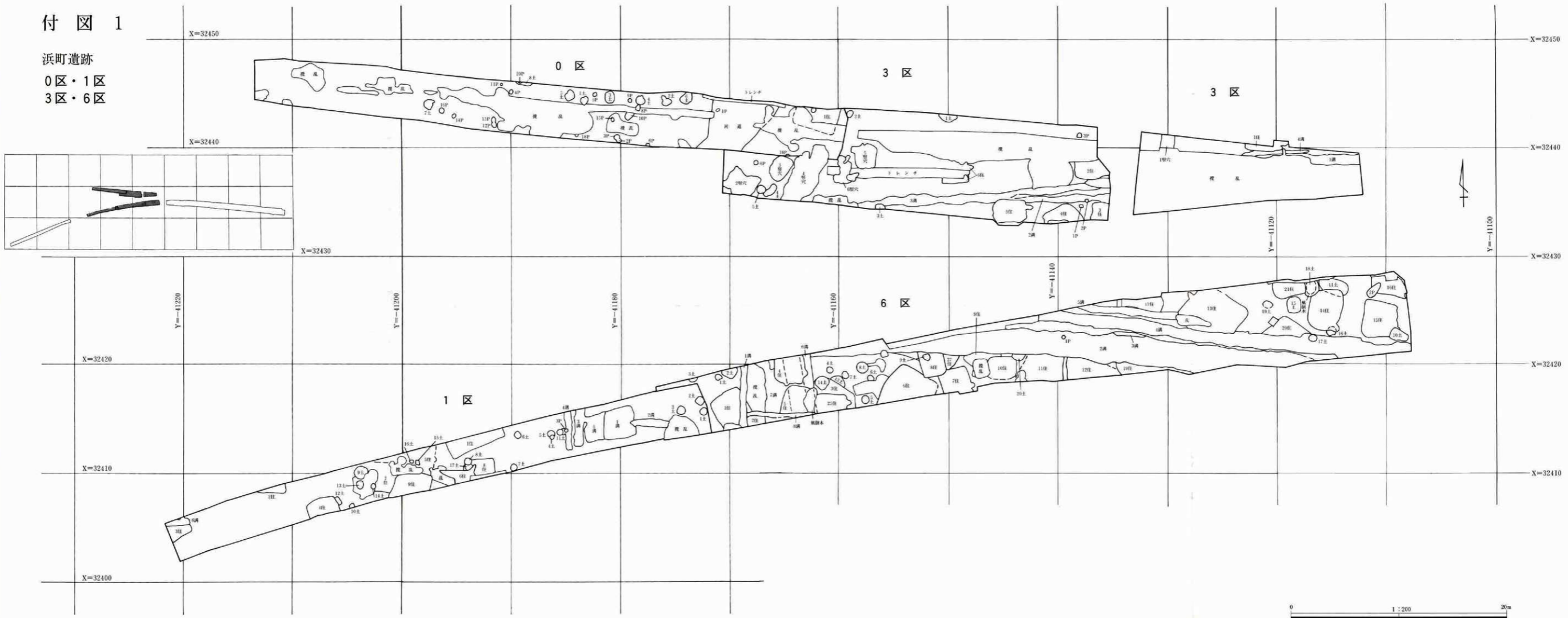
印刷／杉浦印刷株式会社

付 図 1

浜町遺跡

0区・1区

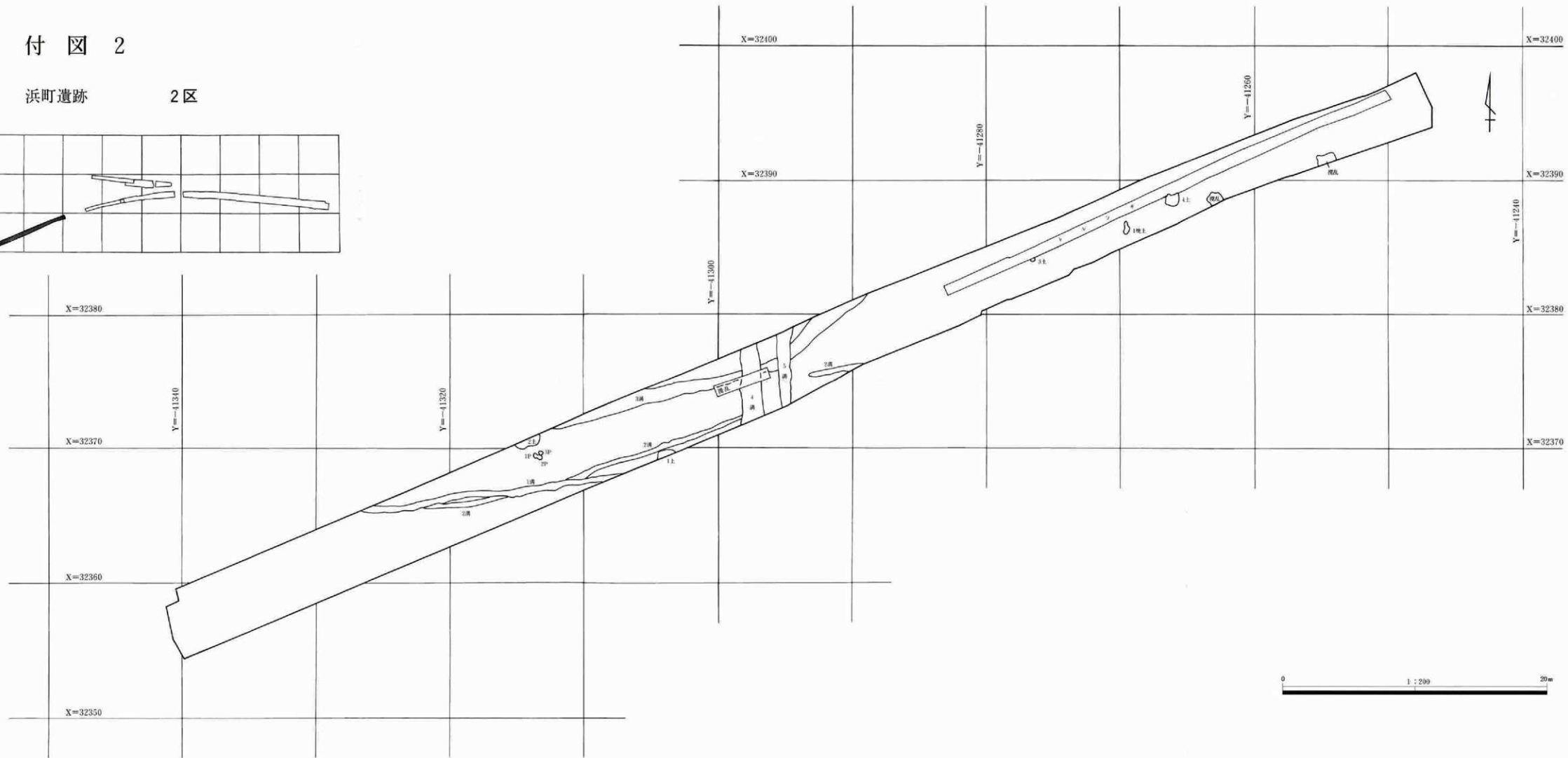
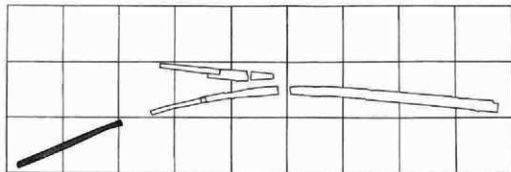
3区・6区



付 図 2

浜町遺跡

2区



付 図 3

浜町遺跡 5区

波線遺構は掘り方から検出

